

イベントの経済効果等評価に関する調査報告書

平成 20 年 5 月

財団法人 まちみらい千代田

目次

序. 調査の背景と目的	1
I. 調査方法	2
1. 効果の体系化	2
2. 調査フロー	3
3. アンケート調査の設計	4
(1) 来訪者アンケート調査	4
(2) 主催者および出店者アンケート調査	6
(3) 周辺事業者アンケート調査	7
4. 経済波及効果の推計方法	8
5. 評価および検討の視点	11
II. 江戸天下祭	12
1. 江戸天下祭の概要	12
2. アンケート調査結果	14
(1) 来場者調査	14
(2) 周辺事業者調査	37
(3) 主催者および出店者調査	44
3. 経済波及効果の推計	62
(1) 原単位作成のための差異分析	62
III. 神田古本まつり	72
1. 神田古本まつりの概要	72
2. アンケート調査結果	74
(1) 来場者調査	74
(2) 周辺事業者調査	98
3. 経済波及効果の推計	103
(1) 原単位の区分	103
(2) 消費単価の想定	103
(3) 経済波及効果の計算	105

IV. 千代田のさくらまつり	108
1. 千代田のさくらまつりの概要	108
2. アンケート調査結果	110
(1) 来場者調査	110
(2) 周辺事業者調査	133
3. 経済波及効果の推計	138
(1) 原単位の区分	138
(2) 消費単価の想定	138
(3) 出店者経費単価の想定	140
(4) 経済波及効果の計算	141
V. 効果評価および考察	144
1. イベントの目的と事業内容	144
(1) イベントの概要（目的、事業内容）	144
(2) 動員実績等	145
2. 効果評価	147
(1) 経済波及効果	147
(2) 来場者、周辺事業者、関係者等調査からの評価	149
3. 考察 ～今後の事業のあり方～	155
(1) 江戸天下祭	155
(2) 神田古本まつり	157
(3) 千代田さくらまつり	158
VI. 参考資料	159

序. 調査の背景と目的

財団法人まちみらい千代田は、文化振興、商工振興及び観光振興といった目的の達成に向けた事業を展開し、これら事業の実施を通して、千代田区のイメージアップについても戦略的に取り組む役割を有している。

このようなことから、当財団では千代田区内で開催される各種イベントに、これまでも千代田区と連携・協力しつつ、協賛・後援等様々な形態で積極的に関わってきた。

本調査は、このような背景を踏まえ、千代田区及び当財団が関わる大規模なイベントについて、開催によってもたらされる社会・経済効果について定量的に計測するとともに、千代田区にもたらされる経済効果やイベントに対する周辺事業者の評価等も取得し分析を加えることで、今後のイベントのあり方の検討に資する基礎データと考察を提供するものである。

調査の対象としたイベントは、江戸天下祭（2007年9月末）、神田古本まつり（2007年10月末）及びさくらまつり（2008年3月末）の三つのイベントである。当財団では、「大手町・丸の内地域を中心としたイベントの経済・社会効果測定調査」を実施し2006年1月に報告書を発表しているが、今回は地域を限定せず比較的規模の大きなイベントを対象とした。

なお、本調査は、専門的な分析等を必要とすることから、株式会社三菱総合研究所に委託して実施した。

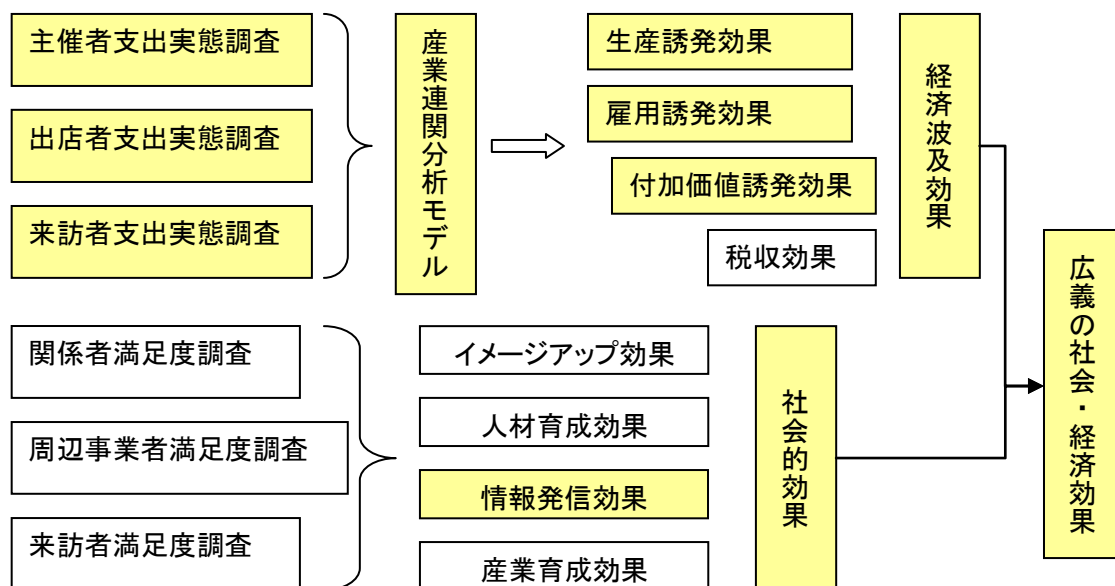
I. 調査方法

1. 効果の体系化

区内で開催されるイベントがもたらす経済波及効果は、来訪者が区内で消費する消費額と、イベント出店者や主催者が区内の取引先等に支出する額（一般的な産業連関分析においては投資額と定義される）＝直接効果と、直接効果としての区内消費・投資、および区外での消費・投資まで含んだ額が、区外と区内の事業者間の取引関係を通じて経済波及する効果＝間接効果、さらにこれら事業者における従業員の所得増加による消費額への二次的な波及効果の総和で評価される。

また、本来集客イベントに期待される効果として、経済波及効果以外にも、来訪者に対するイメージアップ効果や、情報発信効果やマーケティング活動を通じた産業育成効果、主催者等の組織内外における人材育成効果など、広く社会的効果と捉えるべき効果も存在する。これらの効果は、産業連関分析では評価し得ないが、経済評価と合わせて評価することが、本来のイベントに期待される役割という視点から不可欠である。

本調査では、経済波及効果の推計に重点を置き、本格的な顧客満足度（CS）調査および関係者（主催者・出店者）・周辺事業者満足度（ES）調査については実施していないが、来訪者アンケートおよび周辺事業者アンケートにおいて、経済波及効果計測目的以外の質問を設け、主に千代田区のブランドイメージや歴史・文化等情報発信という側面から、各イベントの現状について評価するとともに、今後の方向性について検討した。



注：網掛け部分は、本調査において実施あるいは評価した項目

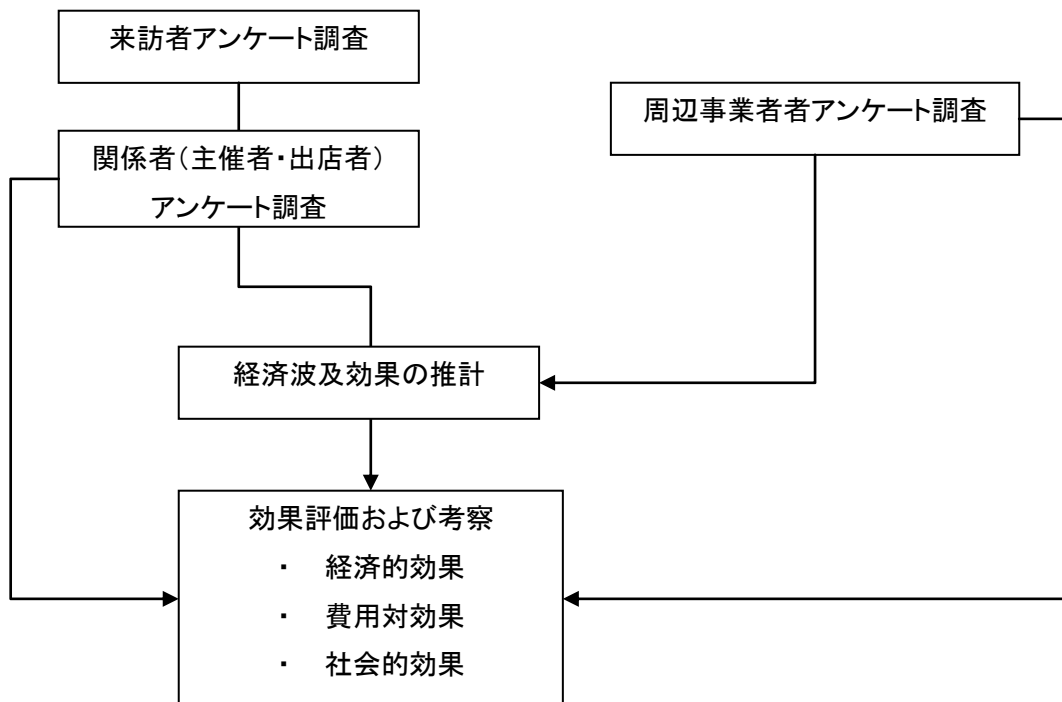
2. 調査フロー

本調査の全体フローは、以下の通りである。

イベントに係る、消費および投資支出がもたらす経済波及効果について、イベント来訪者および関係者（出店者および主催者）へのアンケート調査を行い、これをもとに消費額および投資額を算定し、平成12年東京都産業連関表を用いて、経済波及効果を推計した。

来訪者へのアンケート調査においては、当該イベントの経済波及効果推計を目的とする設問以外にも、他のイベントを含めた認知度等に関する設問によって、今後の効果的なイベントの広報および連携戦略のための基礎資料を収集した。

また、調査計画当初は予定していなかったが、イベント会場周辺の事業者等に対して、イベント期間中の売り上げやその他営業活動における影響に関するアンケートを追加実施し、経済波及効果の検証に用いるとともに、今後のイベント開催を支える基盤となる、地域の協力・連携可能性の評価に活用した。



3. アンケート調査の設計

本調査で実施したアンケートは、以下の3種である。

- ・ 来訪者アンケート調査
- ・ 主催者および出店者アンケート調査
- ・ 周辺事業者アンケート調査

(1) 来訪者アンケート調査

産業連関モデルのインプットである最終需要額は、来訪者および出店者に対するアンケート調査の集計結果をもとに、原単位(イベントスペース単位、人日単位等)として推定する。アンケート調査は、消費および投資における支出実態(支出内容とその支出地域一区内・区外)の情報収集のために行うものであり、支出構造が異なる属性(消費者・業種業態)別に推定する必要がある。

属性数については、来訪者のカウント調査(本調査仕様には含まない)等の同情報と整合させることが望ましい。統計的には属性間の相違を有意に検定するために必要な1属性のサンプル数は、30件程度で十分と考えられている。

有意差検定はt検定によって行うが、次図のようにt検定における自由度(差異を検定するグループ標本合計数から2を引いた値)と帰無仮説棄却水準値の関係を見ると、自由度60において、有意水準5%が2.0となっており、その後は自由度(標本数)を大きくしても値はさほど小さくならない。よって、差異を検定するグループの標本数が、片方で30サンプル以上であれば、十分に差異検定に耐え得るものとなる。

t検定の自由度と有意水準の関係

自由度	有意水準5%	有意水準1%
1	12.706	63.657
2	4.303	9.925
3	3.182	5.841
4	2.776	4.604
5	2.571	4.032
6	2.447	3.707
7	2.365	3.499
8	2.306	3.355
9	2.262	3.25
10	2.226	3.169
11	2.201	3.106
12	2.179	3.055
13	2.16	3.021
14	2.145	2.977
15	2.131	2.947
16	2.12	2.921
17	2.11	2.898
18	2.101	2.878
19	2.093	2.861
20	2.086	2.845
21	2.08	2.831
22	2.074	2.819
23	2.069	2.807
24	2.064	2.797
25	2.06	2.787
26	2.056	2.779
27	2.052	2.771
28	2.048	2.763
29	2.045	2.756
30	2.042	2.75
40	2.021	2.704
60	2	2.66
120	1.98	2.617
∞	1.96	2.576

調査方法は、調査ブース等での自記入式アンケートとした。調査ブースでは、調査員は記入の依頼、記入内容のチェック、謝礼品の手渡し等を行う。調査ブース以外では、調査員が画板を持って来場者の集まる場所に出向いて自記入式で調査した。

調査日×場所

	一日目	二日目	計
調査ブース	200	200	400
画板対応	100	100	200
計	300	300	600

性別×年齢

	10、20 歳代	30、40、50 歳代	60 歳代以上	計
男性	70	150	80	300
女性	70	150	80	300
計	140	300	160	600

性・年齢別の割当は6区分（性2×年齢3）とし、各区分最低60票を確保するよう計画した。また、調査時間帯別に3区分程度の割り当ても行い、ある特定の時間に回収が集中することは避けた。荒天時や状況に応じ、サンプルの配分は柔軟に対応することとした。

イベント関係者は調査対象者から極力除外することとしたが、実際には紛れ込む場合もありえるため、調査時点では回収し、集計段階で有効票から除外することとした（設問で識別する）。対象者は個人とし、家族連れ、カップルの場合でも複数から回答を得ても可とした。調査票での質問の仕方は、立寄・お金を使った場所、消費金額などは調査時点以降の予定を含む形とした。

(2) 主催者および出店者アンケート調査

主催者および出店者つまり関係者に対して、イベントを今後ともより良いものにするための感想とともに、千代田区や東京都の産業・経済にどれ程の影響を及ぼしたかを推計するため、開催に要した出展品制作、物販・飲食店の出店、運営などに関連するすべての支出額についてアンケート調査によって聴取した。

支出について、地域別、費目別に把握する必要があるため、各々の店舗等の建設や運営に関わった全ての発注に関する支出を取りまとめて回答いただいた。

支出の費目内訳は、以下の通り。

大項目	中項目	小項目	
運営費	施設・什器費	屋内施設	
		屋外スペース	
	アトラクション関連費	タレント等ギャラ	
		遊戯具代	
	展示費	購入費	
		レンタル料	
	広告・宣伝費		
	スタッフ人件費	正社員・職員	
派遣・バイト			
警備・保安費			
運営スタッフ消費費	食費(打ち上げ費用を含む)		
	交通費	鉄道	
		バス	
		タクシー	
		その他公共交通機関	
		自家用車(高速代)	
		自家用車(駐車場代)	
宿泊費			

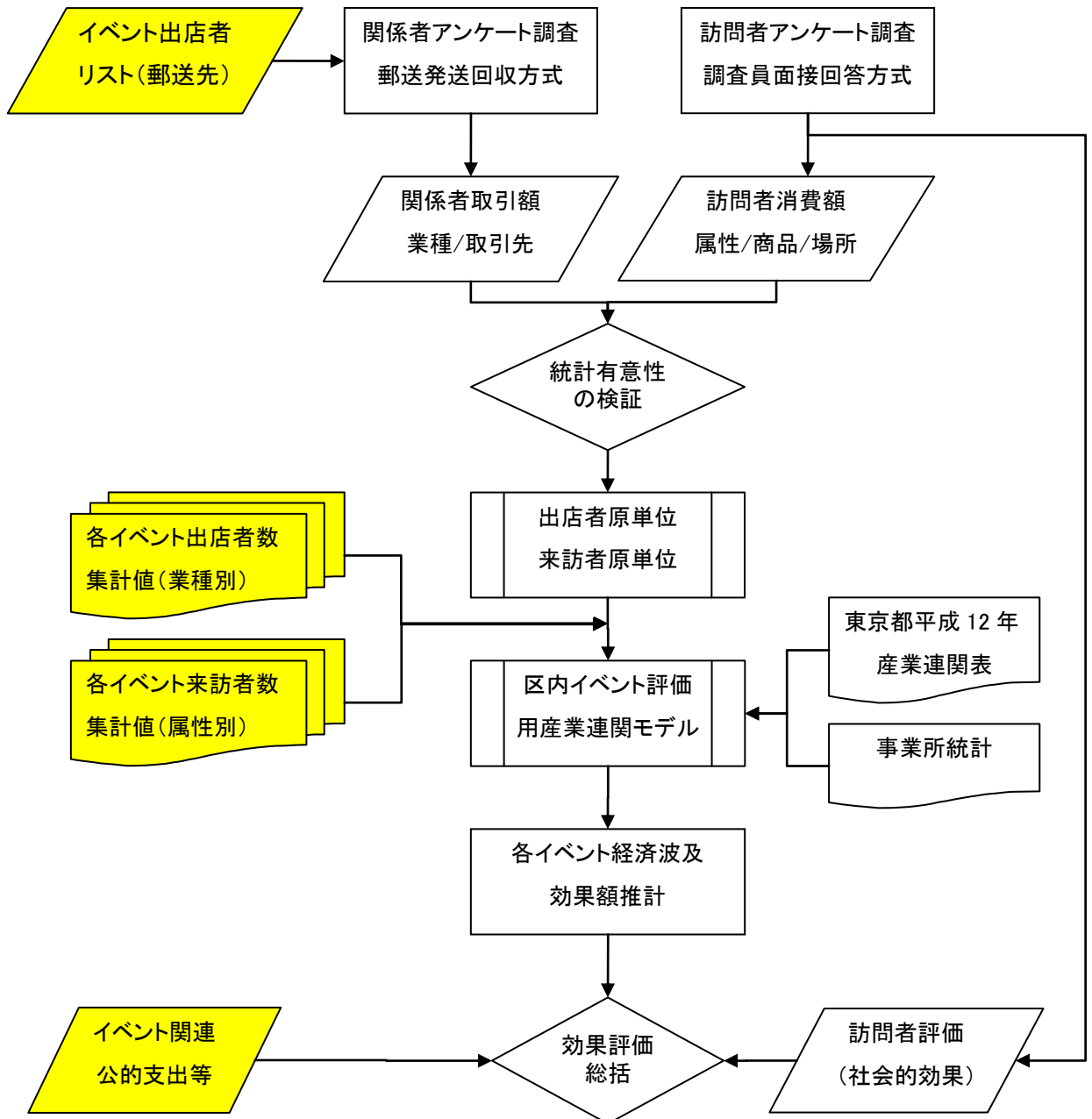
神田古本まつりについては、関係者へのアンケート調査は行っていない。理由は、江戸天下祭のように、イベント会場における設営やこれに伴う什器・備品の賃貸や購入はなく、会場への商品の搬送についても短距離かつ比較的軽量の商品のために、別途外部委託等を考慮する必要がないと判断されるためである。

(3) 周辺事業者アンケート調査

調査計画当初は予定していなかったが、イベント会場周辺の事業者等に対して、イベント期間中の売り上げやその他営業活動における影響に関するアンケートを追加実施し、経済波及効果の検証に用いるとともに、今後のイベント開催を支える基盤となる、地域の協力・連携可能性の評価に活用した。

4. 経済波及効果の推計方法

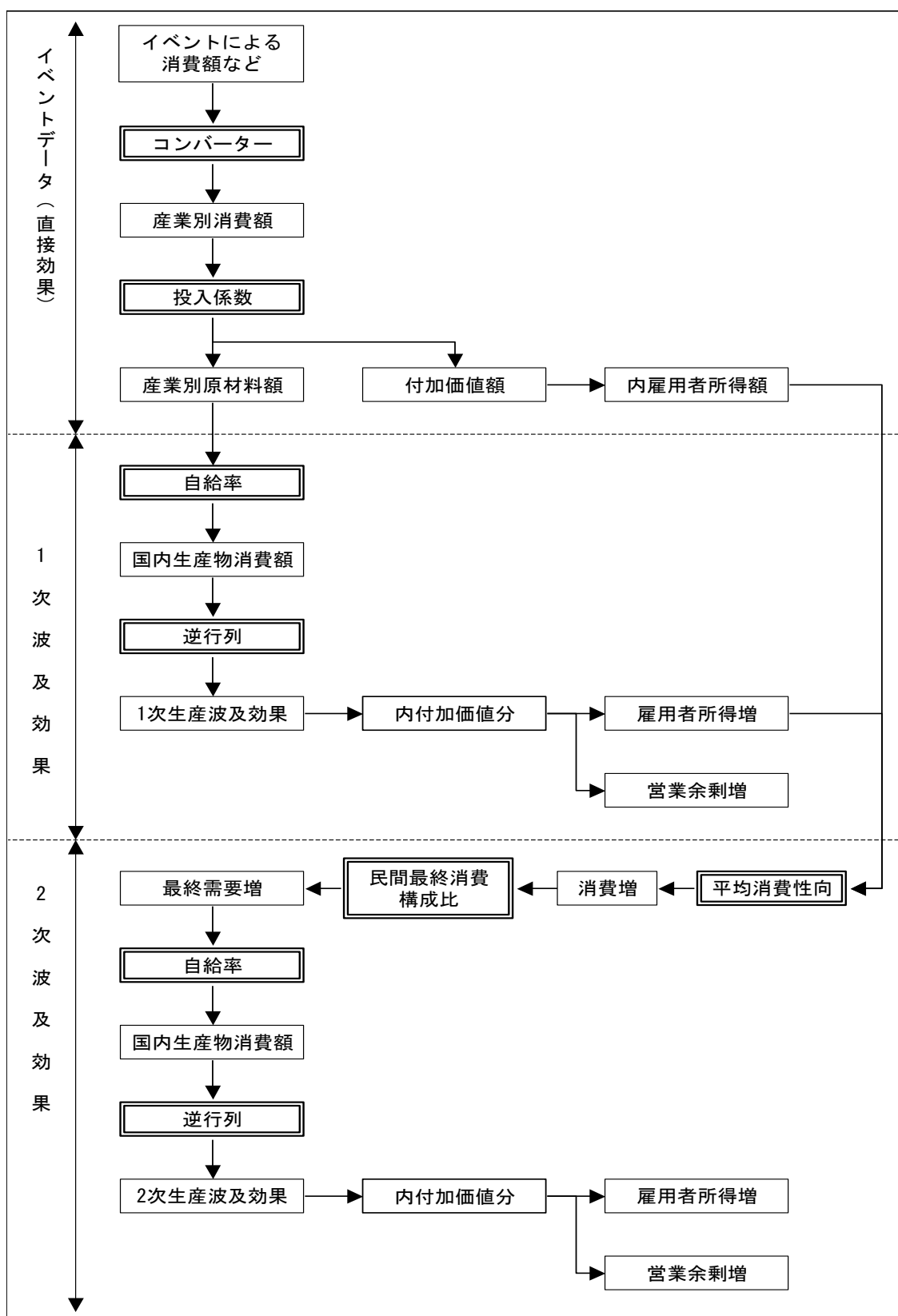
イベントに係る、消費および投資支出がもたらす経済波及効果について、イベント来訪者および関係者（出店者および主催者）へのアンケート調査を行い、これをもとに消費額および投資額を算定し、平成12年東京都産業連関表を用いて、経済波及効果を推計した。



本調査において定量評価する経済波及効果は、以下の手順で行った。

- ① 直接効果である消費・投資額について、区内および都内・都外に分割して把握する。
- ② 産業連関表から作成した逆行列表に、都内で消費・投資された直接効果額を、最終需要増加として乗じ（産業連関モデルのインプットし）、均衡産出高を計測（アウトプット）すなわち一次波及効果を計測する。経済波及効果を計測する産業連関モデルは、東京都平成 12 年産業連関表を用いて、都内事業者間の連関構造および都外への効果漏出構造を分析し、これを基に構築した。東京都の産業連関表は、他県と異なり「財・サービス部門」と「本社部門」が分割されているため、「財・サービス部門」と「本社部門」に分けて波及効果が推計できる。
- ③ 一次波及の過程で、都内事業者において増大した雇用者所得により期待される消費額の増大を、平均的な消費性向（所得のうちどれだけ消費するかの比）を仮定して推計し、これを再度最終需要増加として産業連関モデルにインプットし、二次波及効果を計測する。
- ④ 同様の、所得増大による消費増の効果をも、その効果が無くなるまで繰り返し、一次波及効果からの効果額を合計し総効果額を得る。総効果額は、当初産業連関モデルにインプットした直接効果額と、一次波及効果以下減衰してなくなるまでの間接効果額の総和となる。
- ⑤ 間接効果のうち、どれだけが区内への効果として評価できるかを、総務省「事業所・企業統計」の、東京都における千代田区構成比で内分し、これを区内直接効果と合計し、千代田区における総効果として評価する。「事業所・企業統計」を用いた区の都内における内分（構成）比は、「財・サービス部門」の効果については事業所数による構成比を用い、「本社部門」の効果については従業者数による構成比を用いた。

産業関連モデルを用いたイベント経済波及効果計測フロー



5. 評価および検討の視点

目的および開催日の天候等について三種三様であったイベント間の比較を、消費行動や費用対効果に着目して分析・評価する。

アンケートによって集計された来訪者の消費額と出店者および周辺商業者の投資等支出額の比較と、推計された経済波及効果額と主催者のイベント関連支出額の比較によって、イベントに関する費用対効果の検証を行う。

また、経済効果関連の設問以外の、イベントの趣旨への賛同や改善要望等を含め、今後のイベント開催における課題や戦略について検討する。

Ⅱ. 江戸天下祭

1. 江戸天下祭の概要

○事業の背景、目的等

明治22年以降行われなくなっていた「天下祭」を平成15年に江戸開府400年を記念して「江戸天下祭」として再現したもの。

以降、文化の創造と未来への継承を図り、千代田区の魅力を国の内外に発信しながら地域を活性化していくことを目指して、山車・神輿の順行を中心に、国際色・地方色豊かなフェスティバルのほか、多様なイベントと同時に隔年で開催している。

「天下祭」とは

- ・江戸時代、神田神社の「神田祭」と山王日枝神社の「山王祭」が、その豪華さや行列が江戸城内に入り徳川将軍の上覧を受けたことからそう呼ばれたもの。
- ・当時の「天下祭」では、神話や歴史上の人物をモデルにした人形などを取り付けた山車を曳き回すことが特徴。
- ・江戸城下の町内から山車、屋台、造物やお囃子、踊りなどが練り歩き、その趣向が常に江戸で話題となったと伝えられている。
- ・こうした江戸時代の伝統と流行が凝縮された趣向は、やがて関東各地の祭にも影響を及ぼしていくが、明治22年を最後に、様々な理由により順行が行われなくなっていた。

○事業の実施概要

<実施期間>

- ・平成19年9月29日（土）～9月30日（日）

<実施主体>

- ・主催：千代田区江戸天下祭実行委員会(事務局：(財)まちみらい千代田)
- ・共催：千代田区、千代田区観光協会
- ・後援：国土交通省東京国道事務所・関東運輸局、環境省関東地方環境事務所、東京都、駐日韓国大使館韓国文化院、(社)朝鮮通信使文化事業会、大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会
- ・特別協力：読売新聞、東京新聞、ニッポン放送、東京国際フォーラム

<主なイベント>

- ・江戸フェスティバル（日比谷公園）
- ・山車・神輿宵宮順行（日比谷公園～皇居前広場、(29日)）
- ・山車人形・神輿・山車の展示（丸ビル、(25日～30日)）
- ・付帯イベント
江戸登城ウォーク（29日）、千代田区皇居ロードレース大会（30日）、大江戸フットサ

ルフェスティバル（8月26日、9月8日、23日）、お江戸寄合い（朝鮮通信使シンポジウム）（日比谷公会堂、30日）

- ・江戸城築城550年記念催事

太田道灌シンポジウム（丸ビル、25日）、太田道灌公追慕の碑除幕式、太田道灌ウォーク

- ・フリーマーケット「ちよだ蚤の市」（東京国際フォーラム、30日）

<会場>



2. アンケート調査結果

(1) 来場者調査

1) 調査概要

①調査日時

- ・平成19年9月29日(土)(雨のち晴れ)、9月30日(日)(雨)
- ・調査地点は、メイン会場内の「協賛ブース」コーナー西端にテントを設置。他に、オープンアートギャラリーの西端辺りで聞き取り。

②回収状況

○目標票数

【1日間あたり】

	11~13時				13~15時				15~17時				計			
	10、20代	30~50代	60代以上	計	10、20代	30~50代	60代以上	計	10、20代	30~50代	60代以上	計	10、20代	30~50代	60代以上	計
男性	14	35	21	70	14	35	21	70	6	18	11	35	34	88	53	175
女性	14	35	21	70	14	35	21	70	8	17	10	35	36	87	52	175
計	28	70	42	140	28	70	42	140	14	35	21	70	70	175	105	350

【2日間合計】

	11~13時				13~15時				15~17時				計			
	10、20代	30~50代	60代以上	計	10、20代	30~50代	60代以上	計	10、20代	30~50代	60代以上	計	10、20代	30~50代	60代以上	計
男性	28	70	42	140	28	70	42	140	12	36	22	70	68	176	106	350
女性	28	70	42	140	28	70	42	140	16	34	20	70	72	174	104	350
計	56	140	84	280	56	140	84	280	28	70	42	140	140	350	210	700

○回収票数

10代・20代については、初日、2日目ともに11時~15時の回収票数が目標を下回ったため、2日間の合計においても目標の75%程度にとどまった。しかしながら、60代以上はほぼ目標水準に、30~50代では目標を上回ったため、全体の回収実績は概ね目標水準に達し、男女別の回収票数もバランスの取れた結果となった。

【9月29日(土)】

	11~13時				13~15時				15~17時				計			
	10、20代	30~50代	60代以上	計	10、20代	30~50代	60代以上	計	10、20代	30~50代	60代以上	計	10、20代	30~50代	60代以上	計
男性	3	40	24	67	7	40	29	76	10	23	5	38	20	103	58	181
女性	8	32	20	60	11	39	36	86	11	27	1	39	30	98	57	185
計	11	72	44	127	18	79	65	162	21	50	6	77	50	201	115	366

【9月30日(日)】

	11~13時				13~15時				15~17時				計			
	10、20代	30~50代	60代以上	計	10、20代	30~50代	60代以上	計	10、20代	30~50代	60代以上	計	10、20代	30~50代	60代以上	計
男性	8	30	21	59	5	40	16	61	10	22	12	44	23	92	49	164
女性	8	32	24	64	10	35	15	60	9	18	8	35	27	85	47	159
計	16	62	45	123	15	75	31	121	19	40	20	79	50	177	96	323

【2日間合計】

	11~13時				13~15時				15~17時				計			
	10、20代	30~50代	60代以上	計	10、20代	30~50代	60代以上	計	10、20代	30~50代	60代以上	計	10、20代	30~50代	60代以上	計
男性	11	70	45	126	12	80	45	137	20	45	17	82	43	195	107	345
女性	16	64	44	124	21	74	51	146	20	45	9	74	57	183	104	344
計	27	134	89	250	33	154	96	283	40	90	26	156	100	378	211	689

2) 設問

Q1 あなた自身のことについておうかがいします。

①性別	1. 男性 2. 女性
②年齢	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 4. 60代以上
③人数	1. 1人で来た 2. 2人で来た 3. それ以上()人で来た
④同伴者	1. 家族 2. 仕事仲間・同僚 3. 友人・知人 4. その他()
⑤居住地	1. 千代田区内 2. 都内(千代田区外) 3. 都外
⑥通勤・通学地	1. 千代田区内 2. 都内(千代田区外) 3. 都外

Q2 会場内での買い物について、お伺いします。それぞれの項目について購入した又は購入予定の金額を記入してください。貴方1人の額でお答えください(グループの合計額ではありませんのでお気をつけください)。購入していない場合、「0円」とご記入ください。

支出項目	購入金額
①飲食 (出店やビル内の食べ物・飲み物・自販機の缶ジュースなど)	円
②買い物 (産直農産品、工芸品、自分用およびお土産品の両方を含む)	円

Q3 本日の会場以外での支出について、それぞれの場所で購入した、又は購入予定の物について、購入した、又は購入予定の金額を記入してください。貴方1人の額でお答えください(グループの合計額ではありませんのでお気をつけください)。購入していない場合、「0円」とご記入ください。

支出項目／購入場所	購入金額
①飲食(出店やビル内の食べ物・飲み物・ファーストフード・自販機の缶ジュースなど)	
千代田区(有楽町・丸の内・神田など)	円
都内(銀座・お台場・巣鴨など区外)	円
都外(横浜・大宮・浦安など)	円
合計(場所の区別ができない場合は、こちらにご記入ください)	円
②買い物(デパート・量販店・専門店などでの支払い、自分用及びお土産品の両方を含む)	
千代田区(有楽町・丸の内・神田など)	円
都内(銀座・お台場・巣鴨など区外)	円
都外(横浜・大宮・浦安など)	円
合計(場所の区別ができない場合は、こちらにご記入ください)	円
③その他(映画館入場料・博物館や美術館の入館料・動物園や水族館の入園料など)	
千代田区(有楽町・丸の内・神田など)	円
都内(銀座・お台場・巣鴨など区外)	円
都外(横浜・大宮・浦安など)	円
合計(場所の区別ができない場合は、こちらにご記入ください)	円

Q4 会場内で立ち寄った(立ち寄る予定の)箇所、及びお金を使った(使う予定の)場所について、おたずね

します。

Q4-1 会場内で立ち寄った又は立ち寄る予定の箇所全てについて、地図「1. 立ち寄った(立ち寄る予定の)場所」にある番号①～⑩に○をつけてください。

Q4-2 会場内でお金を使った又は使う予定の箇所全てについて、地図「2. お金を使った(使う予定の)場所」にある番号①～⑩に○をつけてください。



Q5 ご自宅からここまではどのような交通機関で来られましたか。それぞれの交通機関について、利用した場合は、a)利用の有無の「1. 利用した」に○をつけ、b)運賃を記入してください。徒歩や自転車の場合はすべての設問について「2. 利用しない」に○をつけてください。b)運賃については、貴方1人の片道分の額でお答えください(グループの合計額ではありませんのでお気をつけください)。

交通機関	利用の有無/運賃・料金
①鉄道	a)利用の有無 1. 利用した 2. 利用しない b)運賃 (円)
②バス	a)利用の有無 1. 利用した 2. 利用しない b)運賃 (円)
③タクシー	a)利用の有無 1. 利用した 2. 利用しない b)運賃 (円)
④自家用車	a)駐車場の利用の有無 1. 利用した 2. 利用しない b)料金 (円)
⑤その他 例:航空機 ()	a)利用の有無 1. 利用した 2. 利用しない b)料金 (円)

Q6 今回、江戸天下祭に来場されるために、宿泊されましたか。宿泊された場合、宿泊場所に○をつけて、料金をご記入ください。出張等のついでに立ち寄った場合は除きます。

滞在期間	宿泊場所	宿泊料金
1. 日帰り (宿泊していない)	1. 千代田区(有楽町・丸の内・神田など)	円
	2. 都内(銀座・お台場・赤坂など区外)	円
2. 日帰り以外 (泊)	3. 都外(横浜・浦安など)	円
	4. よくわからない ()	円

Q7 江戸天下祭の会場にどのくらいの時間滞在しましたか。あるいは滞在される予定ですか。あてはまるものに1つ○をつけてください。

1. 30分くらい	2. 1時間くらい
3. 1時間30分くらい	4. 2時間くらい
5. 3時間くらい	6. 3時間以上

Q8 今日、江戸天下祭へ来られたきっかけは何ですか。あてはまる1つに○をつけてください。

1. 江戸天下祭があることを事前に知っていて、「江戸天下祭」を目的に出掛けてきた。	}	→Q9へ
2. 江戸天下祭があることを事前に知っており、買い物や出勤など他の用事のついでに寄ってみた		
3. たまたま通りかかっただけ、日比谷公園に来ただけ	}	
4. 今日、駅等のポスターや案内を見てきてみた		
5. にぎやかそうなので来てみた		
6. その他()		

Q8-1 江戸天下祭を事前に知っていた理由は何ですか。あてはまる1つに○をつけてください。

1. 出展者・主催者の関係者だから)
2. 出展者・主催者の関係者ではないが告知を見た →具体的には何でお知りになりましたか	

Q9 過去2回(2003年、2005年)の江戸天下祭に参加・来場されましたか。2003年、2005年それぞれ、あてはまる1つに○をつけてください。

2003年江戸天下祭(江戸開府400年記念)	2005年江戸天下祭
1. 参加・来場した。	1. 参加・来場した。
2. 参加・来場していないが、開催されていたのは知っていた。	2. 参加・来場していないが、開催されていたのは知っていた。
3. 参加・来場しておらず、開催されていたのも知らなかった。	3. 参加・来場しておらず、開催されていたのも知らなかった。

Q10 日比谷公園以外の下記の会場で立ち寄ったり、イベントに参加されましたか。あるいは、これから予定はありますか。あてはまる全てに○をつけてください。

他の江戸天下祭会場	1. 東京国際フォーラム（フリーマーケット「ちよだ蚤の市」(30日)） 2. 丸ビル（山車人形・神輿の展示（25日～30日）） 3. 日比谷公園～皇居前広場の 山車・神輿順行（29日）
他の江戸天下祭イベント	4. 江戸登城ウォーク(29日) 5. 千代田区皇居ロードレース大会(30日) 6. 大江戸フットサルフェスティバル(8月26日、9月8日、23日) 7. 太田道灌シンポジウム(25日:丸ビル) 8. 朝鮮通信使シンポジウム(30日:日比谷公会堂)

Q11 江戸天下祭の感想はいかがですか。あてはまる全てに○をつけてください。

1. 江戸の文化・産物等にふれられた。 2. 千代田区への理解が深まった。 3. 国内外の文化・産物等にふれられた。 4. いろいろな人と交流することができた。 5. にぎやかで楽しめた。 6. その他 []
--

・今回特によかった企画、イベント等があれば、挙げてください。

--

・会場運営、ご案内、スタッフの対応などで改善すべき点等があれば、挙げてください。

--

Q12 次回以降、江戸天下祭にまた参加、来場されますか。あてはまる1つに○をつけてください。

1. ぜひ参加・来場したい 2. 都合がつけば参加・来場したい 3. もっと魅力が高まれば参加・来場したい 4. 参加・来場しない
--

Q13 今回、江戸天下祭会場の他に、立ち寄った(あるいは立ち寄る予定の)場所(地名・施設名)があれば、挙げてください。

--

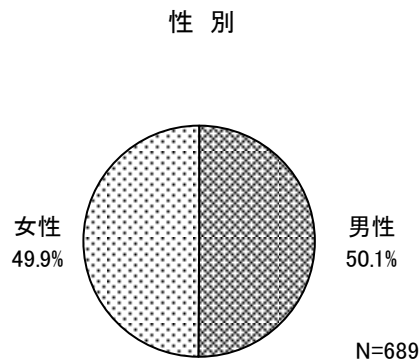
Q14 以下のイベントについてご存知ですか。また、今後、行ってみたいですか。それぞれについてお答えください。

	イベントについて ご存知ですか	これまでに行った ことがありますか	今後、行ってみた いですか
神田祭(神田神社、5月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン (丸の内、5月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
山王祭(日枝神社、6月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
東京ジャズ(東京国際フォーラム、9月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
神田古本祭(神保町、10月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
光都東京(和田倉噴水公園、12月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
さくらまつり(区内各所、3月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

3) 回答結果

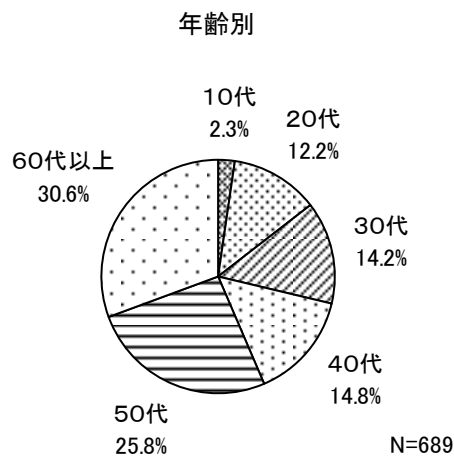
<性別>

性別のアンケート回答割合は、男性が 50.1%、女性が 49.9%で、ほぼ 1 : 1 の割合となっている。



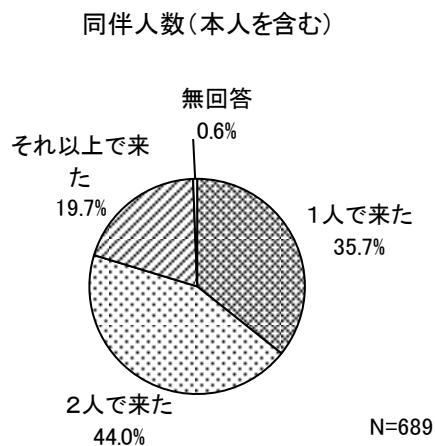
<年齢別>

年齢別の回答者内訳は、60代以上が最も多く 30.6%、次いで 50代が 25.8%で、50代以上が全体の過半数を占めている。



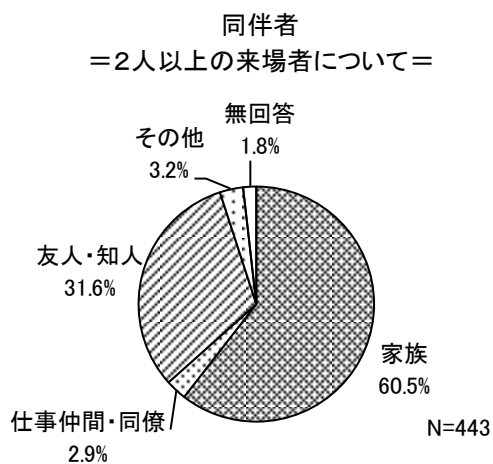
<同伴人数（本人を含む）>

同伴人数については、2人での来場が44.0%と最も多いが、1人での来場も35.7%、全体の3分の1以上となっている。



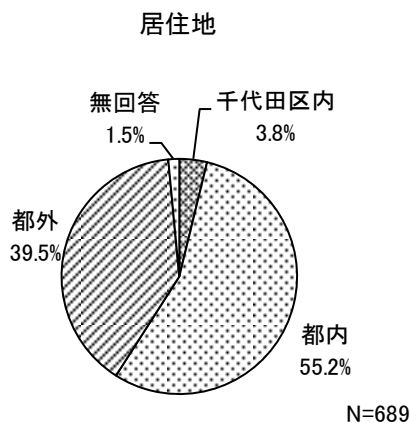
<同伴者>

2人以上で来場した人の同伴者は、約6割が家族であり、約3割が友人・知人となっている。



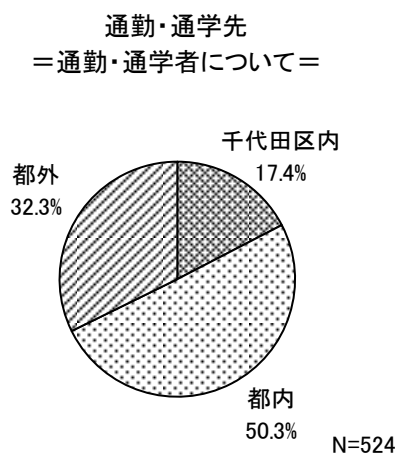
<居住地>

来場者の約 6 割が都内居住者、約 4 割が都外の居住者である。来場者に占める千代田区内居住者の割合は少ない。



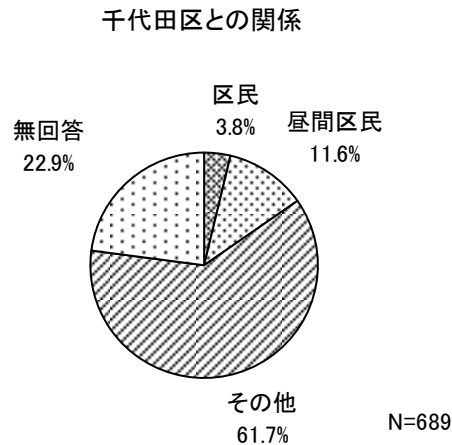
<通勤・通学先>

来場者の通勤・通学地は、千代田区を除く都内が約半数を占めている。千代田区内に通勤・通学している人は 17.4%となっている。



<千代田区との関係>

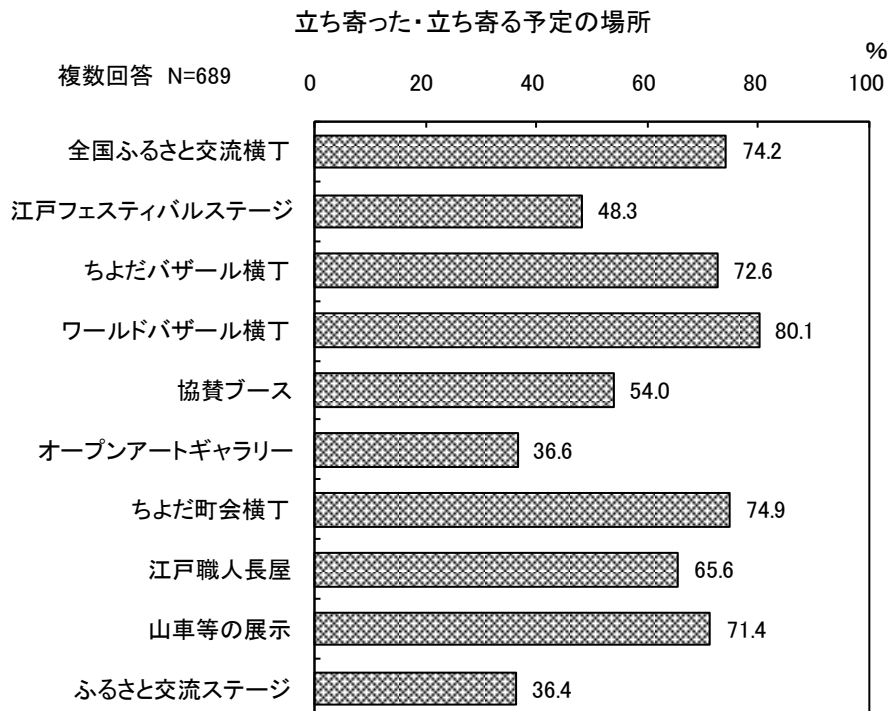
来場者の千代田区との関係は、区民が3.8%、昼間区民（区外在住区内通勤・通学者）が11.6%となっている。



<立ち寄った・立ち寄る予定の場所>

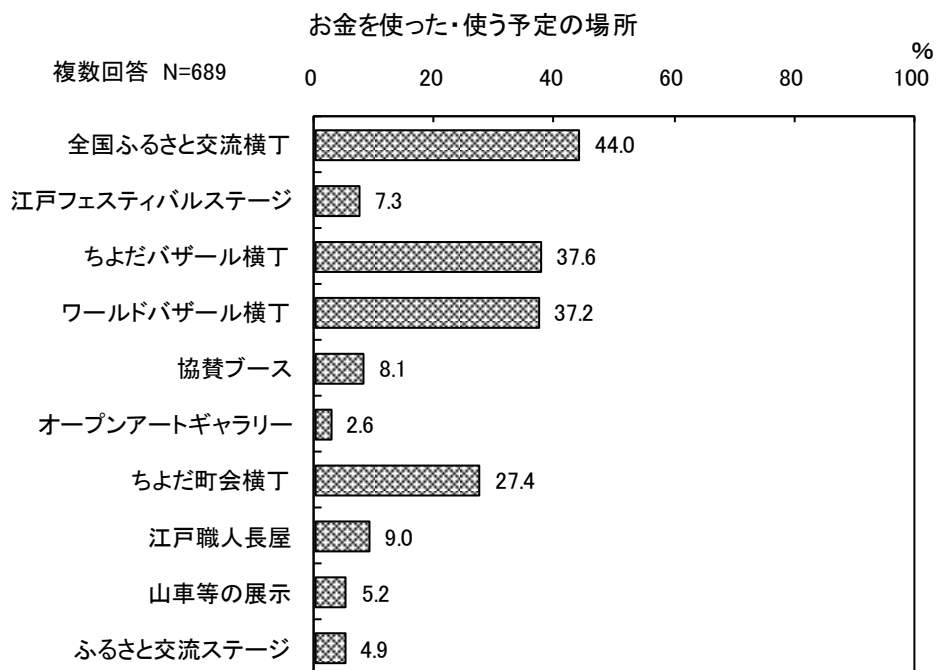
約8割の来場者が「ワールドバザール横丁」に立ち寄っている。

「ちよだ町会横丁」、「全国ふるさと交流横丁」、「ちよだバザール横丁」、「山車等の展示」にも7割以上の来場者が足を運んでいる。



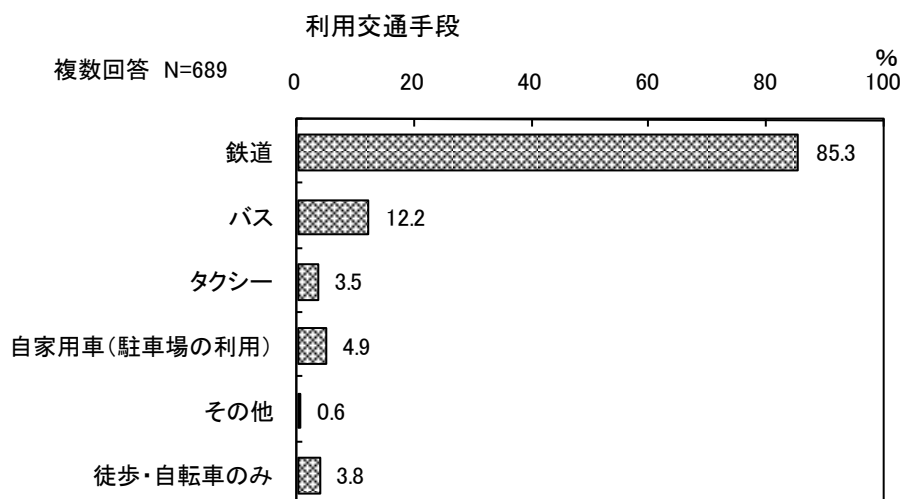
<お金を使った・使う予定の場所>

会場内の買い物場所については、「全国ふるさと交流横丁」が 44.0%と最も多く、「ちよだバザール横丁」と「ワールドバザール横丁」が続いている。



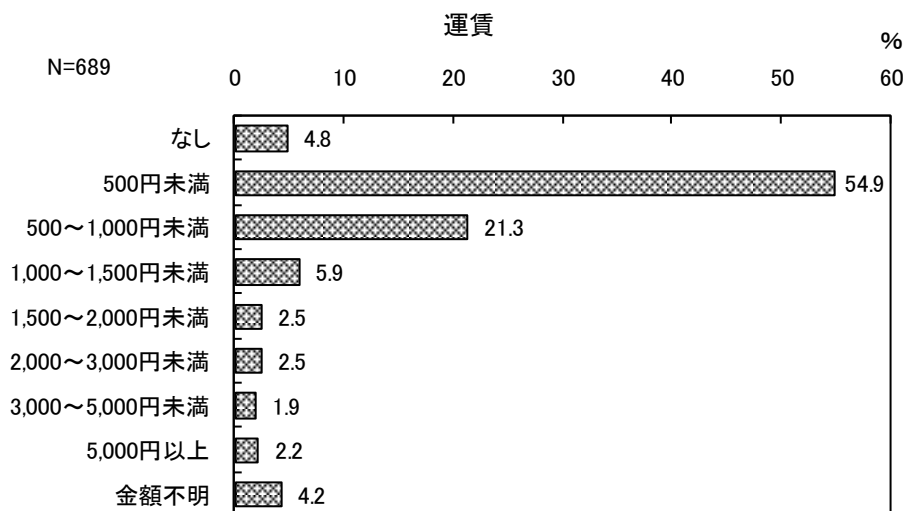
<利用交通手段>

会場までの交通手段については、8割以上が鉄道となっている。



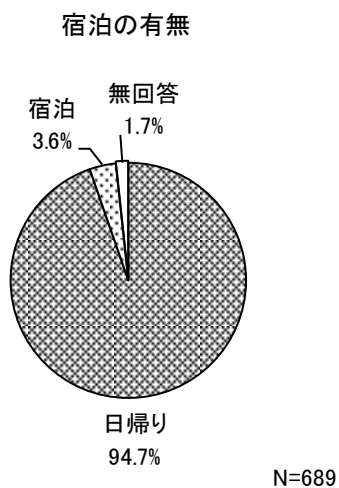
<運賃>

会場までの運賃は、500円未満が54.9%と最も多く、次いで500円以上1,000円未満が21.3%、1,000円以上1,500円未満が5.9%となっている。



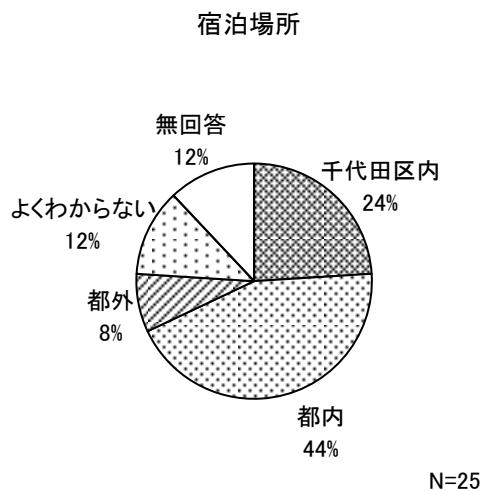
<宿泊の有無>

ほとんどの来場者は日帰りであり、宿泊を伴う来場者は3.6%だけとなっている。



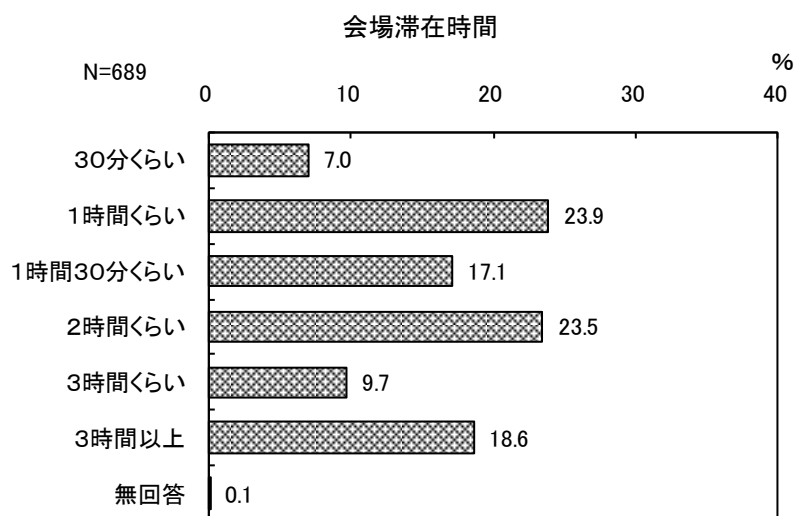
<宿泊場所>

宿泊者の68.0%が都内に宿泊しており、24.0%が千代田区内に宿泊している。



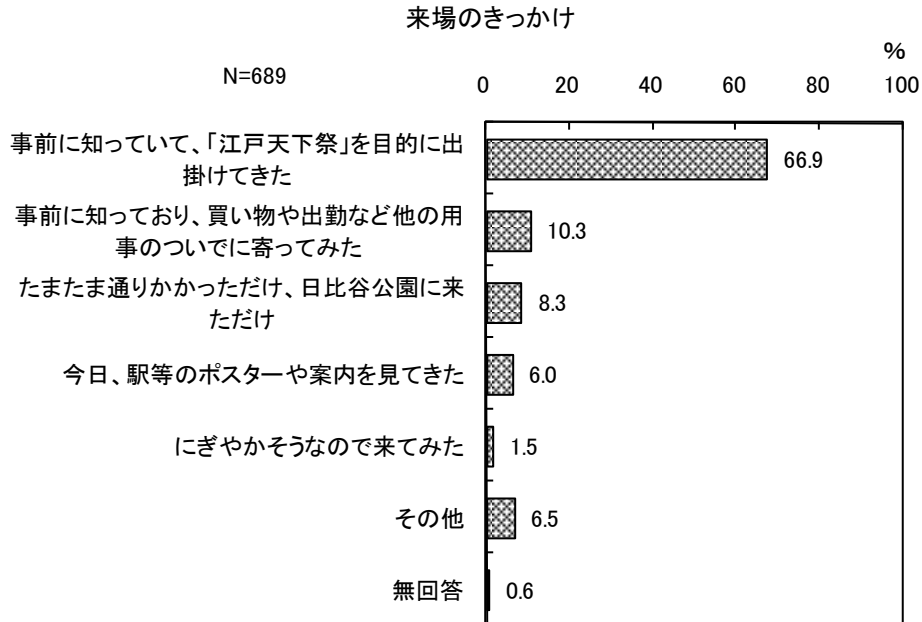
<会場滞在時間>

会場での滞在時間は、1時間から2時間程度が多いが、3時間以上滞在している人も2割近い。



<来場のきっかけ>

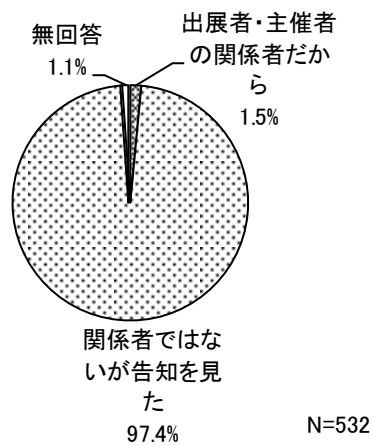
来場者の3分の2は、「江戸天下祭」を主目的として来ている。



<江戸天下祭を知ったきっかけ>

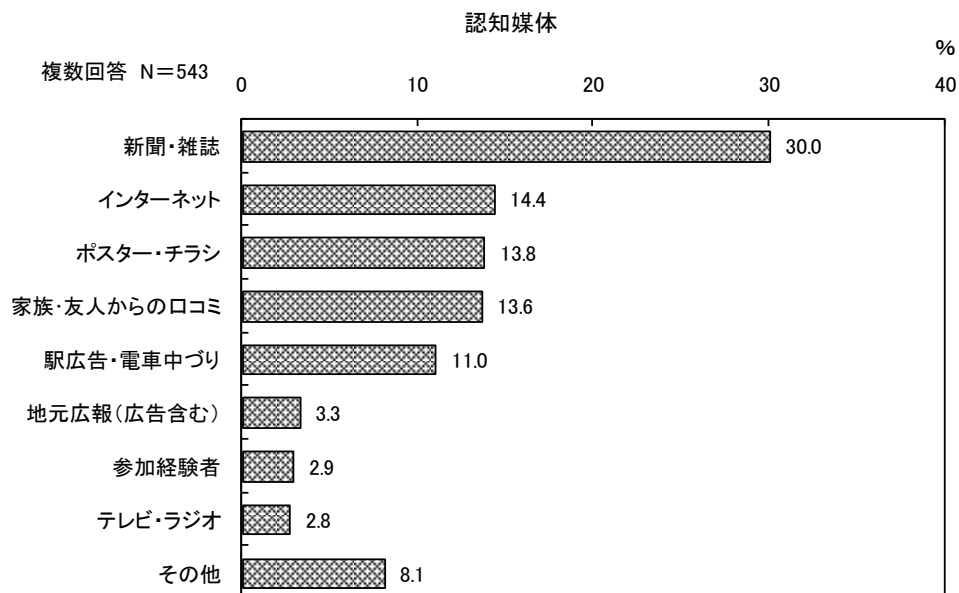
江戸天下祭を知ったきっかけは、告知を見たという理由がほとんどである。

江戸天下祭を知ったきっかけ



<認知媒体>

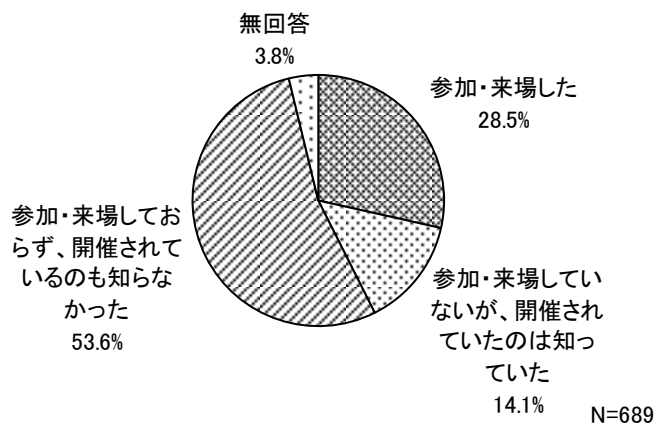
認知媒体としては新聞・雑誌が3割と最も多く、次いでインターネット、ポスター・チラシ、家族・友人からの口コミ、駅広告・電車中づりの順だが、4項目は11~14%強でほぼ横並びである。地元広報は3.3%となっている。



<江戸天下祭への来場>

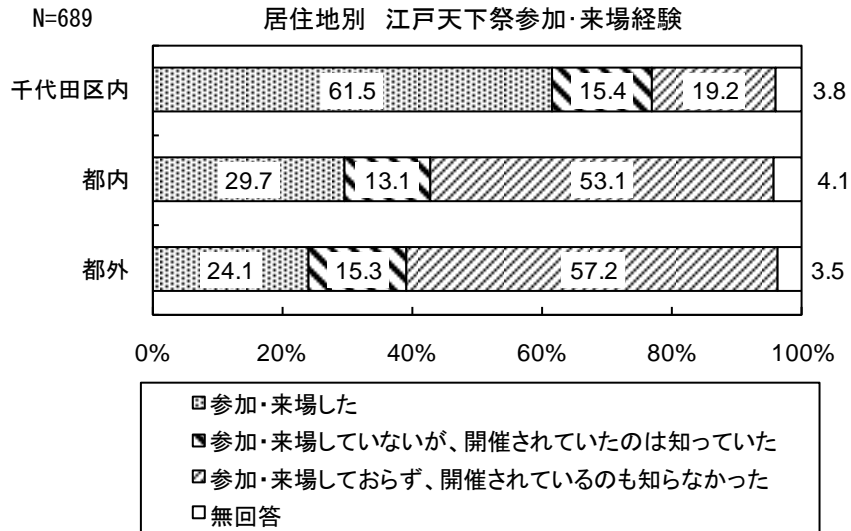
過去に参加・来場したことがある人は28.5%、今回初めて参加した人が約7割、うち天下祭の開催を知らなかった人が53.6%となっている。

江戸天下祭への来場



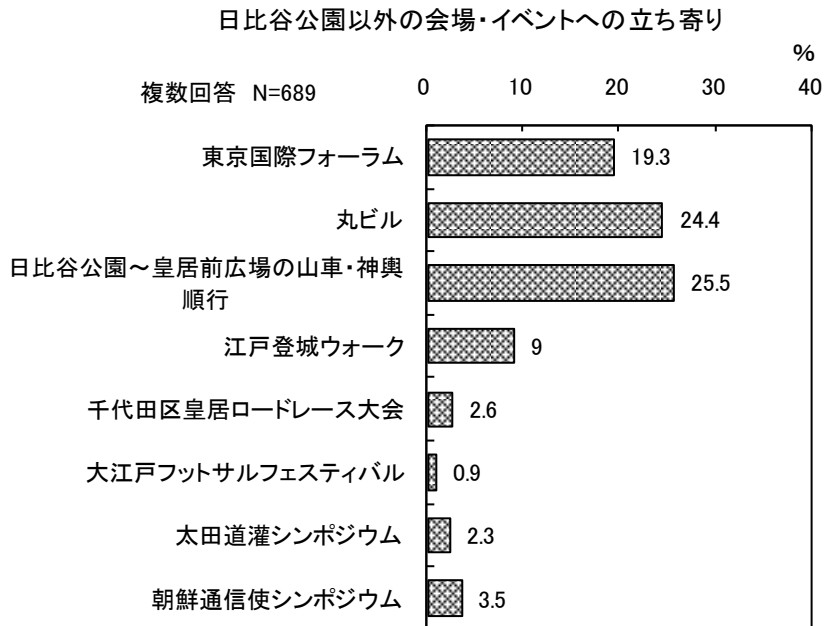
<居住地別江戸天下祭参加経験>

来場者の居住地別にみた過去の参加経験は、千代田区民では以前に参加・来場した人が多く61.5%であり、参加していない人も15.4%は開催されているのは知っていたのに対し、区民以外では参加経験が3割弱、開催されているのも知らない人が5割超となっている。



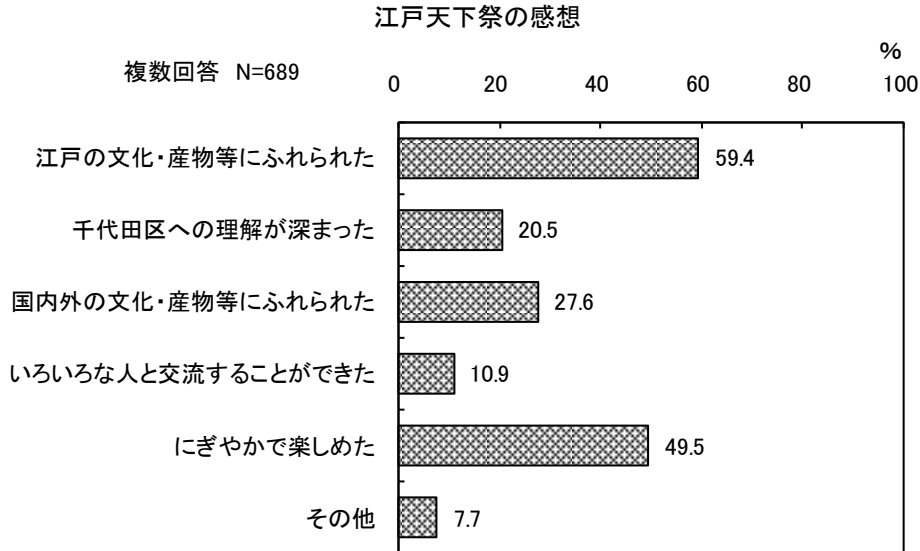
<日比谷公園以外の会場・イベントへの立ち寄り>

日比谷公園以外で立ち寄った会場・イベントは、日比谷公園～皇居前広場の山車・神輿順行が25.5%と最も多く、次いで丸ビル、東京国際フォーラムの順となっている。



<江戸天下祭の感想>

江戸天下祭の感想としては、「江戸の文化・産物等にふれられた」、「にぎやかで楽しめた」という感想が多い。一方、「いろいろな人と交流することができた」という感想は約1割となっている。



特によかったイベント・企画(自由回答)

案内図分類	良かった企画・イベント	件数	%
①	全国ふるさと交流横丁	71	9.7%
②	江戸フェスティバルステージ	18	2.5%
③	ちよだバザール横丁	37	5.0%
④	ワールドバザール横丁	46	6.3%
⑤	協賛ブース	5	0.7%
⑥	オープンアートギャラリー	1	0.1%
⑦	ちよだ町会横丁	1	0.1%
⑧	江戸職人長屋	10	1.4%
⑨	山車などの展示	238	32.4%
⑩	ふるさと交流ステージ	33	4.5%
サブ会場	山車・神輿・山車人形展示(丸ビル)	0	0.0%
サブ会場	フリーマーケット	2	0.3%
付帯イベント	江戸登城ウォーク	5	0.7%
付帯イベント	太田道灌シンポ	1	0.1%
付帯イベント	朝鮮通信使シンポ	8	1.1%
メイン	山車・神輿順行	215	29.3%
	アンケートの実施・謝礼	2	0.3%
	雨天で残念	10	1.4%
	ゴミ分別	1	0.1%
	その他	30	4.1%
	合計	734	100.0%

会場以外の立ち寄り場所(自由回答)

地域区分	件数	%
千代田区	171	24.8%
都内	118	17.1%
都外	12	1.7%
分類不能	7	1.0%
無回答	415	60.2%

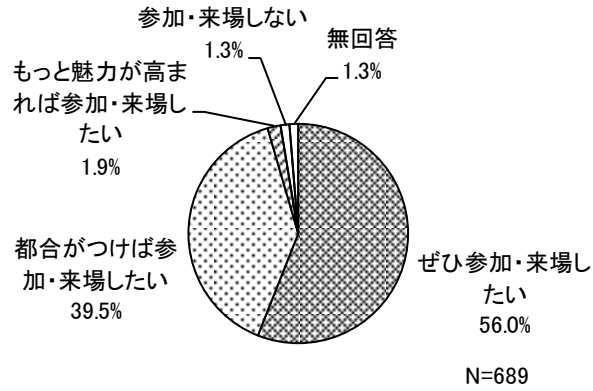
地域区分	立ち寄った場所	件数	%
千代田区	OAZO	6	1.7%
千代田区	江戸城	1	0.3%
千代田区	江戸登城ウォーク	1	0.3%
千代田区	お米ミュージアム	1	0.3%
千代田区	学士会館	2	0.6%
千代田区	神田古本街	4	1.1%
千代田区	北の丸公園	1	0.3%
千代田区	宮内庁三の丸尚蔵館	1	0.3%
千代田区	皇居	5	1.4%
千代田区	交通会館	2	0.6%
千代田区	交通博物館	1	0.3%
千代田区	国際フォーラム	30	8.3%
千代田区	国立劇場	1	0.3%
千代田区	新丸ビル	1	0.3%
千代田区	大丸デパート	2	0.6%
千代田区	宝塚劇場	7	1.9%
千代田区	千代田区	1	0.3%
千代田区	千代田区観光コーナー	1	0.3%
千代田区	千代田図書館	1	0.3%
千代田区	帝国ホテル	4	1.1%
千代田区	東京駅	2	0.6%
千代田区	ビッグカメラ	2	0.6%
千代田区	日比谷	5	1.4%
千代田区	日比谷公園	1	0.3%
千代田区	日比谷公会堂	2	0.6%
千代田区	日比谷シャンテ	3	0.8%
千代田区	日比谷図書館	2	0.6%
千代田区	弁護士会館	1	0.3%
千代田区	松本楼	1	0.3%
千代田区	丸の内	7	1.9%
千代田区	丸ビル	38	10.6%
千代田区	有楽町	25	6.9%
千代田区	東京国立近代美術館	1	0.3%
千代田区	東宝ダンスホール	1	0.3%
千代田区	秋葉原	7	1.9%
都内	相田みつお美術館	1	0.3%
都内	赤坂祭	1	0.3%
都内	浅草	1	0.3%
都内	荒川区	1	0.3%
都内	池袋	1	0.3%
都内	板橋(中山道ウォーク)	1	0.3%
都内	上野	1	0.3%
都内	上野の森美術館	1	0.3%
都内	牛島神社	1	0.3%

地域区分	立ち寄った場所	件数	%
都内	江戸東京博物館	1	0.3%
都内	大井町きゅりあん	2	0.6%
都内	大田区	1	0.3%
都内	お台場	2	0.6%
都内	銀座	54	15.0%
都内	銀座 プラザ	3	0.8%
都内	銀座 松屋	2	0.6%
都内	競馬場馬券売り場	1	0.3%
都内	国立西洋美術館	1	0.3%
都内	サントリーホール	1	0.3%
都内	渋谷	2	0.6%
都内	渋谷東急百貨店	1	0.3%
都内	新宿	10	2.8%
都内	新宿(大人の文化祭)	1	0.3%
都内	新美術館	1	0.3%
都内	巢鴨	2	0.6%
都内	代官山	1	0.3%
都内	築地	2	0.6%
都内	築地市場(場外含む)	3	0.8%
都内	デパート	4	1.1%
都内	日本橋	1	0.3%
都内	日本橋三越デパート	1	0.3%
都内	晴海トリトン	3	0.8%
都内	三越デパート	3	0.8%
都内	塩とたばこの博物館	1	0.3%
都内	西銀座デパート	2	0.6%
都内	品川宿場祭り	1	0.3%
都内	代々木公園	1	0.3%
都外	六本木	1	0.3%
都外	市川駅	1	0.3%
都外	神奈川トントン祭	1	0.3%
都外	川越	4	1.1%
都外	川崎	2	0.6%
都外	佐倉	1	0.3%
都外	元町	1	0.3%
都外	谷中	1	0.3%
不明	横浜	1	0.3%
不明	FOODJST	1	0.3%
不明	江戸会館	2	0.6%
不明	物産店	2	0.6%
不明	その他	1	0.3%
不明	ホテル	1	0.3%
	合計	308	100.0%

＜次回以降の江戸天下祭への来場＞

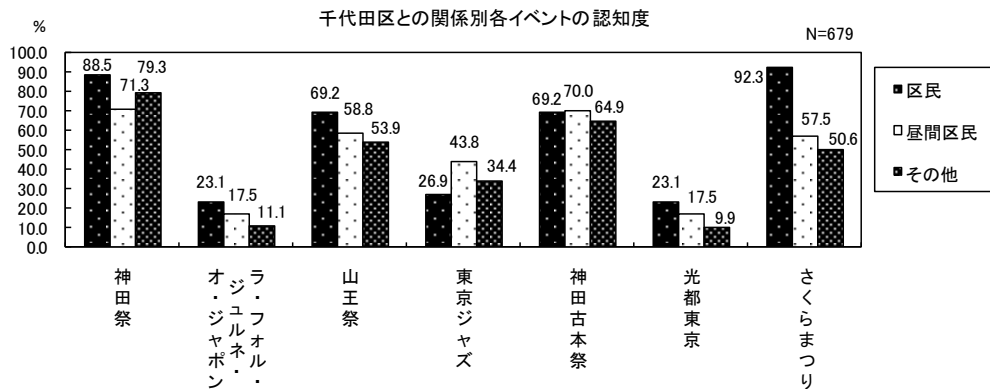
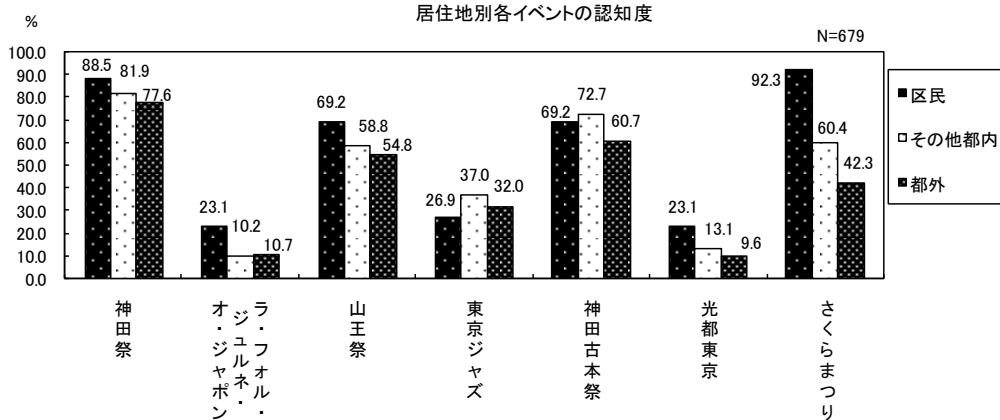
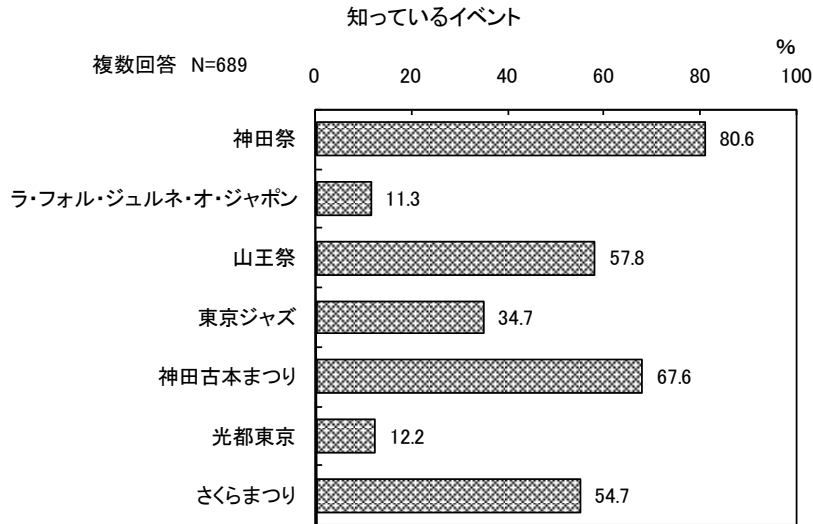
次回以降の江戸天下祭への来場については、「ぜひ参加・来場したい」、「都合がつけば参加・来場したい」という回答が合計で95%以上となっており、祭りを好意的にとらえていることがうかがえる。

次回以降の江戸天下祭への来場



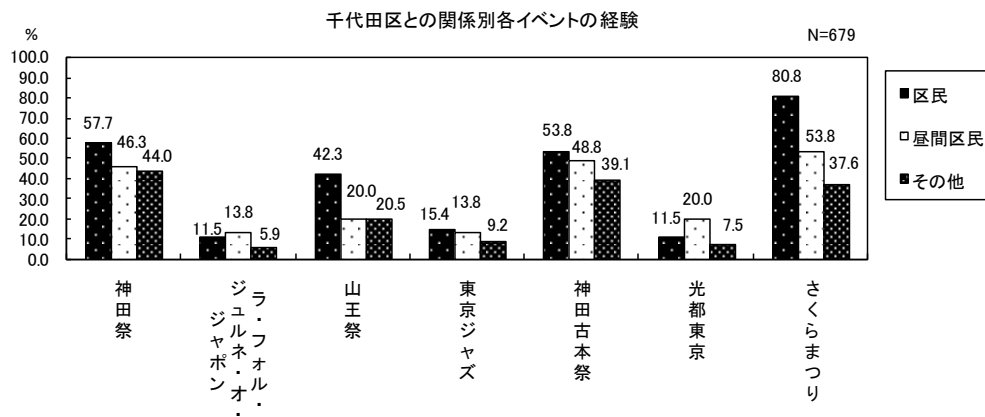
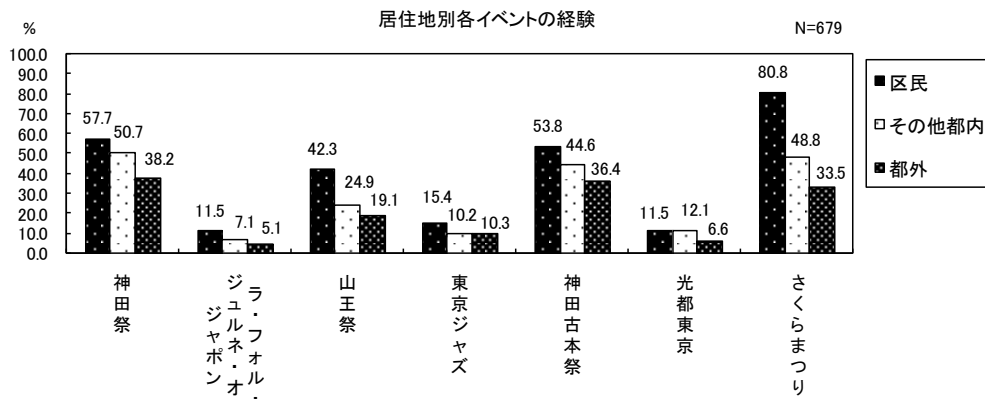
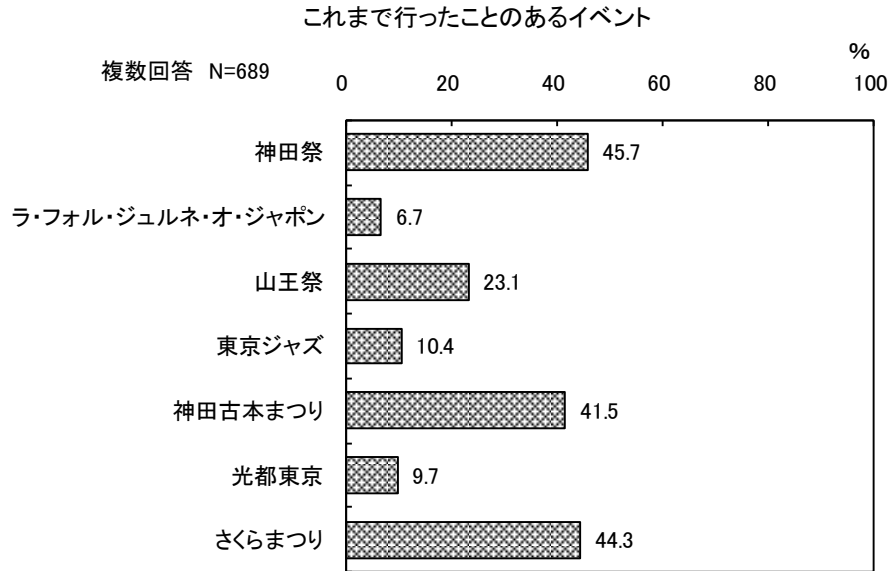
<知っているその他のイベント>

江戸天下祭以外のイベントの認知度については、神田祭が最も高く、約 8 割の人が認知している。神田古本まつりは 67.6%、さくらまつりは 54.7%の人が認知している。一方、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンと光都東京については 1 割程度しか認知されていない。



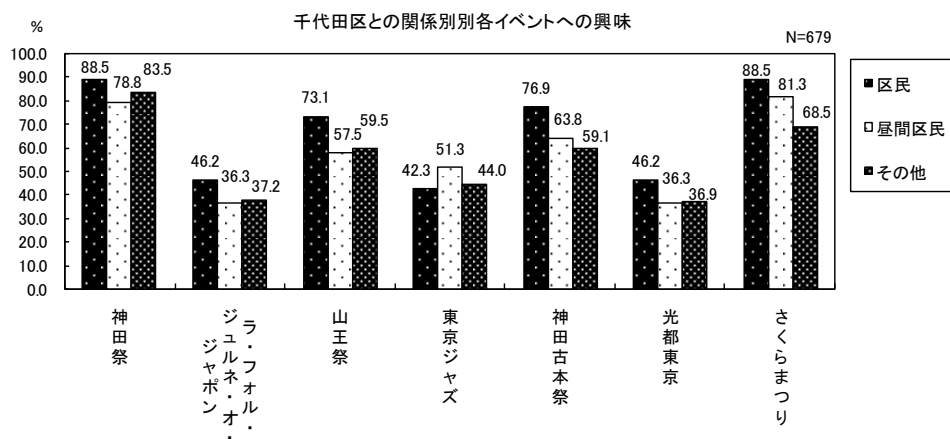
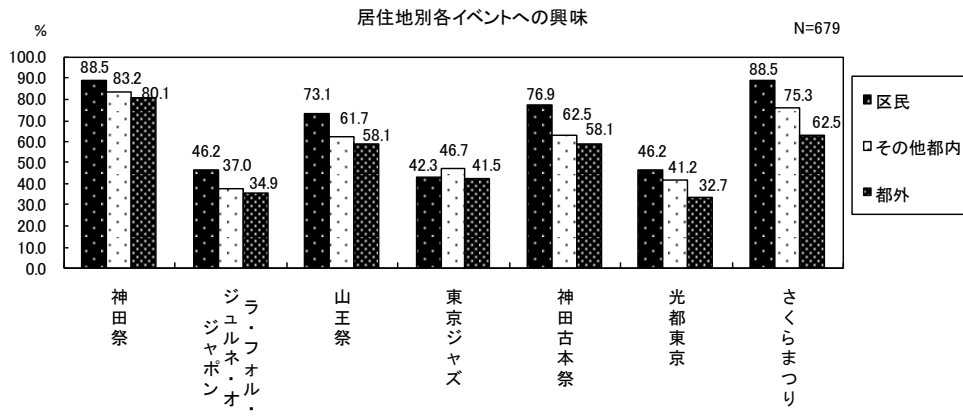
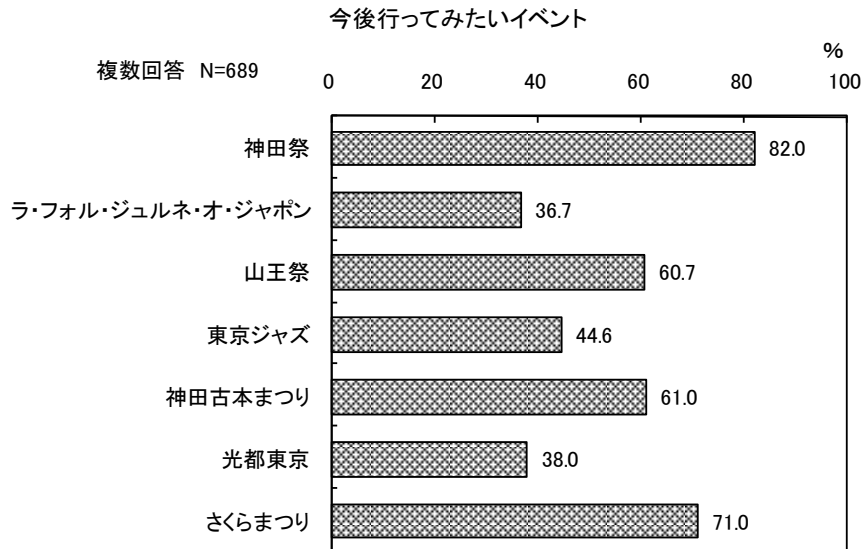
<これまで行ったことのある他のイベント>

江戸天下祭以外で、これまで行ったことのあるイベントとしては、神田祭、さくらまつり、神田古本まつりが多く、4割以上の方が参加した経験がある。



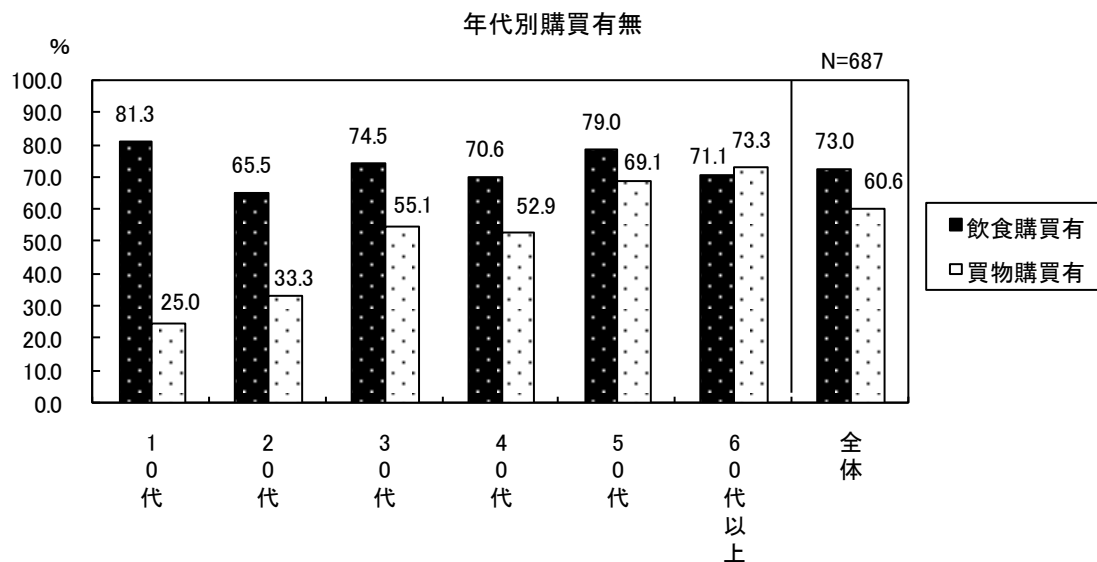
<今後行ってみたい他のイベント>

今後行ってみたい他のイベントについても、神田祭が約 8 割、さくらまつりが約 7 割となっている。



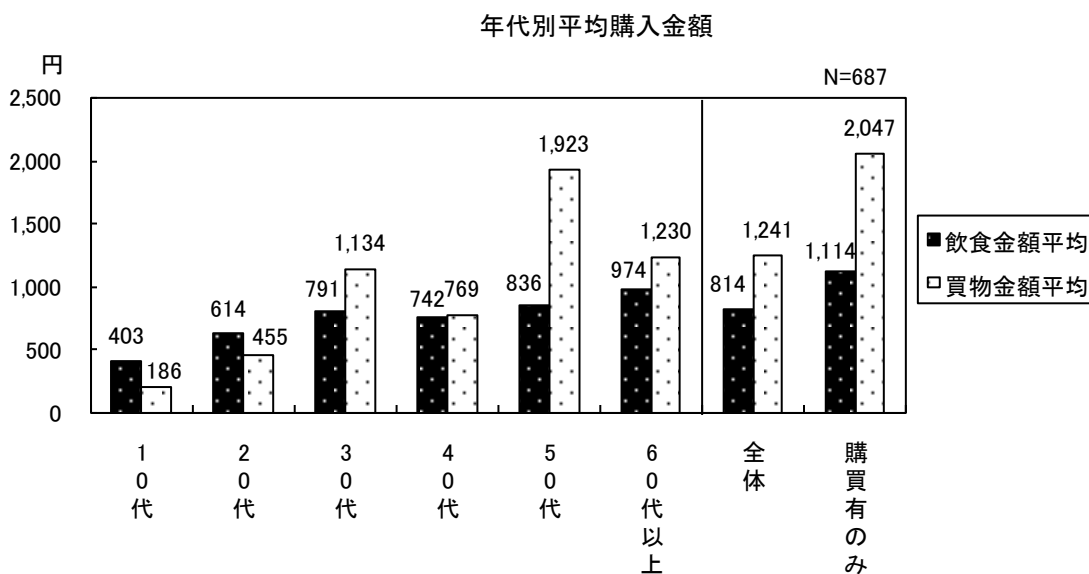
<年代別購買有無>

年代別購買の有無は、飲食については20代が最少で65.5%、最大が50代で79.0%、全体で73.0%の人が飲食物の購入を行っている。その他の買い物では最少が10代で25.0%、最大が60代以上で73.3%、全体で60.6%と年代とともに増加する傾向にある。



<年代別平均購入金額>

年代別平均購入金額は、飲食については最少が10代の403円、最大が60代以上の974円、全体で814円となっている。その他の買い物では最少の10代の186円に対し、最大が50代の1,923円と大きな差があり、全体で1,241円、購買者のみで2,047円となっている。



(2) 周辺事業者調査

1) 調査概要

大丸有エリアマネジメント協会の協力を得て、順行ルート沿いの以下の10棟のビルから回答を得た。

	店舗数	業種別店舗数		
		飲食	物販	サービス
①丸ビル	142	50	84	8
②丸の内仲通りビル	10	2	8	0
③文部科学省ビル	4	0	4	0
④有楽町電気ビル	17	7	3	7
⑤国際ビル	48	24	13	11
⑥有楽町ビル	36	15	12	9
⑦新有楽町ビル	39	9	16	14
⑧新国際ビル	17	3	8	6
⑨富士ビル	9	5	4	0
⑩新東京ビル	47	21	17	9



2) 設問

問1 貴社では、「平成 19 年度江戸天下祭」に出店・参加されましたか。あるいは、9月 29 日、30 日に開催されることをご存知でしたか。

- | |
|---|
| 1. 出店・参加した
2. 出店・参加していないが、9月 29 日、30 日に開催されることは事前に知っていた。
3. 9月 29 日、30 日に開催されることを事前に知らなかった。 |
|---|

問2 貴社建物は、9月 29 日、30 日は開館されておりましたか。開館されていた場合、開館時間と営業店舗数をご記入ください。

9月 29 日(土)	1. 開館していた → ・開館時間 (時 分～ 時 分) ・営業店舗数() 2. 閉館していた
9月 30 日(日)	1. 開館していた → ・開館時間 (時 分～ 時 分) ・営業店舗数() 2. 閉館していた

問3 問2で、9月 29 日、30 日のいずれかを「開館していた」と回答された方にうかがいます。

(開館されていた日についてのみご回答ください)

貴社建物では9月 29 日、30 日の来店客数および売上高は通常の土日に比べていかがでしたか。

(1) 来店客数

9月 29 日(土)	1. 増えた → およそ何割程度ですか:()割増えた 2. 変わらない 3. 減った → およそ何割程度ですか:()割減った
9月 30 日(日)	1. 増えた → およそ何割程度ですか:()割増えた 2. 変わらない 3. 減った → およそ何割程度ですか:()割減った

(2) 売上高

9月 29 日(土)	1. 増えた → およそ何割程度ですか:()割増えた 2. 変わらない 3. 減った → およそ何割程度ですか:()割減った
9月 30 日(日)	1. 増えた → およそ何割程度ですか:()割増えた 2. 変わらない 3. 減った → およそ何割程度ですか:()割減った

問4 貴社建物への「江戸天下祭」開催の影響についておたずねします。(同日開館されていなかった事業者の方もご回答ください)

(1) 貴社建物では「江戸天下祭」開催の影響について、どのようにお考えですか。

1. プラスの影響、マイナスの影響がトントンであった。
2. プラスの影響の方が大きかった。
3. マイナスの影響の方が大きかった。
4. まったく影響を受けなかった。
5. わからない。

(2) マイナスの影響とお考えのものについて具体的にご記入下さい。特にない場合は「なし」とご記入下さい。

(3) プラスの影響とお考えのものについて具体的にご記入下さい。特にない場合は「なし」とご記入下さい。

問5 今後、「江戸天下祭」等のイベント開催にあたって、改善すべき点・留意すべき点等ございましたら、ご記入下さい。

3) 回答結果

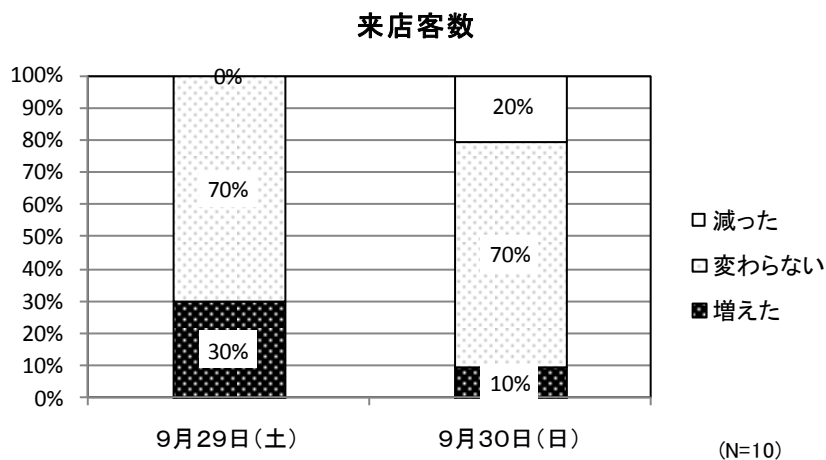
<開館状況>

全てのビルが両日ともイベント開催時間は開館していたが、30日（日）の方が営業店舗が少なかった。

ビル名		9月29日(土)		9月30日(日)	
		営業時間	営業店舗数	営業時間	営業店舗数
1	丸ビル	6:00-24:30	142	6:00-24:30	142
2	丸の内仲通りビル	10:00-20:00	10	10:00-20:00	10
3	文部科学省ビル	8:00-21:00	4	8:00-21:00	4
4	有楽町電気ビル	8:00-23:00	7	8:00-23:00	6
5	国際ビル	8:00-23:00	20	10:00-22:00	10
6	有楽町ビル	8:00-22:30	28	8:00-21:30	16
7	新有楽町ビル	8:00-23:00	22	10:30-23:00	10
8	新国際ビル	8:00-21:00	11	10:00-19:00	10
9	富士ビル	8:00-21:00	7	10:00-21:00	7
10	新東京ビル	7:00-22:00	35	10:00-22:00	30

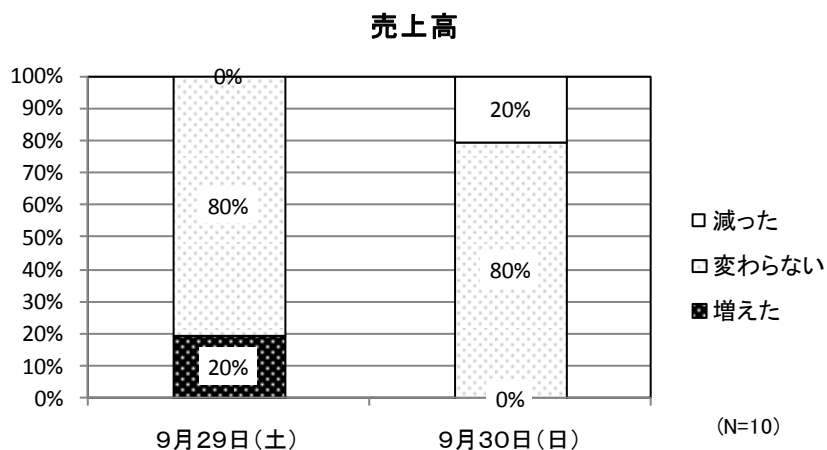
<来店客数>

江戸天下祭期間（9月29日（土）・9月30日（日））の来店客数は通常の土日に比べて、29日は「増えた」が30%、「変化なし」が70%、30日は「増えた」が10%、「変化なし」が70%、「減った」が20%である。



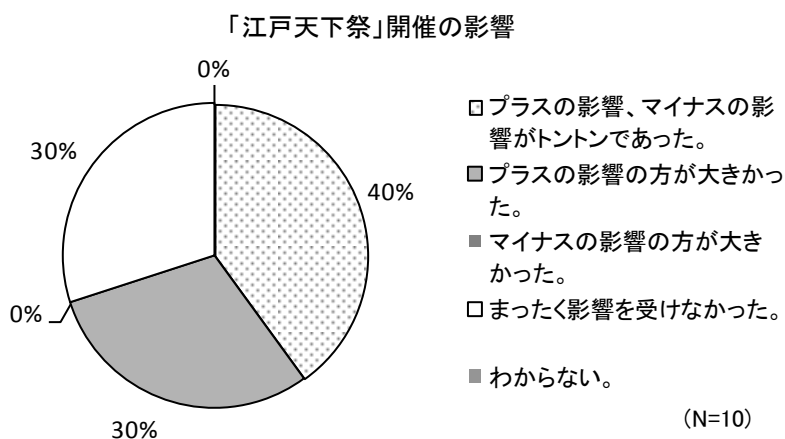
<売上高>

江戸天下祭期間（9月29日（土）・9月30日（日））の売上高は通常の土日比べて、29日は「増えた」が20%、「変化なし」が80%、30日は「変化なし」が80%、「減った」が20%である。



<「江戸天下祭」開催の影響>

「江戸天下祭」開催の影響は、「プラスの影響、マイナスの影響がトントンであった」が40%、「プラスの影響の方が大きかった」が30%、「まったく影響を受けなかった」が30%である。



<具体的なマイナスの影響>

3つのビルからマイナスの影響についての回答があった。但し、いずれのビルもプラスの影響にも回答があった。また、マイナスの回答をしたビルは飲食店舗の比率が低い傾向がある。

- ・喫煙者が多く、店内までタバコのおいが入ってきた
- ・店前の段差に座り込む人がいて注意しづらかった（係員の注意もなかった）
- ・飲酒される人が多く、酔っぱらいが冷やかしにきて迷惑だった
- ・仲通りの横断が出来ず、それに対する案内もなかったため不便だった
- ・かなり騒がしく、店の雰囲気と合わない
- ・アルコールは置いていないのかという問い合わせが多く、準備しておけばよかった
- ・人通りが多かったが、祭りの方に人がとられてビルの集客には結びつかなかった
- ・交通規制のため、通常の土日に比べ車で来客が減り売上げが落ちた（車で来る買い物客はたくさん購入するので売上げにつながる）イベント目的の来街者は購買意欲が低いのではないかと
- ・おみこしが始まるまでは来店者があったが、始めるとそちらに人がとられ、来店者数が急激に落ちた
- ・回転率があまり良くなかった

<具体的なプラスの影響>

7つのビルからプラスの影響についての回答があった。来街者・賑わい増加が多く挙げられているほか、認知度向上も期待されている。

- ・順行日は雨天であった事もあり、必ずしも来館数、売上に大きな影響を与えていた結果は出ていないが、丸ビル（丸キューブ）で同開催した山車の展示場に関しては平均して2割の見学者増であった。
- ・何よりも街の賑わいが創出されていた事がポイントと史料される。
- ・エリアのにぎやかさ
- ・来街者が増えた
- ・仲通改修工事完成、ペニンシュラ・新丸ビルオープン等により、週末の賑わいが増したと感じる。併せて、イベントの開催をして頂くとさらに賑やかさが増す。
- ・かつぎ手、観客の来店がある程度あった。ただ、天候に左右されるため、あまり多くなかった。
- ・集客が増すことで、ブランドの認知度が更に増す。
- ・普段丸の内に来ない方々が丸の内を知る機会になる
- ・トイレ利用者に対応したところ、その見返りにドリンクボトルを購入してくれる方がいた

<今後、「江戸天下祭」等のイベント開催にあたって改善すべき点・留意すべき点等>
来街者・賑わい増加が多く挙げられているほか、認知度向上も期待されている。

- ・昼開催の方が、祭り終了後の回遊性があったが、今回は終了が夜遅かったため回遊性がなかった
- ・昼のほうが望ましいのではないか
- ・昼間開催の方がよいのではないのでしょうか。
- ・普段の祝日、日曜日と比べ、夜の集客があつてよい
- ・店舗にトイレ借用の客が多く来店したが基本的に貸し出ししたくないので、係員から来街者に対しより詳しくトイレの説明をして欲しい
- ・祭の客のためにもエリアの店舗（飲食）を周知してあげた方がいいのではないかと思います（リーフレット等で）
- ・路上喫煙対策
- ・警備スタッフが足りない（質・量ともに）
- ・植栽帯、インティメートスペース等立ち入り禁止の場所の明確な表示（立入者が多かった）

(3) 主催者および出店者調査

1) 調査概要

主催者および出店者つまり関係者に対して、イベントを今後ともより良いものにするための感想とともに、千代田区や東京都の産業・経済にどれ程の影響を及ぼしたかを推計するため、開催に要した出展品制作、物販・飲食店の出店、運営などに関連するすべての支出額についてアンケート調査によって聴取した。

支出については、地域別、費目別に把握する必要があるため、各々の店舗等の建設や運営に関わった全ての発注に関する支出を取りまとめて回答いただいた。

①発送および回収状況

以下の全出店者に発送し、46票の回答を得た。

場所	全国ふるさと交流横丁	千代田交流市場	ワールドバザール横丁	江戸緑日広場	出店者(職人長屋)	不詳	
区分	出店者	協賛・PR者	出店者	出店者	出店者(ちよだ町会横丁)		
出店者名	秋田県五城目町 群馬県 碓氷村 (丸の内警察) 奄美のごだわりショップ 柏崎観光協会 (社)宮城県物産振興協会 小江戸さわら会 ふるさと兵庫 中善 (株)アイシム医療器 株式会社 胡蝶 首都高速道路(株) 川越物産銘店会 埼玉県本庄市 埼玉県飯能市 桐生市 社団法人 栃木市観光協会 石岡市観光協会 NPO 赤坂氷川 掛川市 佐倉市観光土産品組合 成田市仲之町 鴨川市 鴨川市諏訪講 能登空港利用促進同盟会 対馬逸品屋 株式会社 ウエハラ 大御所四百年祭実行委員会	千代田マンション交流会 東京新聞 スポーツ事業部 法テラス(日本司法支援センター) 最高検察庁 NPO法人江戸城再建を目指す会 東京ガス株式会社 南部支店 東京電力株式会社 NTT 八王子まつり実行委員会 千代田区役所道路公園課	江都天下祭研究会 神田倶楽部 東京小売酒販組合 麹町支部 なちゅらる・あーと一番町店 国分株式会社 グランドプリンスホテル赤坂 社団法人 千代田区シルバー人材センター 社会福祉法人 千代田区社会福祉協議会 日比谷松本楼 千代田区学習グループ連絡会 ちよだ女性団体等連絡会 ちよだニヤンとなる会 第一ホテル東京 (東京消防庁 丸の内消防署) 国際平和・男女平等権課 千代田区商店街連合会 ルクソールカバブ 本庄仲町囃子保存会 (財)グローバルサティスファクトリー-江古田事務局 スリランカレストラン シンギリヤ 深川 萬富 大江戸温泉物語(株) 行政相談 千代田区観光協会 みはるアウトレット ドラゴンアイス 根本商事 千代田区生活福祉課 (株)愛群 共催 社団法人 東京都卵業協会/社団法人 日本卵業協会 ノーマライゼーション協賛実行委員会 NPO N・Cさくら会 東海ビジョン株式会社 東京支社 森田 Family 喜山倶楽部	駐日欧州委員会代表部 アイルランドハウス ヒーロー メキシコ大使館 ローマ教皇庁大使館 ベルギー大使館 チュニジア共和国大使館 台湾観光協会	麹町出張所地区連合町会 富士見地区町会連合会 神保町地区町会連合会 神田公園地区町会連合会 万世橋地区町会連合会 神田駅東連合町会 岩本町東神田町会連合会 秋葉原東部町会連合会	神田三十四堂 江戸象牙根付や 戸倉べっ甲 菊匠小塚 シップオン 船橋一泰 新井ほつき店 史芳堂筆舗 (株)原田精孝商店	関東鹿産会



2) 設問

Q1 過去2回(2003年、2005年)の江戸天下祭に参加・出店されましたか。2003年、2005年それぞれ、あてはまる1つに○をつけてください。

2003年江戸天下祭(江戸開府400年記念)	2005年江戸天下祭
1. 参加・出店した。	1. 参加・出店した。
2. 参加・出店していない。	2. 参加・出店していない。

Q2 江戸天下祭以外で、これまでに千代田区のイベント等に参加・出店されたことがありますか。あてはまる1つに○をつけてください。

<p>1. <u>参加・出店したことがある。</u> 2. 参加・出店したことはない。</p> <p>↓ 具体的に挙げてください(例) 神田祭、山王祭、さくらまつり</p>

Q3 今回の江戸天下祭への参加・出店経緯について簡単にご記入下さい。

--

Q4 今回の江戸天下祭への参加・出店にあたり、貴団体内で関わられた人数はおおよそ何人ですか。

会場に来場された人数	人
その他に関わられた人数	人

Q5 今回の江戸天下祭での商品等の販売の今回の総売上高はいくらでしたか。差し支えない範囲でお答えください。また、それは予想売上の何%にあたりますか。それぞれおおよその数字で結構です。(なお、商品等の販売をされていない方は、「—」を記入してください。)

総売上高	万円
予想売上に対する割合	%

Q6 今回、江戸天下祭に参加・出店された目的は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 団体や活動のPR・情報発信
2. 商品の販売
3. 地域貢献・社会貢献
4. 団体メンバーの活動促進
5. 他団体との交流
6. 江戸の文化・祭への関心
7. その他(具体的に記入してください)

[]

Q7 実際に、江戸天下祭に参加・出店された成果・意義はありましたか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 団体や活動のPR・情報発信ができた
2. 商品の販売ができた
3. 地域貢献・社会貢献ができた
4. 団体メンバーの活動促進ができた
5. 他団体との交流ができた
6. 江戸の文化・祭にふれられた
7. 千代田区への理解が深まった
8. 国内外の文化・産物等にふれられた
9. にぎやかで楽しめた
10. その他(具体的に記入してください)

[]

Q9 江戸天下祭の企画・運営についてのご意見をお聞かせください。

(1) 雨への対策として必要なこと、改善すべきことがございましたら、挙げてください。

--

(2) その他、会場運営、ご案内、スタッフの対応などで改善すべき点等があれば、挙げてください。

--

(3) 今回、特によかった企画や運営等があれば、挙げてください。

--

Q10 次回以降、江戸天下祭にまた参加、出店されますか。あてはまる 1 つに○をつけてください。

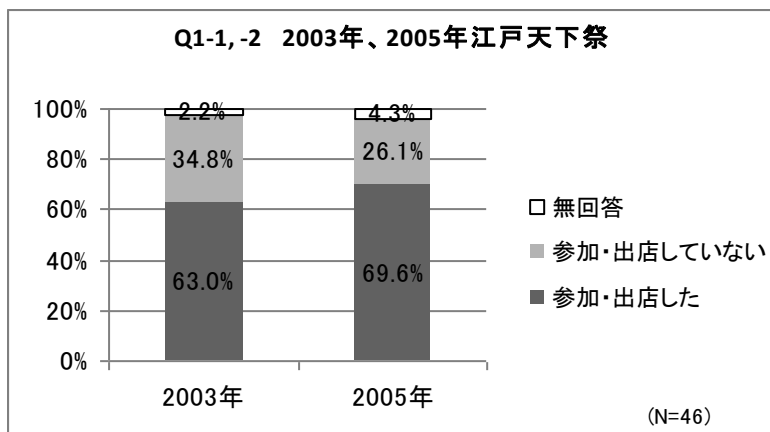
- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. ぜひ参加・出店したい2. 都合がつけば参加・出店したい3. もっと魅力が高まれば参加・出店したい4. 参加・出店しない |
|---|

最後に、開催に関連して支出された金額についておたずねします。
 Q11 下表につきまして、江戸天下祭に係る支出額について、わかる欄だけで結構ですのでご記入ください。(少なくとも、右端列と最下行の合計値についてはご記入頂けると幸いです。)

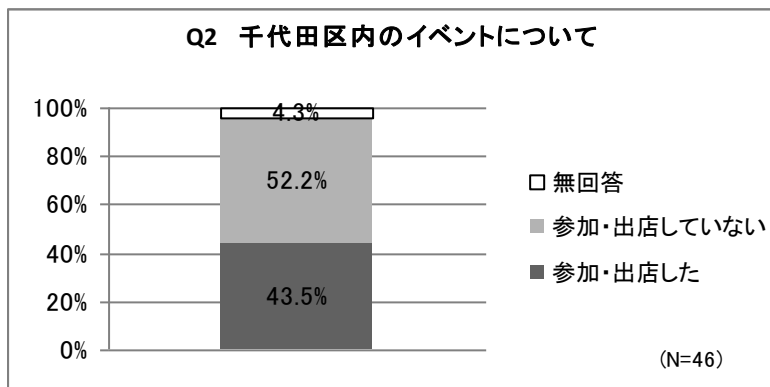
大項目	中項目	小項目	千代田区内 で支出した額	千代田区以外の都内 で支出した額	東京都内 で支出した額	東京都以外 で支出した額	ヨコ合計	
運営費	施設・什器費	屋内施設	万円	万円	万円	万円	万円	
		屋外スペース	万円	万円	万円	万円	万円	
	小計	タレント等ギャラ	万円	万円	万円	万円	万円	
		関連費	万円	万円	万円	万円	万円	
	小計	購入費	万円	万円	万円	万円	万円	
		レンタル料	万円	万円	万円	万円	万円	
	小計	展示費	万円	万円	万円	万円	万円	
		広告・宣伝費	万円	万円	万円	万円	万円	
	小計	スタッフ人件費	万円	万円	万円	万円	万円	
		警備・保安費	万円	万円	万円	万円	万円	
	中計		万円	万円	万円	万円	万円	
	運営スタッフ消費費	食費(打ち上げ費用を含む)	鉄道	万円	万円	万円	万円	万円
			バス	万円	万円	万円	万円	万円
			タクシー	万円	万円	万円	万円	万円
			その他公共交通機関	万円	万円	万円	万円	万円
自家用車(高速代)			万円	万円	万円	万円	万円	
自家用車(駐車場代)			万円	万円	万円	万円	万円	
小計			万円	万円	万円	万円	万円	
宿泊費			万円	万円	万円	万円	万円	
中計			万円	万円	万円	万円	万円	
タテ合計			項目の区分が不明の場合はこの欄にご記入ください。	万円	万円	万円	万円	万円

3) 回答結果

<過去2回（2003年、2005年）の江戸天下祭への参加・出店実績>



<江戸天下祭以外の千代田区のイベント等への参加・出店実績>



<参加・出店経緯>

江戸文化や区との交流等による参加・出店者の他、関係機関からの要請に応じた主体もある。

○全国ふるさと交流横丁/出店者

- ・千代田区江戸天下祭実行委員会から参加の招聘を受けたため
- ・市内に神田祭の山車と番山車が存在することから、その人形展示を丸ビルで行っている。これに併せて市の観光PR、物産販売を行うことを目的に参加させて頂いた。
- ・千代田区との姉妹提携町として参加している。
- ・当村は、千代田区と姉妹提携関係にあり、その縁で千代田区関係の行事イベント等には積極的に参加している
- ・市より山車等出品、江戸天下祭への参加あり。市観光土産品組合として出店。
- ・当市から山車が参加することに伴い、参加させて頂きました。
- ・市より参加の依頼があった。
- ・当市のおまつりに参加している山車、幌獅子が江戸天下祭の巡行・展示に参加したため。
- ・市所有の山車の人形を2006年に丸ビル展示会場に展示したのをうけ、2007年江戸天下祭への参加依頼があり、検試の結果参加することとした。
- ・2005年に参加したご縁で、県東京事務所を通じて出店の打診があった。
- ・江戸開府400年記念に当り、当時記念通行券を発行。多くの来場者が見込まれることから、会社の事業紹介、PR、通行券の販売に効果的であることから参加
- ・出展要請を文書により受けた。
- ・関係会社からの紹介

○千代田交流市場/協賛・PR者

- ・所管省庁からの紹介
- ・広く区民の方々に存在をアピールして、区にとってマンション住人にとって良い住環境作りのお手伝いができればよいという考えから参加しました。
- ・事務局（行政）からの要請により出店。
- ・財団から出店要請をいただいた。
- ・山車人形出展の依頼があり、出展に併わせて出店した。

○千代田交流市場/出店者

- ・行政を通じて参加
- ・行政とボランティアが連携プレーで推進し、天下祭に来場する地方の方々にも猫の頭数を増えないようしつつ、一代限りの命を見守る「猫と共生する街」をめざしています。
- ・振興公社とのご縁があり、紹介を受けて毎回出店の機会をいただいています。
- ・平和のブースは、沖縄・広島・長崎に平和使節団として派遣された方々が自主的に参加した。国際のブースは、国際協力体験ツアーに参加した方々が出店した。
- ・商工会議所、商店街連合会、大会事務局等との情報交換によって参加させていただきました。
- ・協会より共催の申し込みあり。問い合わせの上参加申し込んだ。
- ・まちみらい千代田との協力関係維持
- ・江戸をテーマにして共通点がある。
- ・初めて参加してみたかった。
- ・過去2回出店をさせていただいていた為
- ・2005年出店の実績が売上額・宣伝効果共に高かった為

○ワールドバザール横丁/出店者

- ・所在地が千代田区ということで、様々なイベントを共に行ってきた。
- ・活動紹介、宣伝
- ・大使館からの依頼
- ・大使館より在日商工会議所に店出依頼がきて、急遽ぎりぎり参加依頼が弊社へきました。

○江戸縁日広場/出店者（ちよだ町会横丁）

- ・初回から主催者の要請による
- ・江戸天下祭の第1回開催時から地元団体として参加・出店しています。
- ・区内の町会が加盟する8つの町会連合会がそれぞれ出店する8つのブースで、区全体での行事でもあり毎回参加出店している。

○江戸縁日広場/出店者（職人長屋）

- ・ 毎回出店しているので自動的に出店できた。
- ・ 2003 年天下祭：丸ビルに山車人形の展示二体。2005 年天下祭：山車人形の順行に参加。2007 年天下祭：山車人形の衣装修復を終え丸ビルに展示
- ・ 江戸天下祭の以前から千代田区民祭り（7～8 年以上前）より出店しているため、毎回休まずお世話になっています。
- ・ 2007 年 1 月の支部新年会に於いて出店の依頼打診があり、役員会で後日参加を決意した。
- ・ 神田明神の情報を広く知ってほしい。
- ・ 連合町会より依頼
- ・ 前回（2005 年度）に出展させていただき、来場者のご好評により再度出展させていただきました。
- ・ 豆腐店様からの紹介して頂いた。

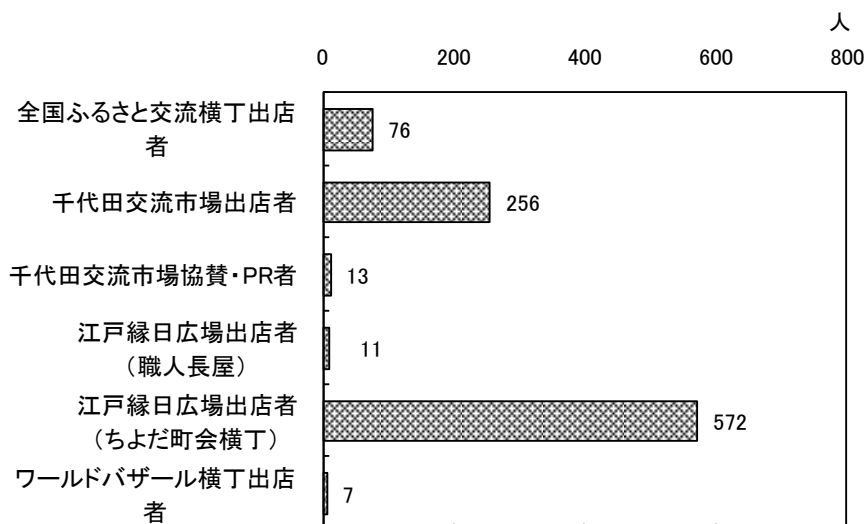
○不詳

- ・ もともと当会の事務局が千代田区内（平河町）にあった際に声を掛けられたのがきっかけで今まで続いています。

<出店団体における来場者（出店種類別の平均値）>

ちよだ町会横丁 572 人、千代田交流市場出店者 256 人と、千代田区内団体の来場者が特に多い。

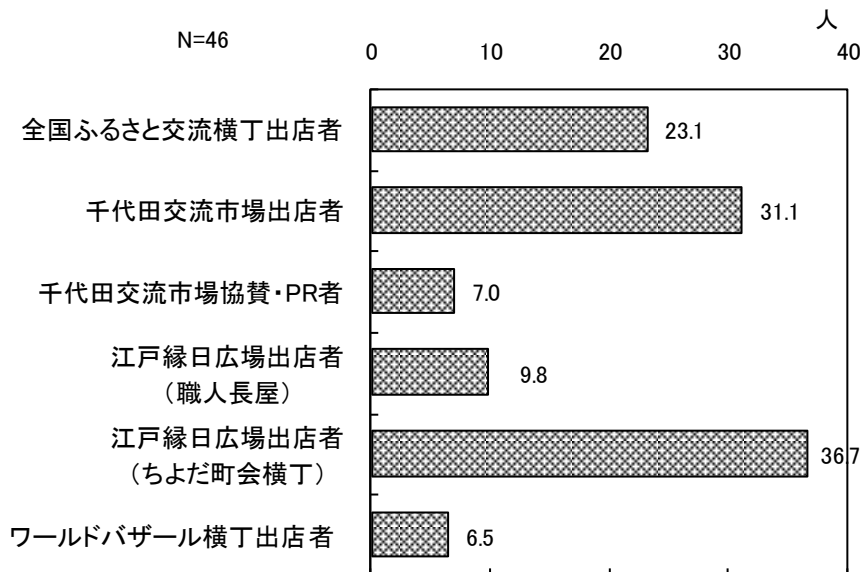
天下祭出店者会場来場者数



<その他の出店団体における参加者（出店種類別の平均値）>

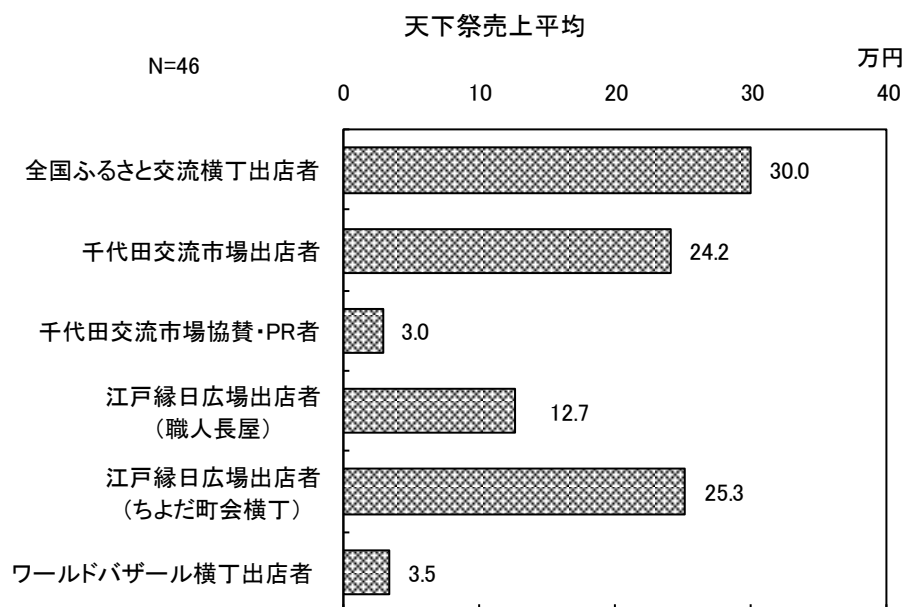
ちよだ町会横丁 37 人、千代田交流市場 31 人が多いものの、他団体との差は小さい。職人長屋、千代田交流市場協賛・PR 者は来場者と参加者を合わせても約 20 人、ワールドバザール横丁出店者では 15 人以下となっている。

天下祭出店に関わった人数(会場参加者除く)



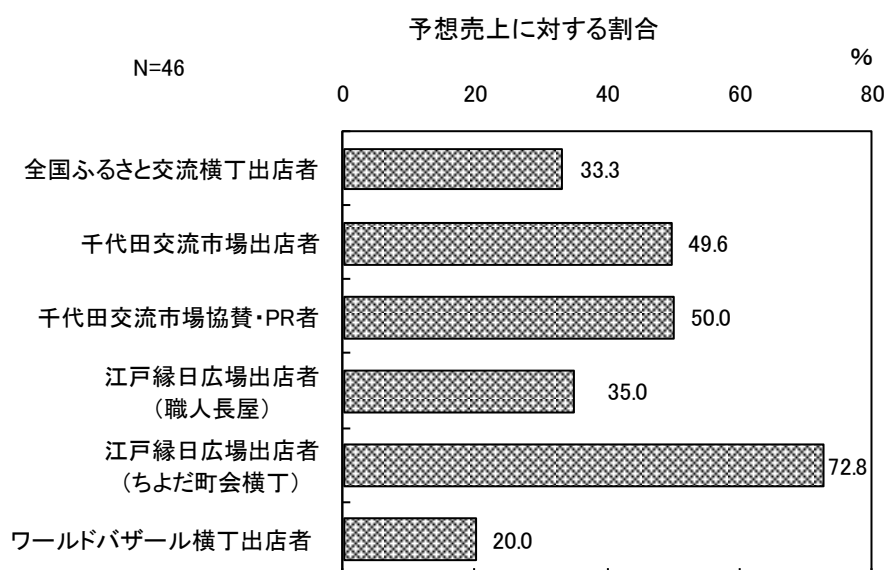
<売上高（出店種類別の平均値）>

全国ふるさと交流横丁出店者 30 万円、ちよだ町会横丁 25 万円、千代田交流市場出店者 24 万円の 20 万円超のグループに対して、職人長屋 13 万円が約半額、さらにワールドバザールと千代田交流市場協賛・PR 者が 3 万円と大きく 3 つに分かれる。



<予想売上に対する実売上高の割合（出店種類別の平均値）>

ちよだ町会横丁が 7 割で最も高く、他は 5 割以下にとどまる。

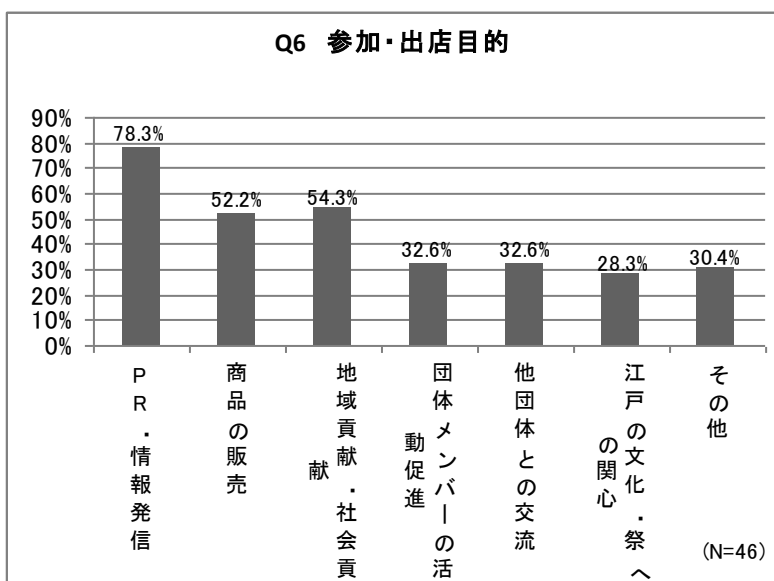


(参考) 来場者、売上高等の出店種類別の平均値、中央値、標準偏差

場所 区分	江戸フェス会場全		全国ふるさと交流横丁	千代田交流市場		ワールドバザール横丁	江戸縁日広場		不詳 (関東鹿産会)
	全者	出店者のみ	出店者	協賛・PR者	出店者	出店者	出店者(ちよだ町会横丁)	出店者(職人長屋)	
出店者数	95	85	27	10	34	7	8	9	1
()除外	93	83	26	10	33	7	8	9	1
回答者数	46	41	13	5	11	4	4	8	1
回収率	48%	48%	48%	50%	32%	57%	50%	89%	100%
関係者数(人:来場)									
平均値	139	155	76	13	256	7	572	11	120
中央値	12	13	15	12	15	5	475	11	120
標準偏差	351	369	184	6	537	4	457	8	0
関係者数(人:その他)									
平均値	21	23	23	7	31	7	37	10	30
中央値	15	15	10	6	15	5	40	10	30
標準偏差	25	26	26	2	38	5	5	7	0
総売上高(万円)									
平均値	23	23	30	3	24	4	25	13	50
中央値	13	13	20	3	12	4	24	10	50
標準偏差	22	22	29	0	22	2	10	9	0
予想売上に対する割合(%)									
平均値	43	43	33	50	50	20	73	35	40
中央値	46	41	30	50	50	20	70	40	40
標準偏差	24	24	16	0	26	10	18	20	0

＜今回の江戸天下祭への参加・出店目的＞

「PR・情報発信」が約8割、次いで「地域貢献・社会貢献」と「商品の販売」が5割超となっている。



(その他など自由回答)

○全国ふるさと交流横丁/出店者

・新商品のPR

○全国ふるさと交流横丁/出店者

・3月25日に発生した能登半島地震による物的被害は甚大であったが、加えて観光事業への風評被害も被っていたため、能登半島が元気であることをアピールし風評被害を払拭することが最大のねらいであった。次回の江戸天下祭へも是非参加させていただければと思います。

・ふるさと兵庫 神戸・明石・淡路等の宣伝活動として。

○千代田交流市場/協賛・PR者

・会員（役員）同志の結束の為

・地元観光地のPR

○千代田交流市場/出店者

・平和啓発・国際協力

・雨天候の為、来場者が激減。諸目的を充分果たせなかったことが残念です。

・まちみらい千代田との協力

○江戸縁日広場/出店者（職人長屋）

・江戸時代の神田松田町で所有されていた神田祭 36 番山車人形の源頼義が縁あって鴨川市諏訪課が大正中期に購入した。現在の神田鍛冶町二丁目会の方々との協力により、里帰りの意味を含め、今回の天下祭に人形の展示となった。

・前回焼印を注文されたお客様に製造して持参し、取りに来て頂いた。（全国でも製造者がほとんどいないため大変珍重されている）

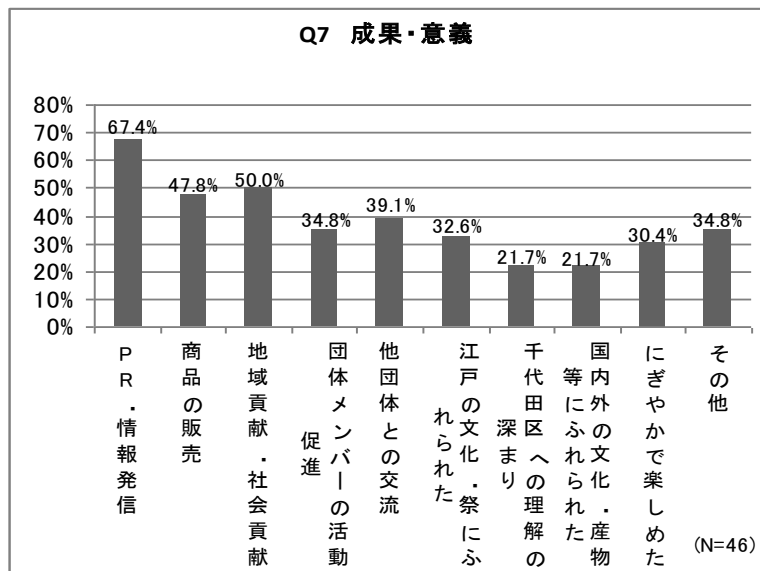
・主に自社製品の紹介が目的でしたが、他のメーカー様との交流もあり、とても意義のある祭でした。

○不詳

・地元（鹿児島鹿屋）の地産PRを目的としております。販売員もボランティア（交通費・食事は支給）で収益があった場合はPR誌発行等の経費に充てています。

<実際に江戸天下祭に参加・出店した成果・意義>

「PR・情報発信」が約7割、次いで「地域貢献・社会貢献」と「商品の販売」が約5割となっている。



(その他など自由回答)

○全国ふるさと交流横丁/出店者

- ・屋外イベントでは雨の場合は来場客が極端に少ないが、この場合はしかたがないこと。
- ・祭り二日目が生憎の雨となり、ふるさと交流ステージでの太鼓実演が中止となったのは残念であった。
- ・2日間の大雨により来客数少なくあまり成果がなかった。

○千代田交流市場/協賛・PR者

- ・歩行者側に雨よけになるような対策（屋根など）があると良いと思う。

○千代田交流市場/出店者

- ・雨が降って残念でした。
- ・平和啓発・国際協力ができた
- ・あらためて日本文化を代表するイベントであることを認識しました。
- ・成果、実績が伴わなかった。

○ワールドバザール横丁/出店者

- ・日比谷という場所もよく、雨は残念でしたが楽しかったです。
- ・全く見当違いな出店で、雨が降らなかったとしても、海外からの出店は意義がないように来場者を見て感じた。

○江戸縁日広場/出店者（職人長屋）

- ・雨が降って人が少なく残念だった。
- ・千葉県鴨川市では、明治42年に山王講が神田祭35番山車の恵比寿山車を購入、翌明治43年に諏訪講が神田祭5番山車の神功皇后山車を購入し、尚大正中期に神田祭36番山車源頼義人形を購入する。鴨川市では江戸山車二台と神田祭で使用されていた山車人形三体を現在も地元の祭で活躍している。山車人形の三体については神田神社様より証明を頂いています。
- ・目的としたことについては成果が上がったが、雨日9/29～30とも雨天の為に予想の売上がなく、出資金、諸経費（昼食、交通費等）散々赤字決算であった。
- ・雨天のため、又、場所がA-6と最悪の場所のため、前々の時は、郷土芸能の舞台もあり、その前だった事もありものすごく売れました。やっぱり商売は場所と天候だとつくづく感じました。
- ・山車、神輿も地元から参加していた事もあったのでとても楽しめた。

○不詳

- ・年々固定客が増え、商品のPR効果が出来ている。また他団体からの勧誘等も耳にする様になりました。

<企画・運営についての意見>

(雨への対策として必要なこと、改善すべきこと)

来場者への配慮(来場者が休んだり飲食したりできるテントの設置)が多く挙がっている。また、出店者のテントについては、「テントの張りがしっかりしていて、雨がたまらずよかった」との評価もある一方で、「各テントに雨対策のひさし部があればよかった」との意見、あるいは「巨大テントを用意し、複数の出店者が一つのテントで出店できればよかった」等の意見も寄せられている。

○全国ふるさと交流横丁/出店者

- ・特に問題はありませんでした
- ・メインステージ前にお客様が休めるテントがあれば良いと思う。又各ブースでお客様が傘をささずに食べたりでき、休めるテントが必要であったと思う。
- ・ゴミ処理等を含め運営、ご案内、スタッフ数も完全ですがに東京のイベントだと感じました。
- ・足元の整備(ぬかるみ対策等)
- ・一般客の休憩場所(雨よけのある)の確保
- ・ブース近くに屋根付きの休憩所があると良いと思います。
- ・飲食休憩所のテントがあると良い
- ・都内でのPR強化
- ・テント内への浸水対策
- ・ふるさと交流ステージで太鼓の実演を予定していましたが、雨天のため中止となり残念でした。仮設の屋根を設営して対策しても、雨天の場合(雨の程度にもよりますが)客の入りが悪いため、設営に要する労力には見合わないと考えられるので今回の会場設営が相当だと思えます。ただ、公園横に公会堂があるので、雨天の場合は、公会堂を使用したらどうかと思います。
- ・2日分の配布資料を用意、持ち込んだが、地面に箱積みしたため、翌30日には2段目まで雨を吸い上げ、配布できなかつた。パレットのようなものを配備できれば良い。
- ・雨に関しては特に無し。テントの種類として3.6m×2.7mの小さめの物が良い。
- ・雨でも客足を止めること。特にテント、テーブルが少なすぎた。テントだけでも必要。予報に気を使ってほしい。

○千代田交流市場/協賛・PR者

- ・テントに雨対策のひさし部が付いているとよい。
- ・前テントをひさしがわりにする柱が2本欲しい。
- ・2日目に電灯がショートして午後より暗いままで終わった。
- ・各ブースの前にひさしのようなものを設置して、来場者が濡れないようにする必要がある。自分でブース前にシートを張りたいと要望したら、断られた。
- ・各出展者が濡れずに休憩(昼食)ができる場所が、必要である。ブースによっては、狭くて食べる場所に苦労している人が多く見受けられた。

○千代田交流市場/出店者

- ・ブースが芝の上なので足場を良くしてもらいたかつた。
- ・屋外でのイベントが2日間ともに雨天という最悪の結果を招いたことは私たち出店者にとっても大打撃であり、仕入商品の返品ができず商品の処分に右往左往し、赤字になり責任も問われる状態です。雨対策というのであれば巨大テントを用意し、その中で出店するのが一番良いです。この時期ならそれほどテント内も暑くなく、そのPRが最初から出来れば、それ目的の方も見込まれます。どこも赤字なら出店料の割引きも検討されてはどうでしょう。
- ・テントの張りがきっちりしていて、屋根に雨がたまらず良かつた。
- ・下が芝生だったため、雨でぐちゃぐちゃになってしまった。
- ・全ての来場者を満足させることは不可能ですが、お食事、お休みが出来るお休み処にテント設営を希望します。
- ・商品の搬入搬出の利便性
- ・天候次第なので特に対策は必要ない。
- ・全体テントが必要ではないでしょうか。出店場所が芝生で荷物搬入に苦労した。テントが締めてあり、場所が分らず苦労しました。遠くから分かりやすくして頂きたい。
- ・各店舗に雨よけの屋根(簡易的なパラソル等)があった方がよいと思う。又、何店舗かは貸出用と思われる屋根を取りつけていたが、弊社へは「雨が降った場合、こうします」という具体的な提案が事前になかつた。そこは統一していただきたい。
- ・雨用の張り出しテントが必要と感じた。

○ワールドバザール横丁/出店者

- ・飲食を販売する場合、雨だと手が傘でふさがってしまい、なかなか食べられないため、雨用に飲食スペースでぬれない場所を作ると良い。実際テント内にそのようなスペースを設けたら、中で食べて行かれる人が増えた。
- ・ぞうきんの支給が足りていなかった
- ・雨ガッパやシートの支給があったら、有難いと思いました
- ・下が芝生の場所だったので、人が入ってくれない（板をひくとか…）
- ・雨天決行であるなら、降った時にテントがどのような状態になるかを想定して、軒先が作れるような準備も必要です。

○江戸縁日広場/出店者（ちよだ町会横丁）

- ・雨天決行であれば、ブースのテントの形状を雨よけができるように変更してほしい。
- ・順行参加の町会長分の雨ガッパの用意
- ・来場者が雨やどりできる休憩所の設置
- ・飲食店が多いのに雨除けの場所がなく食べられない。日比谷公会堂を開放するなど必要。
- ・会場内専用（限定）の傘があれば良いと思いました。
- ・来場者、スタッフが雨をしのげる専用のテントがいくつかあればと思いました。
- ・雨天等にブース等で購入した食べ物を食べられる場所を用意していただきたい。

○江戸縁日広場/出店者（職人長屋）

- ・テントが芝生の上で雨水が入ってきて水がたまり品物がぬれてこまりました。背中合せのテントを少し離して下さった方が良いように思いました。
- ・雨対策は自然現象のため防ぎ様がありません。山車巡行の夜引は、観客動員から見て再考の余地があると思う。
- ・雨天だと来場者が圧倒的に少ない為、出店する店により売上の差が大きく出た。お客様は雨やどりする場所がもっとあれば買うのと言っていたが、傘を持って買い物はしないと思う。雨天はお手上げ、お客様休憩用の大テントの設営！
- ・テントの中に雨が入って来た点
- ・にれの木広場の物産店で（公会堂前）から1～2列目の間が遠すぎて（お客様）が来ない。テントの設営を考えてほしい。
- ・雨用のテントが何もなくておどろいた。食べる場所が必要です。雨対策を考えていない千代田区は今回のイベントを深く反省してほしい。
- ・天下祭は天候に恵まれない。飲食のできるテーブル（テント付）が必要である。（イスは要らない。）
- ・表でのイベントである限り、対応の方法は考えられません（運を天にまかせるのみです。）
- ・ブースが完全に雨をカットできていたので、雨天でも問題なく出来ました。

○不詳

- ・天候の是非はつきものです。ただいざ雨の時、どうすればいいのか。排水・設置・設備問題をどう解決するのか事前に十分協議した方がよいのではないのでしょうか。問題が発生し、近くを通り掛かったスタッフに相談しても即決が出来ない。結果最終決断が下されたのが2時間後でした。

（その他、会場運営、ご案内、スタッフの対応などで改善点）

出店者への事前の案内・対応について、「丁寧に対応していただいた」との評価もあるが、「質問に即答できるスタッフが少ない」との意見もあった。また、運営スタッフについては、役割や内容等の周知徹底が不十分であったとの意見も寄せられている。

さらに、ブースの位置によって集客量に大きな差があるとの指摘が複数挙がっており、「人の流れを考慮したブースの配置」の検討、あるいは「場所割を抽選制にする」などの意見が寄せられている。

○全国ふるさと交流横丁/出店者

- ・現地スタッフに対する役割・内容等の周知徹底をお願いします。（・搬入・搬出車両の許可証があるにもかかわらず、公園内への進入を拒否された。・質問に対する回答が曖昧ではっきりしなかった。）
- ・特になし。スタッフの対応などはすばらしいと思う。

- ・各地域の物産店
- ・ゴミ処理体制
- ・会場への荷物搬入は車が近くまで入れてよかったが、スタッフ用の車が会場内にとめられなかったのは不便
- ・搬入時のスタッフの対応がとても良くて助かりました
- ・スタッフの方々の対応は親切で申し分ないと思います。
- ・特になし。出店の参加依頼・案内から前日まで丁寧にお願いしていただいた。
- ・スタッフが目につくというより、各集落に常駐していた方がよい。忙しい時に迅速に連絡できない。

○千代田交流市場/協賛・PR者

- ・電灯が最後まで修理されずに終わったこと。
- ・山車の感覚が必要以上に空いて、見るに堪えない。
- ・小学生等に配った弁当が余りに可哀想と思う。
- ・会場の車両誘導員が迅速な対応をされていて、とても良かった。

○千代田交流市場/出店者

- ・本部の場所を全体的に明確にPRしてほしい。
- ・雨天のせいか、行事（山車やステージ）も何か精彩が感じられず、江戸天下祭というその名に恥ずべき内容にも思えました。50万人を見込んでいるとの事前情報もありましたゆえ、本当に落胆です。スタッフもどう対応もしようがないように見受けられました。またレジ袋を控えてと出店者に依頼ありましたが、ならば受付で袋の1つも渡してあげる気配りがあつたらよいと思います。
- ・ブースの位置によって人通りにだいぶ差があり、売上げにも影響があるので、ブースの配置を考え、人の流がうまくいくようにしてほしい。
- ・営業時間内は扱い品目（飲食、物品）が完販となっても、ブースを閉じることの無い様に、主催者、実行委員会からの呼びかけが必要と考えます。
- ・同一販売品目が近隣ブース間で重複しない様に、バランスのある配置を検討していただきたい。
- ・的確な対応が不十分な気がした。
- ・テキ屋の排除。（生ビールの販売は千代田区では禁止されているにもかかわらず売っていた。）
- ・ゴミ置場が急に止められ、雨の中遠くまで移動したり、搬出・搬入に対する配慮して頂きたいと思えます。
- ・トイレ等（水が出ない、鍵がかかっている）チェックをして頂きたい。
- ・ステージ前のイス席が多過ぎだと思ふ。そこを減らし、お客様が食べるスペースを作るといい。又、両日共に目玉の企画（有名人参加等）すると、客足も増えると思ふ。
- ・スタッフの会場案内がとても適切で良かった。

○ワールドバザール横丁/出店者

- ・対応は大変素晴らしく特にありません。ただ、テントから出たゴミも回収していただけると大変助かります。
- ・電気の関係の担当者をお願いして待っていたが、なかなか来ず、こちらから探しに行ったが呼ばれたことを聞いていないようだった。
- ・外人観光客が多いのだから、店の名前 etc. に英語も書いたらよいと思う。私のところはローマ教皇庁でしたが、旗があるのでまだよいが、外国の方がたくさん来られても相手はわからないみたいでした。
- ・運営スタッフは、ほとんどが在存意味なしの状態での対応ができていなかったもので、芝生の真中に残された海外テント組は、自力で集客の為に大雨の中商品が濡れないように、苦勞しなければならず、出店者への規制（搬入、搬出）がきびしい割にフレキシブルな対応もされず、割に合わず皆大変そうだった。

○江戸縁日広場/出店者（ちよだ町会横丁）

- ・準備段階での問合せに即答できるスタッフが少ない。情報が共有されていないため、主な2～3人のメンバーが外出している時の問合せに対応できない。説明会での資料に記載されていることや会場での説明が後日変更されることが若干あり、混乱する。
- ・山車の順行のため一時休店を指示されたが徹底していない。折角お客様が多い時だったので残念だった。神輿の搬入が早朝となり順行が賓客で待機時間が長く、労力、経費共に無駄が多い。
- ・上水道に50m位のホースを用意していただければと思います（ブースで水を使うのですが、バケツで何度も往復はキツイです。）
- ・ゴミを捨てる場所が非常に少なかった。ちよだ町会横丁での飲食物販売を認めているならゴミ箱の設置をお願いしたい。ゴミの分別収集は大変であり指導員の方のご苦勞はわかりますが、食べ終わったゴミ（包装・箸・皿等）が捨てることできないと購入者からクレームを受けています。

○江戸縁日広場/出店者（職人長屋）

- ・看板の件ですが、会の名で統一してほしかった。去年は二列でしたが、そのつもりで書きましたが、私達の会だけ名がなく困ったと言われました。ぜひその時は問い合わせしてほしいと思います。
- ・スタッフのご苦労は大変なものでした。感謝しています。
- ・1日目9/29はイベントがあり、来場者はまあまあいたが、9/30は雨もひどく、会場で歩いているのは関係者だけ、ステージの前お客様用の大きな屋根やテントは必要ではないか。
- ・前回も今年とほぼ同じ場所で、良い場所の方は毎年良い場所の様になっていますので、事前に場所割は抽選にするとか、輪番制にして同じ料金を出して出店しているのだから公平になる様な場所割を切に希望します。又、来場者の割にはトイレが少ないと思います。
- ・アナウンスが聞こえない。
- ・何かトラブル等があった時、対応が悪い。責任者が分らない。役所仕事の悪い典型である。

○不詳

- ・今回は予想外の大雨になりゴタゴタ続きの感がありましたが、それを除くと前回より良くなったと思います。希望（会員が全てボランティアで動いている関係で搬入及び搬入車がギリギリまで特定できないのが現状です。そこらへんをもう少し緩和してもらえればと思います。）
- ・今回も多誌に「江戸天下祭」のPRが掲載されていましたが、最も効果が上がるのはテレビだと思いますがいかがでしょう。

（特によかった企画や運営）

「居住支援チームの応援を受けられた」との感想や、「千代田区住民以上に各地のボランティアグループとの情報交換ができた」といった感想が挙がっており、地域内外の人々の交流に一定の貢献があったことがうかがえる。

一方で、土曜日に山車神輿の運行を実施したために、「日曜日の集客に影響があったのではないか」、あるいは「日曜日にも人を呼べる企画が欲しい」との意見が寄せられている。

○全国ふるさと交流横丁/出店者

- ・ふるさと交流ステージは雨天により、すべてのプログラムができなかったが、期待していたイベントでした。
- ・雨のため特に感じなかった。
- ・毎回参加し、思うことですが、山車みこしの巡礼は江戸っ子にはたまらない。
- ・人の流れが各ブースを回れない。人の流れを各ブースにつなげる設営に！場所によって売上の格差がある。（サービスは別）やはり、人の流れは重要視した、ブースの設置。

○千代田交流市場/協賛・PR者

- ・居住支援チームの応援を受けられたことに感謝します。
- ・山車神輿の運行順を前回と逆にしたため、スムーズな運行が出来たのではないか。
- ・山車神輿の運行を土曜日に実施したため日曜日の集客に影響はなかったのか。（今回は雨で集客等は参考にならないと思うが。）

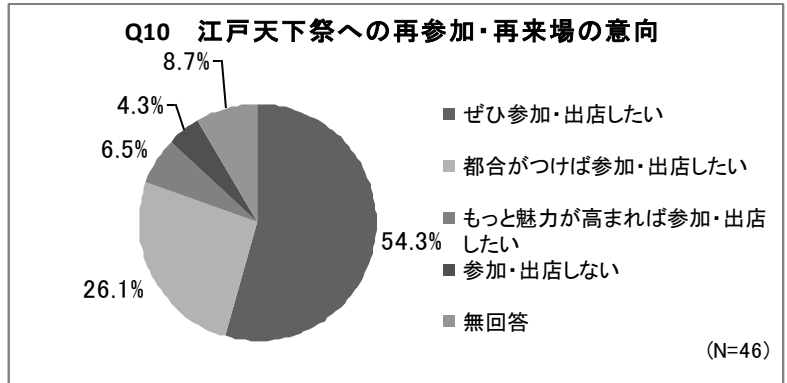
○千代田交流市場/出店者

- ・行列・おどり等については、もっと若い人の参加を望みます。
- ・経費がかかることと思いますが、江戸の祭りや千代田区住民以上に私共のブースには、新潟、横浜、静岡、長野、福島、千葉、埼玉、そして東京の他区の行政や、ボランティアグループが情報交換に訪れて下さいました。舞台（ステージ）の公演をゆっくり見ることは出来ませんでした。色々な企画ありがとうございました。感謝致します。
- ・ゴミの分別は雨の中でもスタッフの方々が徹底されていてとても良かったと思います。企画そのものは良いわけですから、あとはリスク管理がいかにきちんとやるかです。しっかり企画例で詰めて下さい。よろしくお願いします。
- ・夕方に山車を出したのが良かった
- ・日曜日にも人を呼べる企画が欲しい
- ・開催前のPR効果が極めて高かった。
- ・日比谷公園内の安全管理がいきとどいていた。搬入・搬出がスムーズであった。（広報関係、会場関係の担当者各位に敬意を表したいと存じます。）

- ・山車の展示、ステージイベント 迫力があった
- ・江戸職人
- ワールドバザール横丁/出店者
 - ・皆さんとても親切でした。ごくろうさまです。
- 江戸縁日広場/出店者（ちよだ町会横丁）
 - ・山車、神輿順行
- 江戸縁日広場/出店者（職人長屋）
 - ・搬入搬出がよかった。
 - ・日曜日の大雨の日、各店の判断で最後迄営業しなくても良かった点は良いと思いました（臨機応変）
 - ・地方とも交流もあり、とても満足のある祭でした。

<次回以降の江戸天下祭への参加、出店意向>

「ぜひ参加・出店したい」が 54.3%、「都合がつけば参加・出店したい」が 26.1%で、これらを合わせると 8 割に参加・出店意向がある。特に自発的に参加・出店した団体に、継続的な参加・出店意向が高い。



3. 経済波及効果の推計

(1) 原単位作成のための差異分析

○年齢差以外の要因における平均値の差異有意性の検定結果

年齢以外の要因による、調査結果の平均値に有意な差異は見られないため、経済効果推計のための原単位を、これらの要因で区分しないこととした。

	自由度		t値	
	飲食額	買い物額	飲食額	買い物額
曜日(天候)	685	686	0.54	1.40
調査箇所			0.55	1.37
性別			1.96	0.64

【t分布表】

自由度	5%有意水準	1%有意水準
40	2.021	2.704
60	2	2.66
120	1.98	2.617
∞	1.96	2.576

○年齢差要因における平均値の差異有意性の検定結果

年齢差を要因とする、平均消費額について、飲食・買い物の別で、その有意差を検定した結果を見ると、飲食額については、10代および20代と50代との間でのみ、その平均値に有意な差があると検定された。買い物額については、飲食額よりも有意な差が見られ、10代および20代と40・50代および60代以上のそれぞれの組み合わせにおいて、有意な差が検定された。また、40代と50代および60代以上についても、有意な差が検定された。

この結果から、10代と20代の平均消費額については、飲食・買い物ともに差異は見られないと考え、20代までの来場者に適用する原単位は、飲食・買い物ともに10および20代の合計サンプルの平均値とすることとした。

30代以上については、買い物額については、40代と50代および60代以上の間に有意な差が検定されたものの、40代の平均消費額が30代や50代・60代以上と比べ低い水準となっており、サンプルの特殊性である可能性が高いこと、飲食額については有意差は確認されなかったことから、30代以上の平均消費額についても、飲食・買い物ともに30代以上の合計サンプルの平均値とすることとした。

【飲食額の年齢区分別差異検定結果】

飲食	標本数	平均	分散	平均偏差の平方和	
10代	16	403	144,906	2,318,500	
20代	84	614	514,234	43,195,642	
30代	98	791	1,488,439	145,867,053	
40代	102	742	556,083	56,720,417	
50代	176	974	1,265,981	222,812,655	
60代以上	211	836	1,313,012	277,045,591	

推定母分散	10代	20代	30代	40代	50代
10代					
20代	464,430				
30代	1,323,085	1,050,348			
40代	508,956	543,022	1,023,169		
50代	1,184,901	1,031,040	1,355,440	1,012,801	
60代以上	1,241,618	1,092,973	1,377,566	1,073,203	1,298,333

差の標準誤差	10代	20代	30代	40代	50代
10代					
20代	186				
30代	310	152			
40代	192	109	143		
50代	284	135	147	125	
60代以上	289	135	143	106	116

t	10代	20代	30代	40代	50代
10代					
20代	1.14				
30代	1.25	1.16			
40代	1.77	1.17	0.35		
50代	2.01	2.67	1.25	1.86	
60代以上	1.50	1.65	0.31	0.89	1.19

自由度	10代	20代	30代	40代	50代
10代					
20代	98				
30代	113	180			
40代	116	184	198		
50代	190	258	272	276	
60代以上	225	293	307	311	385

【買い物額の年齢区分別差異検定結果】

買い物	標本数	平均	分散	平均偏差の平方和	
10代	16	186	156,086	2,497,375	
20代	84	455	890,775	74,825,089	
30代	98	1,134	6,464,673	633,537,985	
40代	102	769	1,243,385	126,825,221	
50代	178	1,230	2,171,563	386,538,221	
60代以上	211	1,246	3,325,774	701,738,412	

推定母分散	10代	20代	30代	40代	50代
10代					
20代	789,005				
30代	5,678,887	3,935,350			
40代	1,114,850	1,095,926	3,840,218		
50代	2,026,227	1,774,474	3,722,906	1,846,631	
60代以上	3,129,937	2,650,387	4,349,435	2,664,192	2,812,084

差の標準誤差	10代	20代	30代	40代	50代
10代					
20代	242				
30代	643	295			
40代	284	154	277		
50代	372	176	243	169	
60代以上	459	210	255	166	171

t	10代	20代	30代	40代	50代
10代					
20代	1.11				
30代	1.48	2.30			
40代	2.05	2.03	1.32		
50代	2.81	4.39	0.40	2.73	
60代以上	2.31	3.76	0.44	2.87	0.09

自由度	10代	20代	30代	40代	50代
10代					
20代	98				
30代	113	180			
40代	116	184	198		
50代	192	260	274	278	
60代以上	225	293	307	311	387

(2) 消費単価の想定

来場者の消費単価は、消費の有無確率と消費額を分けて想定することとした。

項目別にみた消費の有無確率の想定

居住地	大項目	中項目	各項目の利用割合(%)	
			都内	都外
都内居住者	会場内 飲食雑費	①飲食	73%	
		②買い物	62%	
	会場以外 飲食雑費	①飲食	26%	3%
		②買い物	14%	2%
		③その他	7%	1%
	交通費	①鉄道	85%	0%
		②バス	11%	0%
		③タクシー	4%	0%
		④自家用車	4%	0%
		⑤その他	0%	0%
宿泊費		0%	0%	
都外居住者	会場内 飲食雑費	①飲食	74%	
		②買い物	59%	
	会場以外 飲食雑費	①飲食	26%	10%
		②買い物	13%	7%
		③その他	5%	4%
	交通費	①鉄道	86%	86%
		②バス	7%	7%
		③タクシー	1%	1%
		④自家用車	6%	0%
		⑤その他	1%	1%
宿泊費		6%	1%	

また、極端に大きい消費額の回答者が居るため、中央値を採用することとした。

項目別にみた消費単価の想定

居住地	大項目	中項目	消費支出の原単位	
			10・20代 (円/人)	30代以上 (円/人)
都内居住者	会場内 飲食雑費	①飲食	975	1,000
		②買い物	1,000	1,500
	会場以外 飲食雑費	①飲食	1,000	1,000
		②買い物	3,000	2,750
		③その他	1,650	1,650
	交通費	①鉄道	350	350
		②バス	210	210
		③タクシー	1,340	1,340
		④自家用車	800	800
		⑤その他	31,400	31,400
宿泊費		10,000	10,000	
都外居住者	会場内 飲食雑費	①飲食	975	1,000
		②買い物	1,000	1,500
	会場以外 飲食雑費	①飲食	1,000	1,000
		②買い物	3,000	2,750
		③その他	1,650	1,650
	交通費	①鉄道	670	670
		②バス	910	910
		③タクシー	1,380	1,380
		④自家用車	840	840
		⑤その他	31,400	31,400
宿泊費		11,380	11,380	

この結果、直接効果約 3.5 億円、うち会場における消費額約 1.5 億円となった。江戸フェスの来場者数 91,000 人で延べ平均を算出すると、3,800 円（うち会場消費単価 1,600 円）となる。

消費に関する直接効果額

大項目	中項目	支出額(億円)		
		都内で	都外で	計
会場内 飲食雑費	①飲食	0.67		0.67
	②買い物	0.79		0.79
	計	1.46		1.46
会場以外 飲食雑費	①飲食	0.23	0.05	0.29
	②買い物	0.35	0.10	0.45
	③その他	0.09	0.03	0.12
	計	0.67	0.19	0.86
交通費	①鉄道	0.37	0.21	0.58
	②バス	0.04	0.02	0.06
	③タクシー	0.04	0.01	0.04
	④自家用車	0.04	0.00	0.04
	⑤その他	0.08	0.08	0.17
	計	0.57	0.33	0.89
宿泊費		0.26	0.03	0.29
総 計		2.95	0.55	3.50

(3) 出店者経費単価の想定

出店者の経費については、各回答票における下表の縦横の数値の整合性をチェックし、下記のように想定した。合計で1店舗あたり約280万円の経費と算定される。

1 出店者当たり経費(投資)額

(単位:万円)

大項目	中項目	小項目	東京都内計	東京都以外
運営費	施設・什器費	屋内施設	4.2	0.0
		屋外スペース	2.7	12.0
		小計	6.9	12.0
	アトラクション関連費	タレント等ギャラ	0.3	18.0
		遊戯具代	0.0	16.0
		小計	0.3	34.0
	展示費	購入費	17.4	15.0
		レンタル料	1.6	10.0
		小計	19.0	25.0
	広告・宣伝費		14.8	22.0
	スタッフ人件費	正社員・職員	19.2	15.0
派遣・バイト		6.3	5.9	
小計		25.5	20.9	
警備・保安費		4.0	0.0	
中計		70.4	113.9	
運営スタッフ消費費	食費(打ち上げ費用を含む)		5.9	5.0
	交通費	鉄道	1.4	10.6
		バス	0.0	4.5
		タクシー	1.4	0.0
		その他公共交通機関	0.8	58.0
		自家用車(高速代)	1.2	1.4
		自家用車(駐車場代)	1.1	1.5
	小計	5.8	76.0	
	宿泊費		6.0	0.0
	中計		17.7	81.0
タテ合計		88.1	194.9	

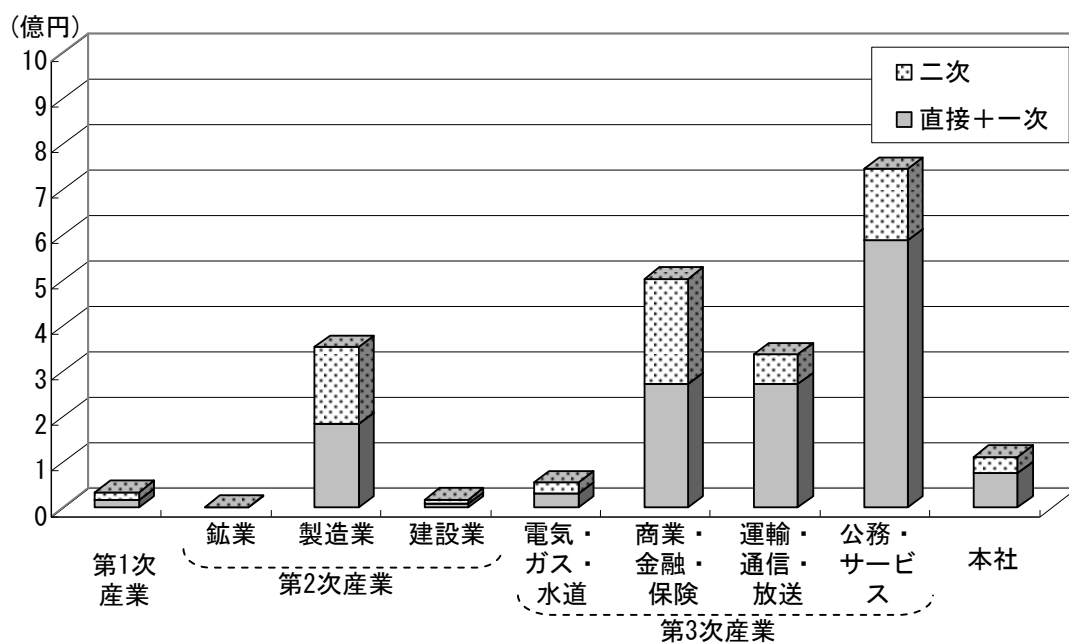
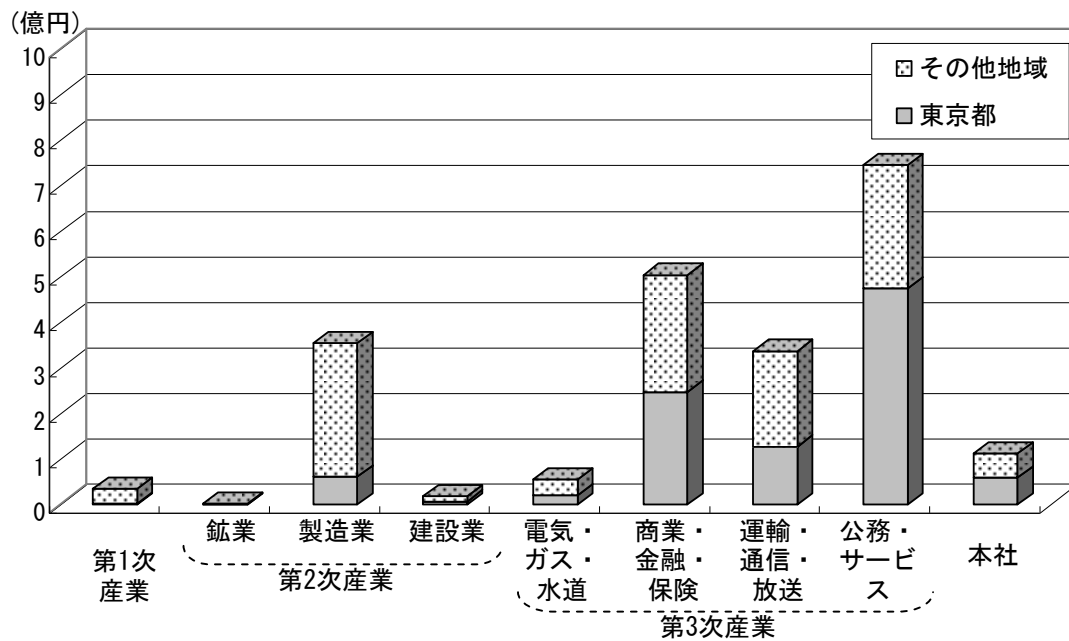
主催者の外注費や経費と合わせ、投資に関する直接効果は約4.5億円と算定された。直接効果の総額は、前述来場者の消費に関する効果約3.5億円と合計し、約8億円と算定された。

投資(経費)に関する直接効果額

大項目	中項目	小項目	支出額(億円)		
			都内で	都外で	計
運営費	施設・什器費	屋内施設	0.03	0.00	0.03
		屋外スペース	0.02	0.10	0.12
	アトラクション関連費	タレント等ギャラ	0.36	0.39	0.75
		遊戯具代	0.00	0.13	0.13
	展示費	購入費	0.14	0.12	0.27
		レンタル料	0.10	0.08	0.18
	広告・宣伝費		1.23	0.18	1.42
	スタッフ人件費	正社員・職員	0.40	0.12	0.53
		派遣・バイト	0.13	0.05	0.18
	警備・保安費		0.03	0.00	0.03
計		2.46	1.19	3.64	
運営スタッフ消費費	食費(打ち上げ費用を含む)		0.11	0.04	0.15
	交通費	鉄道	0.02	0.09	0.11
		バス	0.00	0.04	0.04
		タクシー	0.01	0.00	0.01
		その他公共交通機関	0.01	0.48	0.49
		自家用車(高速代)	0.01	0.01	0.02
		自家用車(駐車場代)	0.01	0.01	0.02
	宿泊費		0.05	0.00	0.05
計		0.22	0.67	0.89	
総計		2.68	1.86	4.53	

(4) 経済波及効果の計算

算定した消費、投資額を、産業連関モデルの最終需要増加としてインプットし、均衡産出高つまり経済波及効果を計算した。サービス業は主に飲食店への効果である。



総括表

	全波及効果（直接効果＋一次波及効果＋二次波及効果） 総括表		
	全国	東京都	その他地域
直接効果＋一次波及効果	14.5 (100%)	8.6 (60%)	5.8 (40%)
二次波及効果	7.1 (100%)	1.3 (18%)	5.8 (82%)
生産波及効果(億円)	21.6 (100%)	9.9 (46%)	11.7 (54%)
生産誘発係数	2.70		
(直接効果)	8.0		
雇用者所得誘発額(億円)	5.9 (100%)	2.9 (49%)	3.0 (51%)
営業余剰誘発額(億円)	2.0 (100%)	0.8 (41%)	1.2 (59%)
雇用誘発数(人)	133 (100%)	53 (40%)	80 (60%)

生産波及効果

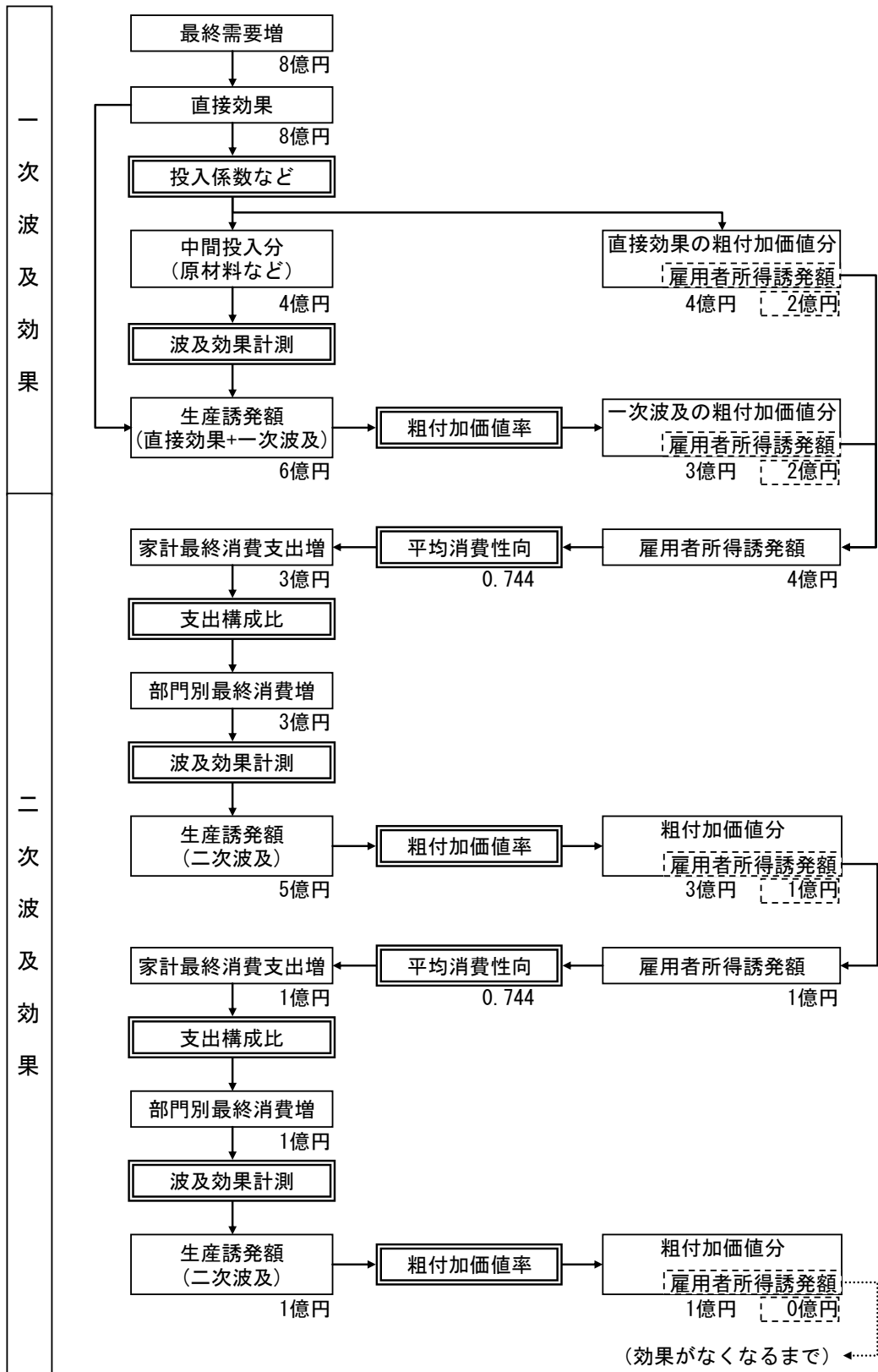
部門	生産波及効果（全波及効果）：億円		
	全国	東京都	その他地域
第1次産業	0.3 (1.6%)	0.0 (0.1%)	0.3 (2.9%)
第2次産業	3.7 (17.3%)	0.7 (6.7%)	3.1 (26.2%)
鉱業	0.0 (0.1%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.1%)
製造業	3.5 (16.4%)	0.6 (6.1%)	2.9 (25.1%)
建設業	0.2 (0.8%)	0.1 (0.6%)	0.1 (1.0%)
第3次産業	16.4 (76.0%)	8.7 (87.3%)	7.7 (66.4%)
電気・ガス・水道	0.5 (2.5%)	0.2 (1.9%)	0.4 (3.1%)
商業・金融・保険	5.0 (23.3%)	2.5 (24.9%)	2.6 (22.0%)
運輸・通信・放送	3.4 (15.6%)	1.3 (12.8%)	2.1 (18.0%)
公務・サービス	7.4 (34.5%)	4.7 (47.7%)	2.7 (23.3%)
本 社	1.1 (5.2%)	0.6 (5.9%)	0.5 (4.6%)
合 計	21.6 (100.0%)	9.9 (100.0%)	11.7 (100.0%)

粗付加価値誘発効果

部門	粗付加価値誘発効果（全波及効果）：億円		
	全国	東京都	その他地域
雇用者所得誘発額	5.9 (52.2%)	2.9 (54.4%)	3.0 (50.3%)
営業余剰誘発額	2.0 (17.8%)	0.8 (15.5%)	1.2 (20.0%)
その他誘発額	3.4 (29.9%)	1.6 (30.1%)	1.8 (29.7%)
粗付加価値誘発額	11.3 (100.0%)	5.3 (100.0%)	6.0 (100.0%)

雇用誘発効果

部門	雇用誘発効果（全波及効果）：人		
	全国	東京都	その他地域
第1次産業	12 (9.0%)	0 (0.0%)	12 (15.0%)
第2次産業	7 (5.3%)	2 (3.8%)	5 (6.3%)
鉱業	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
製造業	7 (5.3%)	2 (3.8%)	5 (6.3%)
建設業	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
第3次産業	110 (82.7%)	50 (94.3%)	60 (75.0%)
電気・ガス・水道	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
商業・金融・保険	39 (29.3%)	18 (34.0%)	21 (26.3%)
運輸・通信・放送	17 (12.8%)	6 (11.3%)	11 (13.8%)
公務・サービス	54 (40.6%)	26 (49.1%)	28 (35.0%)
本 社	4 (3.0%)	1 (1.9%)	3 (3.8%)
合 計	133 (100.0%)	53 (100.0%)	80 (100.0%)



直接効果における投資額 4.5 億円に比して、同消費額 3.5 億円となり、直接効果だけでは荒天の影響から費用便益比が 1.0 を下回る結果となっている。

とくに、出店者の感覚に近い、会場消費額を 83 店舗で頭割りした約 180 万円は、経費平均値の約 65%となっており、売り上げ見込みを 180 万円の $1/0.43=$ 約 420 万円と、経費 280 万円の比率は、約 1.5 : 1.0 となっている。どれだけの利益率を見込んでいるかは、設問としてなかったが、ホテル等商業者の参加も含めているものの、43%という感覚はやや被害者的感覚ではないかと想定できる。

Ⅲ. 神田古本まつり

1. 神田古本まつりの概要

○事業の背景、目的等

神田古本市は、世界でも有数の本の町である神田神保町で、神田すずらん通り・神保町さくら通りを中心に毎年行われる古本市。昭和35年の第1回以降、実施回数は平成19年で48回目と歴史は古く、規模も参加店約100店舗、出品点数のべ100万冊余と大きい。

期間中は、神保町ブックフェスティバルや神田スポーツ祭も開催される。

○事業の実施概要

<実施期間>

- ・平成19年10月26日（金）～11月1日（木）

<実施主体>

- ・主催：千代田区、神田古書店連盟

<主なイベント>

- ・青空掘り出し市
- ・特選古書即売展
- ・古本チャリティオークション

○同時期開催イベント

<神保町ブックフェスティバル>

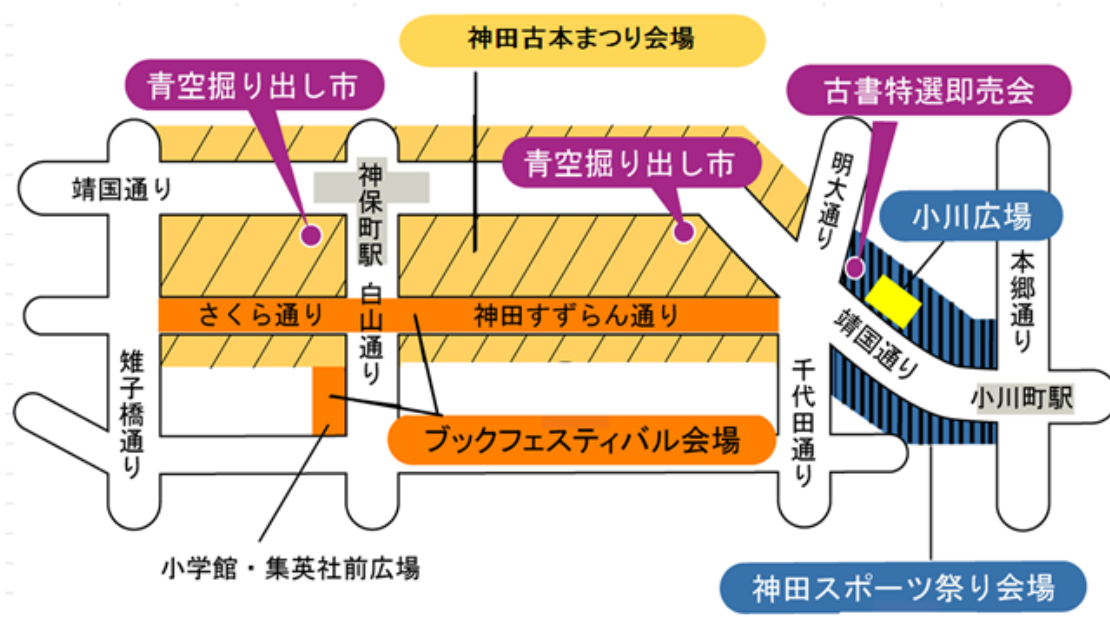
- ・事業開始年度：平成3年（H19は第17回）
- ・実施期間：平成19年10月27日（土）～10月28日（日）
- ・開催場所：すずらん通り、さくら通り、小学館・集英社前広場
- ・実施主体
 - ・主催：神保町ブックフェスティバル実行委員会
 - ・共催：神田すずらん通り商店街振興組合、神保町さくら通り実業会、東京都書店商業組合千代田支部、日本児童図書出版協会
 - ・協賛：神田古書店連盟、文化産業信用組合、出版文化産業振興財団、千代田区商店街連合会、あいおい損害保険、博報堂、神田本の音色の会
 - ・後援：東京都千代田区、東京都書店商業組合、毎日新聞社、東京新聞

<神田スポーツ祭り>

- ・事業開始年度：平成7年（H19は第13回）

- ・実施期間：平成19年10月26日（金）～10月28日（日）
- ・開催場所：靖国通りスポーツ店街
- ・実施主体
 - ・主催：神田スポーツ店連絡協議会
 - ・後援：千代田区、(財)まちみらい千代田、東京商工会議所千代田支部

-<会場>



2. アンケート調査結果

(1) 来場者調査

1) 調査概要

①調査日時等

- ・平成19年10月28日(日) 晴れ
- ・調査地点は、岩波ホール(青空掘り出し市岩波会場)前と「本と街の案内所」内の2箇所

②回収状況

○目標票数

【1日間あたり】

	11～13時				13～15時				15～17時				計			
	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計
男性	13	30	17	60	14	30	16	60	8	15	7	30	35	75	40	150
女性	13	30	17	60	14	30	16	60	8	15	7	30	35	75	40	150
計	26	60	34	120	28	60	32	120	16	30	14	60	70	150	80	300

【2日間合計】

	11～13時				13～15時				15～17時				計			
	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計
男性	26	60	34	120	28	60	32	120	16	30	14	60	70	150	80	300
女性	26	60	34	120	28	60	32	120	16	30	14	60	70	150	80	300
計	52	120	68	240	56	120	64	240	32	60	28	120	140	300	160	600

○回収票数

10月27日(土)は、台風の影響でアンケート調査の実施を見送ることとなった。翌28日(日)は台風一過の晴天となり、当初予定していた回収目標数を1日でほぼ補うことができた。年齢および性別の回収状況については、10代・20代および60代以上の票数が目標を下回ったが、30～50代の男性の回収票数が目標を大幅に上回ったため、全体としての回収状況は概ね目標水準に達している。

10月28日(日)

【本部】	11～13時				13～15時				15～17時				計			
	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計
男性	4	50	16	70	9	40	23	72	7	36	9	52	20	126	48	194
女性	13	34	11	58	4	39	5	48	16	34	9	59	33	107	25	165
計	17	84	27	128	13	79	28	120	23	70	18	111	53	233	73	359

【本部外】	11～13時				13～15時				15～17時				計			
	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計
男性	6	29	11	46	4	21	9	34	9	24	5	38	19	74	25	118
女性	7	16	4	27	7	24	3	34	19	23	3	45	33	63	10	106
計	13	45	15	73	11	45	12	68	28	47	8	83	52	137	35	224

【計】	11～13時				13～15時				15～17時				計			
	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計
男性	10	79	27	116	13	61	32	106	16	60	14	90	39	200	73	312
女性	20	50	15	85	11	63	8	82	35	57	12	104	66	170	35	271
計	30	129	42	201	24	124	40	188	51	117	26	194	105	370	108	583

2) 設問

Q1 あなた自身のことについておうかがいします。

①性別	1. 男性 2. 女性
②年齢	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代以上
③人数	1. 1人で来た 2. 2人で来た 3. それ以上()人で来た
④同伴者	1. 家族 2. 仕事仲間・同僚 3. 友人・知人 4. その他()
⑤居住地	1. 千代田区内 2. 都内(千代田区外) 3. 都外
⑥通勤・通学地	1. 千代田区内 2. 都内(千代田区外) 3. 都外

Q2 会場内(神保町・小川町界隈)での買い物について、お伺いします。それぞれの項目について購入した又は購入予定の金額を記入してください。貴方1人の額でお答えください(グループの合計額ではありませんのでお気をつけください)。購入していない場合、「0円」とご記入ください。

支出項目		購入金額
①買い物 (古本、書籍・雑誌、雑貨、自分用およびお土産品の両方を含む)		円
古本をご購入(及びご予定)の方にお聞きます。	上記のうち、古本の購入金額はおいくらですか。	円
	何冊ですか。	冊
②飲食 (付近の飲食店や出店での食べ物・飲み物・自販機の缶ジュースなど)		円

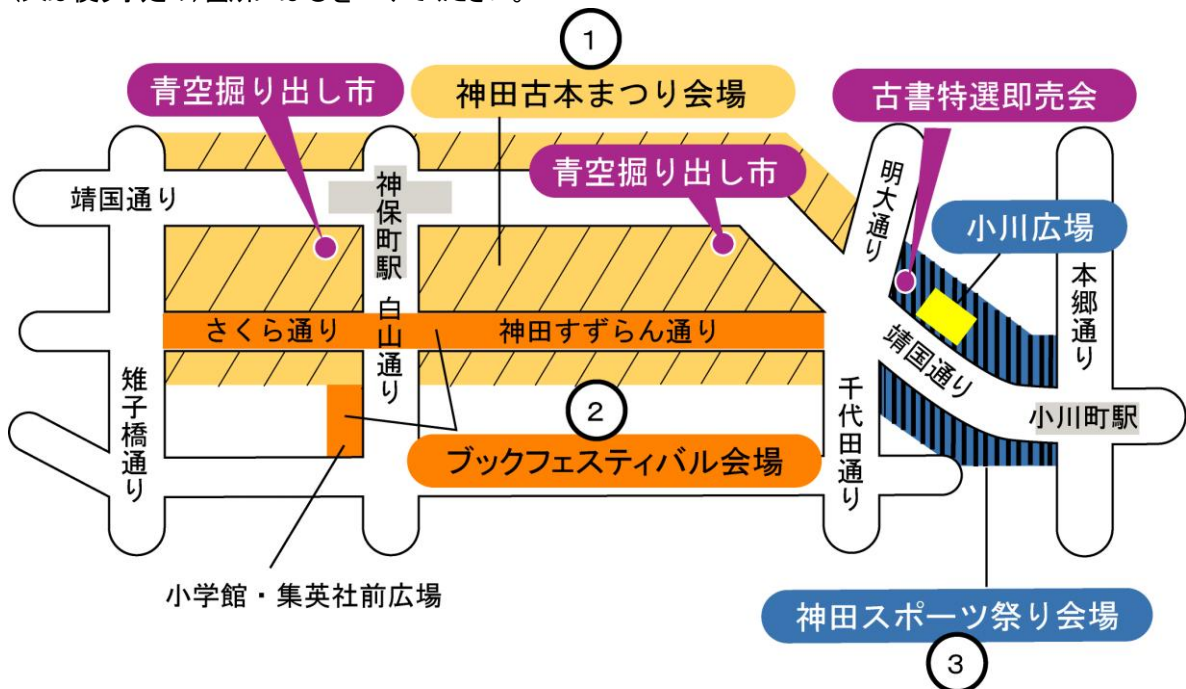
Q3 本日の会場以外での支出について、それぞれの場所で購入した、又は購入予定の物について、購入した、又は購入予定の金額を記入してください。お一人の額でお答えください(グループの合計額ではありませんのでお気をつけください)。購入していない場合、「0円」とご記入ください。

支出項目／購入場所	購入金額
①買い物(書店、スポーツ店、楽器店などでの支払い、自分用及びお土産品の両方を含む)	
千代田区(御茶ノ水・秋葉原・丸の内・有楽町など)	円
都内(新宿・銀座・巣鴨・上野・品川・日本橋など区外)	円
都外(横浜・大宮・千葉・宇都宮など)	円
合計(場所の区別ができない場合は、こちらにご記入ください)	円
②飲食(食べ物・飲み物・ファーストフード・自販機の缶ジュースなど)	
千代田区(御茶ノ水・秋葉原・丸の内・有楽町など)	円
都内(新宿・銀座・巣鴨・上野・品川・日本橋など区外)	円
都外(横浜・大宮・千葉・宇都宮など)	円
合計(場所の区別ができない場合は、こちらにご記入ください)	円

③その他(映画館入場料・博物館や美術館の入館料・動物園や水族館の入園料など)	
千代田区(御茶ノ水・秋葉原・丸の内・有楽町など)	円
都内(新宿・銀座・巣鴨・上野・品川・日本橋など区外)	円
都外(横浜・大宮・千葉・宇都宮など)	円
合計(場所の区別ができない場合は、こちらにご記入ください)	円

Q4 会場内で立ち寄った(立ち寄る予定の)箇所、及びお金を使った(使う予定の)場所について、おたずねします。

下記の地図の番号①～③のうち、立ち寄った(又は立ち寄る予定の)箇所には○を、そのうちお金を使った(又は使う予定の)箇所には◎をつけてください。



Q5 ご自宅からここまではどのような交通機関で来られましたか。それぞれの交通機関について、利用した場合は、a)利用の有無の「1. 利用した」に○をつけ、b)運賃を記入してください。徒歩や自転車の場合はすべての設問について「2. 利用しない」に○をつけてください。b)運賃については、貴方1人の片道分の額でお答えください(グループの合計額ではありませんのでお気をつけください)。

交通機関	利用の有無/運賃・料金
①鉄道	a)利用の有無 1. 利用した 2. 利用しない b)運賃 (円)
②バス	a)利用の有無 1. 利用した 2. 利用しない b)運賃 (円)
③タクシー	a)利用の有無 1. 利用した 2. 利用しない b)運賃 (円)
④自家用車	a)駐車場の利用の有無 1. 利用した 2. 利用しない b)料金 (円)
⑤その他 例:航空機 ()	a)利用の有無 1. 利用した 2. 利用しない b)料金 (円)

Q6 今回、神田古本まつり等に来場されるために、宿泊されましたか。宿泊された場合、宿泊場所に○をつけて、料金をご記入ください。出張等のついでに立ち寄った場合は除きます。

滞在期間	宿泊場所	宿泊料金
1. 日帰り (宿泊していない)	1. 千代田区(九段・神田・丸の内など)	円
	2. 都内(銀座・新宿・赤坂など区外)	円
2. 日帰り以外 (泊)	3. 都外(横浜・浦安など)	円
	4. よくわからない ()	円

Q7 神田古本まつり等の会場にどのくらいの時間滞在しましたか。あるいは滞在される予定ですか。あてはまるものに1つ○をつけてください。

1. 30分くらい	2. 1時間くらい
3. 1時間30分くらい	4. 2時間くらい
5. 3時間くらい	6. 3時間以上

Q8 今日、神田古本まつり等へ来られたきっかけは何ですか。あてはまる1つに○をつけてください。この設問では、『神田古本まつり』と『ブックフェスティバル』『神田スポーツ祭り』を分けてご回答ください。

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 『神田古本まつり』があることを事前に知っていて、『神田古本まつり』を目的に出掛けてきた。 2. 『神田古本まつり』があることを事前に知っており、買い物や出勤など他の用事 のついでに寄ってみた 3. 『神田古本まつり』ではなく、『ブックフェスティバル』あるいは『神田ス ポーツ祭り』を目的に出掛けてきた 4. たまたま通りかかっただけ、神保町に来ただけ 5. 今日、駅等のポスターや案内を見てきてみた 6. にぎやかそうなので来てみた 7. その他() | } |
|---|---|

Q8-1 今回の『神田古本まつり』の開催日や内容等をどのように事前にお知りになりましたか。具体的にご記入ください。

Q9 これまで神田古本まつり等に来られたことはありましたか。あてはまる1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 過去にも神田古本祭り等に来たことがある 2. 神田古本祭り等に来たのは今回が初めてだが、これまでも開催は知っていた 3. 神田古本祭り等に来たのは今回が初めてで、これまで開催を知らなかった。 |
|--|

Q10 下記のイベントに立ち寄ったり、参加・商品購入されましたか。あるいは、これから予定はありますか。あてはまる全てに○をつけてください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 青空掘り出し市(10月26日～11月1日) 2. 古書特選即売会(10月26日～10月28日) 3. 和本の世界展(10月25日～10月31日) 4. 我楽多市(10月26日～10月28日) 5. 小川広場イベント(10月28日) |
|--|

Q11 神田古本まつり等の感想はいかがですか。あてはまる全てに○をつけてください。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 古本探しが楽しめた。求めている古本や掘り出し物が手に入った。 2. 古本以外も含めて、本の街として楽しめた。 3. スポーツ用品の街としても楽しめた。 4. いろいろな文化イベントが楽しめた。 5. いろいろな人と交流することができた。 6. にぎやかで楽しめた。 7. 千代田区への理解が深まった。 8. その他 () |
|---|

今回特によかった企画、イベント等があれば、挙げてください。

会場運営、ご案内、スタッフの対応などで改善すべき点等があれば、挙げてください。

Q12 次回以降、神田古本まつり等にまたお越しになりますか。あてはまる 1 つに○をつけてください。

1. ぜひまた来たい

2. 都合がつけば来たい

3. もっと魅力が高まれば、来たい

4. 来ない

Q13 今回、神田古本まつり等の会場の他に、立ち寄った(あるいは立ち寄る予定の)場所(地名・施設名)があれば、挙げてください。

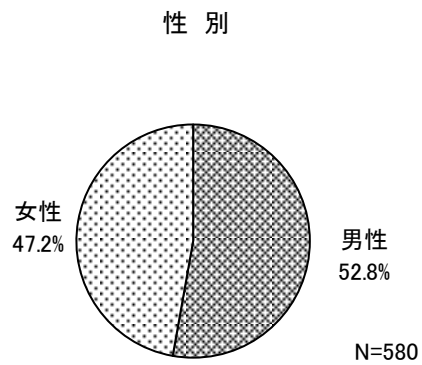
Q14 以下のイベントについてご存知ですか。また、今後、行ってみたいですか。それぞれについてお答えください。

	イベントについて ご存知ですか	これまでに行った ことがありますか	今後、行ってみた いですか
神田祭(神田明神、5月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン (丸の内、5月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
山王祭(日枝神社、6月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
東京ジャズ(東京国際フォーラム、9月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
江戸天下祭(日比谷公園、9月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
光都東京(和田倉噴水公園、12月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
さくらまつり(区内各所、3月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

3) 回答結果

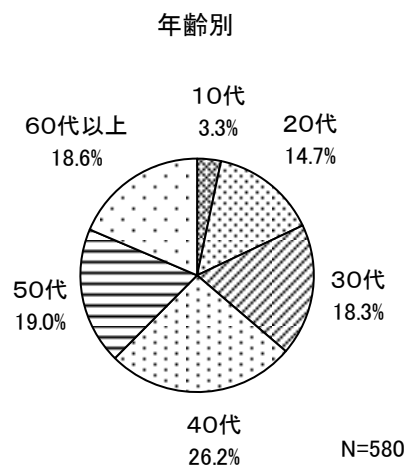
<性別>

性別のアンケート回答割合は、男性が 52.8%、女性が 47.2%となっている。



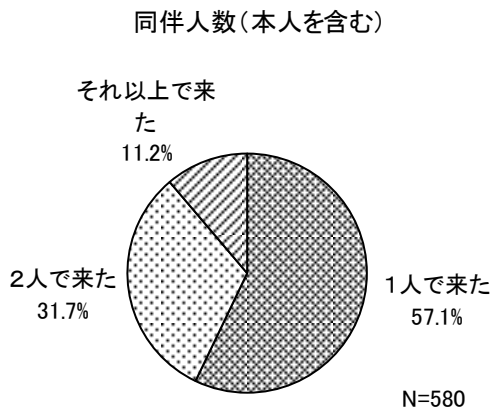
<年齢別>

年齢別の回答内訳は、40代が 26.2%で比較的多く、10代が 3.3%で最も少なくなっているが、その他の年代は概ね同じ割合となっている。



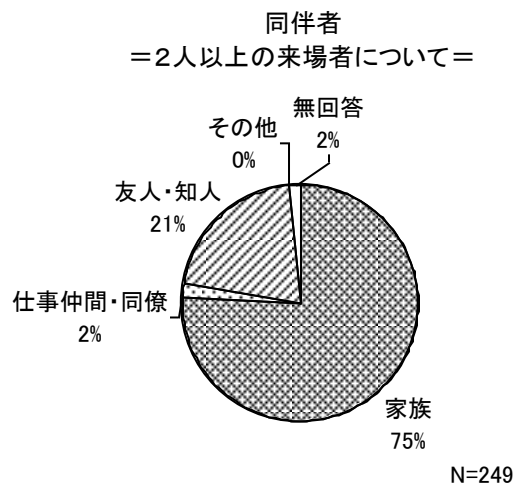
<同伴人数（本人を含む）>

同伴人数については、1人での来場者が半数以上を占めている。



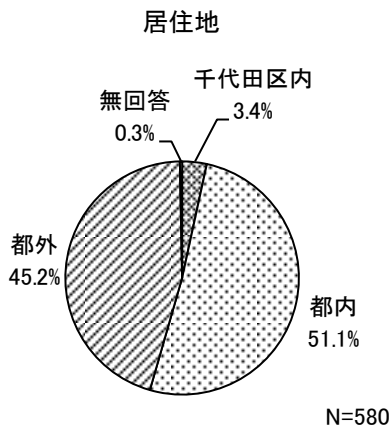
<同伴者>

2人以上で来場した人の同伴者は約75%が家族である。友人、知人との来場は約20%となっている。



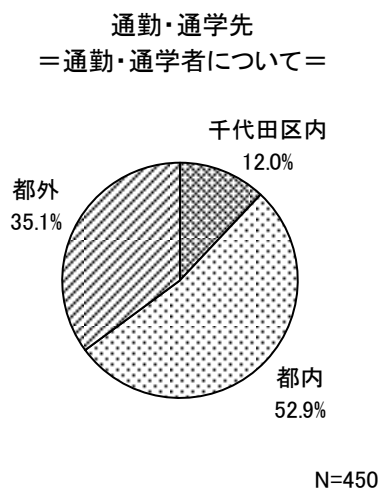
<居住地>

来場者の過半数が都内居住者だが、都外居住者の割合も45.2%となっている。



<通勤・通学先>

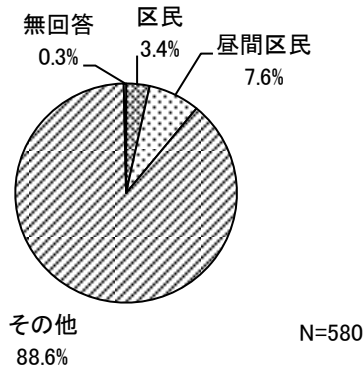
来場者の通勤・通学地は、千代田区を除く都内が過半数を占める。千代田区内に通勤・通学している人は12.0%となっている。



<千代田区との関係>

来場者の千代田区との関係は、区民が3.4%、昼間区民（区外在住区内通勤・通学者）が7.6%となっている。

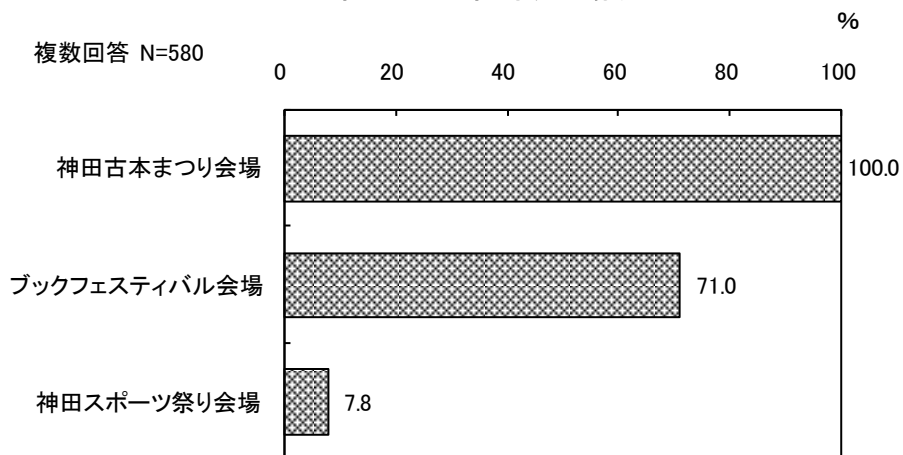
千代田区との関係



<立ち寄った・立ち寄る予定の場所>

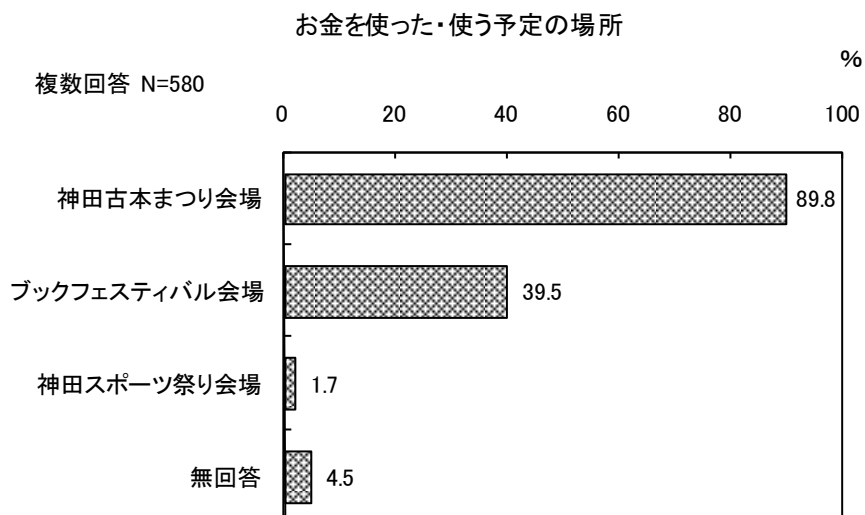
会場内で立ち寄った場所としては、神田古本まつり会場が最も多く、次いでブックフェスティバル会場、神田スポーツ祭り会場の順となっている。

立ち寄った・立ち寄る予定の場所



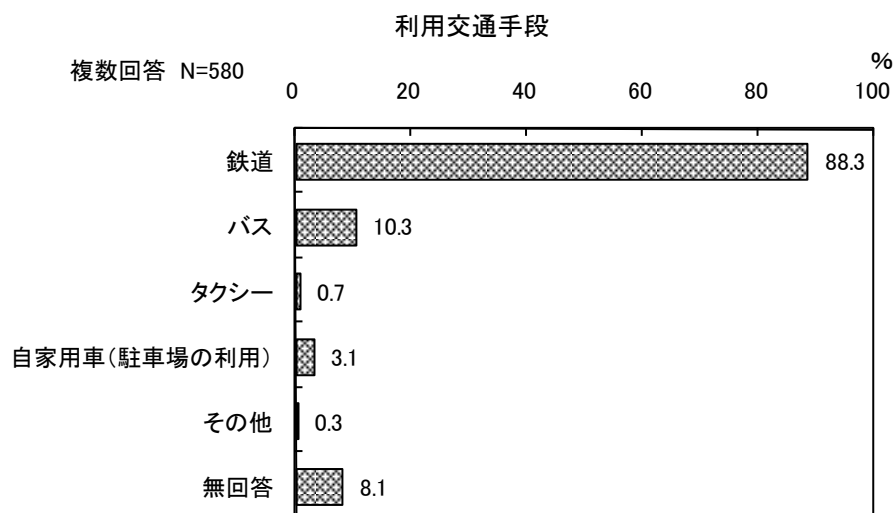
<お金を使った・使う予定の場所>

会場内で立ち寄った場所で、なおかつ買い物等お金を使った場所についても神田古本まつり会場が最も多く、約9割となっている。



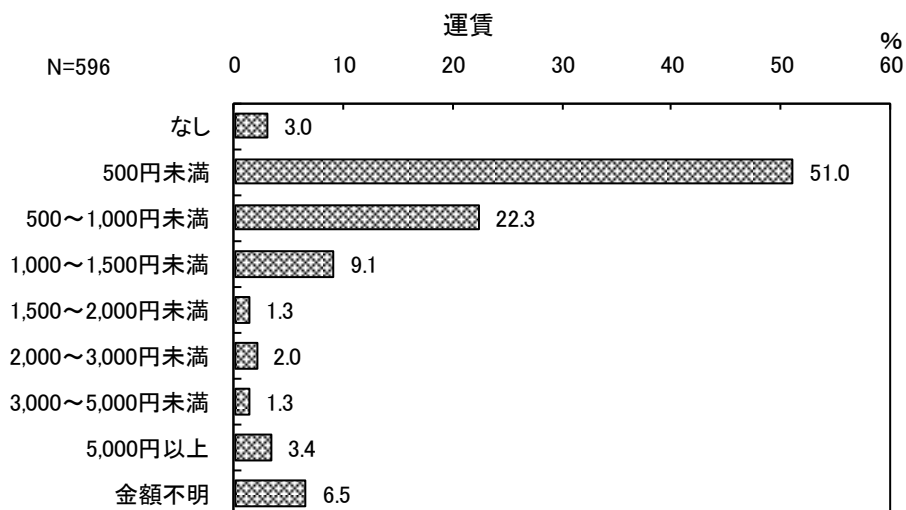
<利用交通手段>

会場までの交通手段については、9割近くが鉄道を利用している。



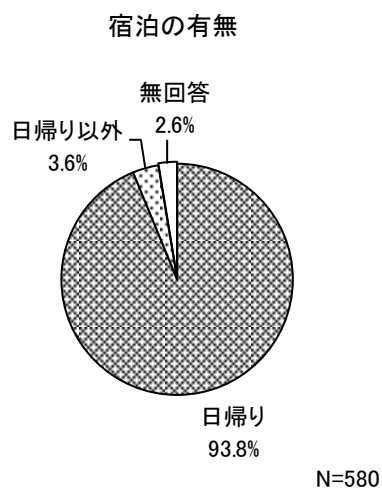
<運賃>

会場までの運賃は、500円未満が51.0%と最も多く、次いで500円以上1,000円未満が22.3%、1,000円以上1,500円未満が9.1%となっている。



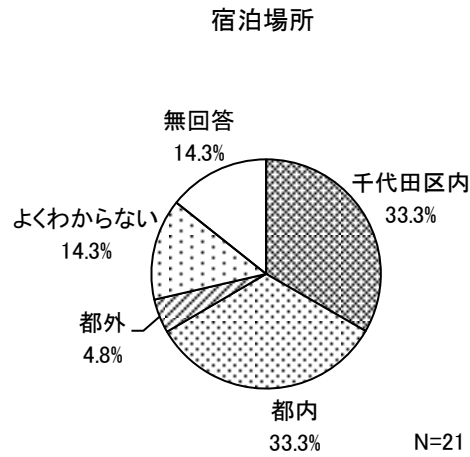
<宿泊の有無>

9割以上の来場者が日帰りであり、宿泊を伴う来場者は3.6%だけとなっている。



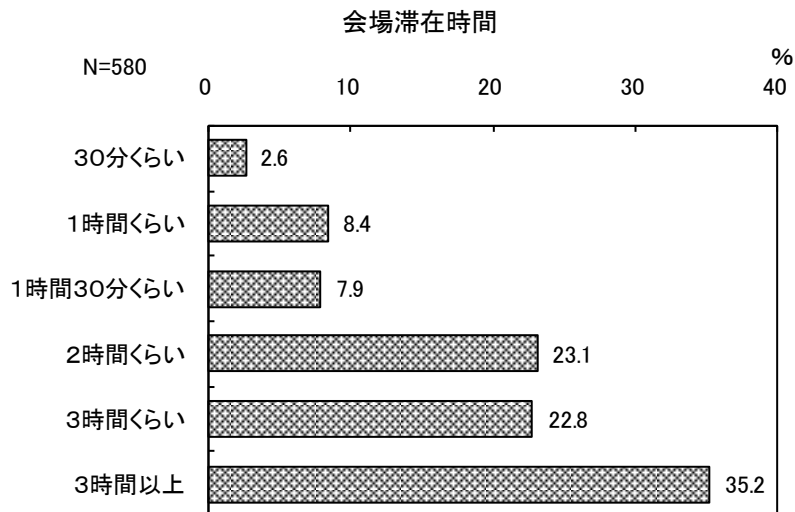
<宿泊場所>

宿泊者の66.6%が都内に宿泊しており、その半数の33.3%千代田区内に宿泊している。



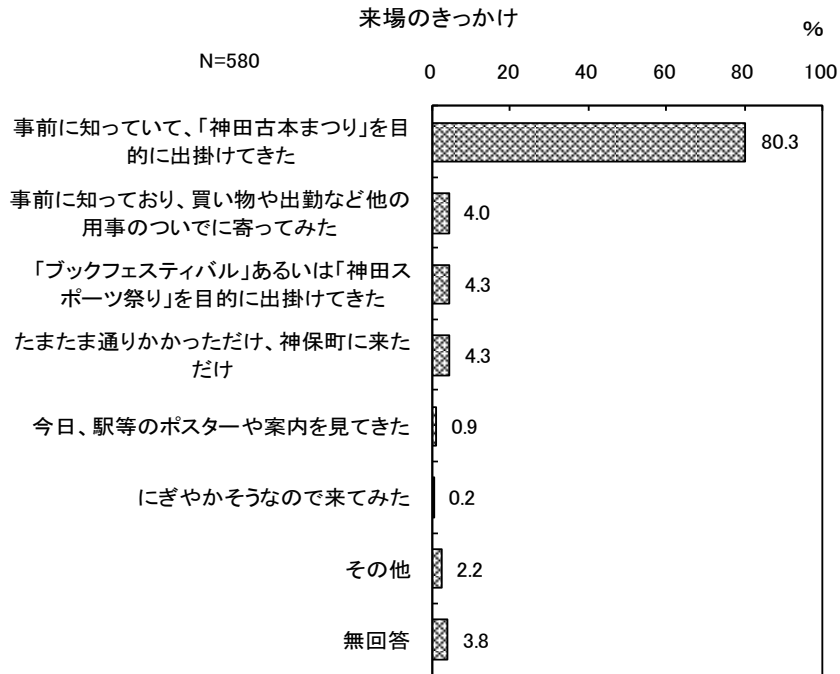
<会場滞在時間>

会場での滞在時間は、3時間以上が約35%で最も多く、次いで2時間から3時間程度が多い。1時間未満の滞在者は約1割となっている。



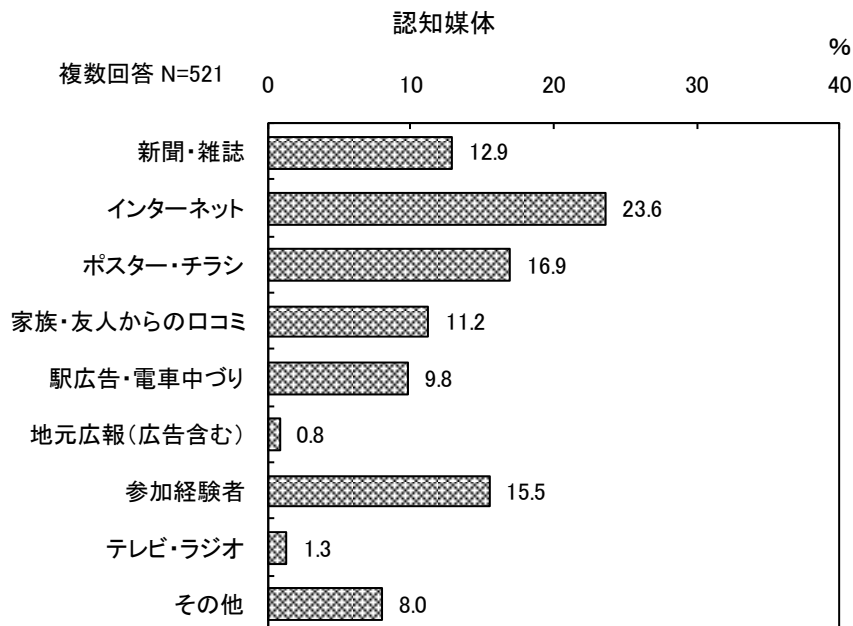
<来場のきっかけ>

来場者の約8割が「神田古本まつり」を主目的に来場している。「ブックフェスティバル」、「神田スポーツ祭り」を主目的に来場している人は4.3%となっている。



<認知媒体>

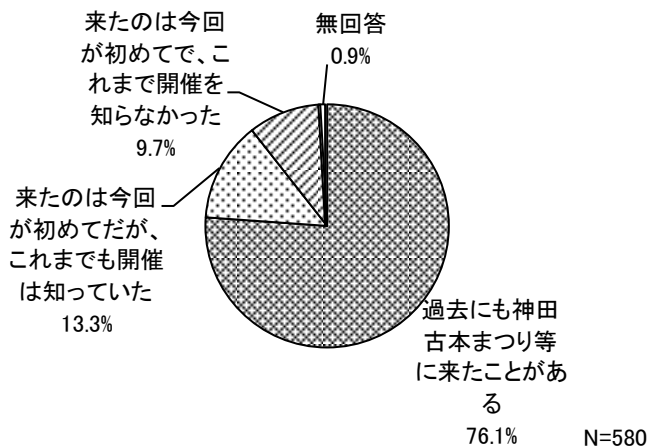
認知媒体としては、インターネットが23.6%と最も高く、次いでポスター・チラシ16.9%、以前の参加経験15.5%の順となっており、地元広報は0.8%となっている。



＜神田古本まつり等への来場＞

過去にも神田古本まつり等に来た経験のある人が 76.1%と多く、今回はじめて神田古本まつり等に来た人は約 2 割となっている。

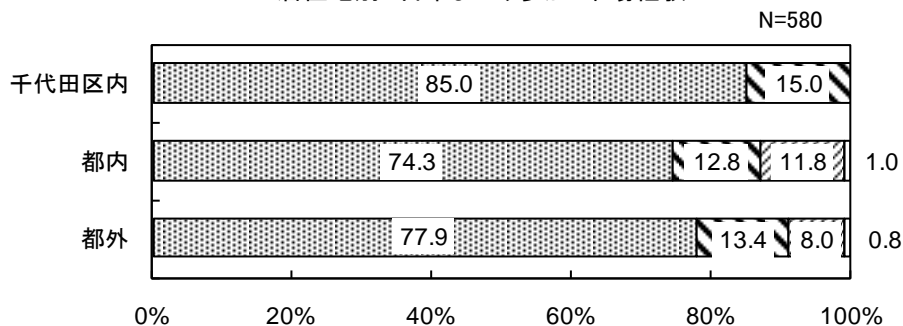
神田古本まつり等への来場



＜居住地別古本まつり参加経験＞

来場者の居住地別にみた過去の参加経験は、千代田区民では以前に参加・来場した人が多く 85.0%であり、参加していない人も全員開催されているのは知っていた。区民以外の人でも 7 割以上が参加経験があり、開催を知らなかったのはその他都内 11.8%、都外 8.0%となっている。

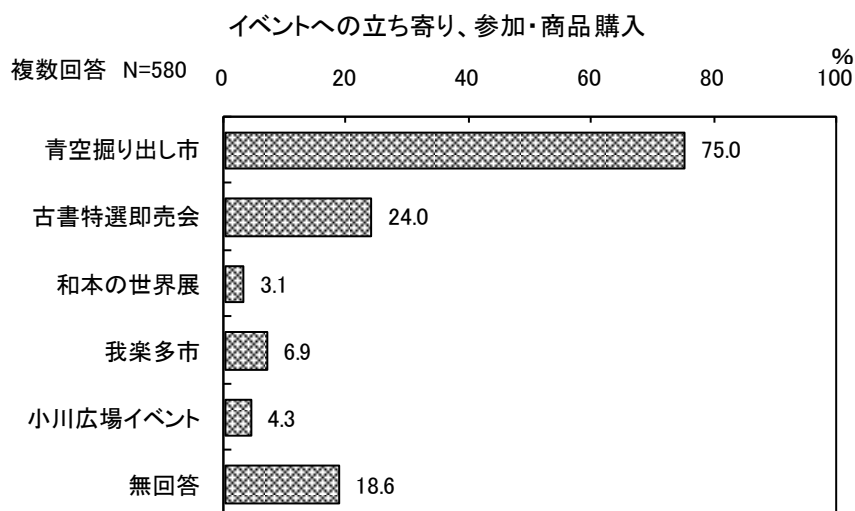
居住地別 古本まつり参加・来場経験



- 過去にも神田古本まつり等に来たことがある
- ▣ 神田古本まつり等に来たのは今回が初めてだが、これまでも開催は知っていた
- 神田古本まつり等に来たのは今回が初めてで、これまで開催を知らなかった
- 無回答

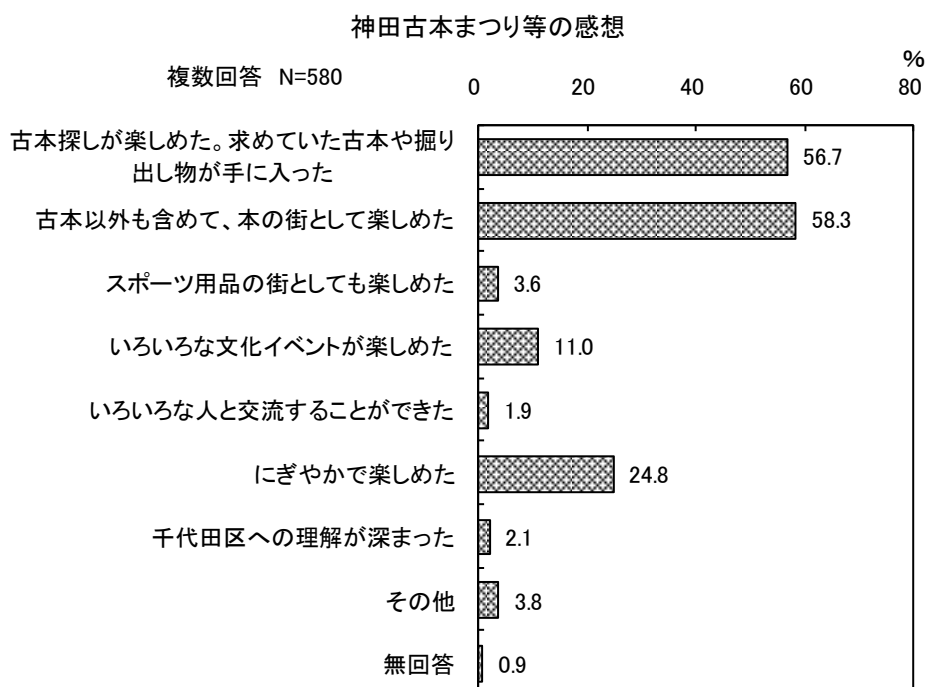
<イベントへの立ち寄り、参加・商品購入>

神田古本まつりにおけるイベント参加、書籍購入等の状況は、青空掘り出し市への立ち寄りが75%で最も多い。



<神田古本まつり等の感想>

神田古本まつり等の感想としては、「古本以外も含めて楽しめた」(58.3%)、「求めていた古本や掘り出し物が手に入った」(56.7%)といった感想が多い。一方で、「いろいろな人と交流することができた」(1.9%)、「千代田区への理解が深まった」(2.1%)という感想は少ない。



<特によかったイベント・企画（自由回答）>

良かった企画・イベント	件数	%
神田古本まつり(すずらん通り・ワゴンセール)	42	19.6%
青空堀だし市	32	15.0%
神保町ブックフェスティバル	21	9.8%
ラテン・ジャズライブ	14	6.5%
蔵書印まつり	12	5.6%
古書チャリティーオークション	11	5.1%
サルサコンサート	10	4.7%
ドラえもんスタンプ(シール)ラリー	9	4.2%
古書特選即売会(古書会館)	8	3.7%
案内所の設置	7	3.3%
絵本販売会	4	1.9%
わくわくこどもランド	3	1.4%
宅配便無料サービス	2	0.9%
サイン会	2	0.9%
紙すき大会	2	0.9%
案内図・パンフレットの配布	2	0.9%
和本の世界展	1	0.5%
小川広場イベント	1	0.5%
バザー	1	0.5%
くじ引き	1	0.5%
ゴミの分別	1	0.5%
ドリンク無料配布	1	0.5%
その他	24	11.2%
特になし	3	1.4%
合計	214	100.0%

<会場以外の立ち寄り場所（自由回答）>

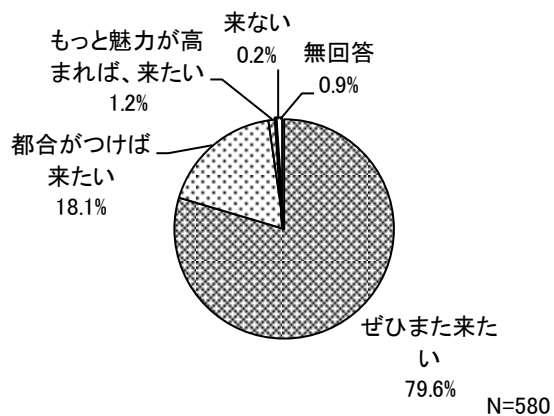
地域区分	件数	%
千代田区	76	13.1%
都内	86	14.8%
都外	6	1.0%
分類不能	39	6.7%
無回答	412	71.0%

地域区分	立ち寄った場所	件数	%	地域区分	立ち寄った場所	件数	%
千代田区	秋葉原	33	15.9%	都内	新宿	9	4.3%
千代田区	学士会館	3	1.4%	都内	新宿京王デパート	3	1.4%
千代田区	神田・神保町・小川町	7	3.4%	都内	新橋イタリア街区	1	0.5%
千代田区	九段	2	1.0%	都内	水道橋	1	0.5%
千代田区	皇居北の丸公園	7	3.4%	都内	巣鴨	3	1.4%
千代田区	専修大学	2	1.0%	都内	竹芝	1	0.5%
千代田区	大丸デパート	2	1.0%	都内	竹橋	1	0.5%
千代田区	千代田区	1	0.5%	都内	竹橋現代美術館	1	0.5%
千代田区	千代田図書館	2	1.0%	都内	築地場外市場	2	1.0%
千代田区	東京	2	1.0%	都内	東京新美術館	1	0.5%
千代田区	ニコライ堂	3	1.4%	都内	東京ドーム	2	1.0%
千代田区	聖橋	1	0.5%	都内	東京都美術館	1	0.5%
千代田区	日比谷公園	1	0.5%	都内	東大病院	1	0.5%
千代田区	丸の内・丸ビル	4	1.9%	都内	都立中央図書館	1	0.5%
千代田区	明治大学	1	0.5%	都内	日暮里	1	0.5%
千代田区	靖国神社	4	1.9%	都内	日本橋	3	1.4%
千代田区	有楽町	1	0.5%	都内	日本橋高島屋	1	0.5%
都内	青山・表参道	3	1.4%	都内	日本橋三越	1	0.5%
都内	浅草・浅草寺	2	1.0%	都内	浜松町	1	0.5%
都内	池袋	1	0.5%	都内	深川	1	0.5%
都内	池袋TOBU百貨店	1	0.5%	都内	明治神宮	1	0.5%
都内	岩波ホール	1	0.5%	都内	湯島聖堂	1	0.5%
都内	印刷博物館	1	0.5%	都外	玉川高島屋	1	0.5%
都内	上野・御徒町	8	3.9%	都外	溝の口	1	0.5%
都内	上野国立美術館	1	0.5%	都外	横浜	2	1.0%
都内	江戸博物館	1	0.5%	都外	横浜高島屋	2	1.0%
都内	お茶の水	5	2.4%	不明	キャッツシアター	1	0.5%
都内	銀座	4	1.9%	不明	書店	7	3.4%
都内	錦糸町	1	0.5%	不明	スポーツ用品店	5	2.4%
都内	後樂園・ラクア	5	2.4%	不明	ディスクユニオン	2	1.0%
都内	国立西洋美術館	4	1.9%	不明	デパート	1	0.5%
都内	渋谷・原宿	7	3.4%	不明	東急ハンズ	2	1.0%
都内	渋谷東急デパート	1	0.5%	不明	マック	1	0.5%
都内	ジブリ美術館	1	0.5%	不明	その他	20	9.7%
都内	白金高輪	1	0.5%	合計		207	59.9%

<次回以降の神田古本まつり等への来場>

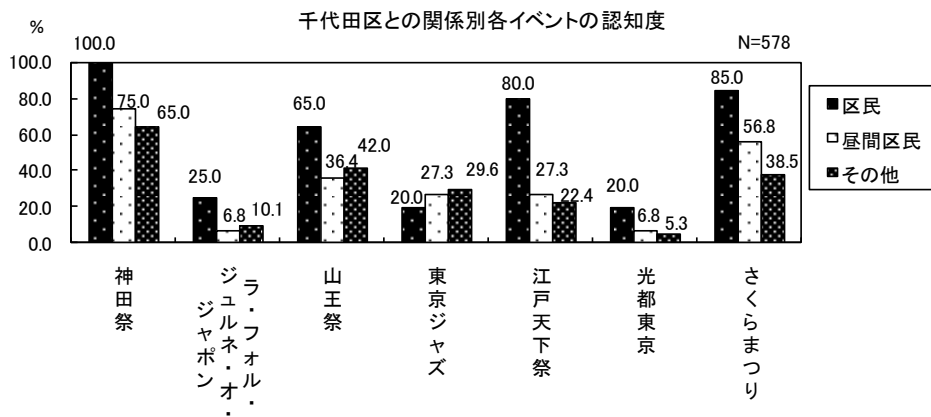
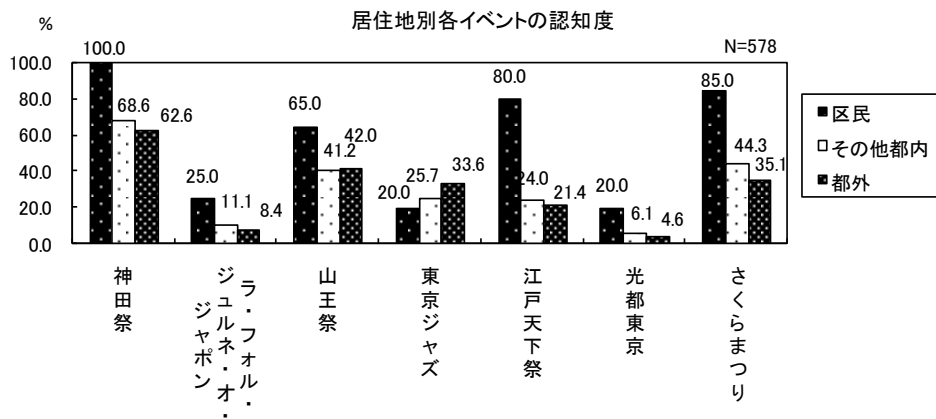
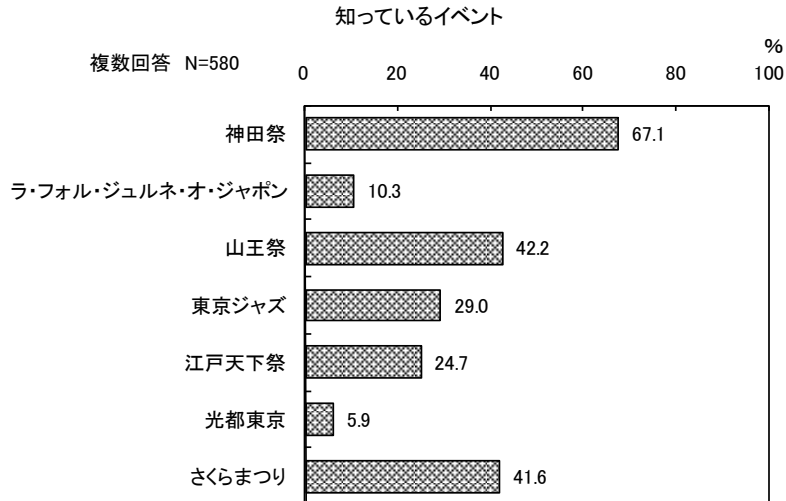
次回以降の神田古本まつり等への来場については、「ぜひまた来たい」、「都合がつけば来たい」という人がほとんどである。

次回以降の神田古本まつり等への来場



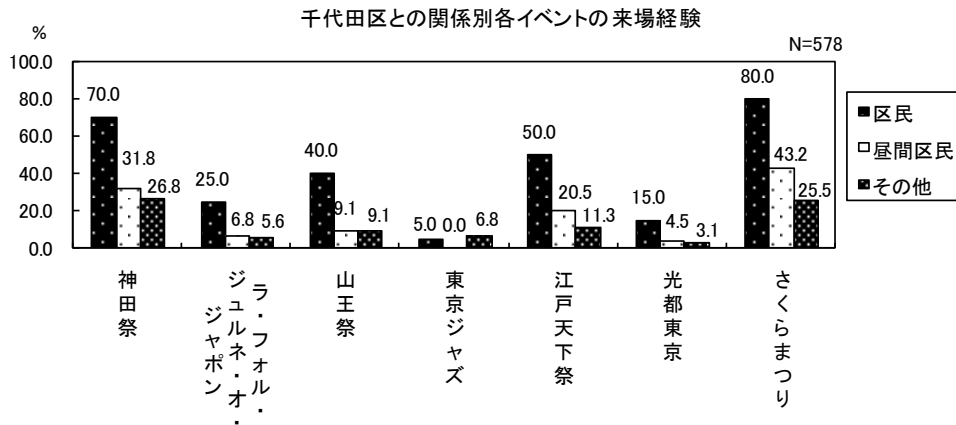
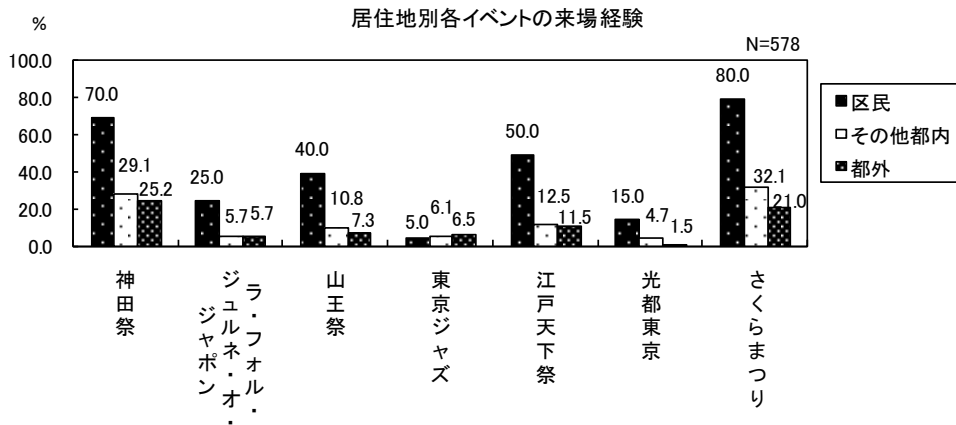
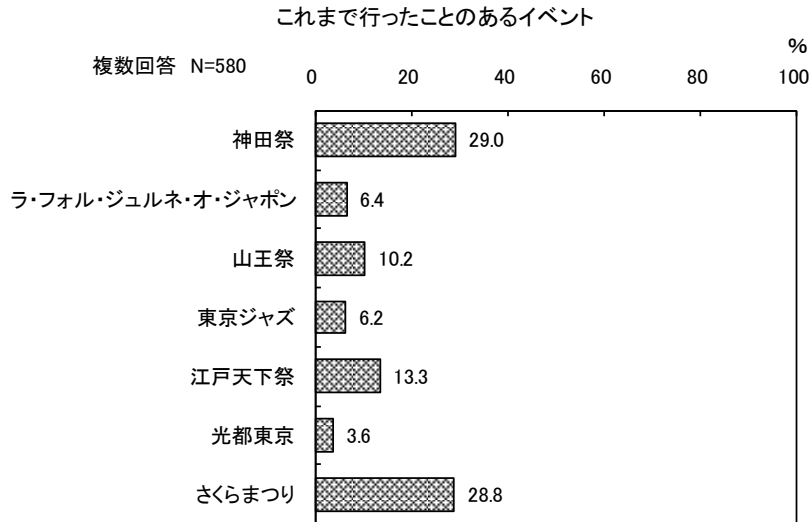
<知っているその他のイベント>

神田古本まつり以外のイベントの認知度については、神田祭が 67.1%と最も高く、次いで山王祭 42.2%、さくらまつり 41.6%の順となっている。江戸天下祭は東京ジャズの 29.0%に次いで 24.7%である。



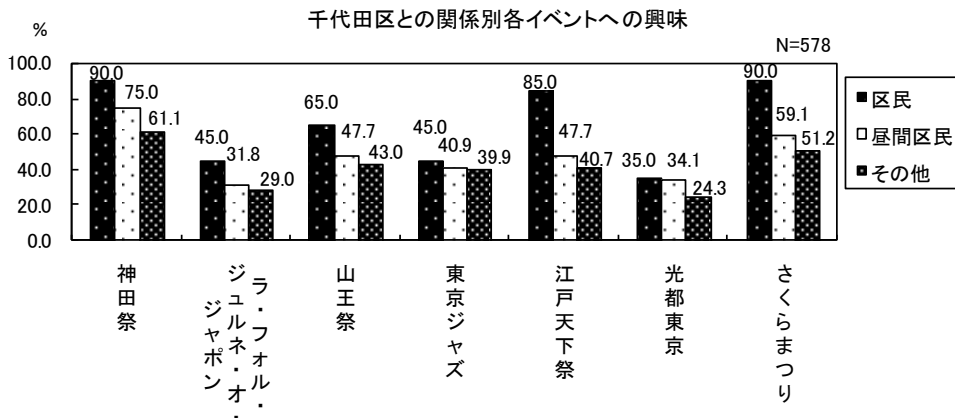
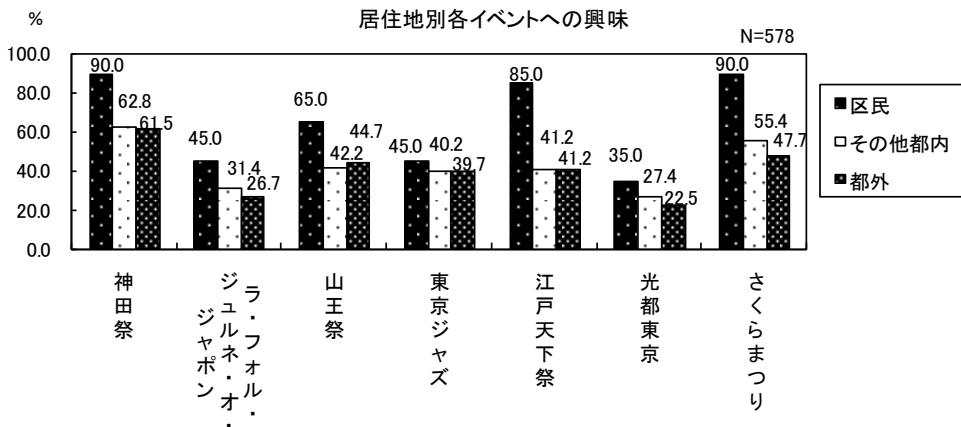
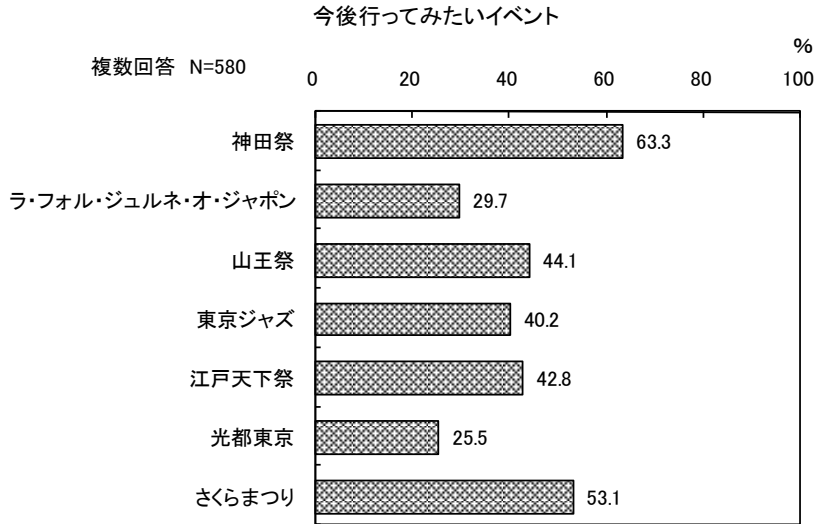
<これまで行ったことのある他のイベント>

神田古本まつり以外にこれまで行ったことのあるイベントとしては、神田祭とさくらまつりが多く、ともに約3割の人が参加経験があり、江戸天下祭は13.3%となっている。



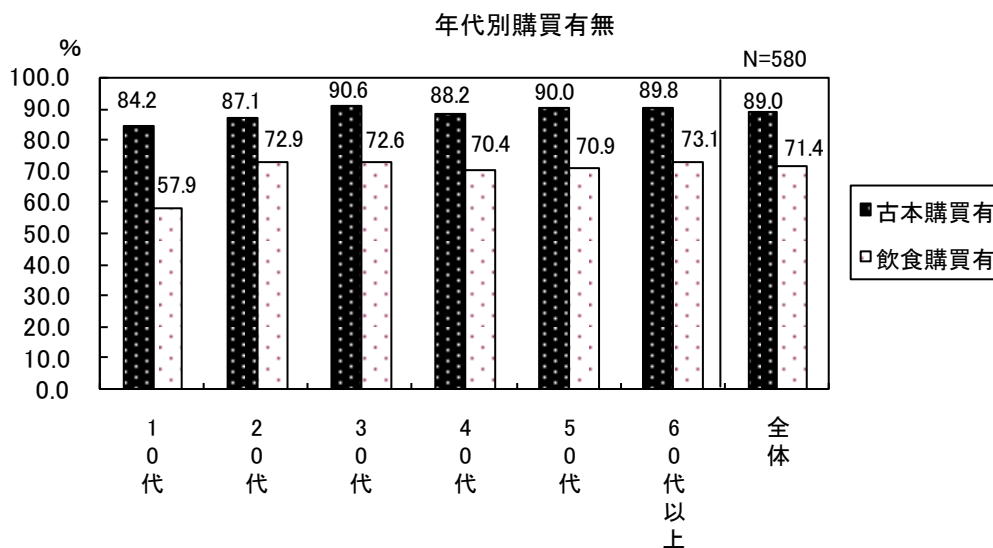
<今後行ってみたい他のイベント>

今後行ってみたい他のイベントについても、神田祭が 63.3%、さくらまつりが 53.1%と人気が高く、江戸天下祭は 42.8%となっている。



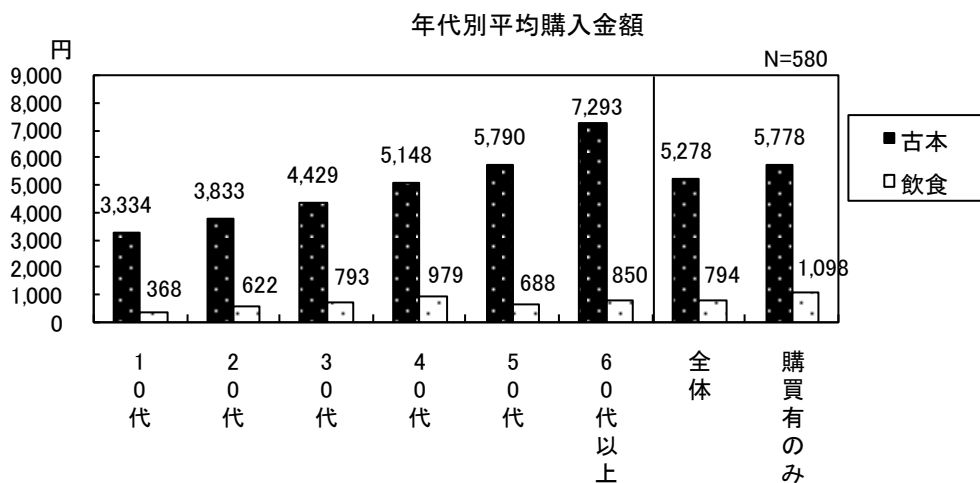
<年代別購買有無>

年代別購買の有無は、古本については10代が最少で84.2%、30代が最高で90.6%、全体で89.0%と訪れた人のほとんどが購入している。飲食についても、10代が57.9%と若干低いものの、その他のすべての年代で70%前半、全体で71.4%と高い数値である。



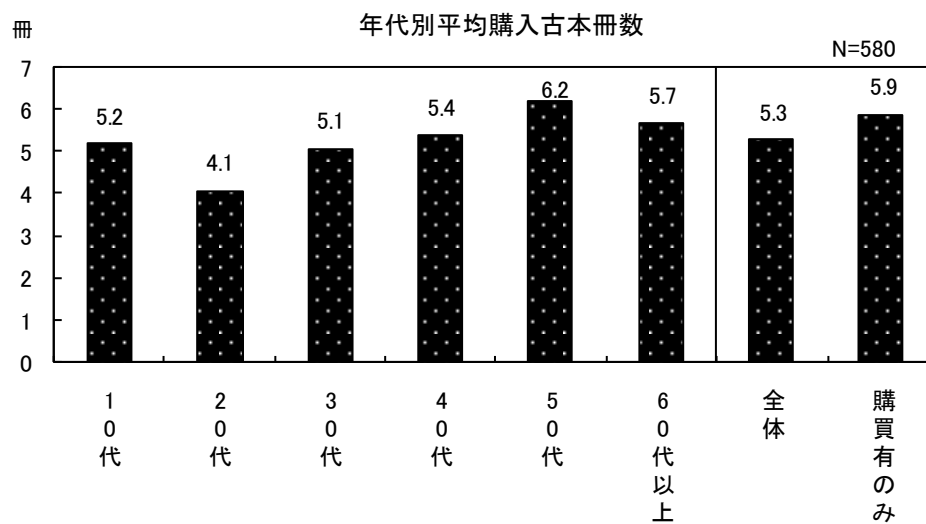
<年代別平均購入金額>

年代別平均購入額は、古本については最少の10代3,334円から年代が上がるごとに増えていき、60代以上で7,293円、全体で5,278円、購買者のみで5,778円である。飲食については、1,000円を超える年代はなく、全体で794円となっている。



<年代別平均購入古本冊数>

年代別古本購入冊数は20代が最少で4.1冊、50代が最多で6.2冊であり、全体で5.3冊、
購買者のみでは5.9冊となっている。



(2) 周辺事業者調査

1) 調査概要

靖国通り北側のグリーンネ・アレー通り商店会（47事業者）、駿河台下グリーンネ・アレー通り会（16事業者）の2つの商店街の協力を得て、会員事業者にアンケートを実施、下記17事業者から回答を得た。

- ①宝くじ店
- ②カフェ店
- ③印章店
- ④定食店
- ⑤インターネットカフェ
- ⑥そば店
- ⑦ラーメン店
- ⑧書店
- ⑨井専門店
- ⑩居酒屋
- ⑪スポーツ用品店
- ⑫浮世絵店
- ⑬靴店
- ⑭映画チケット店
- ⑮洋菓子店
- ⑯写真用品店
- ⑰居酒屋



2) 設問

問1 貴社では、古本まつり期間（10月26日(金)～11月1日(木)）一週間の来店客数および売上高は通常の一週間に比べていかがでしたか。それぞれ1～3のうち当てはまるものに1つ○をつけ、増減があった場合はおおよその割合をご記入ください。

来店客数	1. 増えた →おおよそ何割程度ですか：() 割増えた 2. 変わらない 3. 減った →おおよそ何割程度ですか：() 割減った
売上高	1. 増えた →おおよそ何割程度ですか：() 割増えた 2. 変わらない 3. 減った →おおよそ何割程度ですか：() 割減った

問2 貴社への「神田古本まつり」開催の影響についておたずねします。

(1) 貴社への「神田古本まつり」開催の影響について、1～5のうち当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. プラスの影響、マイナスの影響がトントンであった。 2. プラスの影響の方が大きかった。 3. マイナスの影響の方が大きかった。 4. まったく影響を受けなかった。 5. わからない。
--

(2) マイナスの影響とお考えのものについて具体的にご記入下さい。特になし場合は「なし」とご記入下さい。

--

(3) プラスの影響とお考えのものについて具体的にご記入下さい。特になし場合は「なし」とご記入下さい。

--

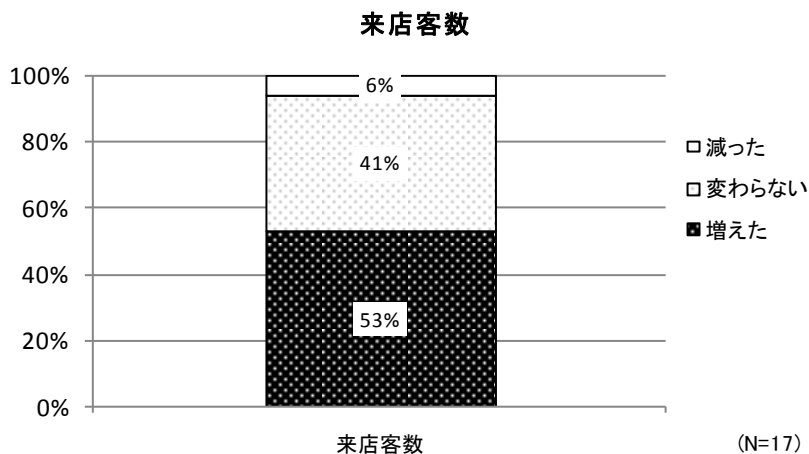
問3 今後、「神田古本まつり」等のイベント開催にあたって、改善すべき点・留意すべき点等ございましたら、ご記入下さい。

--

3) 回答結果

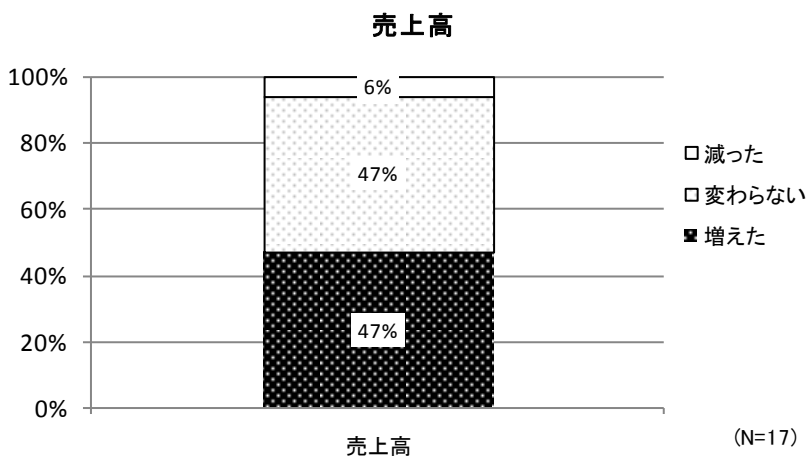
<来店客数>

神田古本まつり期間（10月26日（金）～11月1日（木））一週間の来店客数は通常の一週間に比べて、増えたが53%、変わらないが41%、減ったが6%である。



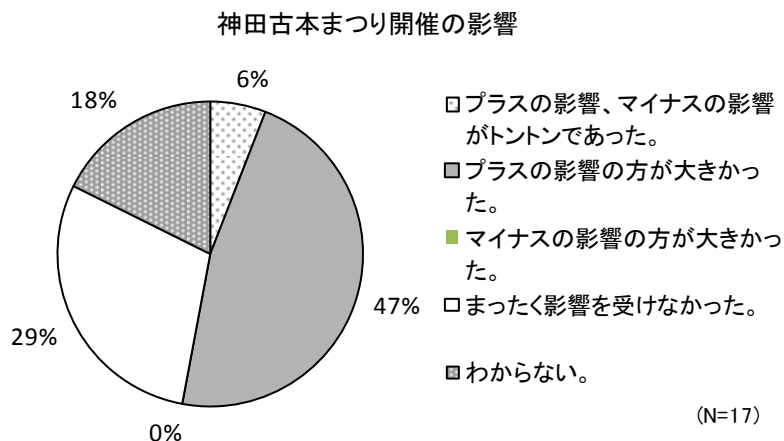
<売上高>

神田古本まつり期間（10月26日（木）～11月1日（金））一週間の売上高は通常の一週間に比べて、増えたが47%、変わらないが47%、減ったが6%である。



<「神田古本まつり」開催の影響>

「神田古本まつり」開催の影響は、「プラスの影響、マイナスの影響がトントンであった」が6%、「プラスの影響の方が大きかった」が47%、「まったく影響を受けなかった」が29%、「わからない」が18%である。「マイナスの影響の方が大きかった」はない。



<マイナスの影響>

・記載なし

<プラスの影響>

飲食店では売上増加があり、物販でも来店客数は増加した。

○物販

- ・単純に人出が増えたのでプラスになった。(靴店)
- ・来店客数の増大。街の活性化。(洋菓子店)
- ・プラスの影響が「大きい」とまではいきませんが、来店客数、売上にならずとも、立ち止まって店頭を見ている方々は多くなったと思う。(印章店)

○飲食

- ・一見客が増加し、特に昼食過ぎから夕食の間(一般的には暇な時間帯)の来店が4~5割増えた。他の時間帯は1割程度、平均すると2割増の来店客数、売上増につながった。(丼専門店)

<今後、「神田古本まつり」等のイベント開催にあたって改善すべき点・留意すべき点等>

さらなるイベントの開催、期間の延長の他、飲食店での案内パンフレットの提供等の提案があった。

○物販

- ・毎年楽しみにして下さるお客様が増えて来ていると思います。期間中街はにぎやかで活気がありました。残念なのは天候でしたが、こればかりは誰の責任でもありません。新聞、TV、報道が毎年取り上げてくれる、強力なインパクトのあるイベント開催が望まれます。(印章店)
- ・書籍関係以外のイベントを共催するのはどうでしょうか(写真用品店)
- ・イベント開催期間を10月末から11月3日文化の日迄にする様今年度も1日で終わりましたが、2,3日とお客様がいらしていた事を思うと、終りを文化の日までとしたら如何かと思います。雨天の日時もございましたので今年は半分くらいは天候のために営業イベントが出来なかった事です。(書店)

- ・(土)(日)をもう1日ずつ日程に組込んで欲しい。(靴店)

○飲食

- ・当店は飲食店ですが、「神田古本まつり」のご案内又はパンフレット等、お客さんへの情報ツールがあれば、店舗に常備し、お客様とのコミュニケーションのきっかけにしたい。地域にも貢献できると考えます。(井専門店)

○サービス

- ・神保町に来る人の数が増えるので、新規の客を獲得するチャンスだと考えています。(インターネットカフェ)

3. 経済波及効果の推計

(1) 原単位の区分

本調査の対象となる3つのイベントの効果評価比較のために、消費原単位を算出する区分は、江戸天下祭に合わせた。

(2) 消費単価の想定

来場者の消費単価は、消費の有無確率と消費額を分けて想定し、極端に大きい消費額の回答者が居るため、中央値を採用することとした。これらについても、江戸天下祭と同様の措置である。

江戸天下祭と比べて、都内・都外居住者ともに、催事会場において消費する割合が高い。

項目別にみた消費の有無確率の想定

居住地	大項目	中項目	各項目の利用割合(%)	
			都内	都外
都内居住者	会場内 飲食雑費	① 飲食	84%	
		② 買い物	96%	
	会場以外 飲食雑費	① 飲食	44%	38%
		② 買い物	44%	38%
		③ その他	39%	37%
	交通費	① 鉄道	82%	0%
		② バス	6%	0%
		③ タクシー	1%	0%
		④ 自家用車	3%	0%
		⑤ その他	0%	0%
宿泊費		0%	0%	
都外居住者	会場内 飲食雑費	① 飲食	91%	
		② 買い物	99%	
	会場以外 飲食雑費	① 飲食	67%	66%
		② 買い物	67%	64%
		③ その他	64%	63%
	交通費	① 鉄道	97%	97%
		② バス	15%	15%
		③ タクシー	1%	1%
		④ 自家用車	3%	0%
		⑤ その他	1%	1%
宿泊費		3%	0%	

項目別にみた消費単価の想定

居住地	大項目	中項目	消費支出の原単位	
			10・20代 (円/人)	30代以上 (円/人)
都内居住者	会場内 飲食雑費	①飲食	700	1,000
		②買い物	2,300	3,500
	会場以外 飲食雑費	①飲食	800	1,000
		②買い物	2,100	2,000
		③その他	1,500	1,350
	交通費	①鉄道	250	300
②バス		210	210	
③タクシー		0	1,240	
④自家用車		500	1,200	
⑤その他		0	0	
宿泊費		0	0	
都外居住者	会場内 飲食雑費	①飲食	1,000	1,000
		②買い物	4,250	5,000
	会場以外 飲食雑費	①飲食	1,000	1,200
		②買い物	3,250	3,500
		③その他	1,000	1,500
	交通費	①鉄道	600	610
②バス		270	260	
③タクシー		0	1,300	
④自家用車		0	1,000	
⑤その他		0	20,000	
宿泊費		7,500	9,500	

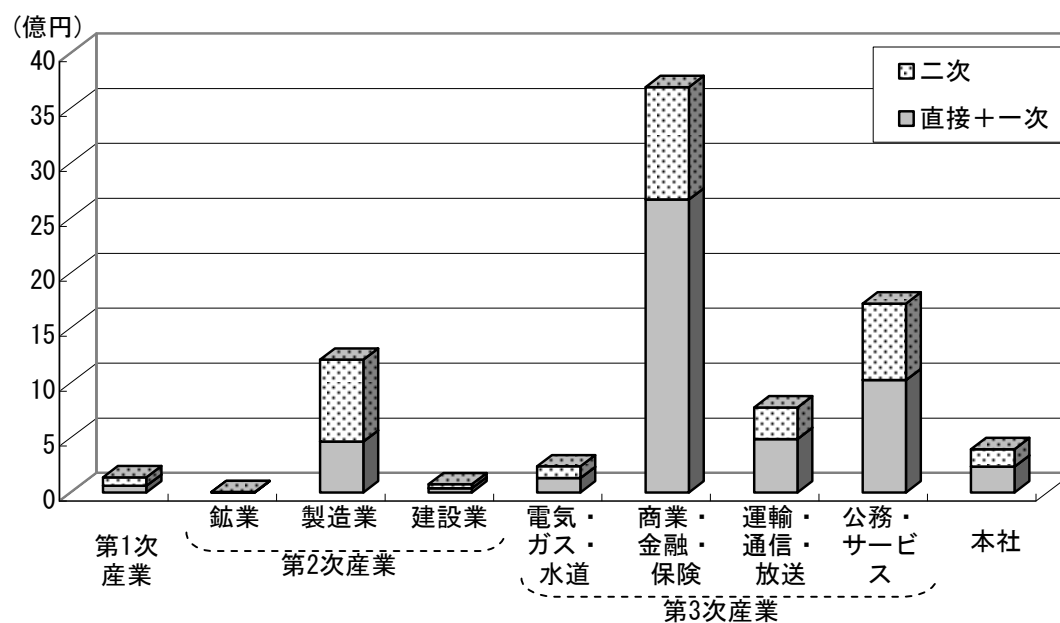
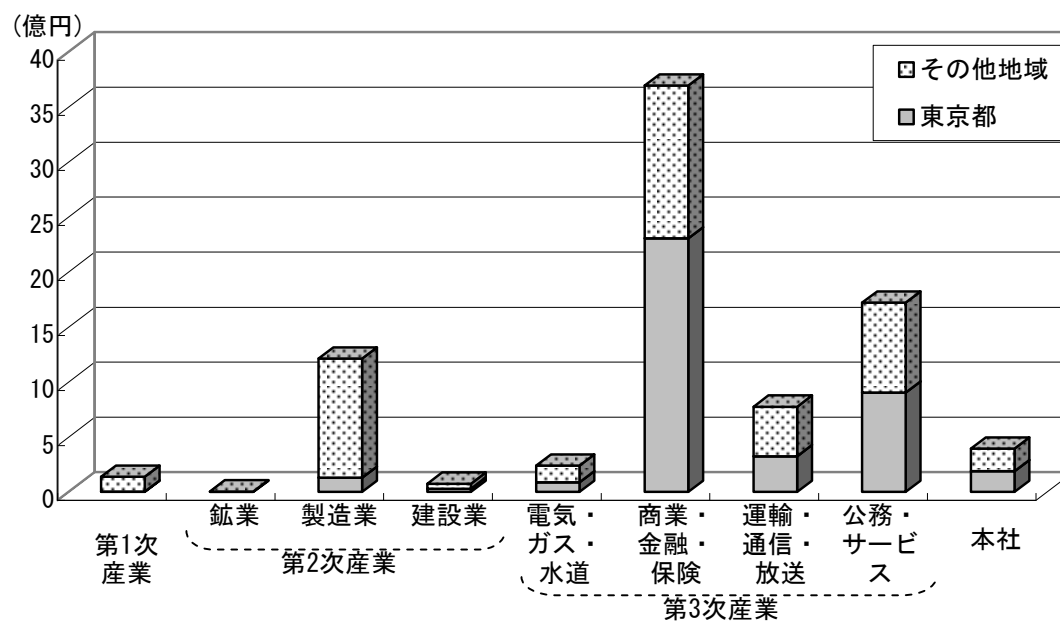
この結果、直接効果約 31.5 億円、うち会場における消費額約 14.3 億円となった。来場者数 300,000 人で延べ平均を算出すると、10,500 円（うち会場消費単価 4,750 円）となる。古本まつりについては、直接効果は来場者消費に関するものだけで、投資額は算定しない。

消費に関する直接効果額

大項目	中項目	支出額(億円)		
		都内で	都外で	計
会場内 飲食雑費	①飲食	2.54		2.54
	②買い物	11.73		11.73
	計	14.27		14.27
会場以外 飲食雑費	①飲食	1.77	1.71	3.47
	②買い物	4.60	2.80	7.40
	③その他	2.09	1.30	3.39
	計	8.46	5.80	14.26
交通費	①鉄道	1.19	0.80	1.99
	②バス	0.07	0.05	0.13
	③タクシー	0.02	0.01	0.03
	④自家用車	0.08	0.00	0.08
	⑤その他	0.17	0.17	0.34
	計	1.54	1.03	2.57
宿泊費		0.33	0.05	0.38
総計		24.60	6.88	31.48

(3) 経済波及効果の計算

算定した消費、投資額を、産業連関モデルの最終需要増加としてインプットし、均衡産出高つまり経済波及効果を計算した。



総括表

	全波及効果（直接効果＋一次波及効果＋二次波及効果） 総括表		
	全国	東京都	その他地域
直接効果＋一次波及効果	51.0 (100%)	34.0 (67%)	17.0 (33%)
2次波及効果	31.4 (100%)	5.6 (18%)	25.7 (82%)
生産波及効果(億円)	82.4 (100%)	39.7 (48%)	42.8 (52%)
生産誘発係数 (直接効果)	2.62 31.5		
雇用者所得誘発額(億円)	26.0 (100%)	14.6 (56%)	11.4 (44%)
営業余剰誘発額(億円)	7.7 (100%)	3.0 (39%)	4.7 (61%)
雇用誘発数(人)	644 (100%)	296 (46%)	348 (54%)

生産波及効果

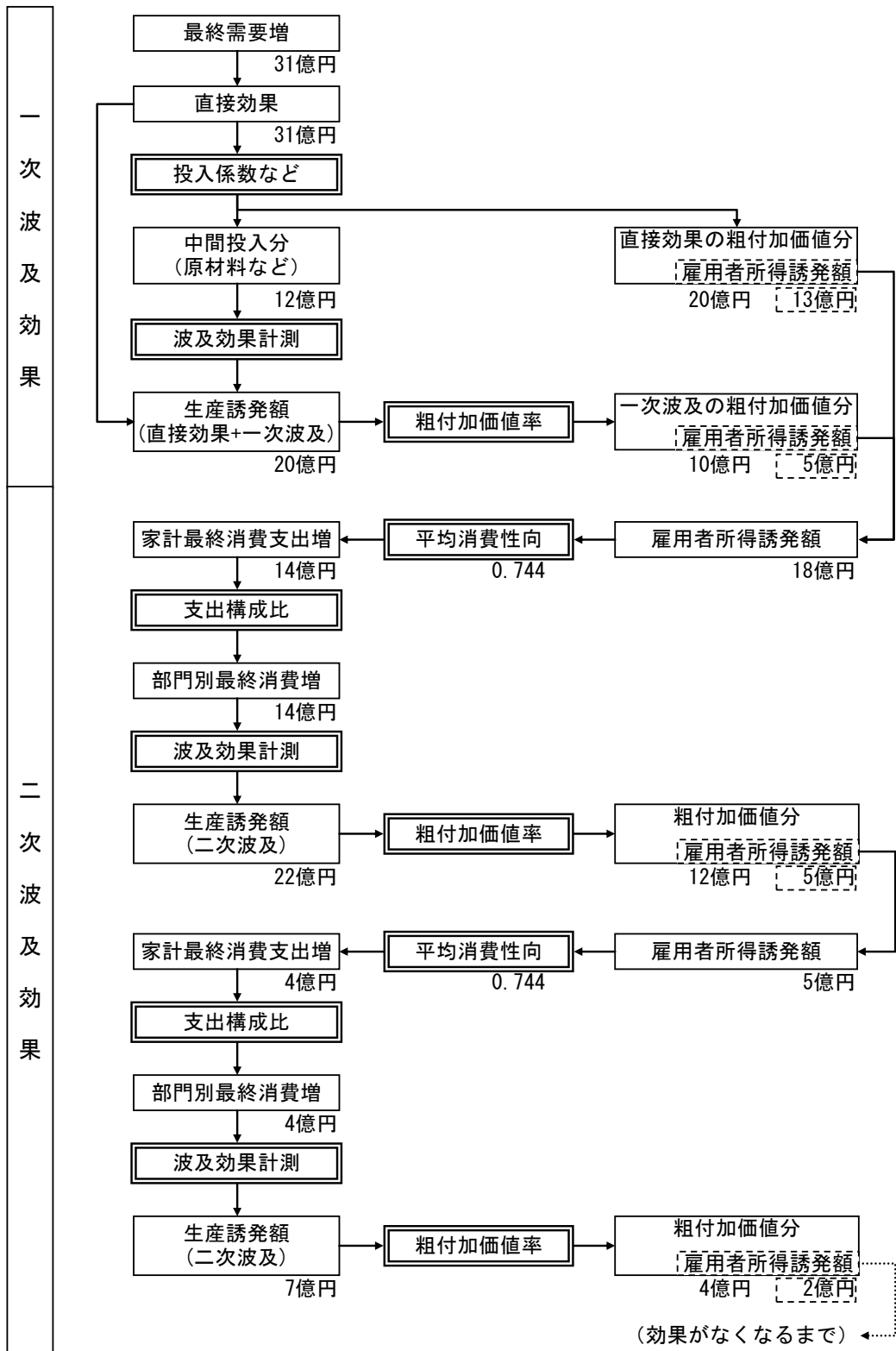
部門	生産波及効果（全波及効果）：億円		
	全国	東京都	その他地域
第1次産業	1.4 (1.7%)	0.0 (0.1%)	1.4 (3.2%)
第2次産業	12.9 (15.6%)	1.6 (4.0%)	11.3 (26.4%)
鉱業	0.0 (0.1%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.1%)
製造業	12.1 (14.7%)	1.3 (3.3%)	10.8 (25.3%)
建設業	0.7 (0.9%)	0.3 (0.7%)	0.4 (1.0%)
第3次産業	64.2 (77.9%)	36.2 (91.2%)	28.0 (65.6%)
電気・ガス・水道	2.4 (2.9%)	0.9 (2.2%)	1.5 (3.5%)
商業・金融・保険	36.9 (44.8%)	23.0 (58.1%)	13.9 (32.4%)
運輸・通信・放送	7.7 (9.4%)	3.2 (8.2%)	4.5 (10.5%)
公務・サービス	17.2 (20.9%)	9.0 (22.8%)	8.2 (19.1%)
本 社	3.9 (4.8%)	1.9 (4.7%)	2.1 (4.8%)
合 計	82.4 (100.0%)	39.7 (100.0%)	42.8 (100.0%)

粗付加価値誘発効果

部門	粗付加価値誘発効果（全波及効果）：億円		
	全国	東京都	その他地域
雇用者所得誘発額	26.0 (56.0%)	14.6 (59.8%)	11.4 (51.8%)
営業余剰誘発額	7.7 (16.6%)	3.0 (12.5%)	4.7 (21.2%)
その他誘発額	12.7 (27.3%)	6.7 (27.7%)	6.0 (27.0%)
粗付加価値誘発額	46.4 (100.0%)	24.3 (100.0%)	22.1 (100.0%)

雇用誘発効果

部門	雇用誘発効果（全波及効果）：人		
	全国	東京都	その他地域
第1次産業	54 (8.4%)	1 (0.3%)	53 (15.2%)
第2次産業	43 (6.7%)	6 (2.0%)	37 (10.6%)
鉱業	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
製造業	37 (5.7%)	4 (1.4%)	33 (9.5%)
建設業	6 (0.9%)	2 (0.7%)	4 (1.1%)
第3次産業	528 (82.0%)	283 (95.6%)	245 (70.4%)
電気・ガス・水道	3 (0.5%)	1 (0.3%)	2 (0.6%)
商業・金融・保険	345 (53.6%)	213 (72.0%)	132 (37.9%)
運輸・通信・放送	40 (6.2%)	15 (5.1%)	25 (7.2%)
公務・サービス	140 (21.7%)	54 (18.2%)	86 (24.7%)
本 社	19 (3.0%)	6 (2.0%)	13 (3.7%)
合 計	644 (100.0%)	296 (100.0%)	348 (100.0%)



IV. 千代田のさくらまつり

1. 千代田のさくらまつりの概要

○事業の背景、目的等

千代田のさくらまつりは、「区の花さくら」を区の重要な観光資源として位置づけ、区内の他の観光資源との連動や同時期に開催されるイベントと連携して、さくらの開花時期にあわせて千鳥ヶ淵緑道を中心に、靖国神社、神田神社両境内で開催される。昭和34年に始められた。

○事業の実施概要

<実施期間>

- ・平成20年3月28日（金）～4月6日（日）

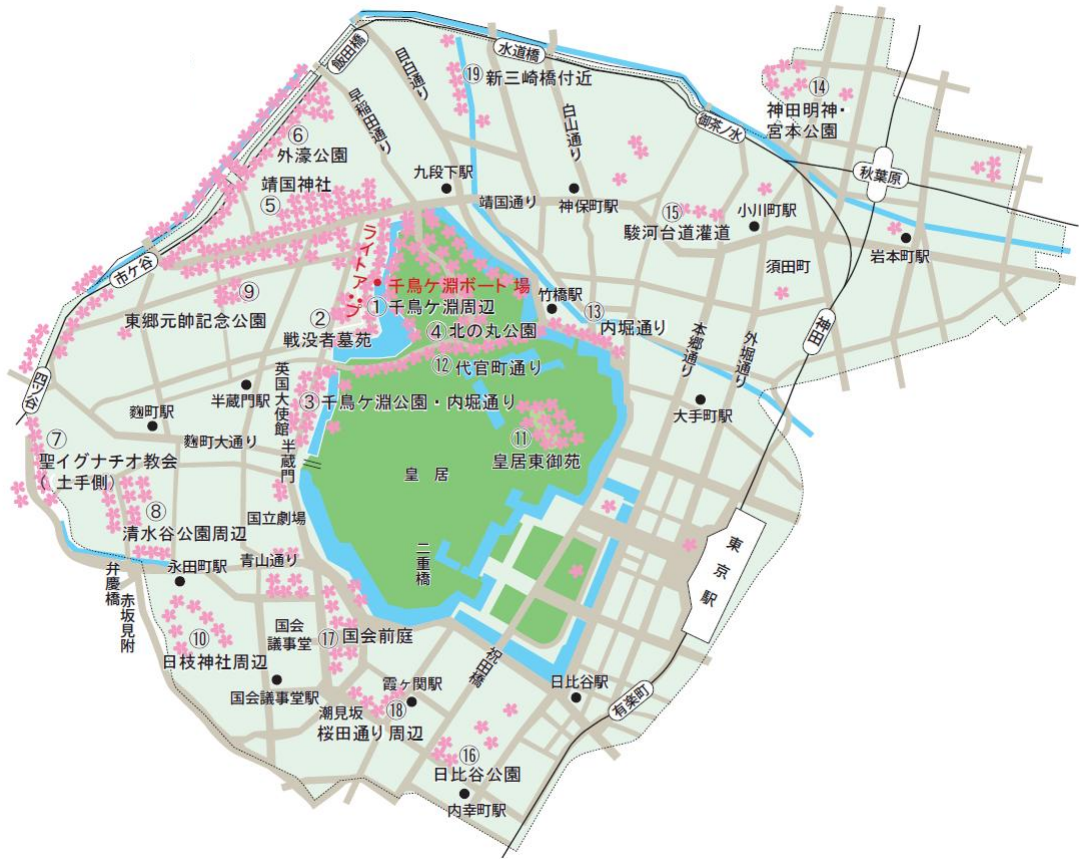
<実施主体>

- ・主催：千代田区、千代田区観光協会
- ・協賛：千代田区商店街連合会、東京商工会議所千代田支部、千代田区商工業連合会、
（財）まちみらい千代田

<主なイベント>

イベント名	主催者
さくらまつり式典	千代田区観光協会
千鳥ヶ淵緑道ライトアップ	千代田区観光協会
さくら美守り隊	千代田区観光協会
観光ボランティアガイド	千代田区観光協会
さくらまつりテレホンガイド	千代田区観光協会
さくらまつり関連グッズの販売	千代田区観光協会
観桜会	千代田区、千代田区観光協会
千代田のさくらと源氏物語ナイト	千代田区、千代田区観光協会 (協賛:東京商工会議所千代田支部)
神保町源氏物語	千代田区、千代田区観光協会、神田古書店連盟
千鳥ヶ淵ポート場の夜間営業	千代田区
わたしの源氏物語	本の町・神保町源氏物語千年記念事業実施委員会
さくらフェスティバル	千代田区商店街連合会、千代田区観光協会
無料シャトルバスの運行	千代田観光まちづくり実行委員会
さくら再生募金活動	(財)まちみらい千代田
さくらライブカメラ	(財)まちみらい千代田
千代田さくらまつり公式ガイドMAP	千代田観光まちづくり実行委員会

<会場>



2. アンケート調査結果

(1) 来場者調査

1) 調査概要

①調査日時等

- ・平成20年3月29日(土)(晴れ)、3月30日(日)(曇りのち雨)
- ・調査地点は、九段生涯学習館前の1箇所

②回収状況

○目標票数

【1日間あたり】

	11～13時				13～15時				15～17時				計			
	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計
男性	10	23	12	45	15	29	16	60	10	23	12	45	35	75	40	150
女性	10	23	12	45	15	29	16	60	10	23	12	45	35	75	40	150
計	20	46	24	90	30	58	32	120	20	46	24	90	70	150	80	300

【2日間合計】

	11～13時				13～15時				15～17時				計			
	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計
男性	20	46	24	90	30	58	32	120	20	46	24	90	70	150	80	300
女性	20	46	24	90	30	58	32	120	20	46	24	90	70	150	80	300
計	40	92	48	180	60	116	64	240	40	92	48	180	140	300	160	600

○回収票数

男性については、初日の回収票数が全体的に目標を下回ったため、2日間合計においても10代・20代及び60代以上で目標数に届かず、男性全体としても若干目標を下回った。しかしながら、女性についてはほぼすべての時間帯及び年代で目標を上回ったため、全体の回収実績としては目標水準に達し、若干女性が多いが、年代別もバランスの取れた結果となった。

【3月29日(土)】

	11～13時				13～15時				15～17時				計			
	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計
男性	6	22	11	39	6	20	11	37	7	34	8	49	19	76	30	125
女性	10	24	9	43	8	33	23	64	18	39	11	68	36	96	43	175
計	16	46	20	82	14	53	34	101	25	73	19	117	55	172	73	300

【3月30日(日)】

	11～13時				13～15時				15～17時				計			
	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計
男性	11	29	13	53	17	37	10	64	14	18	5	37	42	84	28	154
女性	15	18	14	47	21	38	18	77	11	24	12	47	47	80	44	171
計	26	47	27	100	38	75	28	141	25	42	17	84	89	164	72	325

【2日間合計】

	11～13時				13～15時				15～17時				計			
	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計	10、20代	30～50代	60代以上	計
男性	17	51	24	92	23	57	21	101	21	52	13	86	61	160	58	279
女性	25	42	23	90	29	71	41	141	29	63	23	115	83	176	87	346
計	42	93	47	182	52	128	62	242	50	115	36	201	144	336	145	625

2) 設問

Q1 あなた自身のことについておうかがいします。

①性別	1. 男性 2. 女性
②年齢	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 4. 60代以上
③人数	1. 1人で来た 2. 2人で来た 3. それ以上()人で来た
④同伴者	1. 家族 2. 仕事仲間・同僚 3. 友人・知人 4. その他()
⑤居住地	1. 千代田区内 2. 都内(千代田区外) 3. 都外
⑥通勤・通学地	1. 千代田区内 2. 都内(千代田区外) 3. 都外

Q2 今日の、千鳥ヶ淵および靖国神社近辺(下の地図の囲み内)での飲食や買い物等の支出金額についておうかがいします。それぞれの項目について購入した又は購入予定の金額を記入してください。貴方1人の額でお答えください(グループの合計額ではありませんのでお気をつけください)。購入していない場合は「0円」とご記入ください。

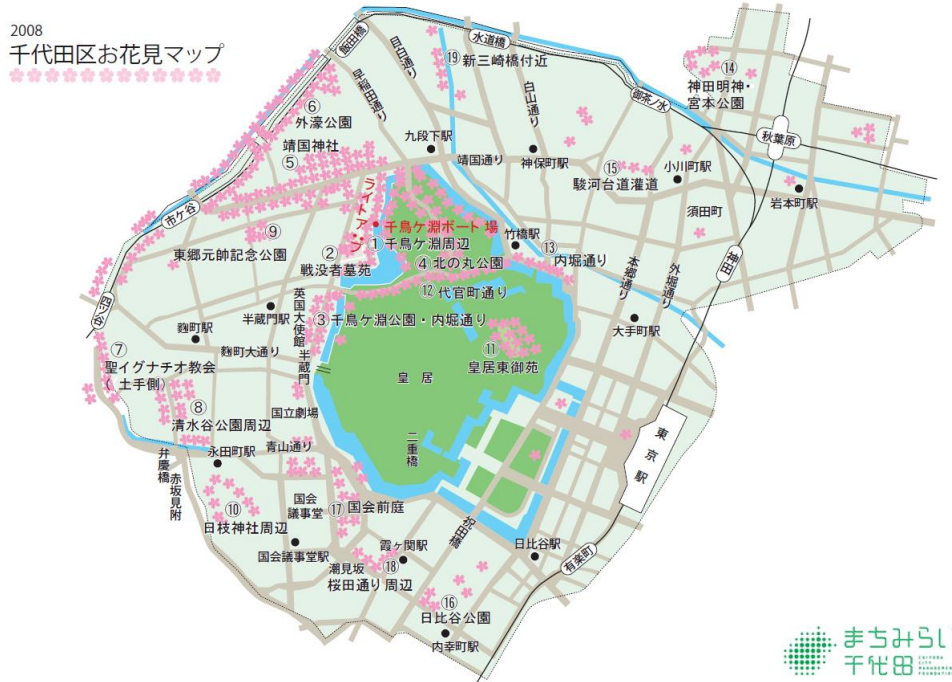
支出項目	購入金額
①飲食(出店や付近の店での飲食・自販機の缶ジュースなど)	円
②買い物(自分用およびお土産品の両方を含む)	円
③その他(入場料、入館料、利用料など)	円

Q3 本日の「千鳥ヶ淵および靖国神社近辺」以外の場所での支出金額についておうかがいします。

①飲食、②買い物、③その他の各項目について、千代田区内、その他東京都内、東京都外の3つの場所に分けて、購入した又は購入予定の金額を記入してください。貴方1人の額でお答えください(グループの合計額ではありませんのでお気をつけください)。購入予定がない場合は「0円」とご記入ください。なお、千代田区内の範囲は下の地図の全域で、神保町・御茶ノ水・秋葉原・丸の内有楽町などです。

支出項目	購入場所	購入金額
① 飲食 (食べ物・飲み物・ファーストフード・自販機の缶ジュースなど)	1)千代田区内	円
	2)その他東京都内	円
	3)東京都外	円
	合計(場所の区別ができない場合は、こちらにご記入ください)	円
② 買い物 (自分用及びお土産品の両方を含む)	1)千代田区内	円
	2)その他東京都内	円
	3)東京都外	円
	合計(場所の区別ができない場合は、こちらにご記入ください)	円
③ その他 (入場料、入館料、利用料など)	1)千代田区内	円
	2)その他東京都内	円
	3)東京都外	円
	合計(場所の区別ができない場合は、こちらにご記入ください)	円

Q4-1 下は、千代田区内のお花見スポット(①~⑱)です。今日、立ち寄った(又は立ち寄る予定の)の箇所の番号に全て○をつけてください。



Q4-2 今日はお花見でどのくらいの時間をお過ごしになりましたか。あるいはお越しの予定ですか。あてはまるものに1つ○をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 30分くらい | 2. 1時間くらい |
| 3. 1時間30分くらい | 4. 2時間くらい |
| 5. 3時間くらい | 6. 3時間以上 |

Q4-3 今日、①~⑱の場所の他に、立ち寄った(あるいは立ち寄る予定の)場所(地名・施設名)があれば、挙げてください。なお、Q3での回答も踏まえて、千代田区外・東京都外の立ち寄り先も含めてお答えください。

Q5 ご自宅からここまではどのような交通機関で来られましたか。それぞれの交通機関について、利用した場合は、a)利用の有無の「1. 利用した」に○をつけ、b)運賃を記入してください。徒歩や自転車の場合はすべての設問について「2. 利用しない」に○をつけてください。b)運賃については、貴方1人の片道分の額でお答えください(グループの合計額ではありませんのでお気をつけください)。

交通機関	利用の有無/運賃・料金	
①鉄道	a)利用の有無 b)運賃	1. 利用した () 2. 利用しない (円)
②バス	a)利用の有無 b)運賃	1. 利用した () 2. 利用しない (円)
③タクシー	a)利用の有無 b)運賃	1. 利用した () 2. 利用しない (円)
④自家用車	a)駐車場の利用の有無 b)料金	1. 利用した () 2. 利用しない (円)
⑤その他 例:航空機 ()	a)利用の有無 b)料金	1. 利用した () 2. 利用しない (円)

Q5-1. 無料シャトルバスをご利用になりましたか。あるいは今日これから利用の予定はありますか。

- | | |
|---------------|----------|
| 1. 利用した(予定含む) | 2. 利用しない |
|---------------|----------|



千代田区等では『千代田のさくらまつり』として、下記のようなイベントを開催してきています。

- [千代田区役所・区民ホール]千代田のさくらと源氏物語ナイト(3月29日)
- [靖国神社] 植木市(3月28日~4月6日)
- [靖国神社] さくらフェスティバル(3月28日~3月30日)
- [千鳥ヶ淵緑道] 桜花のライトアップ(3月28日~4月6日)
- [九段坂公園] 史跡案内ガイド(3月28日~4月6日)
- [神田明神] 物産の販売など(3月29日~3月30日)

Q6 上記イベントなど『千代田のさくらまつり』が開催されることについて、ご存知でしたか。あてはまる1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|--------|
| 1. 事前に知っていて、それを目的に出掛けてきた。 | →Q6-1へ |
| 2. 事前に知っていて、買い物や出勤など他の用事ついでに寄ってみた | →Q7へ |
| 3. 事前に知らなかったが、お花見を目的に出掛けてきた | } →Q8へ |
| 4. たまたま通りかかっただけ、この辺りに来ただけ | |
| 5. 今日、駅等のポスターや案内を見てきてみた | |
| 6. にぎやかそうなので来てみた | |
| 7. その他() | |

Q6-1 今回、『千代田のさくらまつり』に起こしになるために、宿泊されましたか。宿泊された場合、宿泊場所に○をつけて、料金をご記入ください。出張等のついでに立ち寄った場合は除きます。

滞在期間	宿泊場所	宿泊料金
1. 日帰り (宿泊していない)	1. 千代田区(有楽町・丸の内・神田など)	円
	2. 都内(銀座・お台場・赤坂など区外)	円
2. 日帰り以外 (泊)	3. 都外(横浜・浦安など)	円
	4. よくわからない ()	円

Q7 どのように事前にお知りになりましたか。具体的にご記入ください。

Q8 これまで『千代田のさくらまつり』に来られたことはありましたか。あてはまる 1 つに○をつけてください。

1. 過去にも『千代田のさくらまつり』に来たことがある

2. 過去に来たことはないが、開催されていることは知っていた

3. 過去に来たことはなく、これまで開催されていることを知らなかった

Q9 下記のイベントに立ち寄ったり、参加・商品購入されましたか。あるいは、これから予定はありますか。あてはまる全てに○をつけてください。

1. [千代田区役所・区民ホール]千代田のさくらと源氏物語ナイト(3月29日)

2. [靖国神社]植木市(3月28日～4月6日)

3. [靖国神社]さくらフェスティバル(3月28日～3月30日)

4. [千鳥ヶ淵緑道]桜花のライトアップ(3月28日～4月6日)

5. [九段坂公園]史跡案内ガイド(3月28日～4月6日)

6. [神田明神]物産の販売など(3月29日～3月30日)

Q10 『千代田のさくらまつり』の感想はいかがですか。あてはまる全てに○をつけてください。

1. 桜花が楽しめた。

2. いろいろな文化イベントが楽しめた。

3. いろいろな人と交流することができた。

4. にぎやかで楽しめた。

5. 千代田区への理解が深まった。

6. その他 ()

・今回特によかった企画、イベント等があれば、挙げてください。

・ご案内、スタッフの対応などで改善すべき点等があれば、挙げてください。

--

Q11 次回以降、『千代田のさくらまつり』にお越しにまいりますか。あてはまる1つに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. ぜひまた来たい 2. 都合がつけば来たい 3. もっと魅力が高まればまた来たい 4. 来ない
--

Q12 千代田区では桜を次代に引き継ぐために「区の花さくら再生計画」に取り組んでいます。これについて、あてはまる全てに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. 再生計画や千代田区の実施について知っていた 2. さくらサポーターとして勉強会や調査に参加した〔あるいは、参加したことがある〕 3. さくら基金への資金援助をしたい〔あるいは、援助したことがある〕 4. さくらを守っていくことに興味、関心がある 5. 特に関心はない
--

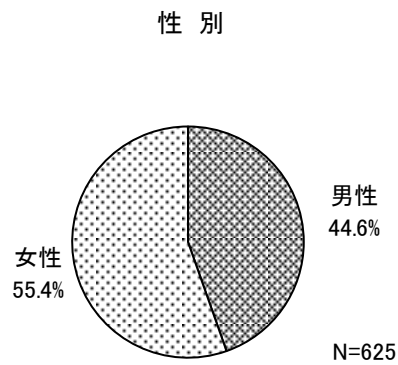
Q13 以下のイベントについてご存知ですか。また、今後、行ってみたいですか。それぞれについてお答えください。

	イベントについてご存知ですか	これまでに行ったことがありますか	今後、行ってみたいですか
神田祭(神田神社、5月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン(丸の内、5月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
山王祭(日枝神社、6月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
東京ジャズ(東京国際フォーラム、9月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
江戸天下祭(日比谷公園、隔年9月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
神田古本祭(神保町、10月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
光都東京(和田倉噴水公園、12月)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

3) 回答結果

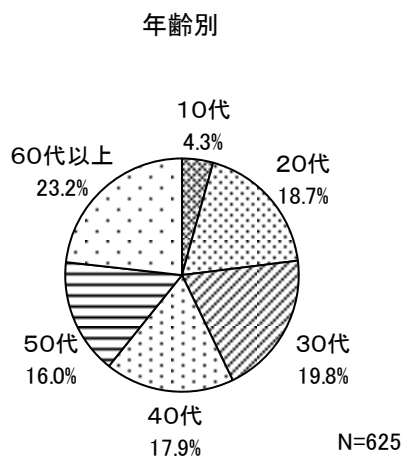
<性別>

性別のアンケート回答割合は、男性が44.6%、女性が55.4%で、若干女性が多かった。



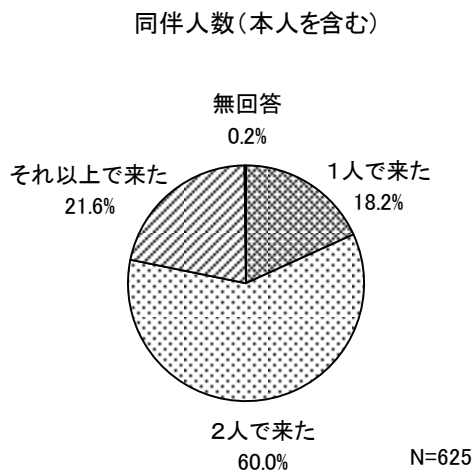
<年齢別>

年齢別の回答者内訳は、60代以上が23.2%と最も多いが、20代～50代もそれぞれ約16～20%と全体的に均等の取れた回答となっている。



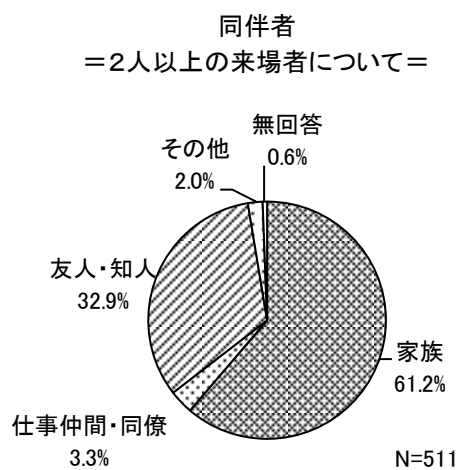
<同伴人数（本人を含む）>

同伴人数については、2人での来場が60.0%と最も多く、1人もしくは3人以上での来場が約2割ずつとなっている。



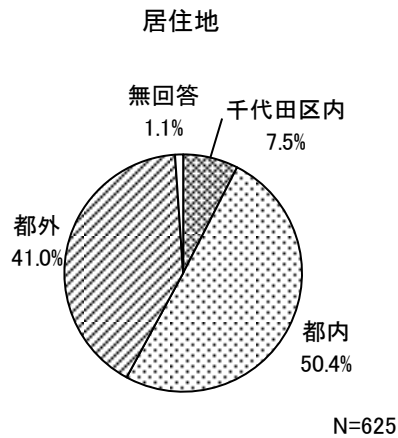
<同伴者>

2人以上で来場した人の同伴者は、約6割が家族であり、約3割が友人・知人となっている。



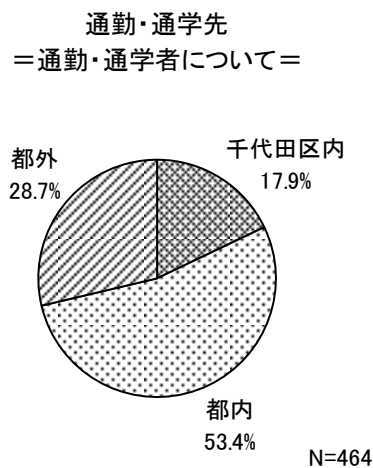
<居住地>

来場者の約 6 割が都内居住者、約 4 割が都外の居住者である。来場者に占める千代田区内居住者は 7.5%となっている。



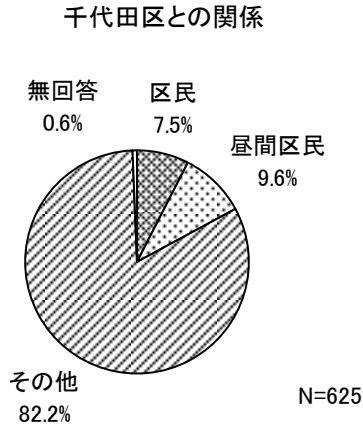
<通勤・通学先>

来場者の通勤・通学地は、千代田区を除く都内が約半数を占めている。千代田区内に通勤・通学している人は 17.9%となっている。



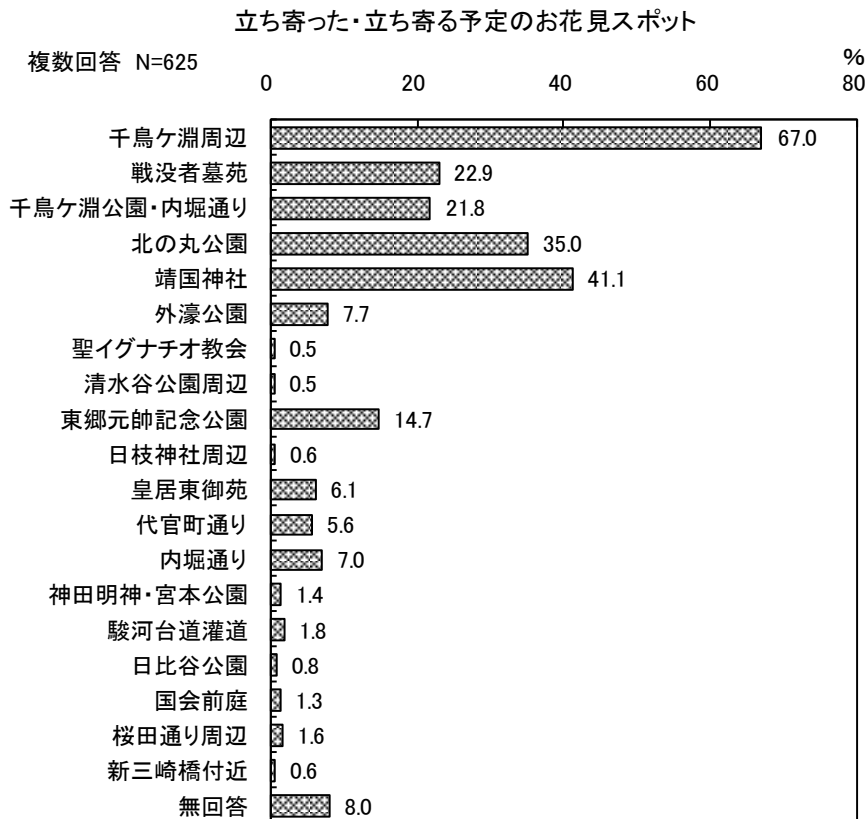
<千代田区との関係>

来場者の千代田区との関係は、区民が7.5%、昼間区民（区外在住区内通勤・通学者）が9.6%となっている。



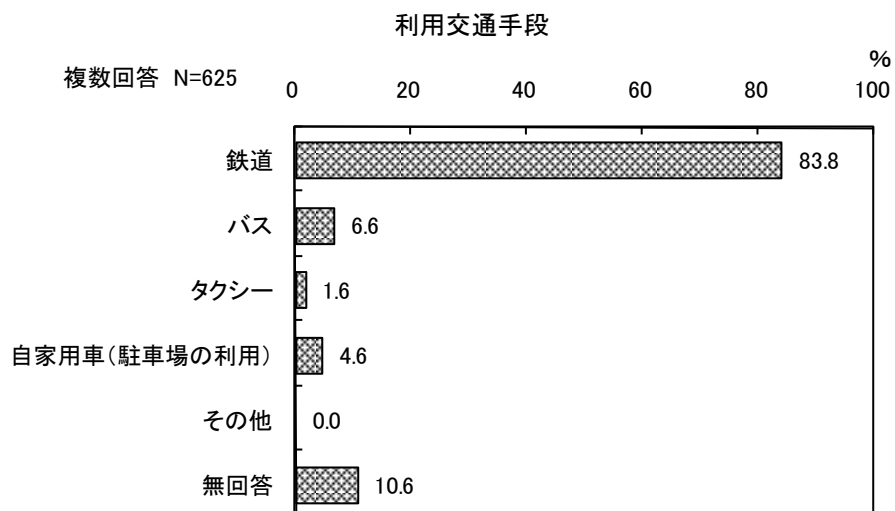
<立ち寄った・立ち寄る予定のお花見スポット>

来場者の7割近くが千鳥ヶ淵周辺に立ち寄り、次いで靖国神社41.1%、北の丸公園35.0%、戦没者墓苑22.9%、千鳥ヶ淵公園・内堀通り21.8%の順に足を運ぶ人が多くなっている。



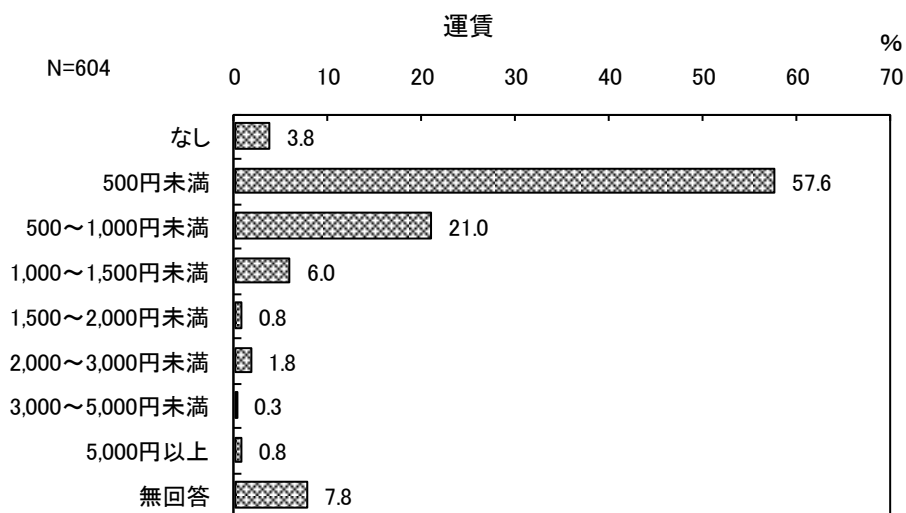
<利用交通手段>

会場までの交通手段については、8割以上が鉄道となっている。



<運賃>

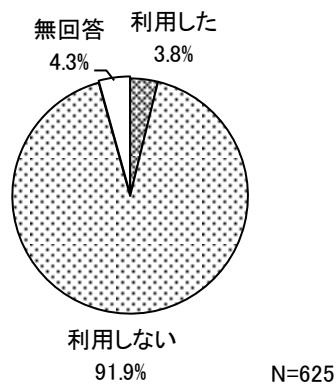
会場までの運賃は、500円未満が57.6%と最も多く、次いで500円以上1,000円未満が21.0%、1,000円以上1,500円未満が6.0%となっている。



<無料シャトルバスの利用有無>

シャトルバスの利用者は3.8% (24人)であった。(なお、シャトルバスの全乗降客数は7,322人であった。)

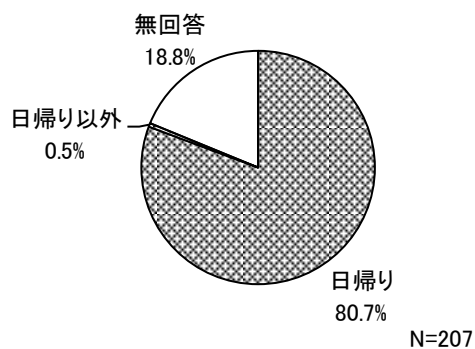
無料シャトルバスの利用有無



<宿泊の有無>

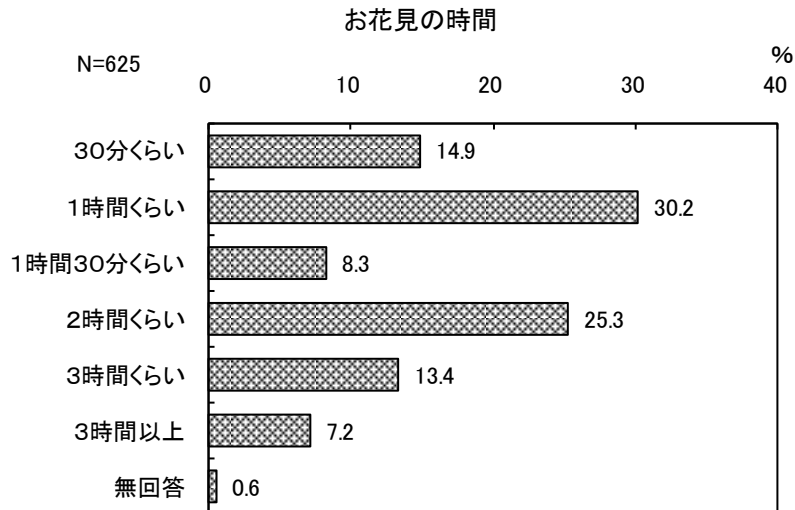
「千代田のさくらまつり」を事前に知っていて来場した人は日帰りが80.7%となっている。

宿泊の有無
=「千代田のさくらまつり」を事前に知っていた人について=



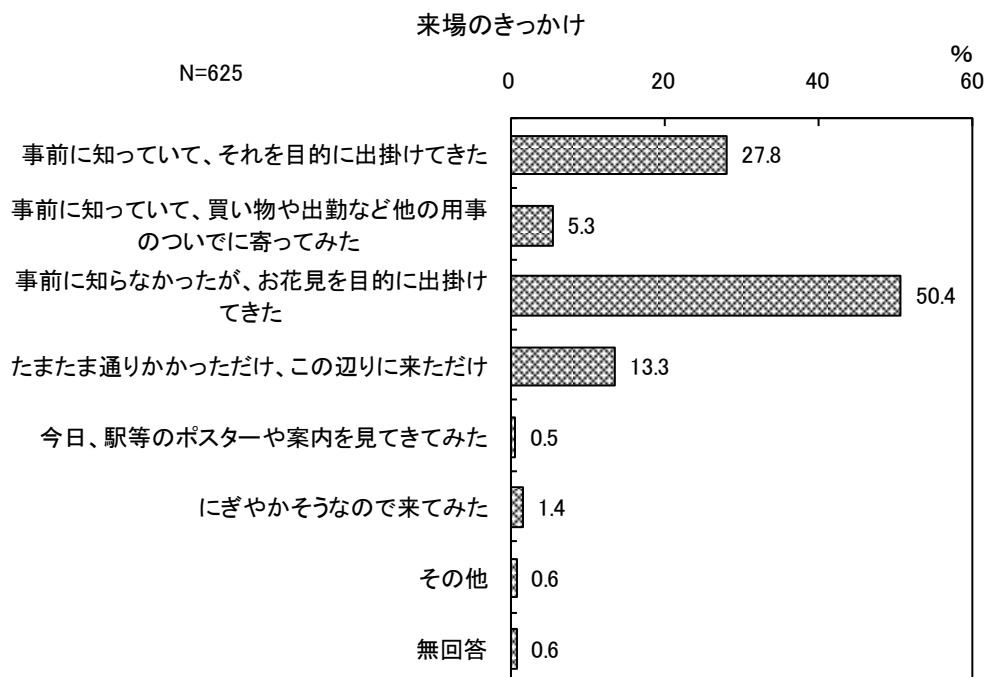
<お花見の時間>

お花見の時間は1時間から2時間程度が多いが、30分くらいしかかけない人も約15%となっている。



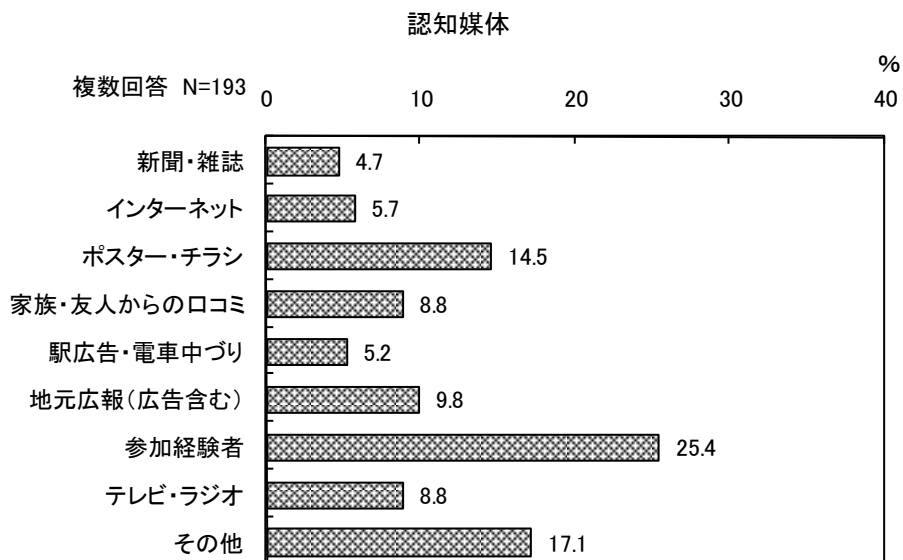
<来場のきっかけ>

「千代田のさくらまつり」を主目的としている人が約4分の1、「千代田のさくらまつり」は知らないが花見を主目的としている人が約半数となっている。



<認知媒体>

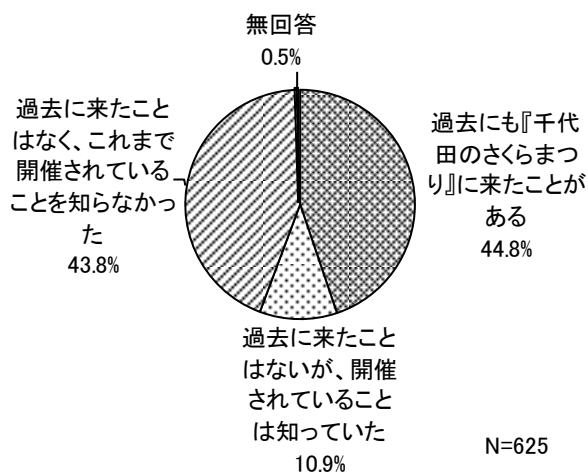
認知媒体としては、以前の参加経験が 25.4%と最も高く、次いでその他、ポスター・チラシとなっており、地元広報は 4 番目で 9.8%となっている。



<千代田のさくらまつりへの来場>

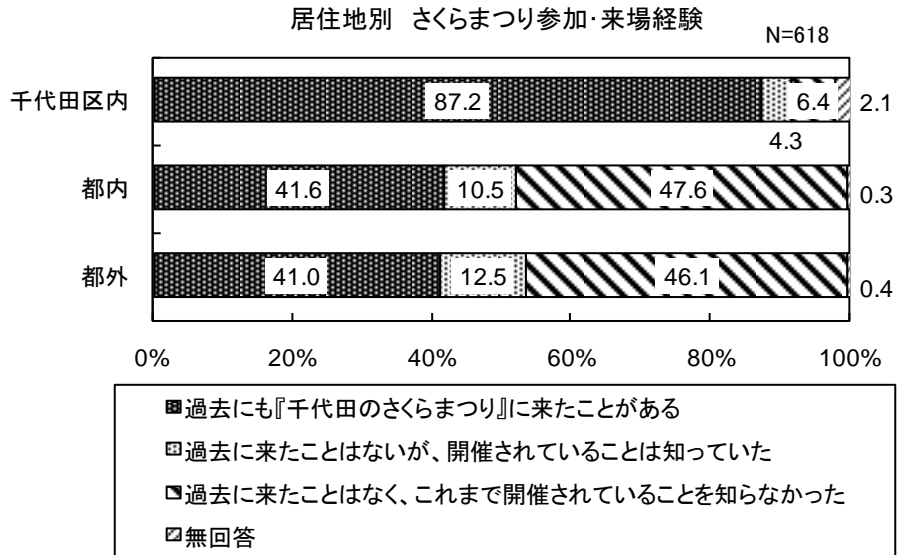
過去にも「千代田のさくらまつり」に来たことがある人が半数近い 44.8%であるが、初めて来た人も約 2 割は「千代田のさくらまつり」を知っていた。

『千代田のさくらまつり』への来場経験



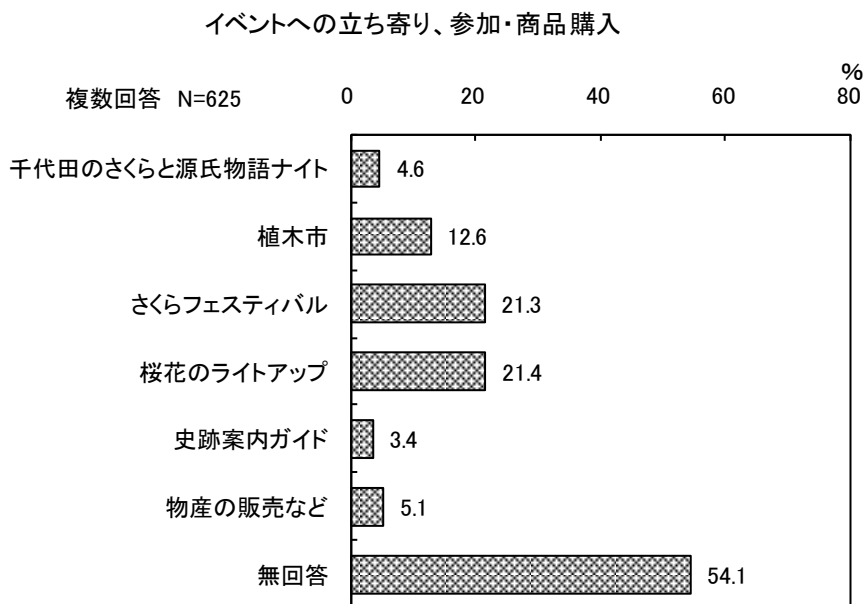
<居住地別さくらまつり参加経験>

来場者の居住地別にみた過去の参加経験は、千代田区民では以前に参加・来場した人が多く 87.2%であり、開催されているのを知らない人は 6.4%である。区民以外の方は参加経験が約 4 割であり、開催を知らなかったのはその他都内 47.6%、都外 46.1%となっている。



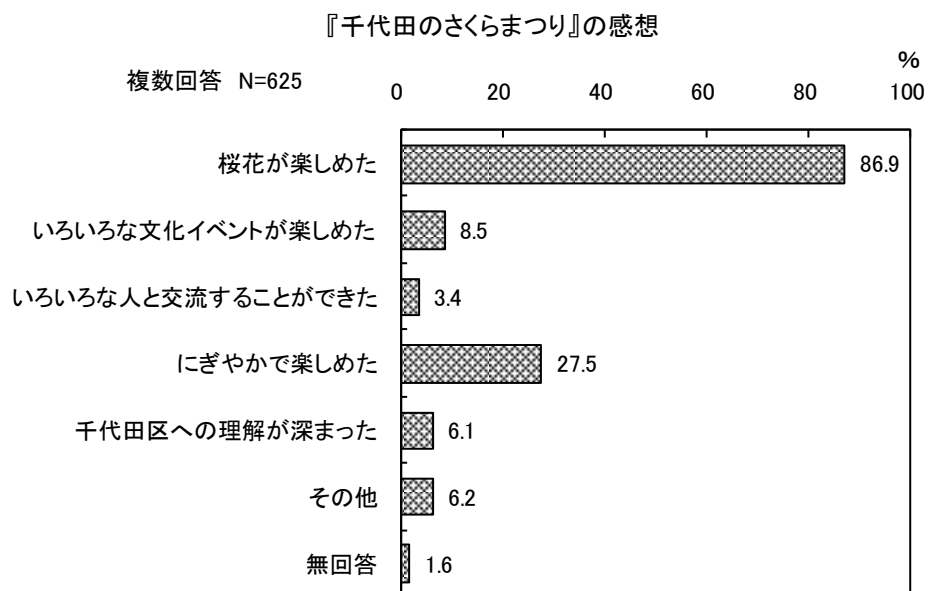
<イベントへの立ち寄り、参加・商品購入>

他のイベントへの立ち寄り等については、夜桜のライトアップが 21.4%、さくらフェスティバルが 21.3%とほぼ同数、次いで植木市となっている。



<千代田のさくらまつりの感想>

「千代田のさくらまつり」の感想としては、桜花が楽しめたが 86.9%、次いでにぎやかで楽しめたが 27.5%となっている。



<特によかったイベント・企画（自由回答）>

良かった企画・イベント	件数	%
さくら	120	41.8%
ライトアップ	19	6.6%
さくらまつり	15	5.2%
出店・屋台	12	4.2%
植木市	11	3.8%
インド大使館イベント	9	3.1%
シャトルバス	9	3.1%
靖国神社の地方のイベント	9	3.1%
ガイドブック(ガイド案内所)	7	2.4%
物産の販売	6	2.1%
交通整理ができています	6	2.1%
源氏物語	5	1.7%
案内係がよい	4	1.4%
甘酒無料サービス	4	1.4%
宮城県栗駒の太鼓と鹿踊り	3	1.0%
区役所の休憩所	2	0.7%
昭和館	2	0.7%
お茶席	1	0.3%
ボート	1	0.3%
マーチング	1	0.3%
歌(MINAMI、北の御門連)	1	0.3%
学校関係のキャンパス	1	0.3%
九段の公園の遺跡	1	0.3%
区民ホールの「ナイト・イベント」	1	0.3%
区役所の後方のオープンスペース	1	0.3%
古本屋見学	1	0.3%
桜の募金活動	1	0.3%
桜を見ながらのマラソン等イベント	1	0.3%
獅子舞	1	0.3%
春の書展	1	0.3%
神田明神	1	0.3%
千鳥ヶ淵緑道	1	0.3%
その他	26	9.1%
特になし	3	1.0%
合計	287	100.0%

<会場以外の立ち寄り場所（自由回答）>

地域区分	件数	%
千代田区	235	37.6%
都内	206	33.0%
都外	5	0.8%
分類不能	10	1.6%
無回答	412	65.3%

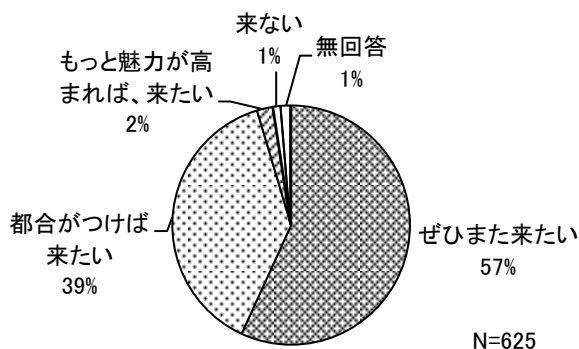
地域区分	立ち寄った場所	件数	%
千代田区	神田・神保町・小川町	94	20.6%
千代田区	秋葉原	7	1.5%
千代田区	飯田橋	5	1.1%
千代田区	イタリア文化会館	1	0.2%
千代田区	市ヶ谷	1	0.2%
千代田区	岩波ホール	1	0.2%
千代田区	駅のまわりの桜	1	0.2%
千代田区	大妻女子大さくら茶まつり	4	0.9%
千代田区	大手町	1	0.2%
千代田区	お茶の水	12	2.6%
千代田区	お茶の水小学校	1	0.2%
千代田区	科学技術館	2	0.4%
千代田区	神田西口商店街	1	0.2%
千代田区	旧千代田区役所	1	0.2%
千代田区	近代美術館	1	0.2%
千代田区	九段下	6	1.3%
千代田区	九段会館	5	1.1%
千代田区	九段生涯学習館、「春の書展」	3	0.7%
千代田区	九段北	1	0.2%
千代田区	国立近代美術館	3	0.7%
千代田区	国立劇場	9	2.0%
千代田区	桜田門	1	0.2%
千代田区	三省堂書店（神保町）	2	0.4%
千代田区	自民党本部	1	0.2%
千代田区	しょうけい館	2	0.4%
千代田区	昭和館	4	0.9%
千代田区	神宮外苑	1	0.2%
千代田区	神保町シアター	2	0.4%
千代田区	神保町古本屋街	13	2.9%
千代田区	水道橋	1	0.2%
千代田区	須田町	3	0.7%
千代田区	駿河台	1	0.2%
千代田区	大丸デパート	2	0.4%
千代田区	田町	1	0.2%
千代田区	千鳥ヶ淵	1	0.2%
千代田区	千代田区図書館	3	0.7%
千代田区	千代田区内	3	0.7%
千代田区	千代田区民ホール	2	0.4%
千代田区	千代田区役所	3	0.7%
千代田区	千代田区役所の前の建物	1	0.2%
千代田区	東京駅	10	2.2%
千代田区	二重橋	2	0.4%
千代田区	日本武道館	1	0.2%
千代田区	ベルサール九段	1	0.2%
千代田区	半蔵門	1	0.2%
千代田区	日比谷	1	0.2%
千代田区	武道館	4	0.9%
千代田区	ポート	1	0.2%
千代田区	丸ノ内	2	0.4%
千代田区	丸ノ内ビル	1	0.2%
千代田区	靖国通り	3	0.7%
千代田区	山の上ホテル	1	0.2%
都内	アークヒルズ	2	0.4%
都内	赤坂	6	1.3%
都内	赤坂サカス	2	0.4%
都内	浅草	7	1.5%
都内	浅草墨田公園	1	0.2%
都内	飛鳥山	2	0.4%
都内	飛鳥山公園	4	0.9%
都内	新井薬師	1	0.2%
都内	池袋	3	0.7%
都内	上野	18	3.9%
都内	上野公園	11	2.4%
都内	上野文化会館	1	0.2%
都内	内堀	1	0.2%
都内	永代橋	1	0.2%
都内	江戸川	1	0.2%
都内	江戸川区	2	0.4%
都内	江戸東京博物館	1	0.2%
都内	恵比寿	3	0.7%
都内	大森	2	0.4%
都内	大田区蒲田	1	0.2%
都内	表参道	3	0.7%
都内	神楽坂	6	1.3%
都内	金町	1	0.2%

地域区分	立ち寄った場所	件数	%
都内	神田川面影橋	1	0.2%
都内	北千住	2	0.4%
都内	旧古河庭園	3	0.7%
都内	銀座	12	2.6%
都内	国立	1	0.2%
都内	小石川	1	0.2%
都内	小石川庭園	2	0.4%
都内	後楽園	1	0.2%
都内	江東区	2	0.4%
都内	江東区北砂町	2	0.4%
都内	豪徳寺	1	0.2%
都内	駒込	1	0.2%
都内	駒場東大前	2	0.4%
都内	駒沢公園	1	0.2%
都内	三軒茶屋	1	0.2%
都内	汐留	1	0.2%
都内	品川区	1	0.2%
都内	芝公園	1	0.2%
都内	渋谷	3	0.7%
都内	石神井川(中板橋)	1	0.2%
都内	新橋	1	0.2%
都内	新宿	9	2.0%
都内	新宿エルフラメンコ	1	0.2%
都内	新宿御苑	8	1.8%
都内	水上バス	1	0.2%
都内	巢鴨	1	0.2%
都内	渋澤記念館	2	0.4%
都内	隅田川	2	0.4%
都内	墨田公園	3	0.7%
都内	世田谷区	2	0.4%
都内	増上寺	2	0.4%
都内	台東区	1	0.2%
都内	高田馬場	2	0.4%
都内	高島平	1	0.2%
都内	田町	1	0.2%
都内	築地	1	0.2%
都内	築地本願寺	1	0.2%
都内	哲学堂公園	1	0.2%
都内	東京タワー	2	0.4%
都内	東京ドーム	2	0.4%
都内	豊島区	1	0.2%
都内	都内	2	0.4%
都内	中野	1	0.2%
都内	日本棋院	1	0.2%
都内	日本橋	3	0.7%
都内	花園神社	2	0.4%
都内	原宿	1	0.2%
都内	ビックカメラ(渋谷)	1	0.2%
都内	府中	1	0.2%
都内	文京さくら祭り、はりま坂	4	0.9%
都内	港区	1	0.2%
都内	目黒	1	0.2%
都内	目黒川	2	0.4%
都内	目白	1	0.2%
都内	八重洲	1	0.2%
都内	山種美術館	4	0.9%
都内	湯島天神	1	0.2%
都内	四ツ谷	5	1.1%
都内	両国	2	0.4%
都内	六義園	2	0.4%
都内	六本木	5	1.1%
都外	大宮	1	0.2%
都外	千葉	1	0.2%
都外	東林間	1	0.2%
都外	横浜	2	0.4%
不明	居酒屋	2	0.4%
不明	運動の会	1	0.2%
不明	会社	1	0.2%
不明	共立	1	0.2%
不明	シャトルバス利用	1	0.2%
不明	中華屋	1	0.2%
不明	図書館の帰り	1	0.2%
不明	マック	1	0.2%
不明	饅頭のお店	1	0.2%
	合計	456	69.1%

<次回以降の『千代田のさくらまつり』への来場>

次回以降の「千代田のさくらまつり」への来場については、「ぜひまた来たい」、「都合がつけば来たい」という回答が合計で95%以上となっており、祭りを好意的にとらえていることがうかがえる。

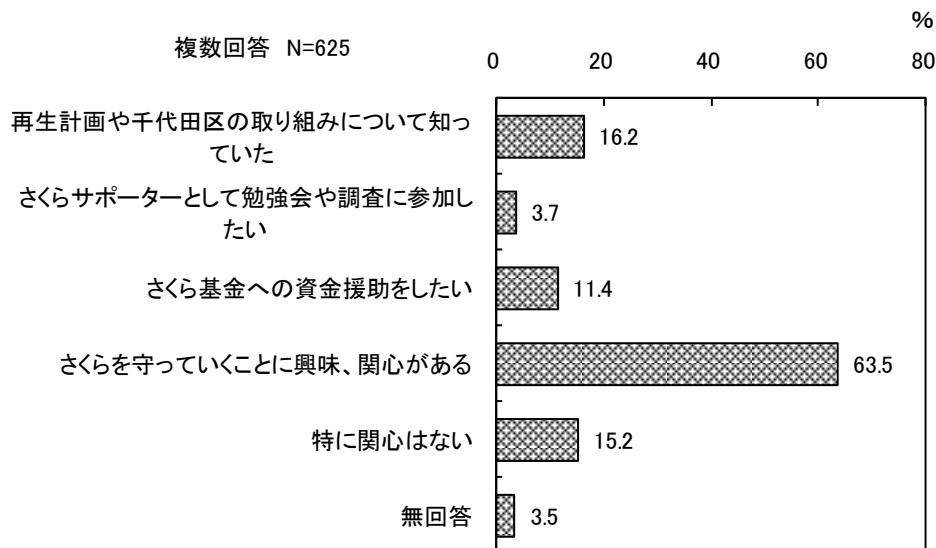
次回以降の『千代田のさくらまつり』への来場意向



<「区の花さくら再生計画」についての認知と関心>

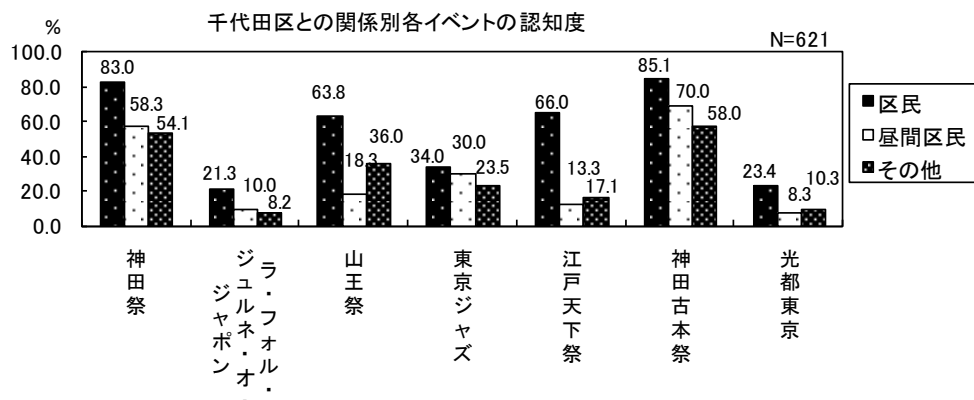
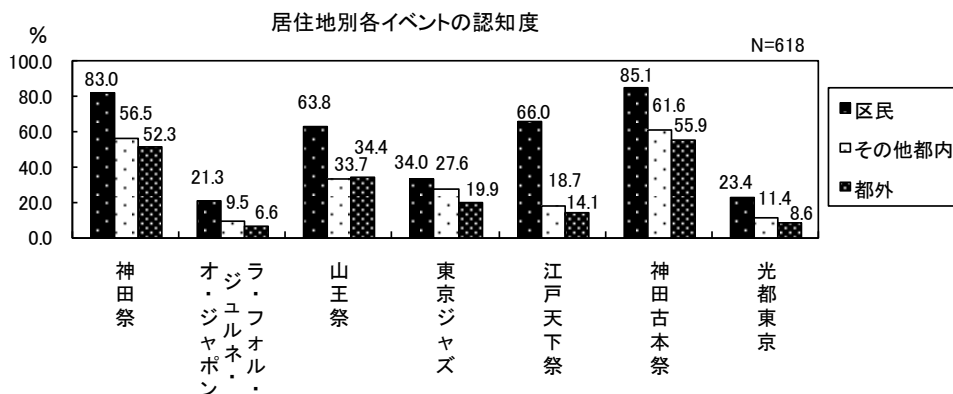
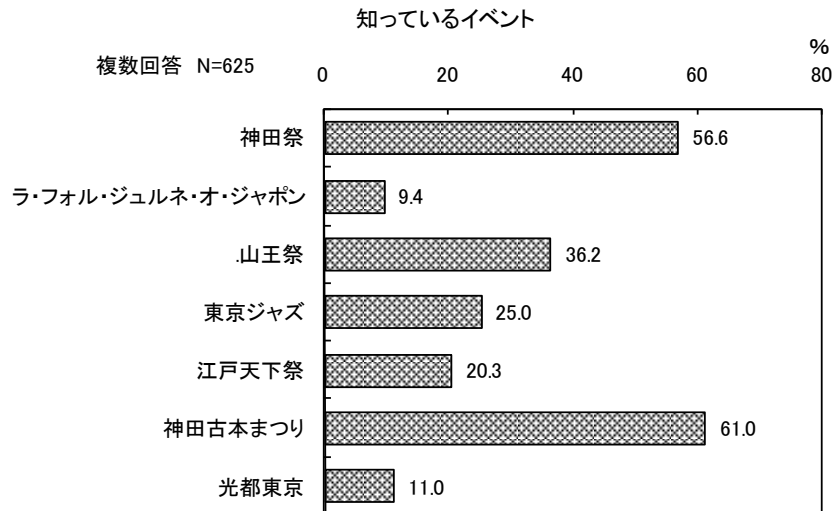
「区の花さくら再生計画」については、認知度は16.2%とそれほど高くはないが、さくらを守っていくことに興味、関心があるのは63.5%と肯定的な結果であった。

「区の花さくら再生計画」についての認知と関心



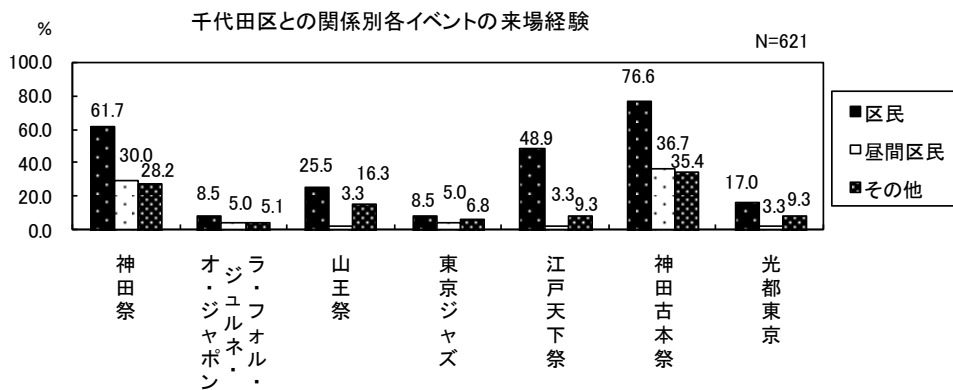
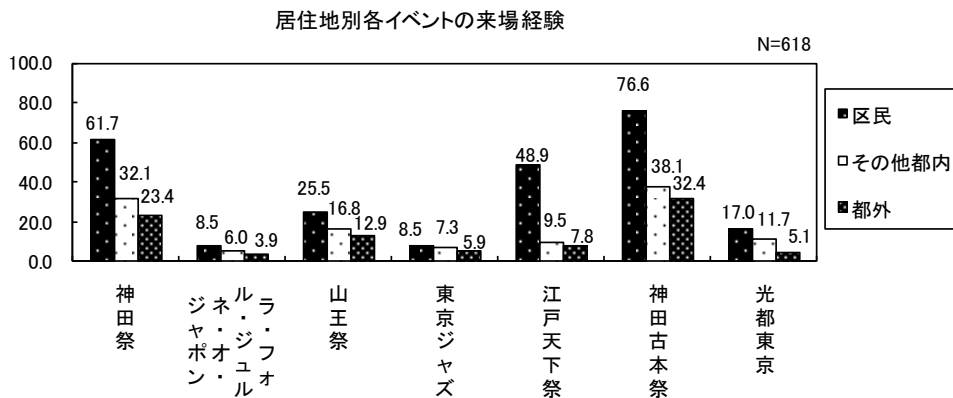
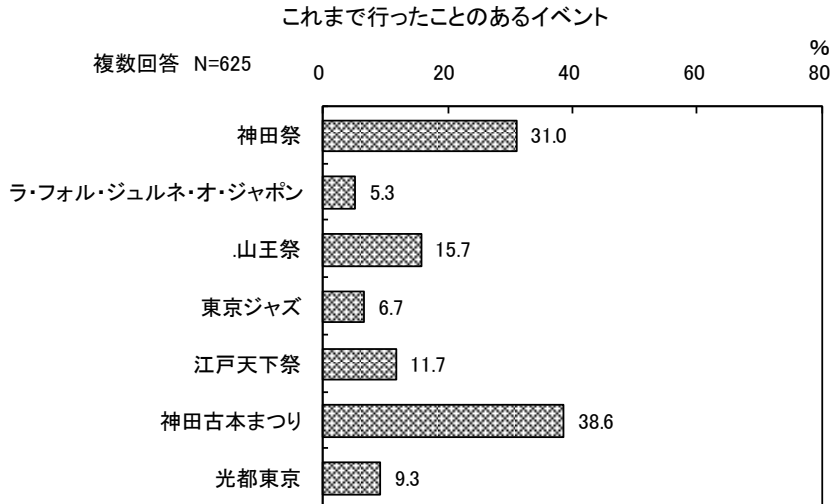
<知っているその他のイベント>

「千代田区のさくらまつり」以外のイベントの認知度については、神田古本まつりが61.0%、神田祭が56.6%と高かったのに対し、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンや光都東京は1割程度しかなかった。江戸天下祭は山王祭、東京ジャズに次いで20.3%である。



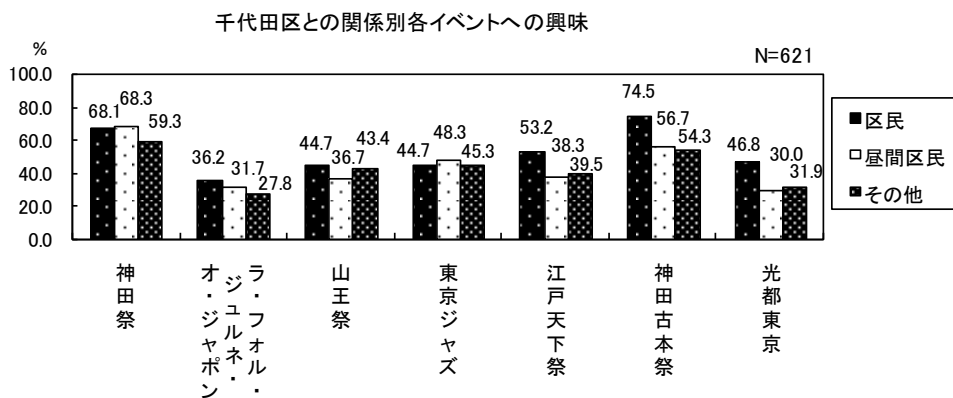
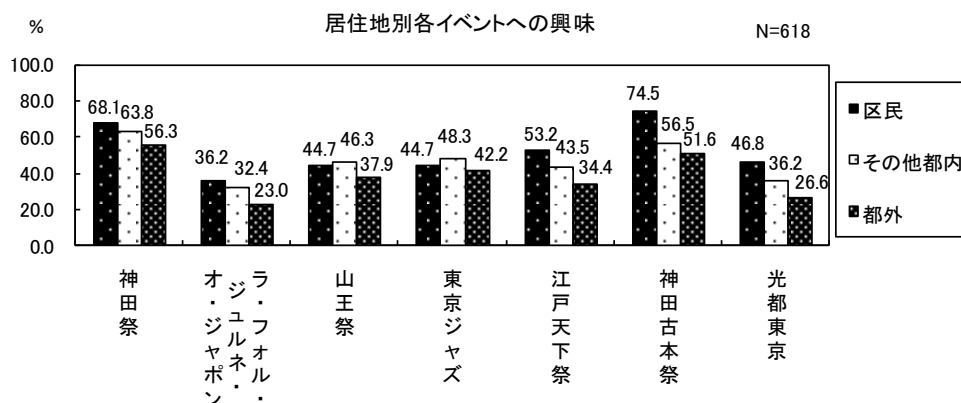
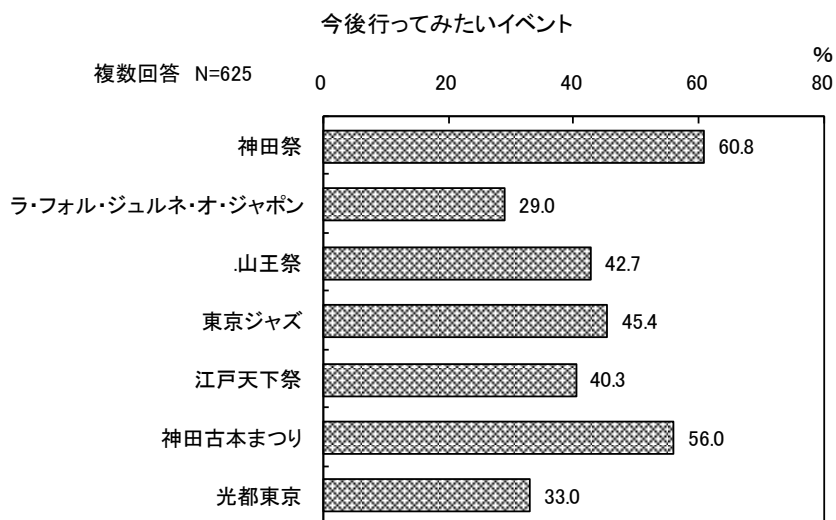
<これまで行ったことのある他のイベント>

認知度同様、神田祭(31.0%)と神田古本まつり(38.6%)の参加経験が高いが、認知度からすると東京ジャズの参加度が低く、光都東京が高いことがうかがえる。江戸天下祭は山王祭に次いで11.7%である。



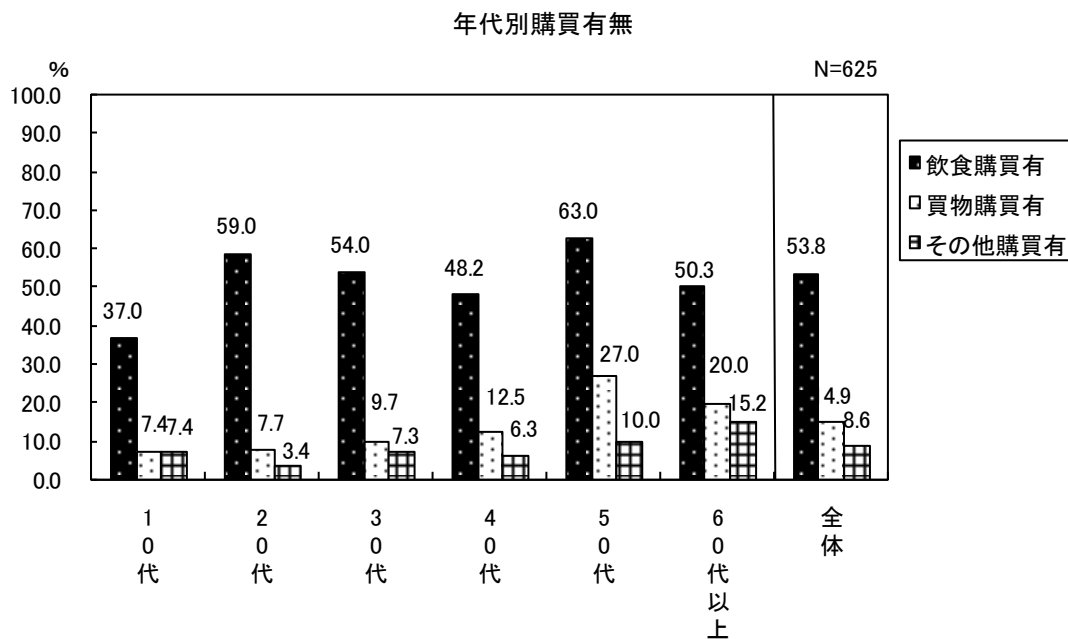
<今後行ってみたい他のイベント>

今後行ってみたい他のイベントについても、神田祭が 60.8%、神田古本まつりが 56.0%と高くなっており、江戸天下祭は 40.3%である。



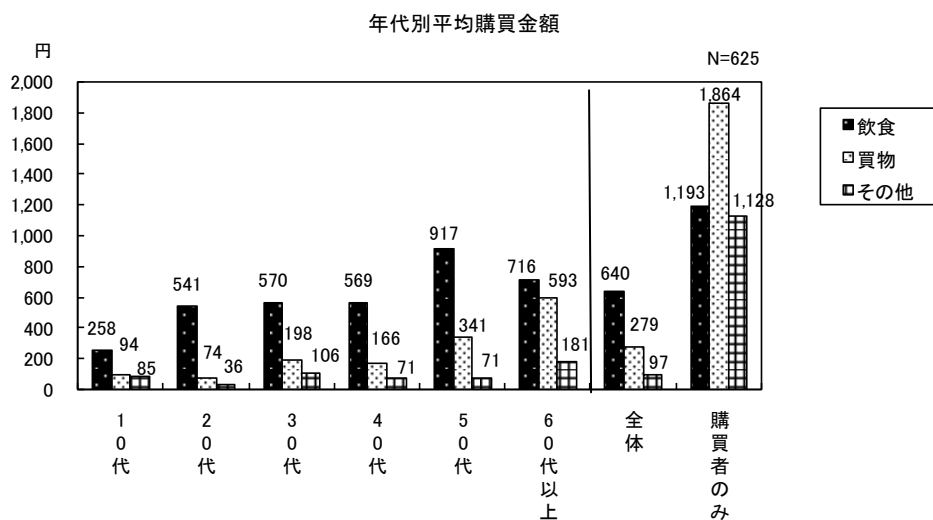
<年代別購買有無>

年代別購買の有無は、飲食については10代が最少で37.0%、最大が50代で63.0%、全体で53.8%の人が飲食物の購入を行っている。買い物では最少が同じく10代で7.4%、最大が50代以上で27.0%、全体で4.9%となっている。



<年代別平均購入金額>

年代別平均購入金額は、飲食が1,000円未満、買い物が600円未満であるが、購買者のみで見ると、それぞれ1,193円、1,864円となっている。



(2) 周辺事業者調査

1) 調査概要

九段下さくら会（40 事業者）の協力を得て、下記 11 事業者の回答を得た。

- ①カレー店
 - ②中華料理店
 - ③コンビニエンスストア
 - ④ファーストフード店
 - ⑤寿司店
 - ⑥書店
 - ⑦酒店
 - ⑧酒店
 - ⑨喫茶店
 - ⑩写真用品店
- ※無記名 1 件



2) 設問

問1 貴社では、千代田さくらまつり期間(3月28日(金)~4月6日(日))10日間の来店客数および売上高は通常の10日間に比べていかがでしたか。それぞれ1~3のうち当てはまるものに1つ○をつけ、増減があった場合はおおよその割合をご記入ください。

来店客数	1. 増えた →おおよそ何割程度ですか:()割増えた 2. 変わらない 3. 減った →おおよそ何割程度ですか:()割減った
売上高	1. 増えた →おおよそ何割程度ですか:()割増えた 2. 変わらない 3. 減った →おおよそ何割程度ですか:()割減った

問2 貴社への「千代田さくらまつり」開催の影響についておたずねします。

(1) 貴社への「千代田さくらまつり」開催の影響について、1~5のうち当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. プラスの影響、マイナスの影響がトントンであった。
2. プラスの影響の方が大きかった。
3. マイナスの影響の方が大きかった。
4. まったく影響を受けなかった。
5. わからない。

(2) マイナスの影響とお考えのものについて具体的にご記入下さい。特にない場合は「なし」とご記入下さい。

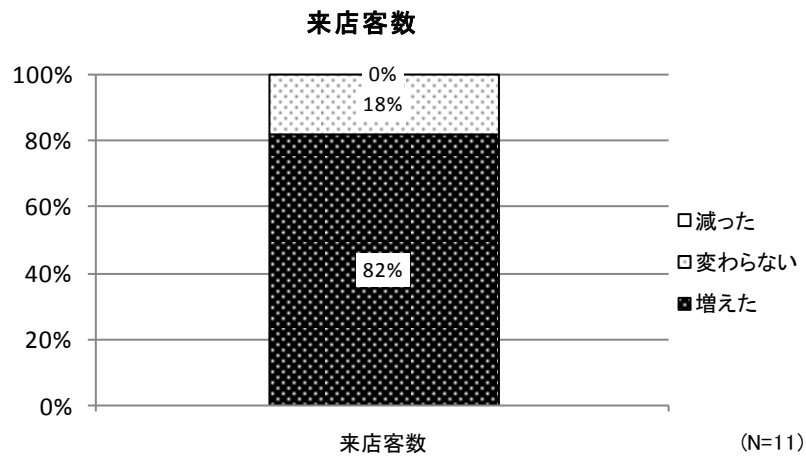
(3) プラスの影響とお考えのものについて具体的にご記入下さい。特にない場合は「なし」とご記入下さい。

問3 今後、「千代田さくらまつり」等のイベント開催にあたって、改善すべき点・留意すべき点等ございましたら、ご記入下さい。

3) 回答結果

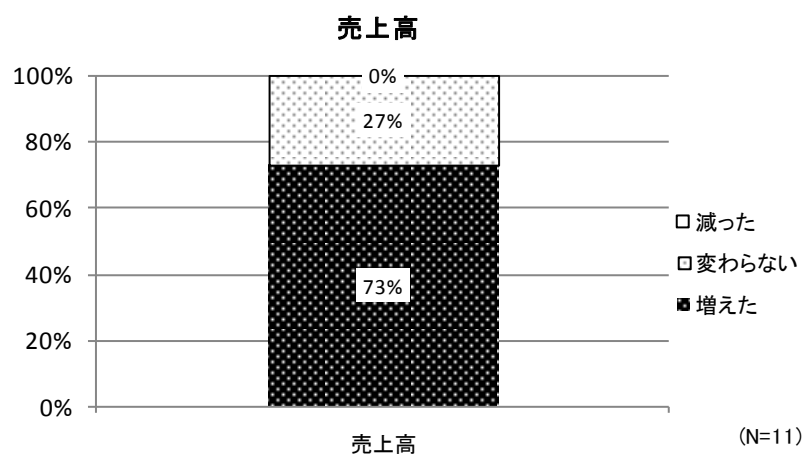
<来店客数>

千代田さくらまつり期間（3月28日（金）～4月6日（日））10日間の来店客数は通常の10日間に比べて、増えたが82%、変わらないが18%である。



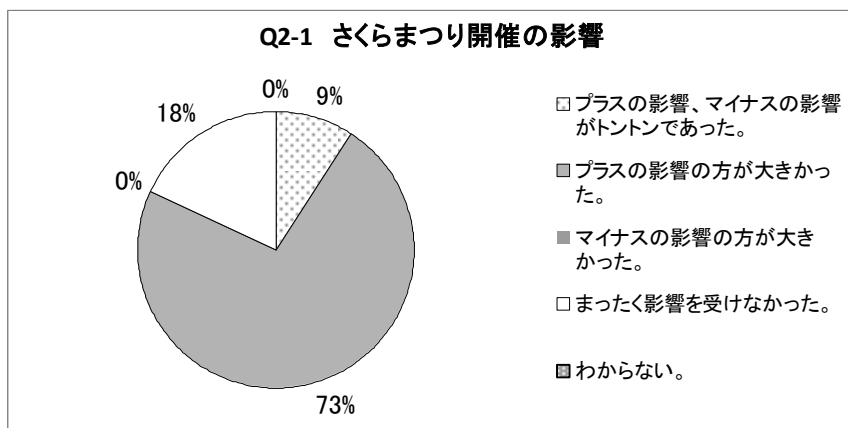
<売上高>

千代田さくらまつり期間（3月28日（金）～4月6日（日））10日間の売上高は通常の10日間に比べて、増えたが73%、変わらないが27%である。



<「千代田さくらまつり」開催の影響>

「千代田さくらまつり」開催の影響は、「プラスの影響、マイナスの影響がトントンであった」が 9%、「プラスの影響のほうが大きかった」が 73%、「まったく影響を受けなかった」が 18%である。



<自由回答>

Q2-2 マイナスの影響とお考えのものについて具体的にご記入下さい。特にない場合は「なし」とご記入下さい。

○物販

- ・人が多過ぎる。車(特にバス)也多過ぎる。混雑の限界を越えている。(酒店)

Q2-3 プラスの影響とお考えのものについて具体的にご記入下さい。特にない場合は「なし」とご記入下さい。

○物販

- ・花見客の来店 (酒店)

○飲食

- ・桜見物の観光客と武道館での入学式(大学)の影響があったと思います。(カレー店)
- ・人手が多くなる。裏道にも少しは人が入ってくる。(中華料理店)
- ・まつりによる集客力の向上。ただし、「さくらまつり」による影響がどの程度なのかは定かではない。単に「花見」をしに来た人も多いはず。(ファーストフード店)
- ・「千代田さくらまつり」や「靖国神社のさくらまつり」、「皇居のさくら」等のおかげで店の前の通りがいつもの何倍もの人通りとなり、うちだけに限らず、九段北周辺の飲食店は軒並み好調だったようです。(寿司店)

○不明

- ・土日に人手が見込める。(不明)

Q3 今後、「神田古本まつり」等のイベント開催にあたって、改善すべき点・留意すべき点等ございましたら、ご記入下さい。

○物販

- ・今後も続けてほしい。(写真用品店)
- ・これ以上、宣伝等しない方が良く。もう少し静かに。(酒店)

○飲食

- ・さくらまつりはもう少し長い期間してほしい。4月中旬位までの1週間ではなく2週間位まで、葉桜になっても武道館・靖国神社の歴史、日本の歴史について積極的にアピールしてほしい。日本の歴史を知らない日本人が多過ぎる。(中華料理店)
- ・「さくらまつり」と言うからには、桜が開花してから行われるのが正しいという所が非常に難しいですが、来年からも今年同様この様なまつりが行われるようなことは、大変よいことだと思います。(寿司店)
- ・これからも宜しくお願ひ致します。(カレー店)
- ・イベント開催知りませんでした。(喫茶店)
- ・こういったアンケートを依頼するのであれば、まつり開始の事前に案内をして頂けるとありがたい。(ファーストフード店)

3. 経済波及効果の推計

(1) 原単位の区分

本調査の対象となる3つのイベントの効果評価比較のために、消費原単位を算出する区分は、江戸天下祭に合わせた。

(2) 消費単価の想定

来場者の消費単価は、消費の有無確率と消費額を分けて想定し、極端に大きい消費額の回答者が居るため、中央値を採用することとした。これらについても、江戸天下祭と同様の措置である。

江戸天下祭および神田古本まつりと比べて、都内・都外居住者ともに、催事会場において消費する割合が最も低く、消費目的でない訪問であることが見て取れる。

項目別にみた消費の有無確率の想定

居住地	大項目	中項目	各項目の利用割合(%)	
			都内	都外
都内居住者	会場内 飲食雑費	①飲食	54%	
		②買い物	18%	
	会場以外 飲食雑費	①飲食	57%	1%
		②買い物	18%	1%
		③その他	7%	0%
	交通費	①鉄道	68%	0%
		②バス	3%	0%
		③タクシー	3%	0%
		④自家用車	3%	0%
		⑤その他	0%	0%
宿泊費		0%	0%	
都外居住者	会場内 飲食雑費	①飲食	53%	
		②買い物	28%	
	会場以外 飲食雑費	①飲食	54%	6%
		②買い物	21%	4%
		③その他	13%	2%
	交通費	①鉄道	84%	84%
		②バス	6%	6%
		③タクシー	1%	0%
		④自家用車	3%	0%
		⑤その他	0%	0%
宿泊費		0%	0%	

項目別にみた消費単価の想定

居住地	大項目	中項目	消費支出の原単位	
			10・20代 (円/人)	30代以上 (円/人)
都内居住者	会場内 飲食雑費	①飲食	800	1,000
		②買い物	2,000	1,000
	会場以外 飲食雑費	①飲食	890	1,825
		②買い物	900	3,500
		③その他	350	2,000
	交通費	①鉄道	310	300
		②バス	200	210
		③タクシー	0	890
		④自家用車	650	300
		⑤その他	0	0
宿泊費		0	0	
都外居住者	会場内 飲食雑費	①飲食	700	1,000
		②買い物	1,500	1,500
	会場以外 飲食雑費	①飲食	1,600	1,500
		②買い物	5,765	4,000
		③その他	2,500	2,050
	交通費	①鉄道	490	500
		②バス	5,000	210
		③タクシー	0	850
		④自家用車	500	550
		⑤その他	0	0
宿泊費		20,000	0	

この結果、直接効果約 43 億円、うち会場における消費額約 14 億円となった。来場者数 1,000,000 人で延べ平均を算出すると、4,300 円（うち会場消費単価 1,400 円）となる。

消費に関する直接効果額

大項目	中項目	支出額(億円)		
		都内で	都外で	計
会場内 飲食雑費	①飲食	9.44		9.44
	②買い物	4.53		4.53
	計	13.97		13.97
会場以外 飲食雑費	①飲食	9.82	0.78	10.59
	②買い物	4.58	1.22	5.80
	③その他	1.28	0.47	1.75
	計	15.68	2.46	18.14
交通費	①鉄道	4.21	3.03	7.24
	②バス	0.12	3.11	3.23
	③タクシー	0.15	0.00	0.15
	④自家用車	0.23	0.00	0.23
	⑤その他	0.00	0.00	0.00
	計	4.71	6.14	10.85
宿泊費		0.03	0.00	0.03
総計		34.39	8.59	42.98

(3) 出店者経費単価の想定

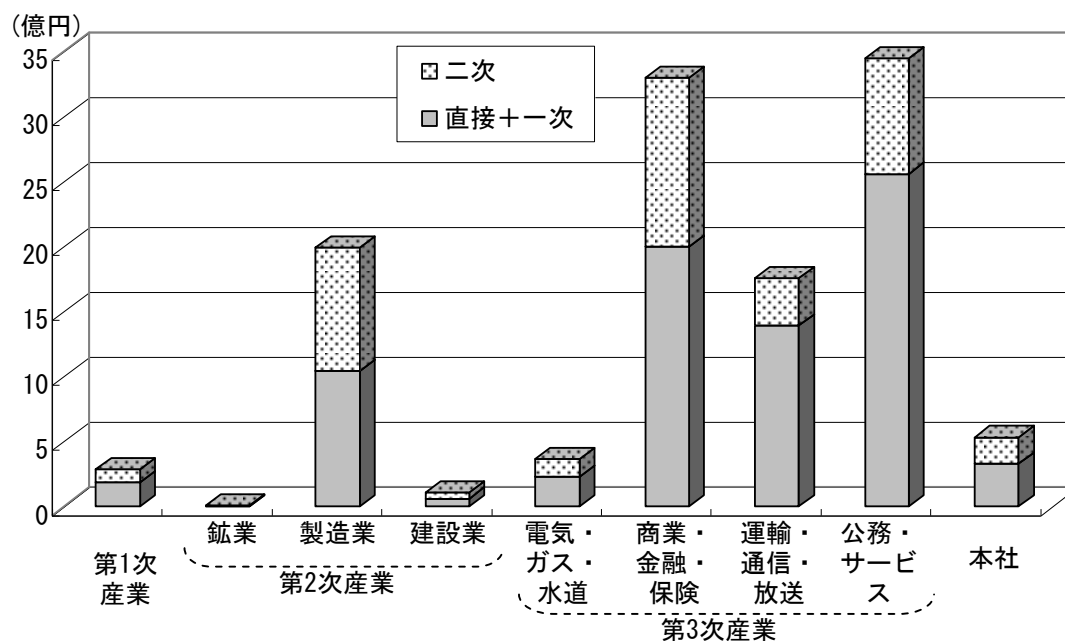
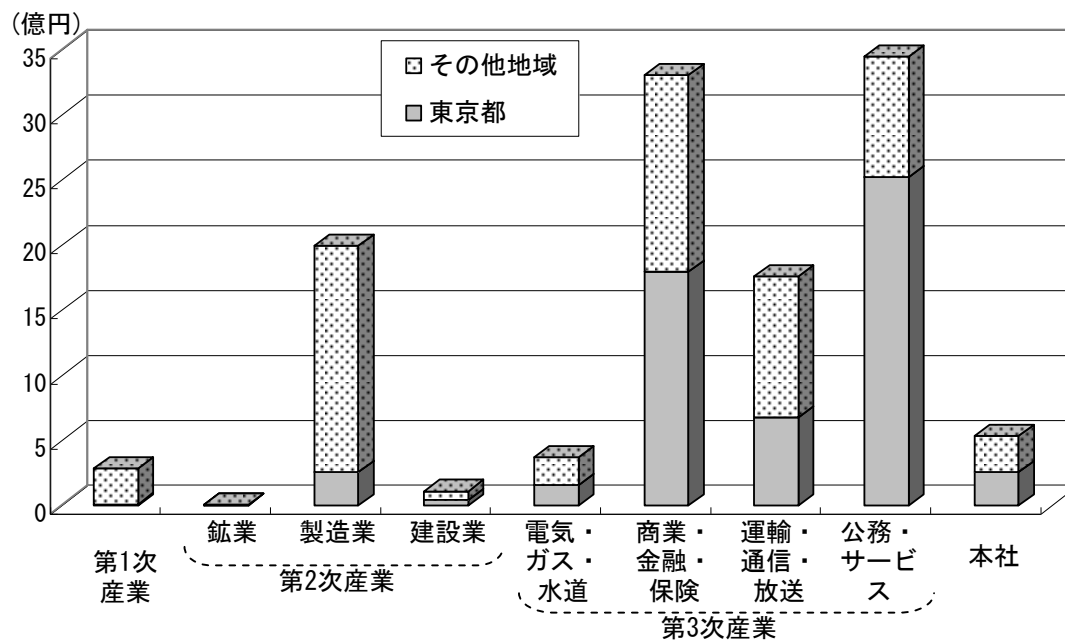
主催者の外注費や経費等、投資に関する直接効果は約 0.4 億円と算定した。直接効果の総額は、合計約 43 億円と算定された。

投資(経費)に関する直接効果額

大項目	中項目	小項目	支出額(億円)		
			都内で	都外で	計
運営費	施設・什器費	屋内施設			0.00
		屋外スペース	0.10		0.10
	アトラクション 関連費	タレント等ギャラ	0.01		0.01
		遊戯具代	0.01		0.01
	展示費	購入費			0.00
		レンタル料			0.00
	広告・宣伝費		0.07		0.07
	スタッフ人件 費	正社員・職員	0.14		0.14
		派遣・バイト	0.00		0.00
	警備・保安費		0.05		0.05
計		0.38	0.00	0.38	
運営スタッフ 消費費	食費(打ち上げ費用を含む)		0.00		0.00
	交通費	鉄道			0.00
		バス			0.00
		タクシー			0.00
		その他公共交通機関			0.00
		自家用車(高速代)			0.00
		自家用車(駐車場代)			0.00
	宿泊費			0.00	
計		0.00	0.00	0.00	
総計			0.38	0.00	0.38

(4) 経済波及効果の計算

算定した消費、投資額を、産業連関モデルの最終需要増加としてインプットし、均衡産出高つまり経済波及効果を計算した。公務・サービス業への波及効果が大きいのは、飲食店への効果が大きかったことが原因である。



総括表

	全波及効果（直接効果＋一次波及効果＋二次波及効果） 総括表		
	全国	東京都	その他地域
直接効果＋一次波及効果	78.0（100%）	49.8（64%）	28.3（36%）
二次波及効果	39.9（100%）	7.2（18%）	32.7（82%）
生産波及効果（億円）	118.0（100%）	56.9（48%）	61.0（52%）
生産誘発係数	2.72		
（直接効果）	43.4		
雇用者所得誘発額（億円）	33.1（100%）	17.3（52%）	15.8（48%）
営業余剰誘発額（億円）	10.1（100%）	3.9（38%）	6.2（62%）
雇用誘発数（人）	842（100%）	358（43%）	484（57%）

生産波及効果

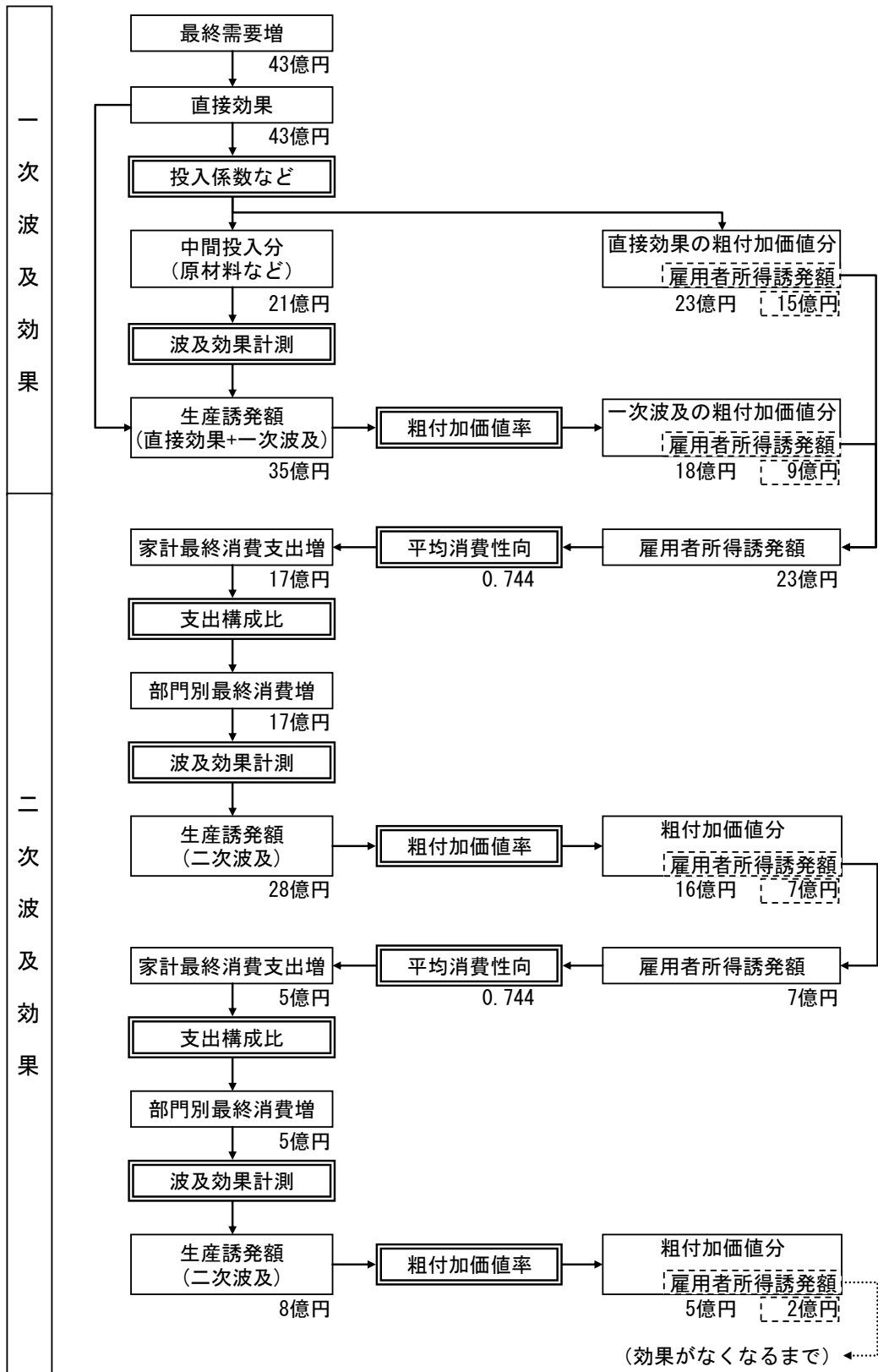
部門	生産波及効果（全波及効果）：億円		
	全国	東京都	その他地域
第1次産業	2.8（2.4%）	0.1（0.1%）	2.8（4.5%）
第2次産業	21.1（17.9%）	2.9（5.2%）	18.1（29.7%）
鉱業	0.1（0.1%）	0.0（0.0%）	0.1（0.1%）
製造業	19.9（16.9%）	2.5（4.4%）	17.4（28.5%）
建設業	1.1（0.9%）	0.4（0.7%）	0.7（1.1%）
第3次産業	88.7（75.2%）	51.4（90.3%）	37.3（61.2%）
電気・ガス・水道	3.7（3.1%）	1.6（2.7%）	2.1（3.5%）
商業・金融・保険	33.0（28.0%）	17.9（31.5%）	15.1（24.7%）
運輸・通信・放送	17.6（14.9%）	6.7（11.8%）	10.8（17.8%）
公務・サービス	34.5（29.2%）	25.2（44.2%）	9.3（15.2%）
本 社	5.3（4.5%）	2.5（4.4%）	2.8（4.6%）
合 計	118.0（100.0%）	56.9（100.0%）	61.0（100.0%）

粗付加価値誘発効果

部門	粗付加価値誘発効果（全波及効果）：億円		
	全国	東京都	その他地域
雇用者所得誘発額	33.1（54.1%）	17.3（57.5%）	15.8（50.7%）
営業余剰誘発額	10.1（16.5%）	3.9（12.9%）	6.2（20.1%）
その他誘発額	18.0（29.4%）	8.9（29.6%）	9.1（29.2%）
粗付加価値誘発額	61.1（100.0%）	30.1（100.0%）	31.1（100.0%）

雇用誘発効果

部門	雇用誘発効果（全波及効果）：人		
	全国	東京都	その他地域
第1次産業	110（13.1%）	4（1.1%）	106（21.9%）
第2次産業	71（8.4%）	11（3.1%）	60（12.4%）
鉱業	0（0.0%）	0（0.0%）	0（0.0%）
製造業	64（7.6%）	9（2.5%）	55（11.4%）
建設業	7（0.8%）	2（0.6%）	5（1.0%）
第3次産業	631（74.9%）	334（93.3%）	297（61.4%）
電気・ガス・水道	8（1.0%）	3（0.8%）	5（1.0%）
商業・金融・保険	278（33.0%）	149（41.6%）	129（26.7%）
運輸・通信・放送	99（11.8%）	34（9.5%）	65（13.4%）
公務・サービス	246（29.2%）	148（41.3%）	98（20.2%）
本 社	30（3.6%）	9（2.5%）	21（4.3%）
合 計	842（100.0%）	358（100.0%）	484（100.0%）



V. 効果評価および考察

3つのイベント事業について効果評価を総括し、今後の事業のあり方について考察する。

1. イベントの目的と事業内容

効果評価に先立ち、3つのイベントについてアンケート結果も踏まえて概括する。

(1) イベントの概要（目的、事業内容）

3つのイベントの内容、千代田区としての取り組み目的等は異なる。古本まつりは民間主体のイベントとしてすっかり定着した全国から愛好家が訪れるイベントであり、区の事業費支出はない。また、さくらまつりは桜花という集客力の高い資源を活かして観光振興を図るものであるが、イベント自体は区民等を対象にした小規模のものである。これらに対して、江戸天下祭はイベント自体を新たな集客資源として創りあげようというもので、目的も文化振興、国際・地域交流、区民参加など多様となっている。

	江戸天下祭	古本まつり	さくらまつり
千代田区 の関わり	主催 (千代田区江戸天下祭実行 委員会が主催。同委員会の 事務局を(財)まちみらい千代 田が担当)	千代田区と神田古書店 連盟の共催	千代田区と千代田区観 光協会の共催
千代田区 の事業費	2.2億円	なし	0.4億円
会場	メイン会場:日比谷公園。 サブ会場:丸ビル。 山車・神輿順行:日比谷 公園～皇居前広場	神田神保町古書店街。	千鳥ヶ淵緑道(桜花のラ イトアップ)、靖国神社(植 木市、さくらフェスティバ ル)、神田神社(物産販売 など)、九段坂公園(史跡 案内ガイド)
主なイベ ント	江戸フェスティバル(日比 谷公園)、山車・神輿宵宮 順行、神輿・山車等の展 示(丸ビル)など	青空掘り出し市、特選古 書即売展、古本チャリテ ーオークション	
期間	9月29日、30日の2日 間。(関連付帯イベントは 事前にも開催)	10月26日から11月1日 の7日間。	3月28日から4月6日の 10日間。
過去の開 催実績等	2003年から隔年開催(今 回が3回目)	第1回は1960年開催 (今回が48回目)	第1回は1959年開催
千代田区 としての事 業目的	・文化振興 ・千代田区の魅力の国内 外への情報発信 ・国際交流、地域交流 ・区民参加 など	・産業振興	・観光振興 (区の花さくらを重要な観 光資源として、開花時期 にあわせて他の観光資 源・イベントと連携)
その他		神保町ブックフェスティバ ル、神田スポーツ祭りが 同時開催された。	

(2) 動員実績等

参加・来場者数は、さくらまつり 101 万人、古本まつり 30 万人、天下祭 23.7 万人である。ただし経済波及効果の計測は日比谷公園における江戸フェス参加者 9.1 万人のみを対象として推計した。

江戸天下祭は昼間区民の参加割合が高いが、出店者の関係者の来場者数も高い。また他の 2 つのイベントの認知度や来場経験も高く、千代田区との親和性が高いことがうかがえる。

古本まつりは、1 人での来場、都外からの来場割合が高い。会場内に長く滞在し、購買割合も高いことから、古本購買という目的意識の高いことがうかがえる。

さくらまつりは区民による来場、家族での来場割合が高い。また、リピーターの割合が比較的高い。購買割合は低い、区内及び都内へ立ち寄る割合が高く、お花見を楽しむために比較的広範囲に行動していることがうかがえる。(詳細は参考資料を参照。)

	江戸天下祭	古本まつり	さくらまつり
参加・来場者	23.7 万人 (主催者発表 江戸フェス 来場者 9.1 万人)	30 万人 (会場全体来場者)	101 万人 (千鳥ヶ淵緑道来場者)
参加・来場者の特徴、傾向	<p><参加・来場者の属性></p> <ul style="list-style-type: none"> ○昼間区民の参加割合が高い ○他の 2 つのイベントの認知度、来場経験が高い <p><認知媒体></p> <ul style="list-style-type: none"> ○新聞・雑誌による認知が多い <p><参加・来場者の行動></p> <ul style="list-style-type: none"> ○飲食の購入割合が高い 	<p><参加・来場者の属性></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1 人で来場する割合が高い ○リピーターの割合が高い <p><認知媒体></p> <ul style="list-style-type: none"> ○インターネットによる認知が多い <p><参加・来場者の行動></p> <ul style="list-style-type: none"> ○物品、飲食とも購買割合が高く、物品は購買単価も高い ○会場内の滞在時間が長く、回遊性が低い 	<p><参加・来場者の属性></p> <ul style="list-style-type: none"> ○区民による来場割合が高い ○家族での来場割合が高い ○リピーターの割合が比較的高い <p><参加・来場者の行動></p> <ul style="list-style-type: none"> ○事前の認知度が低い ○物品、飲食とも購買割合が低い ○回遊性が高い
イベント出店者	<p>メイン会場への出店者は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国ふるさと交流横丁:他府県の自治体、企業など 27 団体 ○千代田交流市場<協賛・PR者>:区内の官民 10 団体、<出店者>:区内の官民 34 団体 ○ワールドバザール横丁:各国大使館など 7 団体 ○江戸縁日広場<ちよだ町会横丁>:区内の町会連合会など 8 団体、<職人長屋 	<p>神田古書店連盟加盟店 (約 100 店舗)</p>	<p>さくらフェスティバル(靖国神社)では、区内商店・観光協会会員等が物産・飲食店を出店。その他、神田神社の物産販売など。</p>

	>:伝統職人8名 ○オープンアートギャラリー: 区内の専門学校等		
イベント出店者の特徴、傾向	○江戸文化に関する出店者、区との交流等による参加・出店者、関係機関からの要請に応じた主体と出店者が多彩 ○過去2回の江戸天下祭への参加・出店実績がある場合が多い ○当該イベントで千代田区内のイベントに初めて参加する場合が比較的多い ○出店者の関係者の来場が多い ○今後の出店意向も高い		

2. 効果評価

(1) 経済波及効果

参加・来場者数は、さくらまつり 101 万人、古本まつり 30 万人、天下祭 23.7 万人である。ただし経済波及効果の計測は日比谷公園における江戸フェス参加者 9.1 万人のみを対象として推計した。区内の事業者の付加価値（営業余剰や雇用者所得）と事務局の経費を比較した場合、さくらまつりや古本まつりは大きく経費を上回る付加価値の増加が推計されたが、天下祭についても 1.7 と相対的に低い結果ではあるものの事務局経費を上回る効果が、区内に付加価値としてもたらされたと評価されることがわかった。下表は、各イベントの波及効果とその経費との比率を比較したものである。

波及効果と費用対効果比の比較

		天下祭り		古本まつり		さくらまつり		
効果	生産波及	全国	21.6	10.0	82.4	∞	118.0	311
		都内	9.9	4.6	39.7	∞	56.9	150
		区内	7.2	3.3	30.7	∞	44.0	116
	粗付加価値額	全国	11.3	5.2	46.4	∞	61.1	161
		都内	5.3	2.4	24.3	∞	30.1	79
		区内	3.7	1.7	19.8	∞	22.3	59
事務局経費等		2.2		0.0		0.4		

左：単位＝億円、右：費用対効果比（効果額÷費用）

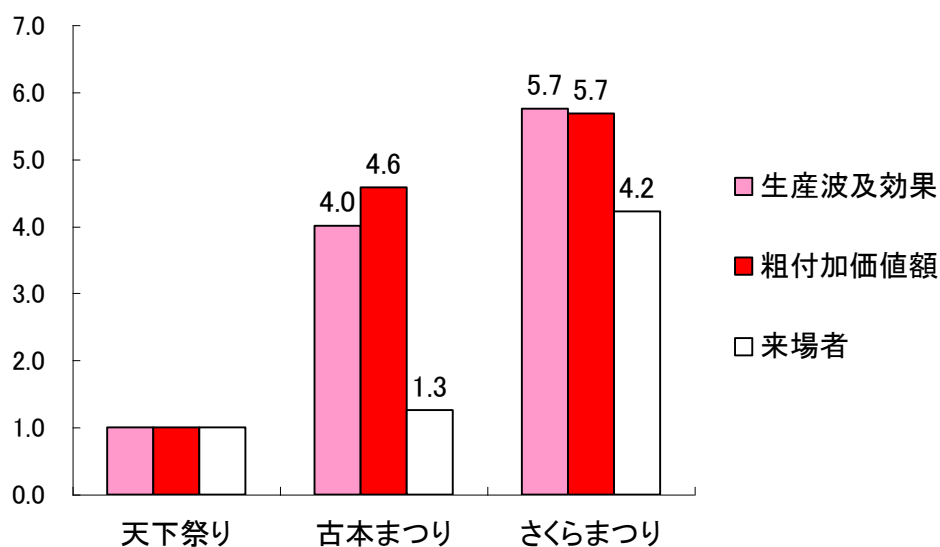
東京都の産業経済の特色として、資本規模の大きい企業の本社が集中していることがあげられる。他の道府県産業連関表や全国産業連関表で対象としている「財・サービス部門」とは別に、これら本社機能のサービスの供給が地域相互に与える経済的影響を計測するために、「本社部門」を設定し区分している。

本調査では、このように間接効果が「財・サービス部門」と「本社部門」に分割することが可能であることを活用し、東京都産業連関表によって推計された都内全体の間接効果を、区内における間接効果に区分することとした。「事業所・企業統計」を用いて、区の都内における内分（構成）比を、「財・サービス部門」の効果については事業所数による構成比を用い、「本社部門」の効果については従業者数による構成比を用いることで、本社部門の多い千代田区の実態に合わせた。

千代田区における間接効果算定に使用した内分比(「事業所・企業統計」総務省)

	事業所数		従業者数(従業地ベース)			
	東京都	千代田区	東京都	千代田区		
農林水産業	355	9	2.5%	3,615	253	7.0%
鉱業	79	7	8.9%	2,650	262	9.9%
食料品製造業	2,710	83	3.1%	85,431	8,540	10.0%
繊維製品製造業	4,912	92	1.9%	31,641	1,363	4.3%
パルプ・紙・木製品製造業	4,394	70	1.6%	35,157	2,886	8.2%
化学製品製造業	1,313	140	10.7%	81,172	10,433	12.9%
石油・石炭製品製造業	90	14	15.6%	5,951	1,640	27.6%
窯業・土石製品製造業	981	36	3.7%	15,968	2,651	16.6%
鉄鋼業	480	15	3.1%	12,131	3,978	32.8%
非鉄金属製造業	539	31	5.8%	11,139	2,367	21.2%
金属製品製造業	8,563	61	0.7%	60,935	1,443	2.4%
一般機械製造業	7,205	114	1.6%	93,499	2,995	3.2%
電気機械製造業	5,269	162	3.1%	157,364	8,067	5.1%
輸送用機械器具製造業	1,407	32	2.3%	45,609	1,147	2.5%
精密機械器具製造業	2,472	48	1.9%	41,459	1,170	2.8%
その他の製造業	22,769	968	4.3%	220,016	12,780	5.8%
建設業	43,157	969	2.2%	447,963	26,742	6.0%
電気・ガス・熱供給業・水道・廃棄物処理	451	29	6.4%	31,038	4,894	15.8%
商業	176,284	8,219	4.7%	1,852,456	140,193	7.6%
金融・保険業	9,830	945	9.6%	357,847	92,803	25.9%
不動産業	51,676	2,141	4.1%	248,743	20,280	8.2%
運輸業	20,435	487	2.4%	407,456	19,974	4.9%
通信・放送業	1,336	138	10.3%	87,329	15,869	18.2%
教育・研究・医療・保健	60,486	1,570	2.6%	988,578	42,028	4.3%
サービス	261,231	18,142	6.9%	3,142,888	378,048	12.0%
産業計	688,424	34,522	5.0%	8,468,035	802,806	9.5%

江戸天下祭の水準を1としたときの他のまつりの倍率



上図は、三つのイベント間で、生産波及効果と粗付加価値額および来場者数を比較したものである。来場者数が天下祭の約1.3倍である古本まつりでは生産波及効果で4倍、粗付加価値額ではさらに大きく4.6倍の格差がある。来場者に比して効果額、とくに付加価値額が3倍以上もあるのは、古本という単価の高い物販がイベントの目玉となっているためである。一方、さくらまつりは見物客が主であり消費単価が相対的に小さく、来場者が多い(4.2倍)割には生産波及効果、粗付加価値額ともに5.7倍に留まっている。

(2) 来場者、周辺事業者、関係者等調査からの評価

1) 来場者調査からの評価

○各まつりの認知度、集客ターゲットの相違

江戸天下祭は開催され始めてからの年数が浅く認知度が低いが、そのなかで今後も参加したいとの感想が比較的多く挙がっており、イベントの定着化が進んでいると考えられる。また、千代田区への理解が深まった、いろいろな人との交流ができた、との感想が比較的多く、当該事業の事業目的(千代田区の魅力発信、国際交流・地域交流)に沿った成果があがっているといえる。

古本まつりは開催実績が豊富で固定ファンが多いため、過去の参加・来場経験が高く、今後の参加意思も高い。来場者の主目的である古本探しだけでなく、本の街として楽しめたとの感想も得ている。

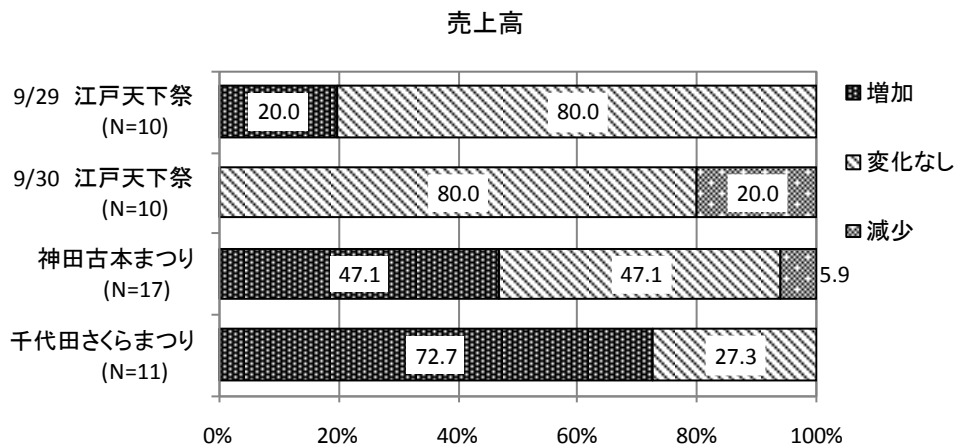
さくらまつりは、区の花さくらを重要な観光資源として有効に活用できていることがうかがえるものの、同時開催した文化イベント等の訴求力はあまり強くないことがうかがえる。

	江戸天下祭	古本まつり	さくらまつり
参加・来場経験と今後の参加意向	○過去の来場経験、認知度は低いものの、今後の参加意向は比較的高い	○過去の来場経験が高く、今後の参加意向も高い	○過去の参加・来場経験と今後の参加意向が強い人の割合がほぼ同程度
感想	○江戸の文化・産物等にふれられた、との感想が多い ○千代田区への理解が深まったとの感想が比較的多い ○いろいろな人との交流ができた、との感想も比較的多い ○にぎやかで楽しめた、との感想が約半数と多い	○古本探しが楽しめた、との感想が多いが、本の街として楽しめた、との感想も多い ○にぎやかで楽しめた、との感想はあまり伸びていない	○桜花が楽しめた、との感想が圧倒的に多い ○いろいろな文化イベントが楽しめた、との感想はあまり多くない ○にぎやかで楽しめた、との感想はあまり伸びていない ○さくらを守っていくことへの興味、関心ありとの回答は6割にのぼった。
特によかったイベント(件数降順)	・山車などの展示 ・山車・神輿順行 ・全国ふるさと交流横丁 ・ワールドバザール横丁	・神田古本まつり(すずらん通り・ワゴンセール) ・青空掘だし市 ・神保町ブックフェスティバル	・さくら ・ライトアップ ・さくらまつり ・出店・屋台

2) 周辺事業者調査からみた評価

○飲食店等への売上高増加効果

周辺事業者にとってのプラスの影響の回答者割合は、千代田さくらまつり、神田古本まつり、江戸天下祭の順と高くなっている。総じて飲食店にはプラスの影響があるのに対して、物販店には必ずしもプラス効果をもたらしてはいない。



○街のイメージ・雰囲気に対する効果

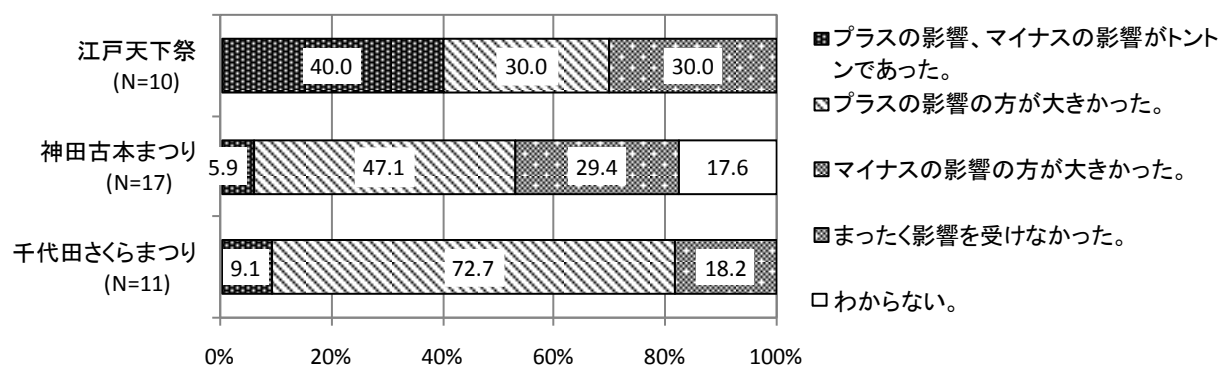
江戸天下祭は順行の実施により、周辺事業者に与える影響は大きい。喫煙者のマナーや飲酒される人の態度・行動がマイナスの影響を与えているとの回答が見られる。仲通りの横断ができず、見物客等に対する案内において不十分な面がある。また、順行時間を昼間に戻す方がいいのではないかとの提案もあった。

一方で、街の賑わいが創出された、という好意的な回答も寄せられている。また、丸の内という街の認知度、あるいはブランドの認知度向上に対する期待もあることがうかがえる。

古本まつりは、古書店、書店に限らず好印象を持たれており、他業種で商機と捉えている事業者もいる。会期延長やイベントの拡充等も含めて周辺事業者から積極的な回答が多い。街のにぎわい創出に大いに貢献していると考えられる。

さくらまつりは、開催期間の延長を要望する声もある一方で、これ以上宣伝等をしないほうが良いと、物販店からは営業の支障になる面も指摘されている。特に、さくらの開花時期に限定せず、武道館や靖国神社といった観光資源を活かして、文化・歴史を知るための付帯イベントを開催するという提案もある。

まつり開催の影響



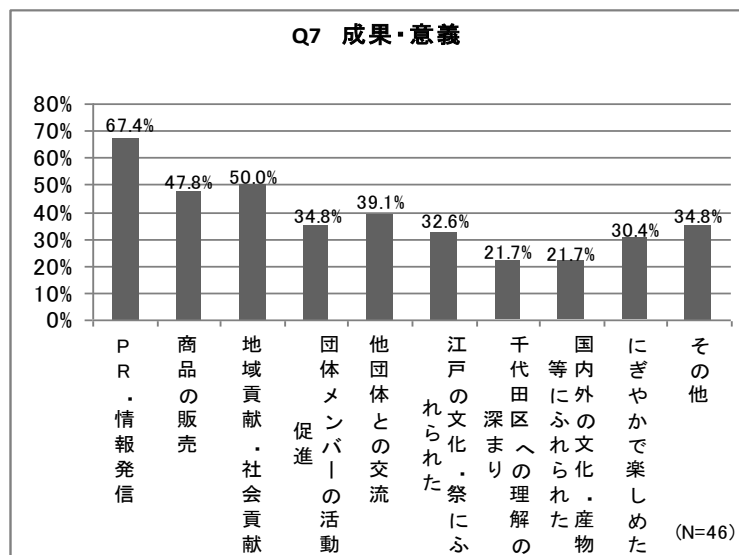
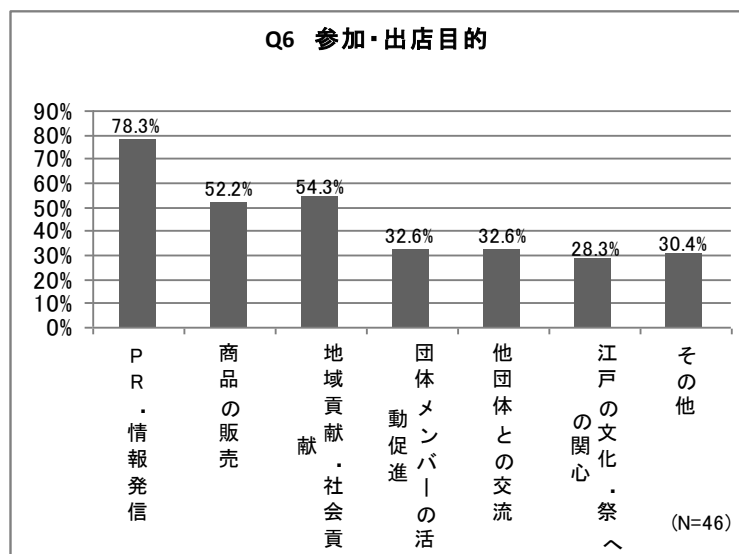
	江戸天下祭	古本まつり	さくらまつり
売上以外に関するプラスの影響	<ul style="list-style-type: none"> 街のにぎわい創出 丸の内の認知度向上 集客増によるブランドの認知度増 	<ul style="list-style-type: none"> 来街者数の増大による街の活性化 来街者数増による、新規顧客獲得の機会増 	<ul style="list-style-type: none"> まつりによる集客力の向上 土日に出が見込める
売上以外に関するマイナスの影響	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙者のタバコにおいて 店前に座り込む人(係員の注意もなかった) 酔っぱらいの冷やかashi 仲通りの横断が出来ず、案内もなかった 騒がしく、店の雰囲気と合わない 		<ul style="list-style-type: none"> 混雑の限界を越えている
改善すべき点、留意すべき点等	<ul style="list-style-type: none"> 祭り終了後の回遊性があるので昼間開催のほうがよい 周辺エリアの店舗(飲食)のリーフレット等による周知 	<ul style="list-style-type: none"> 書籍関係以外のイベントの共催 イベント開催期間の延長 	<ul style="list-style-type: none"> 武道館・靖国神社の歴史、日本の歴史についてのイベント開催、積極的な情報発信

3) 主催者および出店者調査からの評価（江戸天下祭）

○江戸天下祭への参加・出店目的と成果

江戸天下祭へ参加・出店した目的として、「PR・情報発信」が約8割、次いで「地域貢献・社会貢献」と「商品の販売」が5割超となっている。

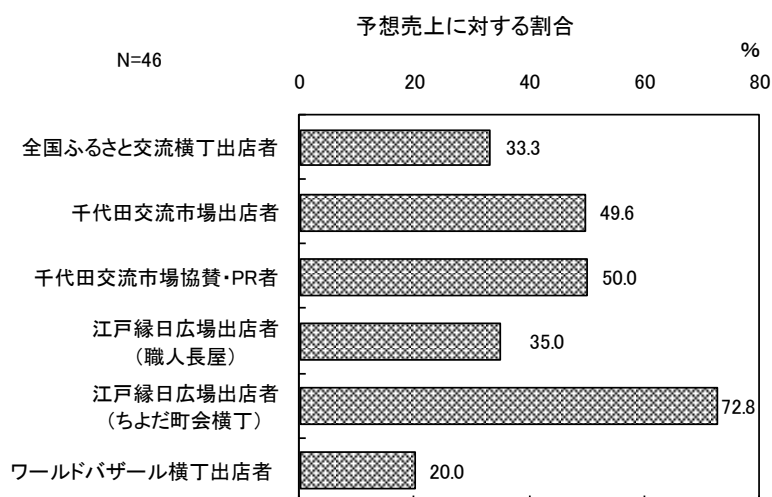
こういった目的に対し、成果・意義は「PR・情報発信」が約7割、次いで「地域貢献・社会貢献」と「商品の販売」が約5割となっており、目的に沿った成果が一定程度上がっていると考えられる。



○売上高と予想売上に対する割合

売上高について出店種類別（*）に平均値をみると、全国ふるさと交流横丁出店者 30 万円、ちよだ町会横丁 25 万円、千代田交流市場出店者 24 万円の 20 万円超のグループに対して、職人長屋が約半額の 13 万円、さらにワールドバザールと千代田交流市場協賛・PR 者が 3 万円となっている。なお、これら売上高の予想売上に対する割合をみると、

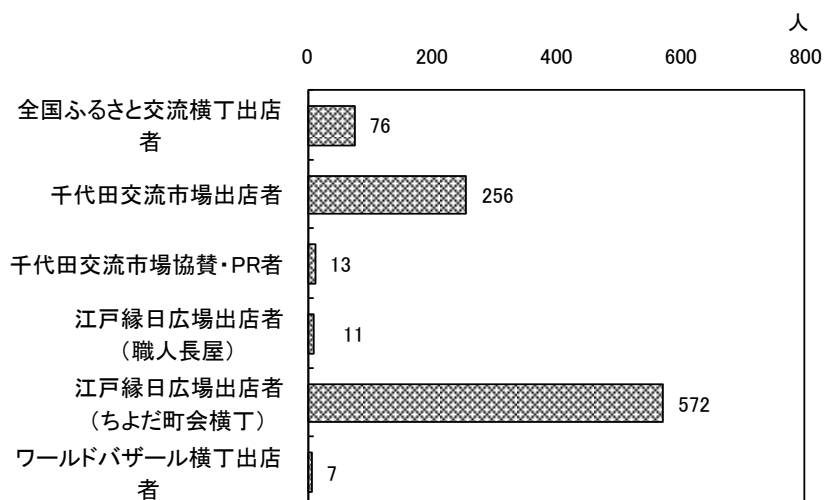
ワールドバザール横丁 20%、全国ふるさと交流横丁 33%、職人長屋 35%など、全ての団体が予想を下回っており、荒天の影響によるダメージがうかがえる。（*出店種別とは、全国ふるさと交流横丁/出店者、千代田交流市場/協賛・PR者、千代田交流市場/出店者、ワールドバザール横丁/出店者、江戸縁日広場/出店者（ちよだ町会横丁）、江戸縁日広場/出店者（職人長屋）を指す。）



○出店者の関係者の来場

出店種類別に各団体の関係者の会場来場者数をみると、ちよだ町会横丁 572 人、千代田交流市場出店者 256 人と、千代田区内団体の来場者が特に多く、各団体の交流機会となっている。特に、ちよだ町会横丁は荒天にもかかわらず多くの関係者が来場したことが予想売上からの落ち込みを低くしたものと推察される。

天下祭出店者会場来場者数



○雨対策

来場者への配慮（来場者が休んだり飲食したりできるテントの設置）が多く挙がっている。また、出店者のテントについては、「テントの張りがしっかりしていて、雨がたまらずよかった」との評価もある一方で、「各テントに雨対策のひさし部があればよかった」との意見、あるいは「巨大テントを用意し、複数の出店者が一つのテントで出店できればよかった」等の意見も寄せられている。

○会場運営、ご案内、スタッフの対応

出店者への事前の案内・対応について、「丁寧に対応していただいた」との評価もあるが、「質問に即答できるスタッフが少ない」との意見もあった。また、運営スタッフについては、役割や内容等の周知徹底が不十分であったとの意見も寄せられている。

さらに、ブースの位置によって集客量に大きな差があるとの指摘が複数挙がっており、「人の流れを考慮したブースの配置」の検討、あるいは「場所割を抽選制にする」などの意見が寄せられている。

○次回以降の江戸天下祭への参加、出店意向

「ぜひ参加・出店したい」が 54.3%、「都合がつけば参加・出店したい」が 26.1%で、これらを合わせると 8 割に参加・出店意向がある。特に自発的に参加・出店した団体に、継続的な参加・出店意向が高い。逆に、関係機関からの要請に応じて出店した団体の中には、今後の出店に消極的な団体も見受けられる。

3. 考察 ～今後の事業のあり方～

3つのイベントは、これまでの蓄積、認知度・集客力、千代田区の関わり方とその狙いも異なるものである。古本まつりとさくらまつりは既に確固とした集客力を有し、周辺事業者からの評価も概ね好意的であり、今後は、古本まつり、さくらまつりの集客対象を意識しつつ、その高いポテンシャルを千代田区としていかに戦略的に活用していくかが取り組み課題となる。

一方、江戸天下祭は、千代田区としても文化振興、情報発信、国際交流・地域交流等の狙いをもって多額の事業費を投入して新たな「ことおこし」に取り組むものである点で、他の2つのイベントと性格が異なる。今回は隔年開催の3回目ということもあり、今後の参加意向は他イベントと遜色ないものの、まだ認知度は低位にとどまっており、また、イベント内容も試行錯誤段階のため、出店者や周辺事業者からの改善要望も出されているところである。来場者、出店者、周辺事業者等からの評価、意見も踏まえつつ、今後のあり方について再構築していく余地がある。

今回の経済効果等の調査の結びとして、以下、3つのイベントそれぞれについて、今後の事業のあり方について提案を行う。

(1) 江戸天下祭 ～区民、昼間区民等を巻き込む「江戸文化」活動報告の場～

○千代田区のアイデンティティとしての「江戸文化」を軸にした巻き込み型イベントとしての再構築

これまでの江戸天下祭は、江戸文化をモチーフとして山車・神輿の展示・順行、職人による伝統工芸品の実演・販売を中心としたイベントである一方、区内の公共・民間の様々な団体や姉妹都市交流等を行う他自治体などが参加・出店する、区内では唯一、最大の交流機会としての役割も担ってきた。今回も参加した町会連合会は、荒天にもかかわらず、関係者が平均 500 人超も来場しており、区民参加型イベントとしては貴重な機会として活用されているといえる。また、職域としての参加が多い点は、昼間区民の、千代田区への関心を高めていく場としても有効といえるだろう。

しかしながら、国内外への千代田区の魅力の情報発信という目的に照らした場合、姉妹都市交流自治体の出店も含めて、折角の「江戸文化」の魅力を薄めてしまう結果になっており、それがイベントとしての訴求力、魅力を低下させてしまっていることは否めない。そこで、全ての出店者に対して「江戸文化」をモチーフとした出店を義務づけることを提案する。そうすることにより、会場全体が「江戸文化」での統一感を演出することができ、イベントとしての性格づけが明確になり訴求力が高まるだけでなく、参加者にとっても隔年開催の2年間で出店企画を練る過程で江戸文化についての理解を深めていくことも期待

できる。江戸天下祭を、単発イベントではなく、江戸文化についての各団体の活動報告の場としていくことになる。

出店者に対してこうした義務づけをすることにより、中には出店を拒否する団体が出てくる懸念もある。しかしながら、今回のアンケートでも積極的に出店をしている団体等は継続的な参加意向があり、イベント自体も前向きに評価している傾向にあるが、直前に参加要請を受けた団体やイベントへの理解・共感がうすいとみられる団体は今後の参加意向が低い傾向にあり、イベントのコンセプトを明確にすることは出店者にとっても、よりの確な判断が下しやすいという点では望ましいのではないかと考えられる。

むしろ、イベント全体を企画する側が、各回を独立して企画検討するのではなく、日常の「江戸文化」の振興と、各団体との交流を連携づけていくことが重要になる。生涯学習や他のイベントの機会などを活用して、2年に一度の成果発表や交流の機会をより多く企画することが必要である。そのためには、生涯学習講座やこれらを主催するNPOや個人等、草の根のイベントプロデューサーを育成し、一般的な屋外イベントとは違う、2年間をじっくり企画に費やす取り組みと体制の確立も期待される。

○認知度の向上

江戸天下祭を上記のように特徴づけた形で再構築した上で、認知度向上に向けた広報活動を進めていく必要がある。日常の文化振興との連携を高めていくことにより、必然と認知機会の増加が期待できるが、千代田区内の他のイベントの機会等を活用し、江戸天下祭のPRを強化することも有効と考えられる。すでに千代田さくらまつりの開催時には、神保町方面にて古本のワゴンセールなどの取り組みが行われており、回遊した来場者の取り込みがなされている。また、源氏物語をテーマにしたイベントが好評を博しており、このような文化を発信するという江戸天下祭の趣旨・目的をPRするミニイベントといったものを他の区内の大規模集客時に実施するなど、イベント間の相互連携をより強化することが必要である。

○周辺事業者との連携強化

江戸天下祭は会場内での飲食消費も多いことから、他の2つのイベントに比べると、周辺事業者の売上増加にはつながっていない面がある。また、山車・神輿の順行ルート周辺の事業者からは見物客の誘導等についての改善要望も挙げられている。

もともと、丸の内仲通りは高級ブランド店も多いことから、イベント参加者の当日の消費はあまり期待できない。但し、街路整備されたオフィス街を山車・神輿で練り歩く様子はインパクトがあり、また、イベントを機会に来街した方々に街を知ってもらう機会であることは、周辺事業者からも評価されている。

したがって、折角の街並みの魅力を活かして共存共栄できるように周辺事業者との連携を一層強化し、来街者の誘導や、来街者に対する街の情報発信等に取り組んでいくことに

より、当該地区ひいては千代田区のブランディング向上が期待される。

○雨天対策の強化

屋外イベントで雨天対策を万全にすることは困難であるが、今回の荒天に対して、来場者が雨宿りできるような全体テントの設置の要望が挙げられた。今回は出店者ブースのスペースが多く、来場者が休憩したり飲食したりできるスペースが十分には確保されていなかった。今後は、上記のように「江戸文化」をモチーフにした出店を募る形にしていくことも考慮し、出店者数を減らしても来場者が休憩・飲食できるテントやスペースを設置していくことが望ましいのではないかと。

また、雨天時には各出店者からの問い合わせ等も増えることが予想され、今回、現場対応が適切にできなかったとの指摘もあったことから、雨天時の誘導等について事前シミュレーション等を実施するなど体制強化を図っていくことも求められる。

(2) 神田古本まつり ～地域外からの集客力を活用した情報発信強化と回遊促進～

○千代田区の情報発信機会としての活用

古本まつりは長い歴史のもとにすっかり定着したイベントであり、安定した集客力を誇る。特に地域外から訪れる方も多く、地域外への情報発信機会としての価値は高い。特に、古本愛好家は文化への関心が高いことから、江戸文化をはじめとした千代田区情報の発信機会、伝統工芸品の展示・即売等の機会等として活用していくことが期待される。

但し、古本まつり開催会場内にはスペースがないため、近隣の公共施設の活用、あるいは隣接開催されるブックフェスティバルに区として参加し、ブースを確保するということも考えられる。

○周辺事業者との連携強化

靖国通り沿いの飲食店では来店客、売上ともに増加の効果がでており、周辺事業者からもイベント期間の延長や更なる集客イベントの開催が期待されているほか、周辺事業者が店舗内でイベント目当ての来場者に対しての案内を行う等の参画の提案も出されている。

古本まつりは、他の2イベントよりも滞留時間が長く、また、一人で訪れる人も多いといった傾向がある。神田神保町界隈から内神田等の周辺地区には趣のある飲食店も集積していることから、そうした周辺店舗の情報提供を行うことによって回遊、消費の促進を行っていくことが考えられる。

(3) 千代田さくらまつり ～区民を対象とした文化イベントの拡充～

○住民参加型のさくら関連文化イベントの拡充

さくらまつりは観光振興の目的が強いものの、区民等の参加の割合が高い傾向にある。桜花自体はさほど地域性が出てこないものであるが、千代田区の桜花の楽しみの特徴として、関連文化イベントを拡充していくことが考えられる。今回の源氏物語ナイトはアンケートでも好評であった。広域集客向けに大規模にするのではなく、むしろ千代田区のブランディングに向けても、住民参加型の文化イベントとして、小規模で息の長い事業として定着させて行く方が有効であろう。

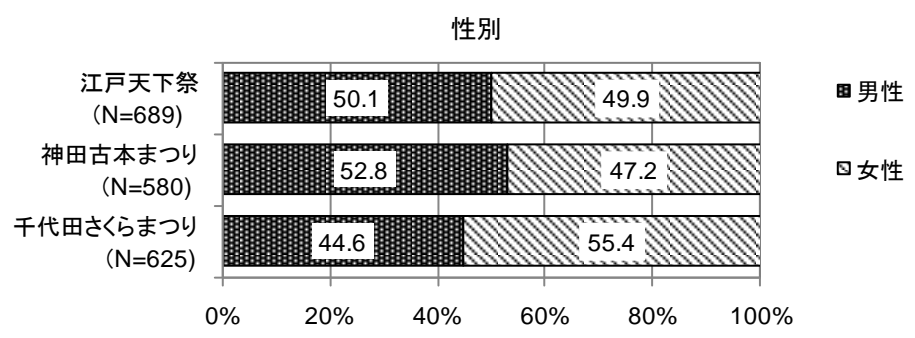
VI. 参考資料

以下は、来場者調査、周辺事業者調査について、3つのイベントごとの回答結果を一つにまとめたものである。

1. 来場者調査

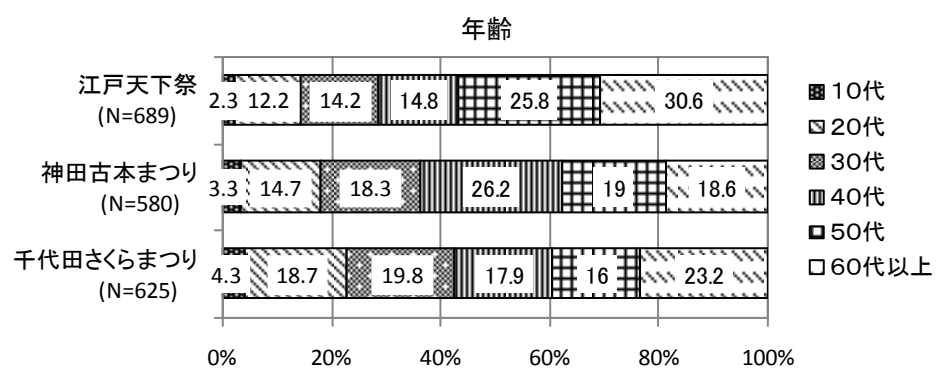
<性別>

江戸天下祭では男女ほぼ同数で、神田古本まつりでは男性が 52.8%と若干多く、千代田さくらまつりでは女性が 55.4%と若干多い。



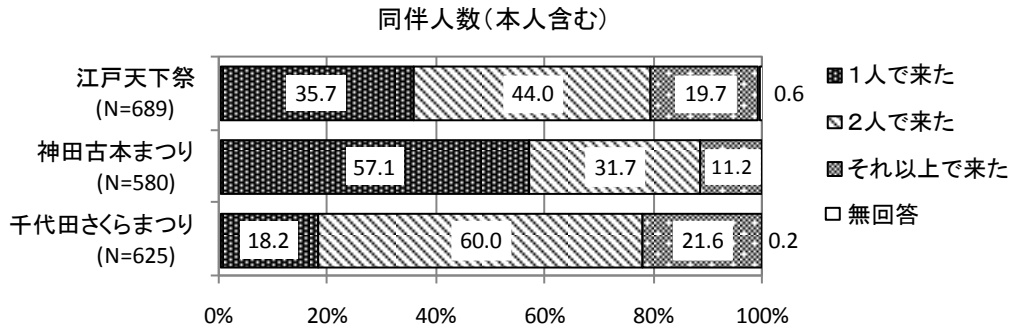
<年齢>

神田古本まつり、千代田さくらまつりについては、10代・20代、30代、40代、50代、60代以上の5区分が20%前後と概ねバランスの取れた割合となっているが、江戸天下祭では50代及び60代以上の2区分で56%を占め、高齢者の割合が高い。



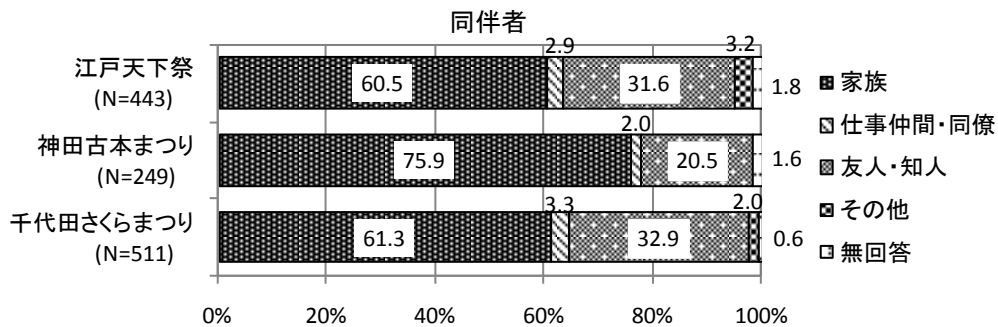
<同伴人数>

神田古本まつりでは1人が57.1%と半数以上を占める。一方、江戸天下祭（44.0%）、千代田さくらまつり（60.0%）については2人での来場が最も多い。



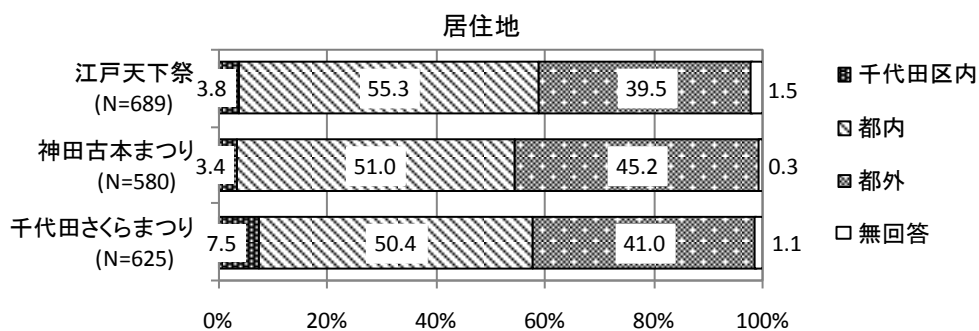
<同伴者>

2人以上で来場した人の同伴者は、いずれも「家族」、「友人・知人」で9割を占め、江戸天下祭と千代田さくらまつりは「家族」6割、「友人・知人」3割で、神田古本まつりは「家族」の割合が75.9%と他よりも高い。



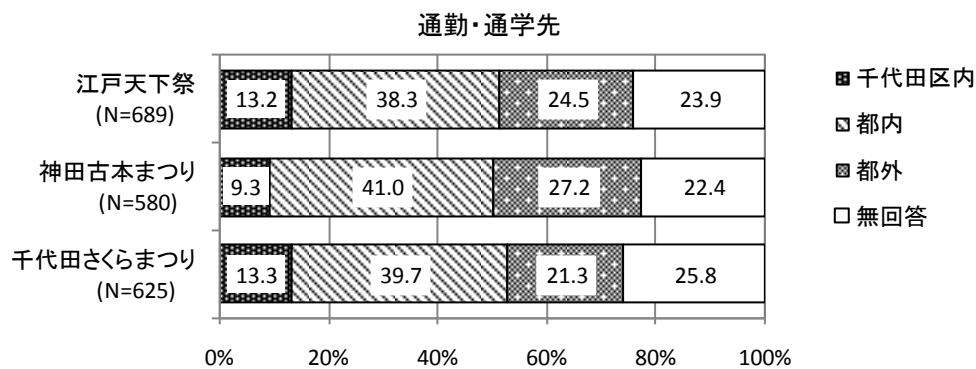
<居住地>

いずれも来場者の 5 割超が千代田区以外の都内居住者である。また、千代田区内居住者の割合は、江戸天下祭 3.8%、神田古本まつり 3.4%、千代田さくらまつり 7.5%で、千代田さくらまつりが最も区民の割合が高い。都外居住者の割合は神田さくらまつりが 45.2%で最も高い。



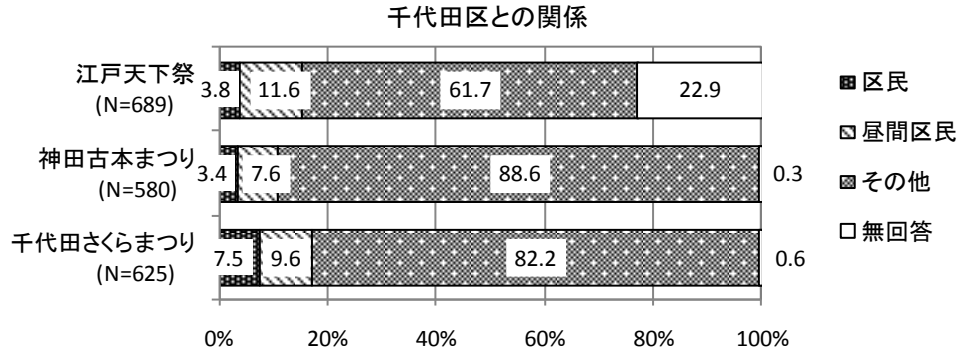
<通勤・通学先>

千代田区に通勤・通学している人は、江戸天下祭 13.2%、神田古本まつり 9.3%、千代田さくらまつり 13.3%となっている。



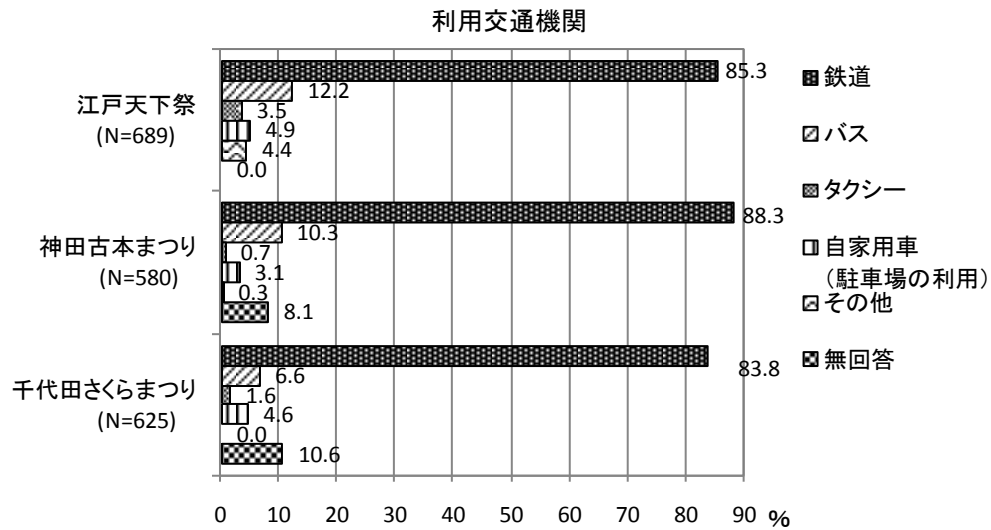
<千代田区との関係>

昼間区民（区外在住、区内通勤・通学者）は、江戸天下祭 11.6%、神田古本まつり 7.6%、千代田さくらまつり 9.6%で、昼間区民と区民の合計は江戸天下祭 15.4%、神田古本まつり 11.0%、千代田さくらまつり 17.1%で、千代田さくらまつりが最も高い。



<利用交通手段>

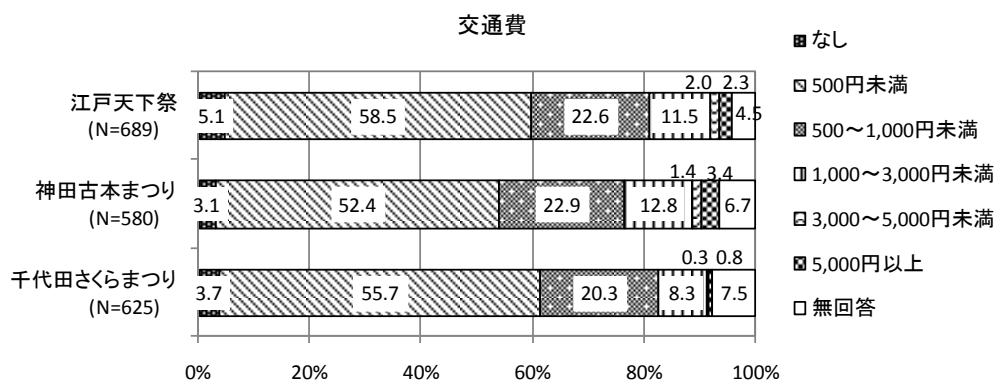
会場までの利用交通手段は、いずれも8割以上が鉄道を利用している。



<運賃>

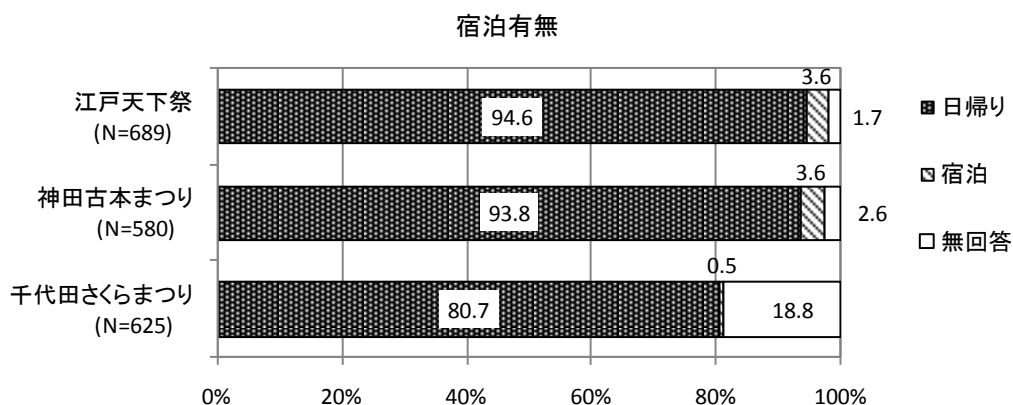
会場までの運賃は、いずれも 500 円未満が 50% 台で最も多い。5,000 円以上の高額負担者については、神田古本まつり 3.4%、江戸天下祭 2.3%、千代田さくらまつり 0.8% となっている。

、



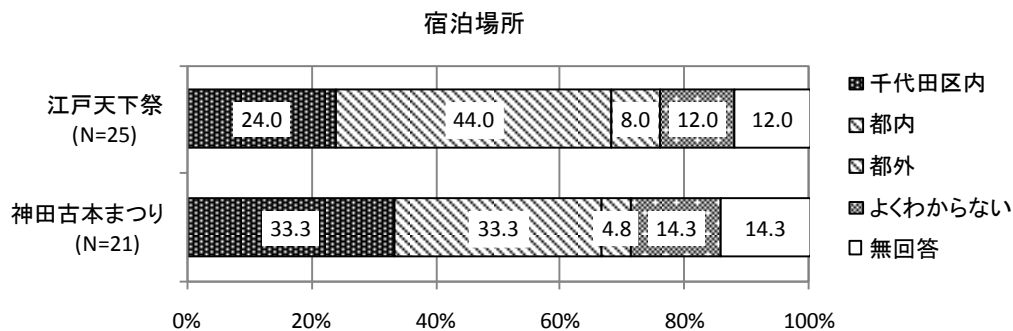
<宿泊の有無>

宿泊を伴う来場者は、江戸天下祭 3.6%、神田古本まつり 3.6%、千代田さくらまつり 0.5% となっている。(なお、千代田さくらまつりは「千代田のさくらまつり」を事前に知っていた人に対して質問している。)



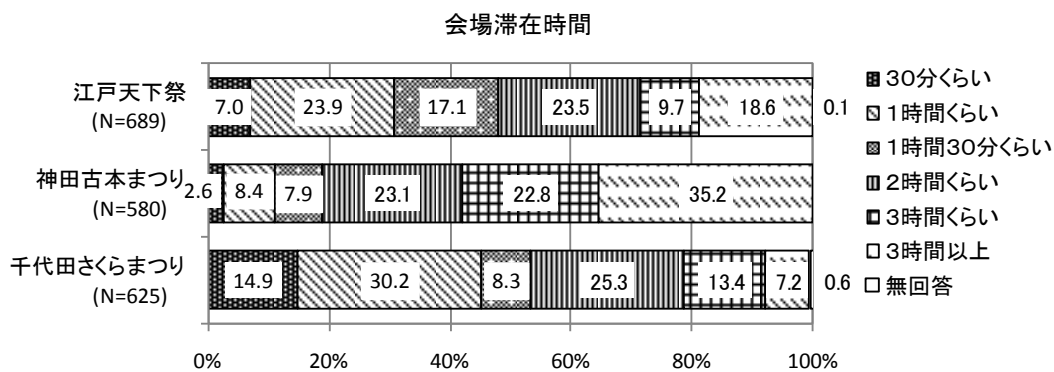
<宿泊場所>

都内（千代田区を含む）に、江戸天下祭 68.0%、神田古本まつり 66.6%が宿泊しており、その内、区内宿泊者は江戸天下祭 24.0%、神田古本まつり 33.3%である。



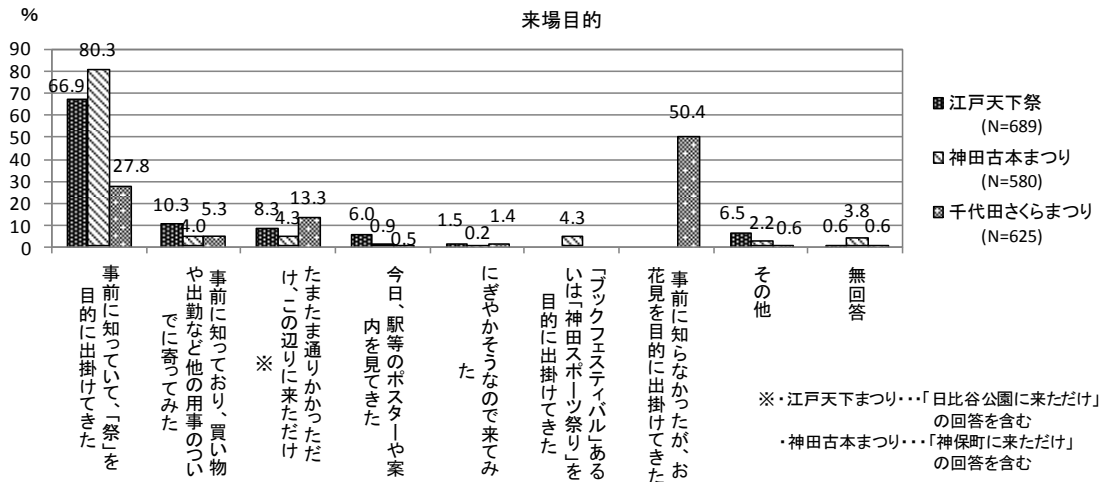
<会場滞在時間>

神田古本まつりでは、会場での滞在時間は、3時間以上が約35.2%で最も多く、次いで2時間から3時間程度が多い。1時間未満の滞在者は約1割となっている。江戸天下祭は、会場での滞在時間は、1時間から2時間程度が多いが、3時間以上滞在している人も2割近い。一方、千代田さくらまつりでは、1時間から2時間程度が63.8%と多いが、30分くらいしかかからない人も約15%となっている



<来場目的>

江戸天下祭（66.9%）、神田古本まつり（80.3%）では、それぞれのまつりを目的に来ている人が最も多いが、千代田さくらまつりでは、「千代田さくらまつり」を主目的にしている人は約4分の1（27.1%）で、「千代田さくらまつり」は知らないが花見を主目的としている人が約半数（50.4%）となっている。

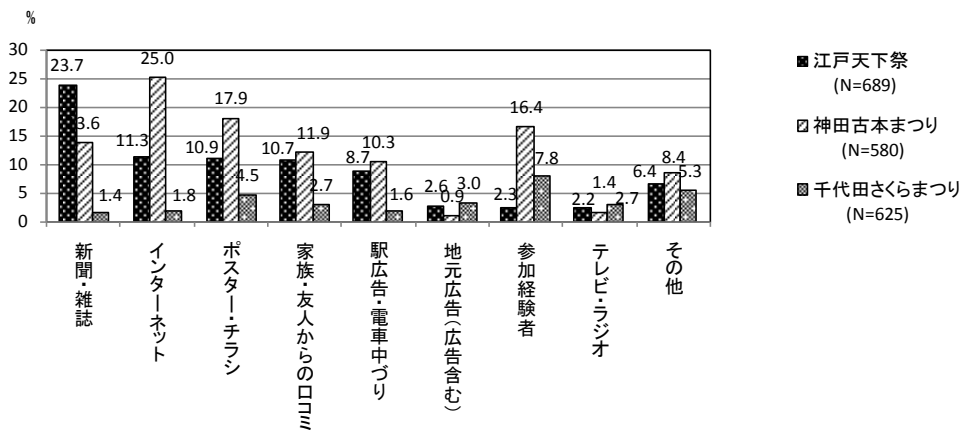


<認知媒体>

江戸天下まつりでは、新聞・雑誌が 23.7%と最も多く、次いでインターネット、ポスター・チラシ、家族・友人からの口コミ、駅広告・車中ぶりの順だが、4項目は 11~8%強でほぼ横並びである。地元広報は 2.6%となっている。

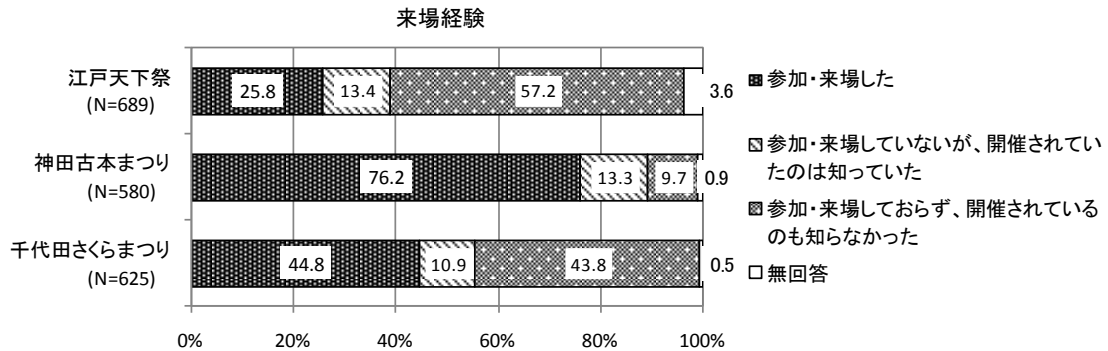
神田古本まつりでは、インターネットが 25.0%と最も高く、次いでポスター・チラシ、以前の参加経験の順となっており、地元広報は 0.9%となっている。

千代田さくらまつりでは、以前の参加経験が 7.8%と最も高く、次いでその他、ポスター・チラシとなっており、地元広報は 4番目で 3.0%となっている。



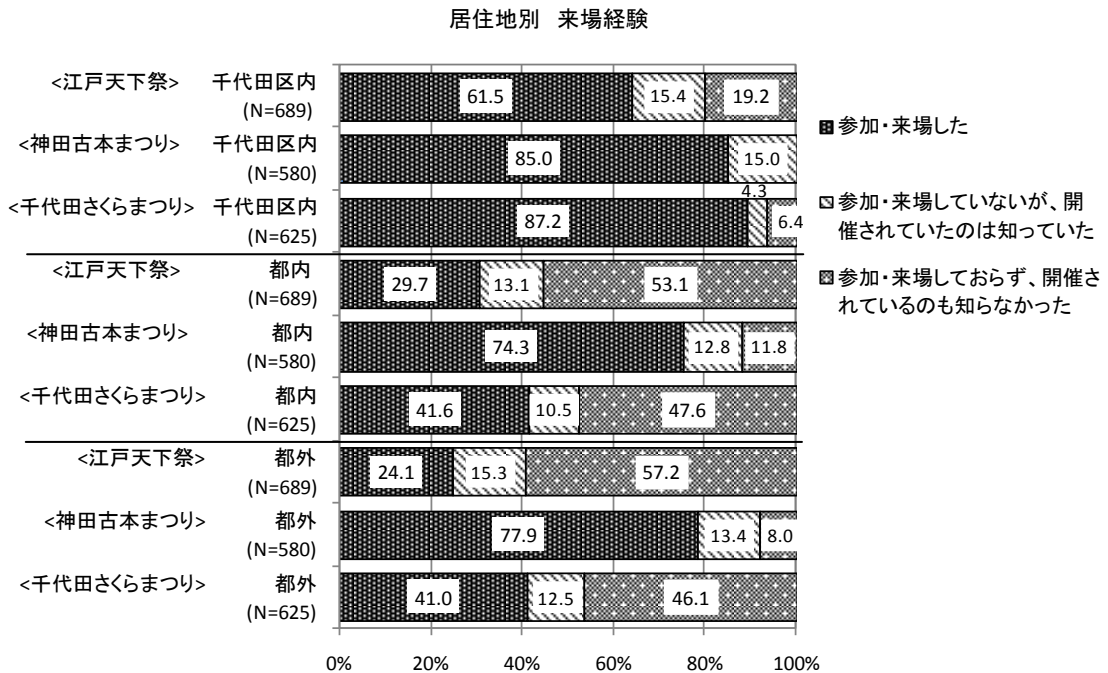
<来場経験>

神田古本まつり（76.2%）、千代田さくらまつり（44.8%）では、来場者のなかでリピーター（過去に参加・来場したことがある人）が最も多くを占めるのに対して、江戸天下祭では、まつりが開催されていることを知らなかった人が 57.2%と最も多かった。また、千代田さくらまつりでも、まつりが開催されていることを知らなかった人が 43.8%と高くなっている。



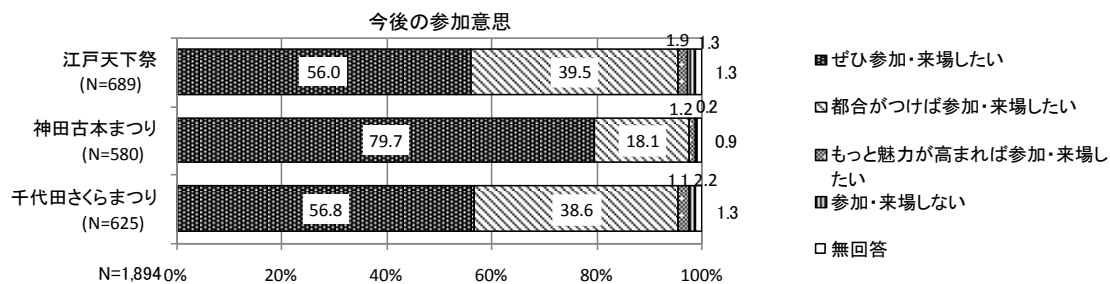
(居住地別)

神田古本まつりが、居住地によって来場経験・認知度がほとんど変わらず、リピーターの割合が高いのに対して、千代田さくらまつり、江戸天下祭は区民の来場経験・認知の割合が高い水準にあるのに対して、それ以外は都内であるか否かにかかわらず、来場経験・認知度は大きく減少する。



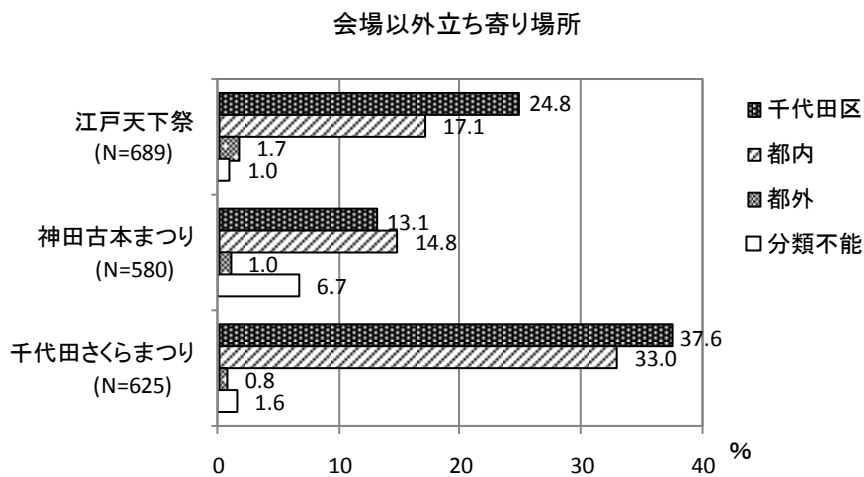
<今後の参加意思>

「ぜひ参加・来場したい」「都合がつけば参加したい」を合わせると、江戸天下まつり 95.5%、神田古本まつり 97.8%、千代田さくらまつり 95.4%と 9 割以上である。その中でも神田古本まつりは「ぜひ参加・来場したい」が 8 割に達する。



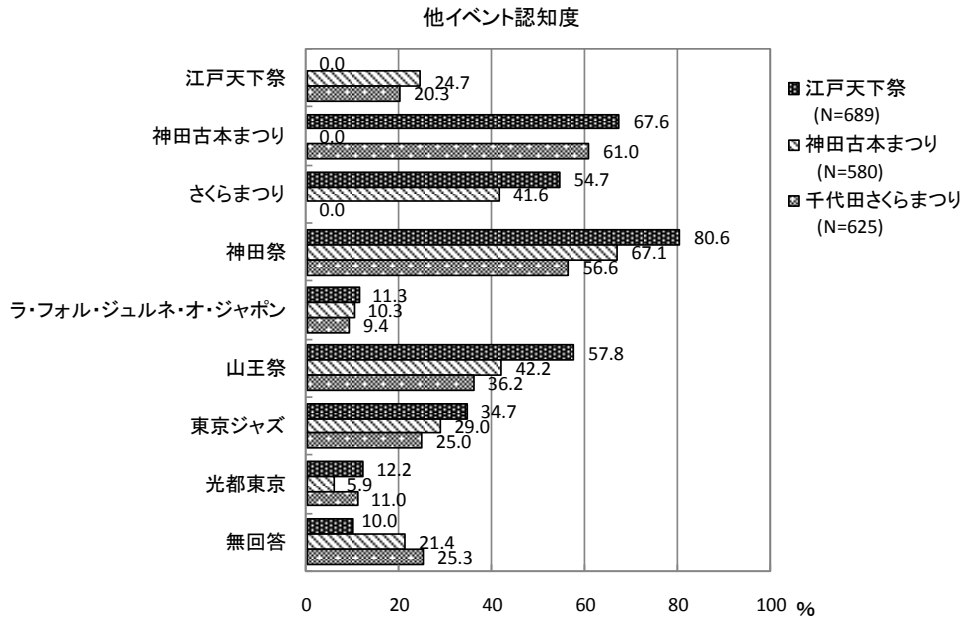
<会場以外の立ち寄り場所>

千代田さくらまつり、江戸天下まつり、神田古本まつりの順に会場以外の立ち寄りが多い。神田古本まつりでは区内への立ち寄りよりもその他の都内への立ち寄りの方が多い。



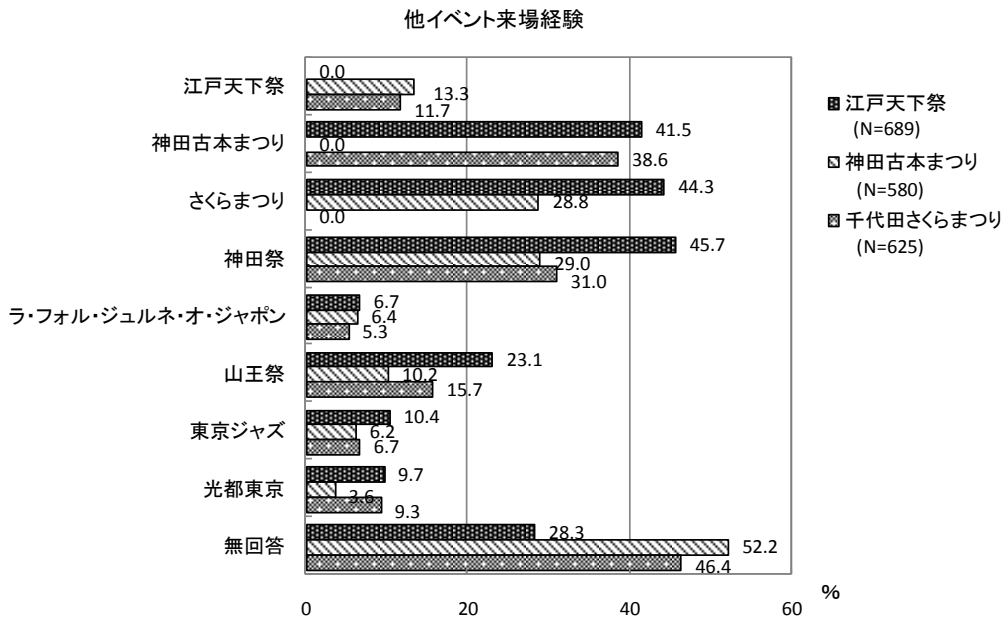
<他イベント認知度>

他のイベント認知度は、江戸天下祭来場者が高く、さくらまつり来場者が低い。また、イベント間では神田祭、神田古本祭、山王祭、さくらまつりの認知度が高く、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン、光都東京については、1割程度しか認知されていない。



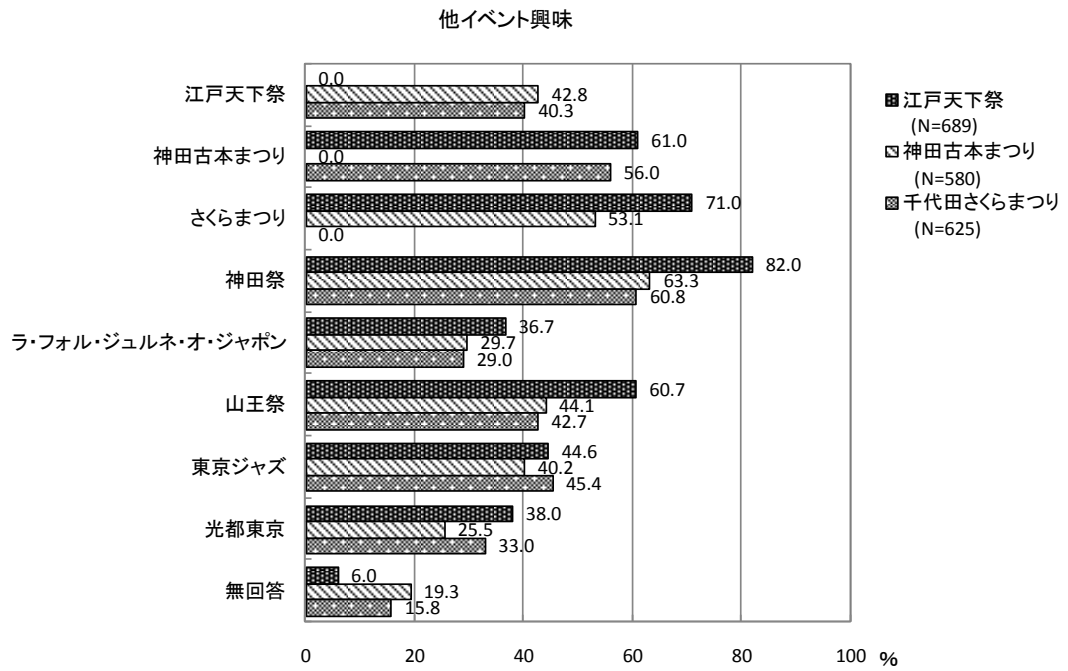
<他イベント来場経験>

他のイベント来場経験は、江戸天下祭来場者が高く、神田古本まつりが低い。また、イベント間では神田祭、さくらまつり、神田古本祭の来場経験割合が高く、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン、光都東京、東京ジャズは来場経験割合が低い。



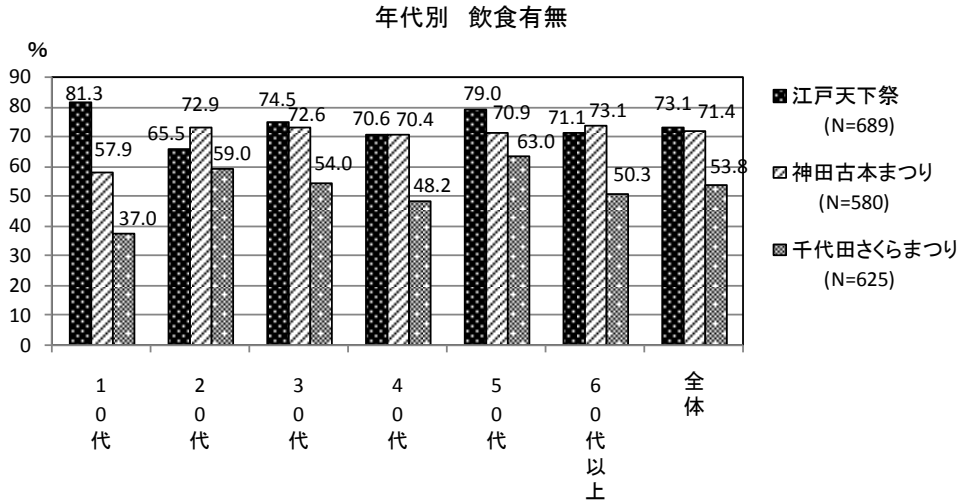
<他イベント興味>

他のイベントへの興味・参加意向は、やはり江戸天下祭来場者が高く、神田古本まつりとさくらまつりはイベントによって高低が入れ替わる。また、イベント間では神田祭、さくらまつり、山王祭、神田古本祭の興味・参加意向割合が高く、その他のイベントはほぼ3割～4割ではほぼ同水準である。



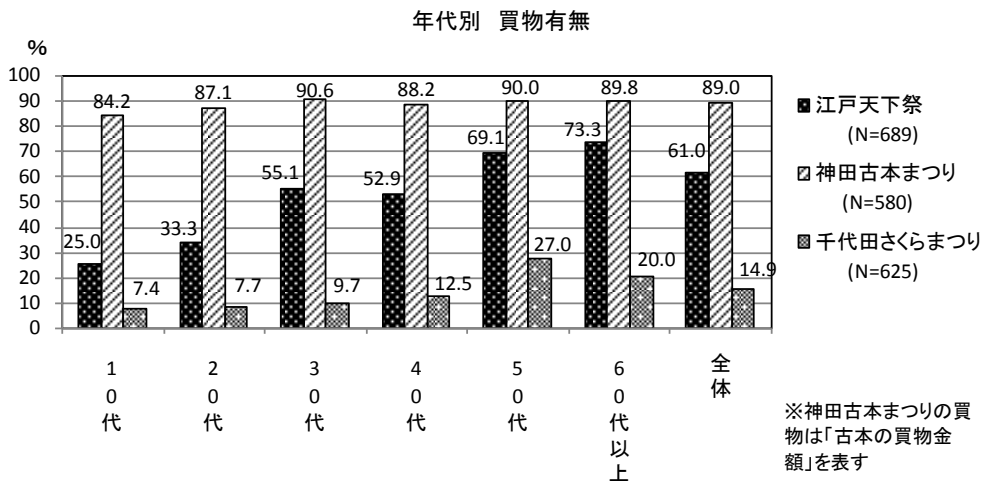
<会場等イベントエリア内での飲食有無>

江戸天下祭、神田古本まつりでは7割が飲食支出をしており、千代田さくらまつりでも5割強となっている。



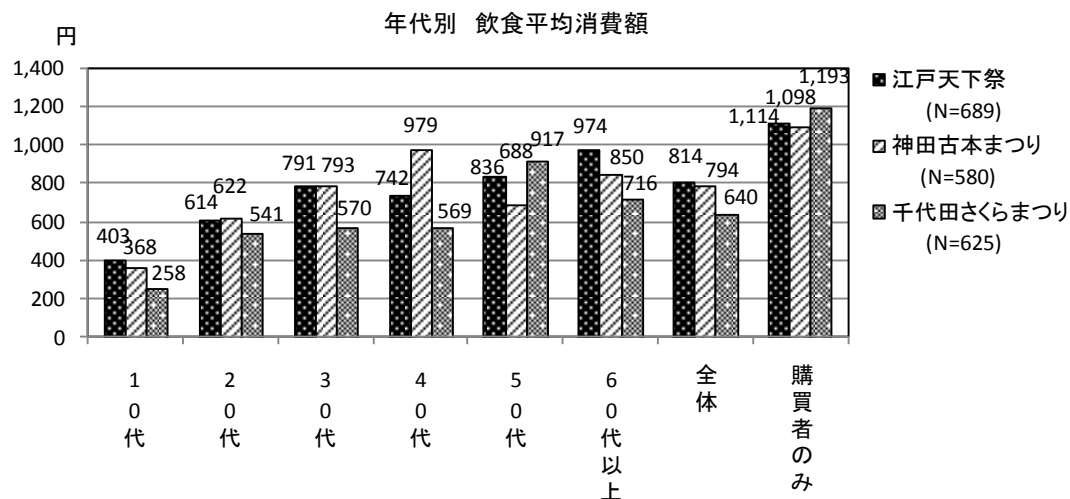
<会場等イベントエリア内で買物有無>

買物支出は、神田古本まつりでは9割、江戸天下まつりで6割、千代田さくらまつりは15%となっている。年代別にみると、神田古本まつりは全ての年代において8割以上の買物支出がある野に対して、江戸天下祭は10代・20代が3割前後であるのに対して50代および60代以上では7割前後であるなど、年齢層が高くなるほど支出者の割合が高くなっている。



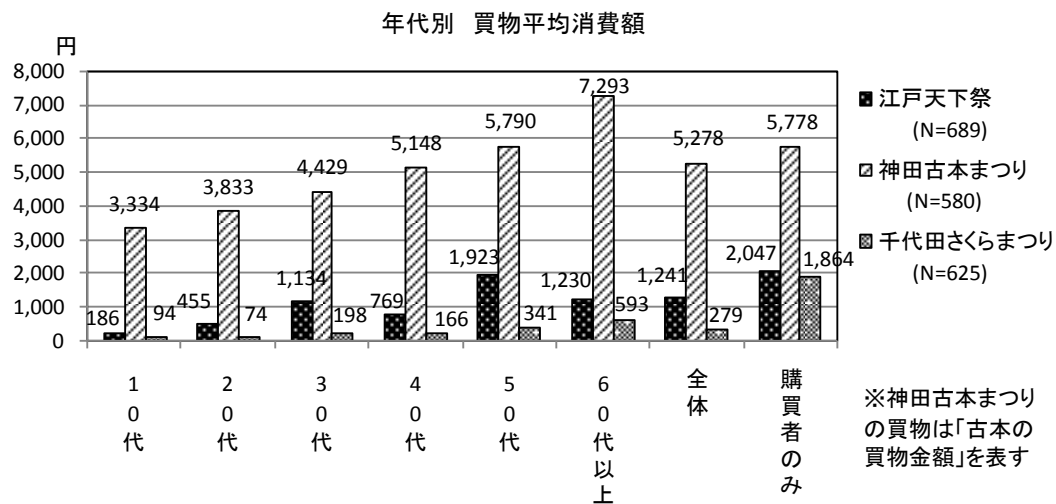
<会場等イベントエリア内で年代別 平均飲食消費額>

購買者平均ではすべてのイベントで 1000 円超となっている。年代別にみると、10 代の消費額が少ない。



<会場等イベントエリア内で年代別 平均買物消費額>

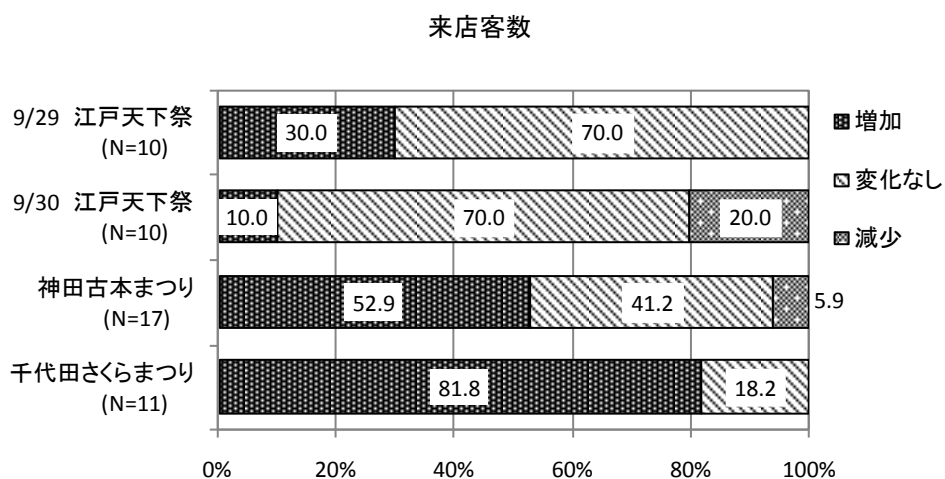
購買者平均では神田古本まつりでは 6000 円弱に達し、江戸天下祭、千代田さくらまつりでは 2000 円前後となっている。年代別にみると、神田古本まつりで年齢が高くなるほど消費額が高まる傾向があり、60 代以上では 7000 円超に達している。



2. 周辺事業者

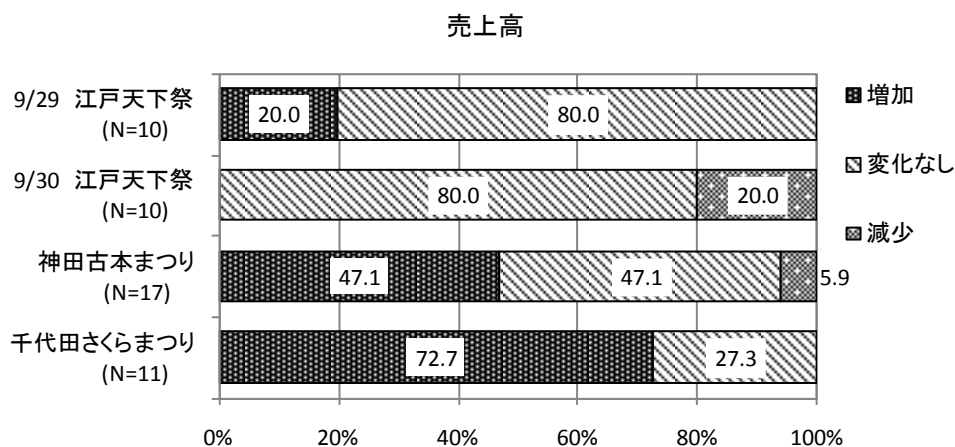
<来店客数>

イベントがない通常時と比べた来店客数については、千代田さくらまつりでは81.8%、神田古本まつりでは52.9%が増加となっている。一方、江戸天下祭では30%（順行実施日）、10%にとどまる。



<売上高>

同様に売上高についても、千代田さくらまつりでは72.7%、神田古本まつりでは47.1%が増加となっているのに対して、江戸天下祭では20%（順行実施日）、0%となっている。



<まつり開催の影響>

「プラスの影響の方が大きかった」が、江戸天下祭 30.0%、神田古本まつり 47.1%、千代田さくらまつり 72.7%となっている。

